FOMA® L852i

ISSUE DATE: '08.8

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書（詳細版）

ドコモ　W-CDMA方式

このたびは、「FOMA L852i」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA L852iは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ帳、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
■「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

本書では、知りたい機能やサービスがすぐに探せるように、次の検索方法を用意しています。

索引から
探したい機能名やサービス名がわかっているときは、ここから探します。
▶ P400

かんたん検索から
よく使う機能や、知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。
▶ P4

表紙インデックスから
表紙のインデックスを利用して、機能やサービスを探します。
▶ 表紙

詳しくは、次のページで説明しています。

目次から ▶ P6

主な機能から ▶ P8

メニュー一覧から ▶ P356

クイックマニュアルから ▶ P408

- この『FOMA L852i取扱説明書』の本文中においては、「FOMA L852i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではmicroSDカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDカードが必要となります。microSDカード→P244
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

「着信音選択」の検索方法を例にして説明します。

索引から
▶P400

機能名やサービス名などを次の例のように探します。

P96の「着信音選択」の説明ページへ進む

かんたん検索から
▶P4

よく使う機能や知っていると便利な機能を次の例のように探します。

メロディを変えたい

P96の「着信音選択」の説明ページへ進む

表紙インデックスから
▶表紙

次の例のように、表紙インデックス→章の最初のページ→目的のページの順に探します。

音の設定

画面／照明の設定

P96の「着信音選択」の説明ページへ進む

※上記のページはサンプルです。

- 本書に掲載している画面やイラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。
- 本書の操作説明では、ダイヤルキーをタッチする操作をイラストで表現していますが、次のように省略して表記しています。

実際のキー	本書のキー表記
1	1

- 本書では、主にお買い上げ時の状態で説明しています。設定の変更などによっては、表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

メールを使いこなしたい

カメラを使いこなしたい

安心して電話を使いたい

フルブラウザを使いこなしたい

こんなこともできます

その他の操作の引きかたについては、「本書の見かた／引きかた」を参照してください。→P1
また、よく使う機能などの操作手順を「クイックマニュアル」としてご案内しています。→P408

目 次

FOMA L852iの主な機能

FOMAとは、第3世代移動通信システム(IMT-2000)の世界標準規格の1つとして認定された「W-CDMA方式」をベースとしたドコモのサービス名称です。

iモードだからスゴイ!

iモードは、iモードメニューサイト(番組)やiモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

■ デコメール®/デコメ®絵文字→P170

デコメール®/デコメ®絵文字にも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えたり画像や動く絵文字を挿入することができます。

■ iアプリ/iアプリDX→P206

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、ゲームを楽しんだり自動的に株価や天気情報などを更新させたりすることができます。
iアプリDXでは、電話帳やメールなどiモード端末内の情報と連動することで、よりiアプリの楽しみかたが広がります。

■ Music & Videoチャネル※/着うたフル®→P258、P265

事前に設定するだけで、夜間に自動でダウンロードして音楽番組などを楽しめるMusic&Videoチャネルに対応。
また、1曲まるごと楽曲をダウンロードできる着うたフル®に対応。

※: お申込が必要な有料サービスです。また、FOMA L852iは動画配信未対応です。

■ 国際ローミング→P342

日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます(3Gエリアのみに対応)。
音声電話、テレビ電話、iモード、iモードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。

■ 高速通信対応

FOMAハイスピードエリア対応で、受信最大7.2Mbps/送信最大384kbps(ベストエフォート方式)※の高速通信を行うことができます。

※: ・最大7.2Mbps・最大384kbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や、通信環境により異なります。
・FOMAハイスピードエリア外やmoperaなどHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するときは、送受信ともに最大384kbpsによる通信となります。

■ ネットワークサービス→P321
・留守番電話サービス（有料）※
・キャッチホン（有料）※
・迷惑電話ストップサービス（無料）
・転送でんわサービス（無料）※
・デュアルネットワークサービス（有料）※
・番号通知お願いサービス（無料）
・マルチナンバー（有料）※
※：お申し込みが必要です。

■ 少ない操作で電話番号を呼び出せるクイックサーチ→P94
待受画面でメモリー番号（2桁以内）や電話番号の一部（3桁以上）を入力して、電話帳に登録されている電話番号を呼び出すことができます。

■ カメラ機能→P124
有効画素数約200万画素のアウトカメラ（記録画素数約190万画素）と有効画素数約30万画素のインカメラ（記録画素数約30万画素）の2つのカメラを使って、静止画（オートフォーカス対応）や動画を撮影できます。

■ マルチアクセス／マルチタスク→P280、P281
音声電話中にｉモードまたはメールなどが使えるマルチアクセス機能に対応しています。
また、複数の機能を同時に使えるマルチタスクにも対応しています。

■ 赤外線通信／赤外線リモコン→P253、P256
赤外線通信対応の機器とデータの交換をしたり、赤外線リモコン対応のテレビなどを操作したりできます。

■ 世界時計→P297
世界の各国、各都市や標準時などの日時を確認することができます。画面には世界地図が表示され、日時と共に都市や地域の位置も確認できます。旅行中に次の目的地の日時と位置を確認するなどの使いかたができます。

■ バーコードリーダー→P137
バーコードやQR コードをカメラから読み取った情報で、サイトにアクセスしたり、メールを送ったりできます。

■ ダイヤル入力の音声読み上げ機能→P98
電話をかけるときなどにタッチしたダイヤルキーを音声で読み上げます。
日本語／英語／韓国語の3種類の中から、読み上げる言語を選択できます。

■ アニメーション機能→P234
FOMA端末内に登録されている静止画を最大20枚まで組み合わせたアニメーションを作成して、スライドのように表示させることができます。

■ 電話帳のキャラクター表示→P81
電話帳には、画像や動画／ｉモーションのほかに、顔や髪型、服装や背景などの組み合わせを選べるキャラクター画像が設定できます。

FOMA L852iを使いこなす！

◆テレビ電話◆→P56

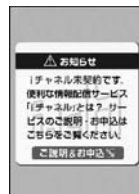
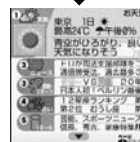
離れている相手と顔を見ながら会話することができます。お買い上げ時の状態で、相手の声がスピーカーから聞こえるようになっているため、すぐに会話を始めることができます。

◆ｉチャネル◆→P162

※お申し込みが必要な有料サービスです。

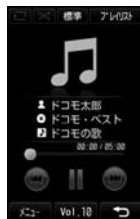
ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、Flash（P229）で作られたリッチな詳細情報を取得できます。

未契約

契約後

◆フルブラウザ◆→P215

ｉモードに対応していないインターネットホームページをパソコンと同じようにFOMA端末で表示することができます。マルチウィンドウを使用して、複数のインターネットホームページを同時に開くこともできます。

◆ミュージックプレイヤー◆→P264

音楽配信サイトからダウンロードした楽曲や、音楽CDの楽曲をパソコンなどでmicroSDカードに保存し、FOMA端末で再生できます。また、着うたフル®対応で、音楽配信サイトから楽曲を１曲まるごとダウンロードして再生することもできます。
また、使用状況に合わせて音質や音量、再生時間を設定できるミュージックライフ機能を搭載しています。

◆海外で利用すると便利な機能◆

■ 単位変換ツール→P298

通貨、面積、長さ、重量、温度、容積、速度の単位を、別の単位に変換して数値を表示することができます。海外で買い物をするときに、商品の値段を円に換算して確認するなどの使いかたができます。

■ デュアルクロック表示→P102

待受画面に任意の２つの都市の時刻を同時に表示することができます。例えば滞在先の都市を設定しておくことで、滞在先との時差を確認できます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

●ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

●機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

●火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

濡らさないでください。

●水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

●指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック L04
FOMA ACアダプタ 01／02
FOMA 海外兼用ACアダプタ 01
FOMA DCアダプタ 01／02
FOMA乾電池アダプタ 01
FOMA 補助充電アダプタ 01
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02
※その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

⚠ 警告

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

●電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

●ショートによる火災や故障の原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く
2. FOMA端末の電源を切る
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す

●そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

●落下して、けがや故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

●故障の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

●けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

●誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。

●温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

●目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

●視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

●エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

●FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

●火災、感電、故障の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

●運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

●電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

●音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

●心臓に影響を与える可能性があります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

●落雷、感電の原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

●電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

●ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

●本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。

●キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

●強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

●失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

禁止

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

●難聴になる可能性があります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。

●安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

●下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素　材	表面処理
PRADAロゴ	PC	Sn蒸着
アウトカメラ周囲	Ni-electroforming	3価クロムメッキ
本体周囲のシルバー部	Zn合金	3価クロムメッキ
外部接続端子カバー、イヤホンマイク端子カバー、開始ボタン、電源／終了ボタン、音量ボタン、カメラボタン、ロックボタン、マルチタスクボタン	ABS	3価クロムメッキ
FOMAカードトレイ	ステンレス	塗装
ピン（ストラップ取り付け穴内部）	ステンレス	なし

電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠ 危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火の中に投下しないでください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

●失明の原因となります。

⚠ 警告

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。

●電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

●漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

●電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

⚠ 注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

●発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを充電しないでください。

●電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。

●皮膚に傷害を起こす原因となります。

アダプタ（充電器含む）の取り扱いについて

⚠ 警告

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

●感電、発熱、火災の原因となります。

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

●感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

●火災の原因となります。

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。

●落雷、感電の原因となります。

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

●火災、故障、感電、傷害の原因となります。

充電中は、充電器を安定した場所に置いてください。また、充電器を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

●FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。

●感電、火災の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。

●感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。

●誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。

ACアダプタ：AC100V

DCアダプタ：

DC12V・24V（マイナスアース車専用）

海外で利用可能なACアダプタ：

AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

●指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

●火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

●感電、ショート、火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。

●コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●感電、火災、故障の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。

●感電、発煙、火災の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。

●感電の原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

⚠ 注意

指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。

●手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠ 警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

●手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。

●病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。

●ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。

●医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

●自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

●電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

●電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

●電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意について

共通のお願い

■水をかけないでください。
FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■FOMA端末、アダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

■ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

■極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45％～85％の範囲でご使用ください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■通常はイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバーをはめた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

電池パックについてのお願い

■電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■電池パックは、電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■次のような場所では、充電しないでください。
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

■FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。

■使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■極端な高温、低温は避けてください。

■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

タッチパネルについてのお願い

■タッチパネルに保護シートやシールなどを貼らないでください。
機能劣化やタッチパネルが破損する原因となります。

■タッチパネルの表面を硬いものでこすったり、強く押したりしないでください。
タッチパネルが破損する原因となります。

■爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作しないでください。
タッチパネルが破損する原因となります。

注意

■改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。

FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
FOMA端末のネジを外して内部の改造を行なった場合、技術基準適合証明等が無効となります。
技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。
やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「mova」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉアプリDX」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「ｉメロディ」「ｉエリア」「ｉモーション」「ｉモーションメール」「着モーション」「デコメール®」「デコメ®」「mopera」「mopera U」「sigmarion」「musea」「デュアルネットワーク」「ビジュアルネット」「Vライブ」「ｉチャネル」「セキュリティスキャン」「メッセージF」「マルチナンバー」「Music&Videoチャネル」「DoPa」「IMCS」「OFFICEED」「パケ・ホーダイ」「ケータイお探しサービス」「ファミリーワイドリミット」および「FOMA」ロゴ、「ｉ-mode」ロゴ、「ｉ-αppli」ロゴ、「Music&Videoチャネル」ロゴ、「HIGH-SPEED」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2008 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関係会社の日本国内における登録商標です。

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。
- ACCESS、NetFront は、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright© 2008 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

- AdobeおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- microSDロゴは商標です。

- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「PRADA」「プラダ」はルクセンブルグ法人Prada S.A.の登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite™テクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2007 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、FlashおよびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

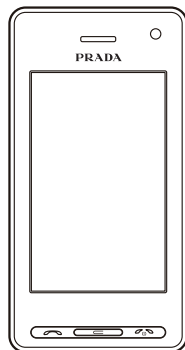
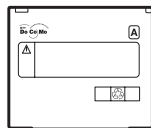
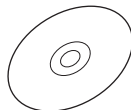
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合

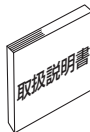
  詳細については米国法人MPEG LA,LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307	5,504,773	5,109,390	5,535,239
5,267,262	5,600,754	5,416,797	5,490,165
5,101,501	5,511,073	5,267,261	5,568,483
5,414,796	5,659,569	5,056,109	5,506,865
5,228,054	5,544,196	5,337,338	5,657,420
5,710,784	5,778,338		

本体付属品および主なオプション品について

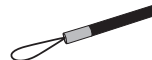
本体付属品

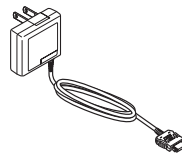
FOMA L852i
（保証書、リアカバー L07を含む）

電池パック L04

FOMA L852i用CD-ROM
（取扱説明書（詳細版）収録）

※ P408 にクイックマニュアルを記載しています。
※ CD-ROMは8cmです。お使いのCD-ROM ドライブによっては、再生にアダプタが必要な場合があります。
※ アダプタについての詳細はご使用のパソコンメーカーにお問い合わせください。
※ CD-ROMには、本体取扱説明書のほかに「パソコン接続マニュアル」「区点コード一覧」を収録しています。

取扱説明書

Quick Start Guide

液晶クリーナー（試供品）

オリジナルレザーケース
<サフィアーノ>（試供品）

スタイラスペン（試供品）

主なオプション品

FOMA ACアダプタ 01／02
（保証書、取扱説明書付き）

その他オプション品→P376

ご使用前の確認

各部の名称と機能

※:電話機能用のアンテナは本体に内蔵されています。より良い条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

・ microSDカードの取り付け場所は、リアカバー内FOMAカードのトレイの下になります。→P245

❶ **受話口／スピーカー**
- 相手からの声がここから聞こえます。
- 着信音やアラーム音、メロディの再生音などが聞こえます。
- ハンズフリー通話中は相手の声が聞こえます。

❷ **ディスプレイ→P33**

❸ **クリアボタン**
- 操作を1つ前の状態、または待受画面に戻します。
- 待受画面で押すとｉチャネル一覧画面が表示されます。→P163

❹ **開始ボタン**
- 音声電話／テレビ電話をかけます／受けます。→P56、P68
- 待受画面で押すと最近通話した相手の履歴、1秒以上押すと最近送受信したメールの履歴が表示されます。

❺ **インカメラ**
- カメラで自分の静止画や動画を撮影します。→P129、P132
- テレビ電話で自分を映します。

❻ **電源／終了ボタン**
- 電源を入れます／切ります。→P50
- 通話を終了するときや各機能を終了するときに使います。

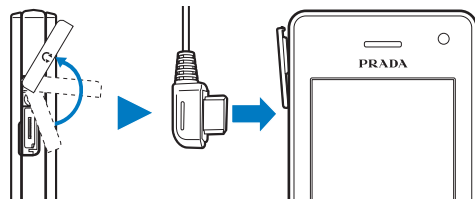
❼ **イルミネーション**
充電中に点灯／点滅します。

❽ **アウトカメラ**
- カメラで景色などの静止画や動画を撮影します。→P129、P132
- テレビ電話で景色などを映します。

❾ **フォトライト**
- 静止画／動画撮影時に点灯します。

❿ **ライト**
- カメラ撮影時に点灯できます。

⓫ **リアカバー**
- FOMAカードや電池パック、microSDカードを取り付ける／取り外すときにFOMA端末から取り外します。→P42、P45、P245

⓬ **イヤホンマイク端子**
平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などをここに接続します。イヤホンマイク端子カバーを無理に引っ張らないでください。

⓭ **ロックボタン**
- タッチパネルのロックを設定／解除します。→P114

⓮ **マルチタスクボタン**
- タスク一覧画面が表示されます。→P282
- 1秒以上押すと新規タスク画面が表示されます。→P281

⓯ **外部接続端子**
- ACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）などを接続します。

⓰ **音量ボタン**
音量の調節などに使います。
- 待受画面や着信中に押すと着信音量を調節します。
- 通話中に押すと受話音量を調節します。
- 待受画面で▲を１秒以上押すとマナーモード／公共モードの設定画面を表示します。
- ▼を1秒以上押すとミュージック画面／Music&Videoチャネル画面／SDオーディオ画面のうち、前回再生したデータの画面が表示されます。
- 静止画／動画撮影画面で押すとインカメラとアウトカメラを切り替えます。
- ミュージックプレイヤーなどの再生画面で押すと再生音量を調節します。
- メニュー画面や一覧画面などで押すとカーソルを移動、または画面単位で次の画面にスクロールします。

次のページへ続く

⑰ カメラボタン

- 待受画面で押すと静止画撮影画面（P129）、1秒以上押すと動画撮影画面（P132）が表示されます。
- 静止画／動画撮影画面で押すと、シャッターになり、画像を撮影できます。→P129、P132
- 静止画撮影画面で半押し（浅く押す）すると、オートフォーカスが開始されます。→P130

⑱ ストラップ取り付け穴

⑲ 赤外線ポート

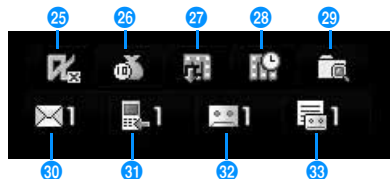
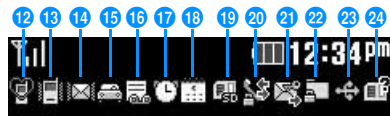
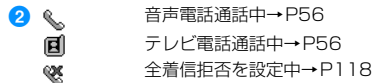
- 赤外線通信を行うときは、ここを通信相手の機器に向けます。→P254

⑳ 送話口

- 通話中は自分の声をここから相手に伝えます。
- カメラで動画を撮影するときはマイクになります。

㉑ リアカバーロックボタン→P45

ディスプレイの見かた

ディスプレイの画面に表示されるマーク（アイコン）の意味は次のとおりです。

❶ 強 ↔ 弱
電波の受信レベル→P50
self　セルフモードを設定中→P113
圏外　サービスエリア外または電波が届かない状態→P50

❷ 音声電話通話中→P56
テレビ電話通話中→P56
全着信拒否を設定中→P118

❸ （点滅）　ｉモード接続中
（点滅）　ｉモード通信中／ｉチャネルメッセージ取得中→P143
（点滅）　フルブラウザ接続中
（点滅）　フルブラウザ通信中
（点滅）　パソコンなどと接続してパケット接続中／終了中
パソコンなどと接続してパケット通信中
パソコンなどと接続してパケット受信中
パソコンなどと接続してパケット送信中
パソコンなどと接続してパケット送受信中

❹ （白）　ｉモードセンターにｉモードメールあり→P178
（グレー）　ｉモードセンターのｉモードメールが満杯
（白）　ｉモードセンターにメッセージRあり→P198
（グレー）　ｉモードセンターのメッセージRが満杯
（白）　ｉモードセンターにメッセージFあり→P198
（グレー）　ｉモードセンターのメッセージFが満杯
（白）　ｉモードセンターにｉモードメールとメッセージR/Fあり
（グレー）　ｉモードセンターのｉモードメールとメッセージR/Fが満杯

❺ （白）　未読のｉモードメールあり→P176
（白）　未読のSMSあり→P202
（白）　未読のｉモードメールとSMSあり
（グレー）　FOMA端末内の受信メールが満杯
FOMAカードのSMSが満杯
FOMA端末内の受信メールとFOMAカード内のSMSが満杯

❻ 未読のメッセージRあり→P198
FOMA端末内のメッセージRが満杯
未読のメッセージFあり→P198
FOMA端末内のメッセージFが満杯

❼ SSL対応ページを表示または取得中→P145

❽ ｉアプリを起動中→P207
ｉアプリDXを起動中→P207

❾ 1つの機能（タスク）を実行中→P281
複数の機能（タスク）を実行中
1つの機能（タスク）とバックグラウンド再生を実行中
複数の機能（タスク）とバックグラウンド再生を実行中
他の機能（タスク）を実行中のために音が鳴らないときにアラームが起動

❿ ～ 電池残量表示→P49

⓫ ALL オールロック設定中→P111

⓬ （グレー） マナーモードを設定中→P100
（白） オリジナルマナーモードを設定中→P100

⓭ 音声電話／テレビ電話の着信音が鳴らず、バイブレータが動作する状態に設定中→P97、P98
音声電話／テレビ電話の着信音が鳴り、バイブレータが動作する状態に設定中→P97、P98
音声電話／テレビ電話の着信音が鳴らず、バイブレータが動作しない状態に設定中→P97、P98

⓮ メール／メッセージR/Fの着信音が鳴らず、バイブレータが動作する状態に設定中→P97、P98
メール／メッセージR/Fの着信音が鳴り、バイブレータが動作する状態に設定中→P97、P98
メール／メッセージR/Fの着信音が鳴らず、バイブレータが動作しない状態に設定中→P97、P98

⓯ 公共モード（ドライブモード）を設定中→P72

⓰ 伝言メモ設定中→P74

⓱ 設定中のアラームあり→P283

⓲ 当日のスケジュール／To Doあり→P284、P289
アラームが設定された当日のスケジュール／To Doあり→P284、P289

⓳ microSDカード装着中→P245

⓴ 音声電話／テレビ電話の発信制限を設定中→P112
音声電話／テレビ電話の着信制限を設定中→P112
音声電話／テレビ電話の発着信制限を設定中→P112

㉑ メールの送信制限を設定中→P112
メールの受信制限を設定中→P112
メールの送受信制限を設定中→P112

㉒ 「プライバシーモード設定」を「ON」に設定中→P113
「シークレットモード」を「ON」に設定中→P116
「プライバシーモード設定」と「シークレットモード」を「ON」に設定中→P113、P116
「シークレットモード」を「シークレット専用モード」に設定中→P116
「プライバシーモード」を「ON」、「シークレットモード」を「シークレット専用モード」に設定中→P113、P116

㉓ 通信モード設定中で、USBケーブル接続中

㉔ FOMAカード未装着／FOMAカードにエラーが発生→P42

FOMAカード以外が挿入されている場合に表示（ターミナルリンク中）

㉕ ※ ｉアプリ自動起動失敗→P213

㉖ ※ 通話料金が上限を超過→P296

㉗ ※ Music&Videoチャネル番組ダウンロード完了→P258

Music&Videoチャネル番組ダウンロード失敗→P258

Music&Videoチャネル番組ダウンロード中→P258

㉘ ※ Music&Videoチャネル番組ダウンロード予約中→P258

㉙ ※ パターンデータ更新完了→P392

パターンデータ更新推奨

パターンデータ更新失敗

㉚ ※ 未確認メールあり（数字は件数）

㉛ ※ 不在着信あり（数字は件数）

㉜ ※ 留守番電話の伝言メッセージあり（数字は件数）→P322

㉝ ※ 伝言メモあり（数字は件数）

※：アイコンをタッチすると、各アイコンの説明が表示されます。再度タッチすると、それぞれのアイコンに対応した機能の画面を表示します。

お知らせ

- ディスプレイに表示する文字や記号は、一部変形もしくは省略しているものがあります。
- ディスプレイに表示されるマークは、お買い上げ時の設定をもとにしています。お買い上げ後の設定変更により、FOMA端末の表示が取扱説明書と異なる場合があります。
- FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ディスプレイの特性により、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

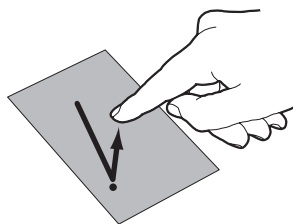
タッチパネルの使いかた

FOMA端末のディスプレイはタッチパネルになっており、画面に直接触れることでさまざまな操作を行うことができます。操作時は振動と効果音でお知らせします。

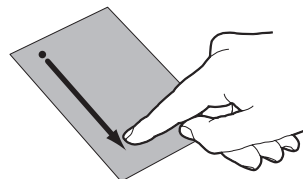
- ディスプレイ消灯時はタッチパネルを操作できません。操作するときは ／ ／ ／ のいずれかのボタンを押し、ディスプレイのバックライトを点灯させてください。

基本的な操作

画面に軽く触れて離す

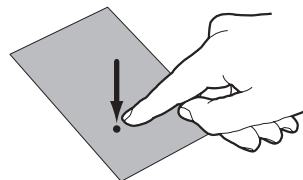
項目を選択し、実行する

- 本文中では「**タッチ**」と表記しています。

画面に触れたまま、なぞって動かす

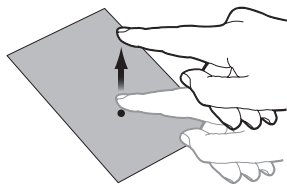
操作例：スクロールバーを使っての画面の移動、待受画面の時計の移動

- 本文中では「**スライド**」と表記しています。

画面によって利用できる操作

画面に触れたままにする

操作例：メインメニューアイコンの説明表示

- 本文中では「**タッチし続ける**」と表記しています。

画面に軽くタッチして、上または下にはらう

操作例：スクロールバーが表示されているリスト画面（画面によっては動作しないことがあります）

お知らせ

- タッチパネルにボールペンのペン先など硬いものを押し付けないでください。
- タッチパネルは指先で軽く操作してください。金属などの硬いもの、手袋、濡れた手で操作すると、正常に動作しない場合があります。（強い衝撃を与えると、タッチパネルが破損する恐れがあります。）
- 振動と効果音は設定を変更できます。→P99

メニューの選択方法

FOMA端末では、メインメニューやサブメニューなどのメニューから、機能の実行や設定、登録などの操作をします。

ホットキーから機能を呼び出す

待受画面に表示されている4つのホットキーをタッチして、各機能を利用することができます。

❶ メインメニューを表示します。1秒以上タッチし続けるとカスタムメニューが表示されます。

❷ 電話番号入力画面を表示します。ダイヤルキーで電話番号を入力して電話をかけることができます。

❸ メールメニュー画面（P167）を表示します。1秒以上タッチし続けるとｉモード問い合わせ（P179）を行うことができます。

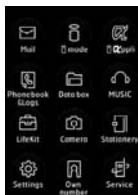
❹ 電話帳一覧画面（P87）を表示します。1秒以上タッチし続けると電話帳登録画面が表示されます。

お知らせ

- ホットキーの機能は、直接タッチパネルをタッチすることでのみ操作できます。／／では操作できません。

メインメニューから機能を選択する

メニューアイコンをタッチして機能を選択することができます。

- メインメニューの表示言語は、日本語に切り替えられます。→P51

メインメニュー

項目メニューから機能を選択するには

ここでは、待受画面からメインメニューを呼び出し、「照明設定」の設定画面を表示するまでの操作を例に説明します。

1 待受画面で をタッチする

メインメニューが表示されます。

2 メインメニューで (Settings)をタッチする

設定画面

3 設定画面で「表示」をタッチする

表示画面

4 表示画面で「照明設定」をタッチする

照明設定画面

各種画面の基本操作

タッチキーについて

画面下部には、表示中の画面でできる操作がタッチキーとして表示されます。タッチキーの内容を実行するには、タッチキーをタッチします。
本書では、タッチキーの操作を次のように表記しています。

メニュー ⇒ ［メニュー］

- タッチキーの表示は、機能や表示状況によって異なります。

タッチキー

1つ前の画面／待受画面に戻るには

メニュー項目の選択を間違えて1つ前の画面に戻るときや、操作を中断／終了して待受画面に戻るときは、次のように操作します。

- ／：1つ前の画面に戻ります。
- ：待受画面に戻ります。終了の確認画面が表示された場合は、［はい］をタッチすると操作を中断します。

お知らせ

- FOMA端末の操作状況によっては、／／を押しても待受画面／前の画面に戻らない場合があります。

設定項目の選択操作について

設定画面の各設定欄には、現在の設定内容が表示されています。設定を変更するには、変更する設定欄をタッチして一覧などを表示し、項目をタッチして変更します。

- 設定欄の左右に◀、▶が表示されている場合は、タッチして項目を切り替えることができます。

- 項目欄に＋が表示されている場合は、欄をタッチすると選択肢が表示されます。

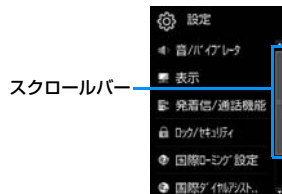
複数の項目をすべて選択／選択解除するには

画面のタイトル行にチェックボックスが表示されている場合は、タイトル行のチェックボックスをタッチするだけで複数の項目をすべて選択／選択解除できます。

お知らせ

- 項目によっては設定を切り替えられない場合があります。

項目のスクロール操作について

画面右側にスクロールバーが表示されている場合は、画面をスクロールできます。画面をスクロールするには、スクロールバーをスライドします。

項目のカーソル移動操作について

項目にカーソルを移動するには、項目をタッチします。項目が画面に表示されていない場合は、スクロール操作（P40）で項目を表示してからタッチします。

認証操作について

利用する機能やサービスによっては、認証のために各種暗証番号（P108）の入力画面が表示されます。入力画面が表示された場合は、ダイヤルキーで暗証番号を入力して［OK］をタッチします。正しく入力されると、操作を完了させたり、操作を次に進めたりできます。

- 入力した暗証番号は「＊」で表示されます。

暗証番号入力画面（例：端末暗証番号入力画面）

お知らせ

- 暗証番号の入力を中止して入力画面を閉じるには、[⮌]をタッチします。

サブメニューについて

タッチキーエリアに「メニュー」が表示された場合は、サブメニューを呼び出して各種操作ができます。

- サブメニューの表示は、機能やFOMA端末の設定状況／登録状況などによって異なります。

電話番号入力画面　　サブメニュー

■ 一覧画面でのサブメニューについて

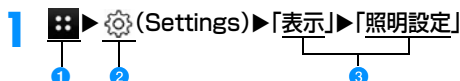
一覧画面のサブメニューには、「1件削除」のようにカーソルがあたっている項目が対象となる項目や、「全件削除」のようにすべての項目が対象となる項目があります。1件の項目が対象となる操作を行う場合は、あらかじめ該当する項目にカーソルを移動してから［メニュー］をタッチしてください。

お知らせ

- サブメニュー表示中は項目をタッチしてカーソルを移動できます。
- サブメニュー表示中に▲／▼を押すと、表示されている一番下または一番上の項目にカーソルを移動したり、さらに下または上の表示されていない項目にカーソルを移動して表示させたりできます。
- 2階層目がある項目は、項目をタッチすると2階層目を表示できます。
- サブメニューを閉じるには、［閉じる］／ を押します。

メニュー操作の表記について

本書では、主に待受画面からの操作で説明しています。また、原則として操作手順を次のように簡略化しています。

操作の記載例

❶ **操作のためにタッチするアイコンです。**
❷ **メインメニューのアイコンです。アイコンをタッチして選択します。**
❸ **メニュー項目の名称です。「次の操作を行う」や「●●●をタッチ」のように表現している場合もあります。項目をタッチして選択します。**

サブメニューの記載例

サブメニューに表示される項目は、FOMA端末の設定状況や登録状況などの条件により異なる場合があります。

［ソート］ ❶
条件を設定してファイルを並べ替えます。 ❷
［メモリー情報］
本体メモリー：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。
外部メモリー：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。 ❸

❶ **項目の名称です。項目をタッチして選択します。**
❷ **項目の機能説明です。**
❸ **項目の選択後に表示される項目の名称、機能説明、操作説明です。**

次のページへ続く

お知らせ

- リダイヤル一覧画面とリダイヤル詳細画面など複数のサブメニューをまとめて説明している場合は、設定内容や画面によって表示されないサブメニューが含まれている場合があります。

表記ルール

■ **待受画面以外から開始する操作文の表記について**
操作文の最初に「着信中」や「一覧画面」など、FOMA端末の状態や表示される画面を記載しています。

■ **入力の確定操作の省略について**
暗証番号の入力や文字の確定などの操作説明では、[OK] などの確定操作を省略しています。

■ **☐を☑にする操作におけるタッチ操作の省略について**
☐の付いた項目をタッチして☑にする操作を、項目をタッチする操作を省略して「チェックを付ける」と記載しています。

■ **項目の決定操作の表記について**
項目をタッチして選択し、再度タッチして決定することを「カーソルを移動してタッチ」と記載しています。

FOMAカードを使う

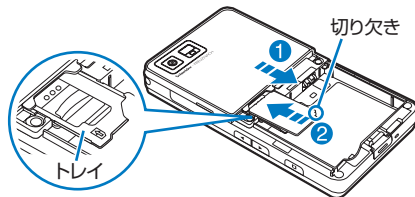
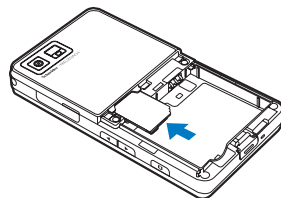
FOMAカードは、お客様の電話番号などの契約情報が記録されているICカードです。FOMA端末に取り付けることで、電話やメール、iモードなどの通信機能を利用できます。FOMAカードを他のFOMA端末に取り付けることで、用途に合わせてFOMA端末を使い分けることもできます。
取り扱いの詳細については、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

- 「電源を切る」(P50) の操作を行った後、背面を上にして電池パックを取り外してから、FOMAカードの取り付け、または取り外しを行ってください。→P46

取り付けかた

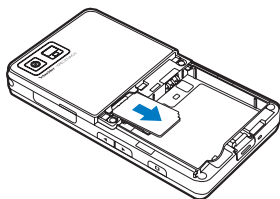
FOMAカードを取り付けるときは、両手で持って行ってください。

①FOMAカードのトレイのふちをつまみ、❶の方向に止まるまで引き出し、FOMAカードのIC面を下にして、❷の方向にトレイにおさまるように差し込む

②トレイを矢印の方向に止まるところまで押し込む

お知らせ

- 無理に取り付けようとすると、FOMAカードが壊れることがあります。

取り外しかた

FOMAカードを取り外すときは、両手で持って行ってください。

①FOMAカードのトレイのふちをつまんで止まるところまで引き出し、FOMAカードを軽く持ち上げ矢印の方向に引き出して取り外す

お知らせ

- 取り外したFOMAカードはなくさないようにご注意ください。

FOMAカードの暗証番号について

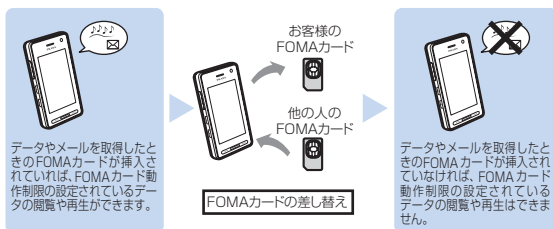
FOMAカードには、「PIN1コード」と「PIN2コード」という2つの暗証番号を設定できます。**→P109**

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA 端末に FOMA カードを挿入した状態で、次のいずれかの方法でデータやファイルを取得したり、ｉアプリを実行したりすると、取得したデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
  - サイトやインターネットホームページから画像やメロディなどのファイルをダウンロードしたとき
  - サイトやインターネットホームページを画面メモとして保存したとき
  - ファイルが添付されているｉモードメールを受信したとき
  - ｉアプリを実行したとき
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイル、ソフトは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、表示／再生／ｉモードメールへの添付／ソフトの起動／赤外線通信機能によるデータの送信、microSDカードへのコピーなどを実行できます。別のFOMAカードに差し替えると、これらの操作が実行できなくなります。
- 制限の対象となるデータ／ファイルは次のとおりです。
  - ｉモードメールに添付されているファイル
  - ファイル（メロディ／画像）が添付されているメッセージR/F
  - 画面メモ
  - デコメール®や署名に挿入されている画像
  - ｉモーション
  - ｉアプリ
  - 画像（アニメーション、Flash画像を含む）
  - 着うた®・着うたフル®
  - メロディ
  - 動作制限となるデータが含まれたメールテンプレート
  - Music&Videoチャネルの番組

  ※「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

- ここでは、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。

お知らせ

- 本機能で制限されているデータ／ファイルを待受画面などに設定すると、他の人のFOMAカードが取り付けられた場合やFOMAカードが取り付けられていない場合は、設定がお買い上げ時の状態になります。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。
- お買い上げ時に登録されている ｉ アプリは本機能の制限の対象になりません。ただし、一度削除するなどしてサイトからダウンロードした場合は制限の対象になります。
- 次のデータ／ファイルは、本機能の制限の対象になりません。
  - 赤外線通信、microSDカード、データ通信を利用して入手したデータ／ファイル
  - 本FOMA端末で撮影／編集した画像
- データ／ファイルの入手時とは異なるFOMAカードが取り付けられている場合でも、本機能で制限されているデータ／ファイルの削除はできます。
- FOMAカードに保存される設定は次のとおりです。
  - 電話番号表示
  - PIN1コード、PIN2コード
  - SMS有効期間設定
  - SMSセンター設定
  - Select language

- 他のｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えた場合、テロップが表示されなくなります。待受画面でを押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信してテロップが表示されるようになります。

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末で「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、「FOMAカード（緑色／白色）」とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

機　能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁まで	26桁まで	P83
WORLD WINGの利用	利用不可	利用可	P342
サービスダイヤルの利用	利用不可	利用可	P329

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応のFOMA端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。なお、L852iはドコモの3Gローミングサービスエリアでのみご利用いただけます。GSMサービスエリアでご利用される場合は、FOMAカード（緑色／白色）をGSM対応端末に差し替えることによりご利用いただけます。

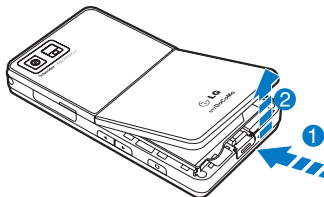
- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。

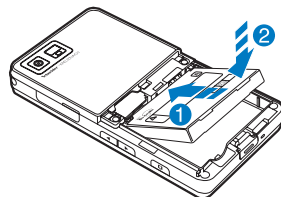
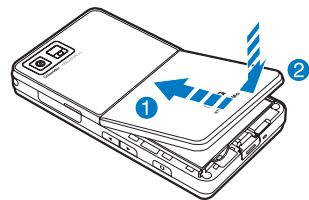
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- 万一、FOMAカード（緑色／白色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

- FOMA端末の電源を切り、手に持って行ってください。

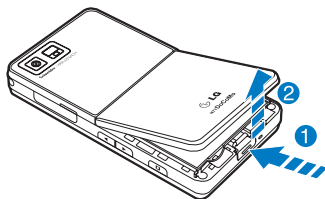
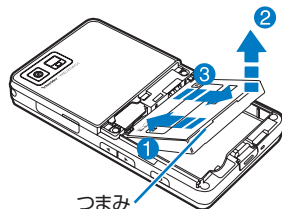
取り付けかた

①❶の方向にリアカバーロックボタンを押しながら、リアカバーを❷の方向に持ち上げて取り外す

②電池パックの「Ⓐ」と記載されている面を上にして、電池パックとFOMA端末の金属端子が合うように❶の方向に取り付けてから、❷の方向へはめ込む

- 電池パックをはめ込むときは、突起の下に押し付けるようにしてからはめ込んでください。

③リアカバー裏面にある突起（ツメ）をFOMA端末の溝に合わせ、リアカバー上部を❶の方向へ押し付けながら、リアカバー下部を❷の方向へ「カチッ」と音がするまで押し込んで取り付ける

お知らせ

- FOMAカードが正しく取り付けられていない状態で電池パックを無理に取り付けようとすると、FOMAカードが壊れる場合があります。
- 電池パックを無理に取り付けようとすると、FOMA端末の端子が壊れることがあります。

取り外しかた

①❶の方向にリアカバーロックボタンを押しながら、リアカバーを❷の方向に持ち上げて取り外す

②電池パックを ❶ の方向に押し付けながら、つまみを❷の方向へ持ち上げ、❸の方向に取り外す

FOMA端末を充電する

FOMA端末は、専用のACアダプタ（別売）またはDCアダプタ（別売）で充電してください。また、FOMA端末専用の電池パック L04をご利用ください。

■ 電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながら ｉ アプリやテレビ電話などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

■ 充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02はAC100Vから240Vまで対応しています。
- FOMA海外兼用ACアダプタ01はAC100Vから240Vまで対応していますが、ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で使用する場合は渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- ACアダプタまたはDCアダプタで充電するには、電池パックをFOMA端末に取り付けた状態でないと充電できません。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
- 通話中の場合でも、充電を開始すると受話口から充電開始音が聞こえます。
- 電池パックが空の状態で充電を開始すると、しばらくの間FOMA端末の電源が入らない場合があります。
- 充電中にテレビ電話などを長時間行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。その場合は、しばらくたってから再度充電してください。

■ 電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください

- 充電時に FOMA 端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わった後、FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐにバッテリー警告音が鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ、DCアダプタから外して再度接続し直してください。

■ 電池パックの使用時間の目安

使用時間は使用環境、電池の劣化度によって異なります。

FOMA／3G	連続待受時間	静止時：約350時間 移動時：約270時間
	連続通話時間	音声電話時：約140分 テレビ電話時：約90分

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場所など）により、待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールを作成、ダウンロードしたｉアプリやｉアプリ待受画面の起動、データ通信、マルチアクセスの実行、カメラの使用、動画や音楽再生などを行うと、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 滞在国のネットワーク状況によっては記載値より短くなることがあります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

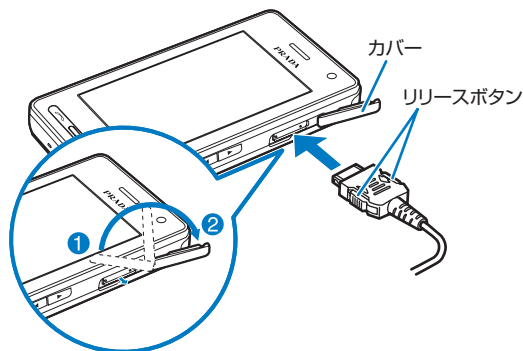
■ 電池パックの充電時間の目安

FOMA ACアダプタ 01／02	約180分
FOMA DCアダプタ 01／02	約180分

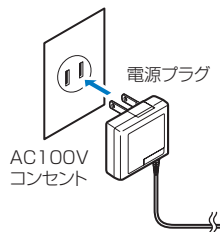
- 充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。
  FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

ACアダプタで充電する

1 FOMA端末の外部接続端子のカバーを開き(❶)、回転させる(❷)

2 ACアダプタのコネクタを矢印の刻印されている面を上にして、FOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む

3 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

充電が開始され、イルミネーションが赤く点灯します。

- 電源が入っている場合は、充電開始音が鳴ります。設定によっては、鳴らない場合があります。

4 充電が終わったら、ACアダプタのコネクタのリリースボタンを押しながら水平に引き抜く

充電が完了すると、イルミネーションが消灯します。

- 電源が入っている場合は、充電完了音が鳴ります。設定によっては、鳴らない場合があります。
- ACアダプタの抜き差しは、向き（表裏）を確かめ水平に行ってください。無理に取り外そうとすると故障の原因となります。

■ DCアダプタ（別売）

DCアダプタは、FOMA端末に電池パックを付けたまま自動車のシガーライタソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。

詳しくはFOMA DCアダプタ 01／02の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 充電中にディスプレイの照明をつけたままにするように設定できます。→P104
- 充電中は電池残量表示のアイコンが□→□→□→□の順にアニメーション表示され、充電が完了すると□が点灯します。

<ACアダプタ／DCアダプタ>
- 指定の電源、電圧で使用してください。誤った電圧で使用すると、火災や故障の原因となります。

<DCアダプタ>
- DCアダプタはマイナスアース車（12V／24V）専用です。
- ヒューズ（2A）は消耗品です。ヒューズが切れて交換する場合は、お近くのカー用品店などでお買い求めください。
- 車のバッテリーの消耗を避けるため、エンジンを切った状態で使用しないでください。

電池残量

電池残量の確認のしかた

画面上部に電池残量（目安）を示すアイコンが表示されます。

：電池残量は十分です。
：電池残量が少なくなっています。
：電池残量がほとんどありません。充電してください。
：電池残量がほとんどありません。しばらくすると自動的に電源が切れます。充電してください。

お知らせ

- 電池残量を示すアイコンが 、 のときは、カメラ機能（バーコードリーダー含む）と赤外線通信機能が使えなくなります。
- 電池残量を示すアイコンが 以外のときは、ミュージックプレイヤー／SDオーディオプレイヤーを起動するときに、電池残量が少ない旨をお知らせする画面が表示されます（ のときは、表示されない場合があります）。

電池残量を音と表示で確認する

電池残量（目安）を音と表示で確認できます。

1 ▶ (Settings)▶「その他」▶「電池残量」

確認画面が表示され、電池残量に合わせて音が鳴ります。約5秒経つと電池残量の表示画面が消えます。

「ピッピッピッ」：電池残量は十分です。
「ピッピッ」　：電池残量が少なくなっています。
「ピッ」　　　：電池残量がほとんどありません。充電してください。

お知らせ

- 「ダイヤル音」の音量をレベル0に設定している場合や、マナーモード設定中は音が鳴りません。

電池が切れそうになると

「電池がなくなりました 充電するかバッテリーを交換してください」のメッセージが表示され警告音が鳴ります（設定によっては、鳴らない場合があります）。画面上部の が点滅し、しばらくすると自動的に電源が切れます。

電源ON／OFF

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源が切れている状態で（2秒以上）

FOMA端末のイルミネーションが点灯し、ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。

- お買い上げ時に起動すると、ウェイクアップ画面後にタッチパネル調整の確認画面が表示されます。→P51

待受画面

お知らせ

- FOMAカードが取り付けられていない場合は、「FOMAカード（UIM）を挿入してください」と表示されます。
- が表示されている状態で移動せずに通話しているときでも、通話が切れる場合があります。
- 日付時刻の設定→P51
- 発信者番号通知の設定→P52
- 端末暗証番号の変更→P110

「PIN1コードリクエスト」を「ON」に設定しているときは

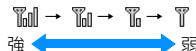
PIN1コード入力画面が表示されます。
PIN1コード（P109）を入力すると、ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。

「オールロック」を設定しているときは

端末暗証番号の入力が必要になります。

画面上部に「圏外」が表示されるときは

サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。電波の受信レベルを示すアイコンが表示される場所まで移動してください。アイコンは次のように4段階で表示されます。

強 ↔ 弱

電源を切る

1 電源が入っている状態で待受画面表示中に（2秒以上）

終了画面が表示され、電源が切れます。

メニュー言語設定

メインメニューの言語を設定する

メインメニューの表示言語を、日本語または英語に設定します。お買い上げ時の設定は「英語」です。

1 ▶(Settings)▶「表示」▶「メニュー言語設定」▶「英語」/「端末設定に従う」▶「選択」

英語　　　　　：英語に設定します。
端末設定に従う：「Select language」で設定した言語で表示されます。

お知らせ

- メインメニュー以外の表示言語を変更する場合は、「画面を英語表示に切り替える」（P106）を参照してください。

タッチパネル調整

タッチパネルを補正する

タッチパネルをタッチした位置と実際に反応する位置の調整を行います。タッチ操作を正確に行うには調整が必要です。

1 ▶(Settings)▶「その他」▶「タッチパネル調整」

2 左上、右上、左下、右下、中央の「+」の中心を順番にタッチ

3 [はい]

4 操作2と同様の操作で調整を確認▶[OK]▶[はい]

お知らせ

- お買い上げ時に起動すると、タッチパネルをすぐに調整するかどうかの確認画面が表示されます。「調整する」▶［選択］をタッチして、操作2〜4と同様の操作をすると、タッチパネルを調整できます。「キャンセル」／などを選択して、調整を行わずに待受画面に進んだ場合は、次回起動時にタッチパネル調整画面が表示されます。

日付／時刻設定

日付・時刻を合わせる

時刻を自動で補正するように設定できます。また、タイムゾーンやサマータイム、日付／時刻の設定ができます。

1 ▶(Settings)▶「日付／時刻」▶「日付／時刻設定」

日付／時刻設定画面

2 次の操作を行う

- 「自動時刻時差補正」を「ON」に設定した場合は、「タイムゾーン設定」「サマータイム設定」「日付／時刻設定」を設定できません。

次のページへ続く

[自動時刻時差補正]
ネットワークからの時刻情報をもとに、FOMA端末の時刻を補正するかどうかを設定します。

ON　：日付・時刻を自動で補正します。

OFF　：自動時刻時差補正をしません。

[タイムゾーン設定]
日付時刻のタイムゾーンを設定します。
国名／都市名のリストから選択する場合は、［前］、［次］をタッチすると、ページ単位でリストが切り替わります。

[サマータイム設定]
サマータイムを設定します。

[日付／時刻設定]
手動で日付、時刻を設定します。
日付は変更箇所にカーソルを移動して、ダイヤルキーで入力します（日付部分で をタッチするとカレンダー画面で設定できます。カレンダー画面の操作方法→P286）。
時刻は変更箇所にカーソルを移動して、ダイヤルキーで時刻、「am」／「pm」を切り替えます。

- 「日付／時刻表示設定」（P105）の設定によっては、日付や時刻の表示順や表示内容が異なります。
- 1980/01/01～2099/12/31の範囲で設定できます。

3 ［完了］

お知らせ

<自動時刻時差補正>
- 電波状況によっては時刻を補正できない場合があります。
- 海外でFOMA端末を使用する場合、利用するネットワークによっては時刻やタイムゾーンを補正できない場合があります。また、正しく時刻を表示できない場合があります。世界時計で滞在先の時刻に設定してご利用ください。→P297
- ｉアプリ起動中や、FOMAカードが取り付けられていない場合は時刻が補正されません。
- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

発信者番号の通知／非通知の設定を、あらかじめネットワークに設定できます。

- お客様の発信者番号（電話番号）は大切な情報です。通知する際は十分にご注意ください。
- 「圏外」が表示されているときは、発信者番号通知を設定できません。

1 ▶ (Service)▶「発信者番号通知」

2 次の操作を行う

[通知設定]
発信者番号を通知／非通知に設定します。
▶「通知する」／「通知しない」▶ネットワーク暗証番号を入力

[通知設定確認]
現在の設定状態を確認します。

お知らせ

- 発信者番号は、相手の電話機が表示できる場合にのみ有効です。
- 電話をかけるごとに発信者番号通知を設定できます。→P63

自局番号

自分の電話番号を確認する

FOMAカードに登録されているお客様の電話番号（自局番号）を表示できます。

1 ▶ (Own number)

■ **登録されている詳細情報を表示する場合**

自局番号画面で［詳細］をタッチして端末暗証番号を入力すると、自局番号詳細画面が表示されます。自局番号以外の情報を登録できます。→P294

- 自局番号以外の電話番号やメールアドレス、URLが登録されている場合は、カーソルを移動してタッチすると電話の発信やｉモードメール作成、サイトへの接続ができます。

自局番号画面

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

テレビ電話の設定

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。

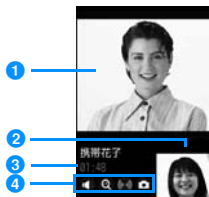
- ドコモのテレビ電話は「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。ドコモのテレビ電話と異なる方式を利用しているテレビ電話対応端末とは接続できません。
  ※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）
  　第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
  ※2：3G-324M
  　第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。
- テレビ電話の通信速度には64K（64kbps）と32K（32kbps）の2種類がありますが、本FOMA端末では32Kによるテレビ電話は利用できません。
- 本FOMA端末は遠隔監視機能には対応しておりません。

テレビ電話中画面の見かた

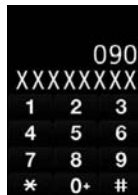
❶ **親画面**
お買い上げ時は、相手の画像が表示されます。

❷ **子画面**
お買い上げ時は、自分の画像が表示されます。

❸ **通話時間**
分：秒の形式で表示されます。

❹ **設定状態アイコン**
タッチすると設定を切り替えることができます。
- ボリューム→P70
- ／ ズーム調整→P59
- ／ ハンズフリー ON／OFF状態表示→P56
- ／ 画像区分（カメラ画像／代替画像）→P57

電話／テレビ電話をかける

1 ▶電話番号を入力

- 80 桁まで入力できます。ただし、表示されるのは44桁までです。
- 「0」～「99」を入力すると、該当するメモリー番号の電話帳を呼び出せます。
- 同一市内へかけるときでも、必ず市外局番から入力してください。

電話番号入力画面

2 音声電話をかける場合

または[発信]

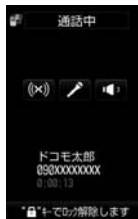
テレビ電話をかける場合

[メニュー]▶「テレビ電話発信」

受話口から呼出音が聞こえ、相手が電話に出るまで発信中画面が表示されます。

- 通話中にを押すと、タッチパネルのロックを一時的に解除します。を押すたびにロックを設定／解除できます。

■ **音声電話中の場合**

- ／：ハンズフリー通話のON／OFFを切り替えます。
- ／：ミュートのON／OFFを切り替えます。
- ：音量調節画面を表示します。
- 通話中に［ボタン］またはを押して、送信する番号を入力すると、プッシュ信号が送信できます。

音声電話中画面

■テレビ電話中の場合

- ［Spk on・Spk off］：ハンズフリー通話のON／OFFを切り替えます。
- ［カメラ・代替画像］：相手に送信する画像を代替画像／カメラ画像で切り替えます。
- ：相手に画像を送信するカメラをインカメラ／アウトカメラで切り替えます。

テレビ電話中画面

3 通話が終了したら

お知らせ

- 番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知して電話をかけ直してください。
- 本FOMA端末では、通話中にテレビ電話／音声電話の切り替えはできません。
- 通話中に電池残量が少なくなると、バッテリー警告音が受話口から聞こえます。そのまま通話を継続できますが、しばらくすると自動的に電源が切れて通話が切断されます。
- 本FOMA端末は、USB接続によるハンズフリー機器（車載ハンズフリーキット 01など）に対応しておりません。

<テレビ電話>

- テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合や、相手がテレビ電話でも圏外や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合で、「音声自動再発信」を「ON」にしているときは、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN同期64Kの接続先、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2008年4月現在）、間違い電話をした場合などは、このような動作にならない場合があります。通信料金が発生する場合もございますので、ご注意ください。
- FOMA端末から110番、119番、118番へテレビ電話で緊急通報した場合は、自動的に音声電話で発信します。
- テレビ電話中に送信されてきた i モードメールやメッセージ R/Fは、 i モードセンターに保管されます。SMSはテレビ電話中でも受信できます。
- 相手に代替画像を送信している場合でも、デジタル通話料がかかります。

入力した電話番号を修正するには

入力した数字を削除する場合は、［C］またはを押します。
［C］またはを1秒以上押すと入力した文字をすべて削除します。

発信中画面の表示について

電話帳に登録されている相手に電話をかけると、登録した名前が表示されます。

テレビ電話がかからなかったときは

テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージが表示されます（通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります）。

メッセージ	説　明
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号です。
お話中です	相手が話し中です（相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります）。
パケット通信中です	相手がパケット通信中です。
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいるか、電源が切れています。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号が非通知になっています（ビジュアルネットなどへの発信時）。
転送致しますのでお待ちください	転送中です。

次のページへ続く

メッセージ	説　明
音声電話でおかけ直しください	転送でんわサービスが設定されていて転送先がテレビ電話非対応端末です。
上限額を超過しているため接続できません	ご利用金額がリミット機能付プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限額を超過しています。
ｉモードから接続してください	ｉモード公式サイトのIP（情報サービス提供者）のサイトからテレビ電話を発信していません（Vライブへの発信時）。
接続できませんでした	「発信者番号通知」の「通知設定」を「通知する」に設定のうえ、おかけ直しください。 • 上記以外の場合にも表示されることがあります。

電話番号入力画面のサブメニュー

1 電話番号入力画面(P56)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[電話帳登録]
電話帳に登録します。→P84

[テレビ電話発信]
テレビ電話をかけます。

[メール作成]
入力した電話番号を宛先にしたｉモードメールを作成します。→P167

[電話帳検索]
入力した電話番号で電話帳を検索します。→P87

[番号通知設定]
１回の通話のたびに発信者番号を通知するかどうかを設定して電話します。→P63

[国際ダイヤルアシスト]
通話先の国番号をタッチすると、「009130010」（WORLD CALL）と国番号が電話番号の先頭に挿入されます。→P64

[プレフィックス選択]
入力した電話番号の先頭にプレフィックス番号を追加します。追加は１回のみ可能です。→P65

[マルチナンバー]
マルチナンバーを契約されている場合は、発信番号をタッチして電話をかけます。→P330

[キャンセル]
サブメニューを閉じます。

音声電話中画面のサブメニュー

1 音声電話中画面(P56)で[]▶[メニュー]▶次の操作を行う

[新規発信] ※1
通話中の電話を保留にして別の相手に電話をかけます。

[通話終了]
電話を切ります。

[保留]
通話を保留します。解除するには、［解除］または[]を押します。
• []（1秒以上）でも保留できます。

[通話履歴]
発着信履歴一覧画面（P63）を表示します。

[ミュート設定・ミュート解除]
相手に送信する音声の消音／消音解除を設定します。

[自局番号転送]
自分の電話番号（自局番号）が本文に入力されたｉモードメールを作成します。→P167

[電話帳検索] ※2
電話帳を検索します。→P87

※1：キャッチホンを契約されていない場合は使用できません。
※2：リダイヤルや履歴から電話をかけている場合や電話帳の起動中は使用できません。使用する場合は、タスク一覧画面から該当する機能を終了させてください。→P282

テレビ電話中画面のサブメニュー

1 テレビ電話中画面(P56)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[終話]
電話を切ります。

[保留]
通話を保留します。解除するには、[解除] またはを押します。[代替画像] をタッチして保留を解除すると、相手には代替画像が送信されます。

[カメラ設定]
テレビ電話のカメラを設定します。設定後は［閉じる］をタッチします。

(ズーム)　：カメラ画像をズーム（×1／×2）します。
(明るさ)　：カメラ画像の明るさ（明るい／標準／暗い）を変更します。
(ナイトモード)：暗い場所などで利用するときに設定します。

[テレビ電話設定]
テレビ電話の表示方法と照明について設定します。設定後は [完了] をタッチします。

テレビ電話画面設定
両方（相手画像）：親画面に相手画像、子画面に自画像を表示します。
両方（自画像）　：親画面に自画像、子画面に相手画像を表示します。
相手のみ　　　　：相手画像のみを表示します。
自分のみ　　　　：自画像のみを表示します。

照明設定
常時点灯　　　　：通話中は常に点灯します。
端末設定に従う　：「照明設定」の設定に従います。→P104

[画面サイズ設定]
親画面の表示サイズを設定します。

[送信画質設定]
相手に送信する画像の画質を設定します。
画質優先：画質を重視して送信します。動きが少ない場合に有効です。
標準　　：画質、動きともに標準で送信します。
動き優先：動きを重視して送信します。動きが多い場合に有効です。

[カメラ切替]
相手に画像を送信するカメラをインカメラとアウトカメラで切り替えます。

[電話帳検索] ※
電話帳を検索します。→P87

[自局番号]
自分の電話番号（自局番号）を表示します。

[DTMF送信]
プッシュ信号を送信します。

※：リダイヤルや履歴から電話をかけている場合や電話帳の起動中は使用できません。使用する場合は、タスク一覧画面から該当する機能を終了させてください。→P282

リダイヤル／着信履歴を利用する

リダイヤルや着信履歴を利用して電話をかけられます。また、発着信履歴（発信／着信）からも電話をかけられます。

リダイヤル
前にかけた相手にかけ直す

リダイヤルには、音声電話やテレビ電話をかけた履歴が30件まで記録されます。履歴には、電話番号と発信日時が記録されます。

- 30件を超えた場合は、古い情報から順に削除されます。

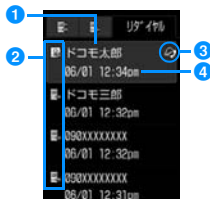
1 待受画面▶[発信キー]▶[アイコン]をタッチ

- 電話帳に登録されている相手の履歴には通話種別と名前が表示されます。電話帳に登録されていない相手の場合は通話種別と電話番号が表示されます。

❶ **電話帳に登録されている相手の名前**
登録されていない場合は相手の電話番号が表示されます。

❷ **発信方法**
[アイコン] 音声電話で発信
[アイコン] テレビ電話で発信

❸ **国際電話発信**
[アイコン] 海外へ国際電話で発信
Ⓡ 海外で国際ローミング中に発信
[アイコン] 海外で国際ローミング中に国際電話で発信

❹ **発信日時**

リダイヤル一覧画面

2 電話をかけるリダイヤルにカーソルを移動▶[表示]

❶ **発信方法**

❷ **電話帳に登録されている名前**
電話帳に登録されていない場合は「未登録」が表示されます。

❸ **相手の電話番号**

❹ **発信時の番号通知設定**
番号通知設定（P58）を設定して発信した場合に表示されます。

❺ **発信したマルチナンバー**※
発信したマルチナンバーが「電話番号設定」（P330）の登録名で表示されます。
※：マルチナンバーを契約されている場合に表示されます。

❻ **発信日時**

❼ **通話時間**

❽ **国際電話通信**
[アイコン] 海外へ国際電話で発信
Ⓡ 海外で国際ローミング中に発信
[アイコン] 海外で国際ローミング中に国際電話で発信

リダイヤル詳細画面

3 音声電話をかける場合

[発信キー]または[発信]

テレビ電話をかける場合

[メニュー]▶「テレビ電話発信」

お知らせ

- リダイヤル一覧画面でリダイヤルをタッチして を押すと音声電話、[メニュー] ▶「テレビ電話発信」をタッチするとテレビ電話をかけられます。
- 電話帳に同じ電話番号が重複して登録されているときは、フリガナ検索で先に表示される名前が表示されます。
- 「184」「186」を付けて電話をかけた場合は、別のリダイヤルとして記録されます。
- リダイヤル一覧画面／詳細画面で［メニュー］▶「メール作成」をタッチすると、選択中のリダイヤルの電話番号が宛先に入力されたｉモードメールを作成します。

リダイヤル一覧画面／リダイヤル詳細画面のサブメニュー

1 **リダイヤル一覧画面(P60)／リダイヤル詳細画面(P60)▶[メニュー]▶次の操作を行う**

[音声通話]
音声電話をかけます。

[テレビ電話発信]
テレビ電話をかけます。

[メール作成]
リダイヤルの電話番号を宛先にしたｉモードメールを作成します。→P167

[電話帳登録]
リダイヤルの電話番号を電話帳に登録します。→P84

[カスタマイズ発信]
リダイヤルの電話番号を変更して電話をかけます。

[メール履歴] ※
メールの送受信履歴に切り替えます。

[1件削除]
選択中／表示中のリダイヤルを削除します。

[全件削除] ※
すべてのリダイヤルを削除します。

※：詳細画面では表示されません。

着信履歴

着信履歴を利用する

着信履歴には、かかってきた音声電話やテレビ電話の履歴が30件まで記録されます。履歴には、電話番号と着信日時が記録されます。

- 30件を超えた場合は、古い情報から順に削除されます。

1 **待受画面▶ ▶ をタッチ**

- 相手が発信者番号を通知してきた場合は、電話帳に登録されている相手の履歴に通話種別と登録されている名前が表示されます。電話帳に登録されていない相手の場合は通話種別と電話番号が表示されます。相手から発信者番号が通知されなかった場合は、発信者番号の非通知理由が表示されます。

着信履歴一覧画面

❶ **電話帳に登録されている相手の名前**
登録されていない場合は相手の電話番号が表示されます。

❷ **着信方法**
／　音声電話で着信／不在着信（着信拒否含む）
／　テレビ電話で着信／不在着信（着信拒否含む）

❸ **国際電話着信**
海外から国際電話で着信
Ⓡ　海外で国際ローミング中に着信
海外で国際ローミング中に国際電話から着信

❹ **着信日時**

2 履歴にカーソルを移動▶[表示]

❶ **着信方法**
❷ **電話帳に登録されている名前**
電話帳に登録されていない場合は「未登録」、電話番号の情報が受信されなかった場合は「非通知設定」が表示されます。
❸ **相手の電話番号**
❹ **着信したマルチナンバー**※
着信したマルチナンバーが「電話番号設定」(P330)の登録名で表示されます。
※：マルチナンバーを契約されている場合に表示されます。
❺ **着信日時**
❻ **通話時間／呼出時間（不在着信の場合）**
❼ **国際電話着信**
海外から国際電話で着信
Ⓡ 海外で国際ローミング中に着信
海外で国際ローミング中に国際電話から着信

表示(1/6)
音声着信
ドコモ太郎
090XXXXXXXX
付加番号1
日付:2008/06/01
時間:12:34pm
通話時間:00:00:01

着信履歴詳細画面

3 音声電話をかける場合

または[発信]

テレビ電話をかける場合

[メニュー]▶「テレビ電話発信」

お知らせ

- 着信履歴一覧画面で履歴をタッチしてを押すと音声電話、[メニュー]▶「テレビ電話発信」をタッチするとテレビ電話をかけられます。
- 発信者番号の通知がない着信の履歴には、発信者番号非通知理由が表示されます。→P118
- 電話帳に同じ電話番号が重複して登録されているときは、フリガナ検索で先に表示される名前が表示されます。
- ダイヤルインを利用した着信の履歴は、実際の番号とは異なる番号が表示される場合があります。
- 着信履歴一覧画面／詳細画面で[メニュー]▶「メール作成」をタッチすると、選択中の着信履歴の電話番号が宛先に入力されたｉモードメールを作成します。

着信履歴一覧画面／着信履歴詳細画面のサブメニュー

1 着信履歴一覧画面(P61)／着信履歴詳細画面(P62)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[音声通話]
音声電話をかけます。

[テレビ電話発信]
テレビ電話をかけます。

[メール作成]
着信履歴の電話番号を宛先にしたｉモードメールを作成します。→P167

[電話帳登録]
着信履歴の電話番号を電話帳に登録します。→P84

[カスタマイズ発信]
着信履歴の電話番号を変更して電話をかけます。

［メール履歴］※
メール履歴に切り替えます。

［1件削除］
選択中／表示中の着信履歴を削除します。

［全件削除］※
すべての着信履歴を削除します。

※：詳細画面では表示されません。

発着信履歴

発着信履歴を利用する

「発着信履歴」には、発信／着信の履歴が合わせて60件まで記録されます。

- 60件を超えた場合は、古い情報から順に削除されます。

1 待受画面▶［通話キー］

以降の操作、および画面の説明については、リダイヤル（P60）、着信履歴（P61）を参照してください。

お知らせ

- 発着信履歴一覧画面／詳細画面からのサブメニュー操作は、リダイヤルと着信履歴の一覧画面／詳細画面と同じです。→P61、P62

184／186

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

相手の電話番号の先頭に「184」／「186」を付ける方法と、電話番号入力画面でサブメニューを利用する方法があります。

184／186を付けて通知／非通知にする

1 ［電話キー］▶「184」（非通知）／「186」（通知）を入力▶電話番号を入力

2 音声電話をかける場合

［通話キー］または［発信］

テレビ電話をかける場合

［メニュー］▶「テレビ電話発信」

サブメニューを利用して通知／非通知にする

例：電話番号入力画面のサブメニューを利用した場合

1 ［電話キー］▶電話番号を入力▶［メニュー］▶「番号通知設定」▶「通知しない」／「通知する」／「キャンセル」

2 音声電話をかける場合

［通話キー］または［発信］

テレビ電話をかける場合

［メニュー］▶「テレビ電話発信」

次のページへ続く

お知らせ

- 通知／非通知の設定を、あらかじめネットワークに設定できます。→P327

ポーズ機能

プッシュ信号を手早く送り出す

電話番号の後ろに「P」と番号を入力して音声電話をかけると、「P」の後ろの番号をプッシュ信号（DTMF）として送信できます。チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスにご利用できます。

- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

1 ▶電話番号を入力▶ [＊] を3回タッチし「P」を入力▶送信する番号を入力▶ [発信キー] または［発信］

電話がつながると「P」以降の番号が画面に表示され、[発信キー] または［送信］を押すと表示された番号が送信されます。

WORLD CALL

国際電話を利用する

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し込みをされた方を除きます）。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- WORLD CALLの詳細については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、下記ダイヤル方法の後に［メニュー］▶「テレビ電話発信」をタッチして発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの国際サービスホームページをご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できなかったりする場合があります。

電話番号を入力して国際電話をかける

次の順番で電話番号を入力してください。

1 ▶「010－国番号－地域番号（市外局番）－相手の番号」を入力

- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります）。
- 009130－010－国番号－地域番号（市外局番）－相手の番号でもかけられます。

2 [発信キー] または［発信］

■ **国際テレビ電話をかける場合**

［メニュー］▶「テレビ電話発信」をタッチします。

「+」を利用して国際電話をかける

電話番号の先頭に「+」を入力して電話をかけると、「+」の代わりに国際アクセス番号が自動的に付加され、国際電話をかけられます。

- お買い上げ時は、WORLD CALL（009130010）が自動的に付加されるように設定されています。→P66

1 ▶[0]を1秒以上タッチし続けて「+」を入力▶「国番号－地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力

- [*]を2回タッチしても「+」を入力できます。
- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります）。

2 [発信キー]または［発信］▶発信方法をタッチ▶［選択］

発信：「+」を国際アクセス番号に変換して発信します。

元の番号で発信：「+」を国際アクセス番号に変換せずにそのまま発信します。

中止：発信を中止します。

■ 国際テレビ電話をかける場合

［メニュー］▶「テレビ電話発信」▶発信方法をタッチ▶「選択」をタッチします。

発信確認画面

お知らせ

- FOMAネットワークのサービスエリア内でのみ利用できます。
- 電話番号の先頭に「+81」が入力されている場合、「+」は国際アクセス番号に変換されません。

国際アクセス番号を付けて国際電話をかける

サブメニューから、国際アクセス番号を選択して入力した電話番号に付加できます。

1 ▶「国番号－地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力

- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります）。

2 ［メニュー］▶「プレフィックス選択」▶国際アクセス番号をタッチ

入力した電話番号の先頭に、選択した国際アクセス番号が挿入されます。

3 [発信キー]または［発信］

■ 国際テレビ電話をかける場合

［メニュー］▶「テレビ電話発信」をタッチします。

お知らせ

- お買い上げ時には、「プレフィックス1」にWORLD CALL（009130010）が登録されています。→P67

簡単な操作で国際電話をかけられるようにする

国際電話をかけるときの設定を変更できます。

国際アクセス番号の自動付加を設定する<自動国際プレフィックス変換設定>

電話番号の先頭に「+」を入力して電話をかけたとき、「+」の代わりに国際アクセス番号を自動的に付加するかどうかを設定できます。

1 ▶ (Settings)▶「国際ダイヤルアシスト設定」▶「自動国際プレフィックス変換設定」▶「自動」／「なし」▶[選択]

自動：自動的に国際プレフィックス設定で設定した番号に変換します。
なし：変換しません。

国際アクセス番号を設定する<国際プレフィックス設定>

「自動国際プレフィックス変換設定」を「自動」に設定したときに、自動的に付加する国際アクセス番号を設定します。

1 ▶ (Settings)▶「国際ダイヤルアシスト設定」▶「国際プレフィックス設定」

2 次の操作を行う

[名称]
自動国際プレフィックス変換設定で使用する国際ダイヤルアシストの名称を入力します。

[番号]
自動国際プレフィックス変換設定で使用する国際ダイヤルアシストの番号を入力します。

3 [保存]

国番号の自動付加を設定する<国番号設定>

国際ローミング中に「0」から始まる電話番号を入力して電話をかけたとき、「0」の代わりに「+国番号」を自動的に付加するかどうかを設定します。また、自動で付加する国番号を指定できます。

1 ▶ (Settings)▶「国際ダイヤルアシスト設定」▶「国番号設定」▶次の操作を行う

[自動国番号変換設定]
国番号を自動的に付加するかどうかを設定します。

[国設定]
付加する国番号を設定します。

2 [保存]

国番号を登録する<国番号一覧>

海外から国際電話をかけるときに必要な国番号を最大50件登録できます。

1 ▶ (Settings)▶「国際ダイヤルアシスト設定」▶「国番号一覧」

国番号一覧画面

2 [追加]▶次の操作を行う

[国名]
国番号の名前を登録します。全角で7文字、半角で14文字まで入力できます。

[国番号]
5桁まで登録できます。

3 [保存]

国番号一覧画面のサブメニュー

1 国番号一覧画面(P66)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[新規作成]
「国番号を登録する<国番号一覧>」の操作2(P67)へ進みます。

[編集]
選択中の国番号を修正します。「国番号を登録する<国番号一覧>」の操作2(P67)へ進みます。

[削除]
選択中の国番号を削除します。

[全件削除]
国番号をすべて削除します。

お知らせ

<編集>
- お買い上げ時に登録されている国番号も修正できます。

<削除>
- 「国番号設定」(P66)で自動付加される設定の国番号は、削除できません。

プレフィックス設定

電話番号の先頭に付加する番号を設定する

国際アクセス番号や「184」「186」など、電話番号の先頭に付与する番号(プレフィックス)をあらかじめ3件まで登録しておくことができます。

1 ▶ (Settings)▶「発着信/通話機能」▶「プレフィックス設定」

2 設定するプレフィックス入力欄をタッチ▶番号を入力▶[保存]

- プレフィックスする番号は、10桁まで入力できます。

お知らせ
- 番号(プレフィックス)には、ポーズなどを含めないでください。含めた場合、プレフィックスを付加して電話をかけることはできません。

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

電話番号に「*」を入力したとき、「*」以降をサブアドレスとして識別させるかどうかを設定できます。サブアドレスは、ISDN回線に接続されている特定の機器を呼び出すときや、「Vライブ」でコンテンツを選択するときなどに利用します。

次のページへ続く

1 ▶ (Settings)▶「発着信／通話機能」▶「サブアドレス設定」▶「ON」／「OFF」▶[選択]

ON ：「＊」以降をサブアドレスとして識別させます。

OFF：「＊」以降をサブアドレスとして識別させません。

お知らせ

- 次の場合は、「＊」はサブアドレスの区切りとして識別されません。
  - 電話番号の先頭に「＊」が入力されている
  - 電話番号の先頭に「184」「186」など特定の番号が入力され、その直後に「＊」が入力されている

再接続アラーム

再接続されるまでのアラームを設定する

電波の状態が悪くなり音声電話やテレビ電話が途切れたときに、再接続するまで鳴るアラームを設定します。

1 ▶ (Settings)▶「発着信／通話機能」▶「通話機能」▶「再接続アラーム」▶設定したい項目をタッチ▶[選択]

アラーム高音：高音のアラームに設定します。

アラーム低音：低音のアラームに設定します。

アラームなし：アラームが鳴らないようにします。

お知らせ

- ご利用の状態や電波の状態により、再接続が可能な時間は異なります。
- 急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。
- 再接続されるまでの間も通話料がかかります。
- 電波が途切れている間、相手は無音状態となります。

ノイズキャンセラ

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

ノイズキャンセラとは、周囲の騒音を抑える機能です。周囲に騒音がある場所でも、相手に音声電話やテレビ電話の通話を聞きやすくできます。

1 ▶ (Settings)▶「発着信／通話機能」▶「通話機能」▶「ノイズキャンセラ」▶「ON」／「OFF」▶[選択]

ON ：ノイズキャンセラを有効にします。

OFF：ノイズキャンセラを無効にします。

電話／テレビ電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信音が鳴ります。

- ：応答を保留します。
→P71
- 着信中または通話中にを押すと、タッチパネルのロックを一時的に解除します。を押すたびにロックを設定／解除できます。

音声電話
着信中画面

テレビ電話
着信中画面

■ 音声電話着信中の場合

- ［拒否］：着信を拒否して電話を切ります。

■ テレビ電話着信中の場合

- ［代替画像］：代替画像で電話に出ます。

2 [key]

電話に出ます。

■ 音声電話中の場合

- [icon]／[icon]：ハンズフリー通話のON／OFFを切り替えます。
- [icon]／[icon]：ミュートのON／OFFを切り替えます。
- [icon]：音量調節画面を表示します。
- 通話中に[icon]または［ボタン］をタッチして、送信する番号を入力すると、プッシュ信号が送信できます。

■ テレビ電話中の場合

- ［Spk on・Spk off］：ハンズフリー通話のON／OFFを切り替えます。
- ［カメラ・代替画像］：相手に送信する画像を代替画像／カメラ画像で切り替えます。
- [key]：相手に画像を送信するカメラをインカメラ／アウトカメラで切り替えます。

3 通話が終了したら[key]

相手が発信者番号を通知した場合

電話帳に相手が登録されている場合は、相手の電話番号と登録名が表示されます。

相手が発信者番号を通知しない場合

電話番号の代わりに発信者番号非通知理由が表示されます。→P118

お知らせ

- 着信音や振動の設定や電話帳の登録状態により、着信音や振動などの着信動作が異なります。→P80、P96、P98
- 「マナーモード」が設定されている場合は着信音が鳴りません。ただし、「オリジナルマナーモード」に設定されている場合は、設定内容に従って着信を通知します。→P100
- 留守番電話サービス、キャッチホン、または転送でんわサービスをご契約いただいていて、「通話中の着信動作選択」を「通常着信」、「通話中着信設定」を「通話中着信設定開始」に設定している場合は、通話中に電話がかかってくると、「ププ‥‥ププ‥‥」という通話中着信音が聞こえます。通話中着信音が聞こえた場合は、各ネットワークサービスを利用できます。→P328
  ただし、応答保留中、音声電話の通話保留中や伝言メモ録音中（P75）は、電話がかかってきても着信できないため、通話中着信は鳴りません。
- 公共モード（ドライブモード）が設定されている場合は、着信は通知されません（着信音も鳴りません）。また、ディスプレイの表示が消えているときに着信しても、ディスプレイのバックライトは点灯しません。
- マルチナンバーを契約されている場合は、着信した電話番号に応じて「電話番号設定」（P330）の登録名が表示されます。
- 「呼出動作開始時間設定」を設定して、電話帳に未登録の相手や発信者番号が非通知の相手からの着信動作をすぐに開始しないようにできます。→P120
- 次の機能を利用して、電話帳に未登録の相手／特定の相手からの着信を拒否するようにできます。
  - メモリ登録外着信拒否→P121
  - リスト指定着信拒否→P116
- 本FOMA端末では、通話中にテレビ電話／音声電話の切り替えはできません。
- 通話中に電池残量が少なくなると、バッテリー警告音が受話口から聞こえます。そのまま通話を継続できますが、しばらくすると自動的に電源が切れて通話が切断されます。

次のページへ続く

- 本FOMA端末は、USB接続によるハンズフリー機器（車載ハンズフリーキット 01など）に対応しておりません。

<テレビ電話>
- テレビ電話で留守番電話サービスを開始に設定している場合は、伝言メッセージが録音されるとSMSで録音されたことをお知らせします。
- テレビ電話で転送でんわサービスを開始に設定している場合でも、転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機器に設定されていない場合は、かかってきたテレビ電話は転送されません。転送先の機器をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。
- テレビ電話中に送信されてきた ｉ モードメールやメッセージ R/F は、ｉモードセンターに保管されます。SMSはテレビ電話中でも受信できます。
- 32Kによるテレビ電話の着信はできません。

着信中画面のサブメニュー

1 着信中画面（P68）で▶［メニュー］▶次の操作を行う

［留守番サービス］※1
着信中の電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

［着信拒否］
着信を拒否して電話を切ります。

［転送でんわ］※2
着信中の電話を指定した電話番号へ転送します。

※1：留守番電話サービスをご契約いただいていない場合は使用できません。
※2：転送でんわサービスをご契約いただいていない場合や、転送先電話番号を指定していない場合は使用できません。

受話音量

通話中に相手の声の音量を調節する

受話音量は、1～7の7段階で調節できます。

1 通話中画面（P56）▶／▶［OK］

- 約2秒間何も操作をしないと、音量調節画面が自動的に閉じ、音量が設定されます。
- ：音量を上げます。
- ：音量を下げます。

お知らせ
- 調節した受話音量は、通話が終了しても保持されます。
- 「音量設定」（P97）の「受話音量」も合わせて変更されます。

<音声電話>
- 通話中に をタッチして音量を調節する画面を表示し、調節することもできます。

<テレビ電話>
- 通話中に をタッチして音量を調節する画面を表示し、調節することもできます。

着信音量

着信音の音量を調節する

着信音量は、0～7の8段階と「Step up」（次第に音量を大きくする）から選択できます。

1 待受画面▶／▶［選択］

音量調節画面が表示され、／を押すごとに音量が変更されます。

お知らせ

- マナーモード中は操作できません。
- 「音量設定」(P97)の「着信音」も合わせて変更されます。
- [メール]をタッチしてメール/メッセージ着信音の音量を調節する画面を表示し、調節することもできます。調節した音量は、「音量設定」(P97)の「メール/メッセージ着信音」も合わせて変更されます。
- [タッチ]をタッチしてタッチパネルにタッチした時の音量を調節する画面を表示し、調節することもできます。調節した音量は、「タッチパネル設定」の「音量設定」(P99)も合わせて変更されます。

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

1 着信中画面(P68)▶[終話キー]

相手に「応答保留音」(P71)で設定した保留音が流れます。テレビ電話の場合は「応答保留画像」(P76)で設定した画像が表示されます。

音声電話応答保留中画面

テレビ電話応答保留中画面

2 電話に出られるようになったら[通話キー]

- テレビ電話を保留している場合は、[応答]または応答保留画像をタッチしても保留を解除できます。[代替画像]をタッチして保留を解除すると、相手には代替画像が送信されます。

■ 音声電話/テレビ電話を切る場合

[終話キー]を押します。

お知らせ

- 応答保留中でも、相手には通話料金がかかります。
- 留守番電話サービス/転送でんわサービスをご契約の場合は、着信中の電話を留守番電話サービスセンターに接続したり、指定した電話番号に転送したりできます。→P322、P325

応答保留音

応答保留音を設定する

着信中に応答保留したときに相手に流す応答保留音(ガイダンス)を、3つの中から選択して設定できます。

1 [メニュー]▶[設定](Settings)▶「発着信/通話機能」▶「音声着信」▶「応答保留音」▶「保留音1」/「保留音2」/「保留音3」▶[選択]

- [再生]:保留音を確認できます。

通話中保留音

通話保留音を設定する

通話中に保留したときに相手に流す通話保留音を、3つの中から選択して設定できます。

1 [メニュー]▶[設定](Settings)▶「発着信/通話機能」▶「通話機能」▶「通話中保留音」▶「保留音1」/「保留音2」/「保留音3」▶[選択]

- [再生]:保留音を確認できます。

公共モード（ドライブモード）

公共モード（ドライブモード）を利用する

公共モード（ドライブモード）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（ドライブモード）を設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 公共モード（ドライブモード）の設定／解除は、待受中のみできます（「圏外」が表示されているときでも可能です）。
- 本機能は、データ通信中はご利用できません。

1 ⃞（1秒以上）▶[公共(ドライブ)モード設定]

着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。後ほどおかけ直しください」というガイダンスが流れます。

公共モード（ドライブモード）を設定すると

お客様のFOMA端末に電話がかかってきても、着信音は鳴りません。待受画面には⃞が表示され、着信履歴に記録されます。
電話をかけてきた相手には運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。
公共モード（ドライブモード）と各ネットワークサービスを同時に設定しているときの着信時の動作は別表1（P73）のとおりです。

公共モード（ドライブモード）を解除するには

待受画面を表示中に⃞を押して（1秒以上）、[公共（ドライブ）モード解除］をタッチします。

お知らせ

- 公共モード（ドライブモード）が設定されると、画面上部に⃞が表示されます。
- 公共モード（ドライブモード）設定中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- 番号通知お願いサービスを開始に設定中に電話番号の通知されない着信があった場合、番号通知お願いガイダンスが流れます（公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れません）。
- マナーモードを同時に設定しているときは、公共モード（ドライブモード）の設定が優先されます。
- 公共モード（ドライブモード）設定中は、お客様が操作したとき以外の音（着信音やアラーム音など）は鳴りません。
- 公共モード（ドライブモード）設定中にメールを受信しても、着信音の鳴動、FOMA端末の振動などの着信動作は行われません。

公共モード（電源OFF）

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 ⃞▶「＊25251」を入力▶⃞または[発信]

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）を設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。後ほどおかけ直しください」というガイダンスが流れます。

公共モード（電源OFF）を設定すると

「✱25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。
公共モード（電源OFF）と各ネットワークサービスを同時に設定しているときの着信時の動作は別表1（P73）のとおりです。

公共モード（電源OFF）を解除するには

「✱25250」を入力して[発信キー]または［発信］を押します。

公共モード（電源OFF）の設定を確認するには

「✱25259」を入力して[発信キー]または［発信］を押します。

［別表1］各ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード／電源OFF）設定中の着信動作

同時に設定中の動作は次のようになります。

音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス	
相手に公共モードのガイダンスを流した後、留守番電話サービスセンターに接続します。※	相手に公共モードの映像ガイダンスを表示せずに留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわサービス	
相手に公共モードのガイダンスを流した後、転送先に転送します。※ 公共モードのガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。	相手に公共モードの映像ガイダンスを表示せずに転送先に転送します。 転送先がテレビ電話に対応していない場合は切断します。
迷惑電話ストップサービス	
迷惑電話拒否登録している電話番号の場合、相手に着信拒否ガイダンスを流した後、切断します。 上記以外の場合、相手に公共モードのガイダンスを流した後、切断します。	迷惑電話拒否登録している電話番号の場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスを表示した後、切断します。 上記以外の場合、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、切断します。
番号通知お願いサービス	
相手が電話番号を通知しない場合、相手に番号通知お願いガイダンスを流した後、切断します。 相手が電話番号を通知した場合、相手に公共モードのガイダンスを流した後、切断します。	相手が電話番号を通知しない場合、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示した後、切断します。 相手が電話番号を通知した場合、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、切断します。

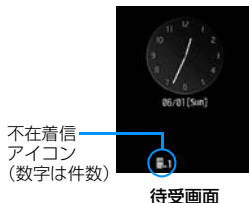
※：各ネットワークサービスの呼出時間を0秒に設定している場合は、公共モードのガイダンスは流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。また、着信履歴には記録されません。

不在着信

不在着信を確認する

かかってきた電話に出られなかったとき、待受画面に不在着信があったことをお知らせするアイコンが表示されます。アイコンから着信履歴一覧画面を表示させ、電話をかけてきた相手を確認できます。

1 かかってきた電話が切れる

待受画面に が表示されます。アイコンの数字は件数を表します。

待受画面

2 にカーソルを移動してタッチ

着信履歴一覧画面（P61）が表示されます。

お知らせ

- 着信履歴一覧画面を表示させると、は消えます。また、をタッチしてを約1秒以上押しても、消すことができます。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを設定しておくと、音声電話に出られないときに応答ガイダンスが再生され、相手の用件が録音されます。

- 伝言メモは5件まで、1件あたり約15秒まで録音できます。
- テレビ電話がかかってきた場合は、伝言メモが起動しません。通常の着信動作を行います。

伝言メモを設定する

1 ▶(LifeKit)▶「伝言メモ」▶「伝言メモ設定」

2 次の操作を行う

[設定]
伝言メモを設定する場合に「ON」にします。

[応答時間] ※
電話を着信してから、伝言メモを起動するまでの時間を0～120秒の間で入力します。

[応答メッセージ言語選択] ※
応答メッセージを選択します。
- [再生]：応答メッセージを確認できます。

※：「設定」を「ON」にすると設定できます。

3 [保存]

お知らせ

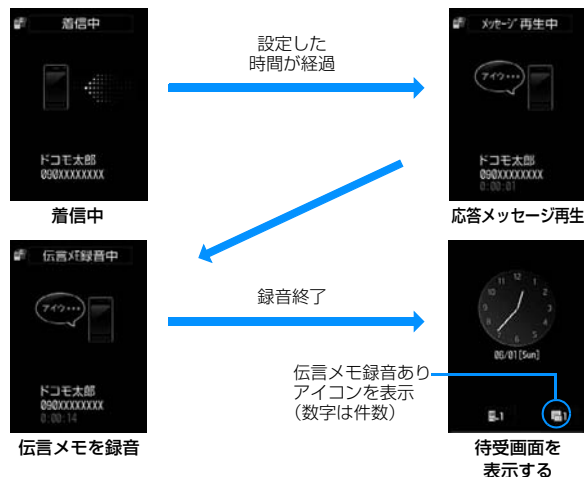
- 伝言メモを設定すると、画面上部に が表示されます。

<応答時間>

- 留守番電話サービス／転送でんわサービスの呼出時間よりも長く設定した場合は、各ネットワークサービスが優先して動作します。
- 「呼出動作開始時間設定」（P120）で設定した時間よりも短く設定した場合は、呼出動作を行わずに伝言メモが起動します。

伝言メモを設定しているときに電話がかかってきたら

音声電話の場合は相手の音声が録音されます。

着信中　応答メッセージ再生　伝言メモを録音　待受画面を表示する

■ 応答メッセージ再生／伝言メモ録音中に相手と話す場合

を押します。

■ 伝言メモを再生する場合

待受画面で にカーソルを移動してタッチすると、伝言メモ一覧画面（P75）が表示されます。

- 記録されている伝言メモを削除すると、 は消えます。

お知らせ

- 「圏外」が表示されているときや電源が切れているとき、公共モード（ドライブモード）を設定しているときは、伝言メモを録音できません。
- 応答メッセージの再生中や伝言メモの録音中に電話がかかってきた場合、着信は拒否されます。

伝言メモを再生／削除する

1 ▶ (LifeKit)▶「伝言メモ」▶「伝言メモ一覧」

■ **伝言メモを1件削除する場合**

削除する伝言メモにカーソルを移動して［メニュー］▶「削除」▶［はい］

■ **伝言メモをすべて削除する場合**

伝言メモ一覧画面で［メニュー］▶「全件削除」▶［はい］をタッチします。

伝言メモ一覧画面

2 伝言メモにカーソルを移動▶[再生]

伝言メモが再生されます。

- ■／▶：停止／再開します。
- ⏭：前の伝言メモを再生します。
- ⏮：次の伝言メモを再生します。
- ⮌：伝言メモ一覧画面に戻ります。

クイック伝言メモ

着信中に電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモが設定されていないときにかかってきた電話を、簡単な操作で伝言メモに録音できます。

1 着信中画面(P68)▶▾(1秒以上)

応答メッセージが再生された後、伝言メモに録音されます。

お知らせ

- 既に伝言メモが5件録音されている場合は、伝言メモが起動できないため録音できません。

相手側に送信する映像について設定する

代替画像

代替画像を設定する

1 ▶ (Settings)▶「発着信／通話機能」▶「テレビ電話」▶「代替画像」▶「デフォルト」／「画像選択」▶[保存]

- 「画像選択」を選択した場合は「ファイル選択」欄をタッチして、「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P226

応答保留画像

応答保留画像を設定する

1 ▶ (Settings)▶「発着信／通話機能」▶「テレビ電話」▶「応答保留画像」▶「デフォルト」／「画像選択」▶[保存]

- 「画像選択」を選択した場合は「ファイル選択」欄をタッチして、「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P226

通話中保留画像

通話中保留画像を設定する

1 ▶ (Settings)▶「発着信／通話機能」▶「テレビ電話」▶「通話中保留画像」▶「デフォルト」／「画像選択」▶［保存］

- 「画像選択」を選択した場合は「ファイル選択」欄をタッチして、「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P226

テレビ電話設定

テレビ電話の設定を変更する

1 ▶ (Settings)▶「発着信／通話機能」▶「テレビ電話」▶「テレビ電話設定」

2 次の操作を行う

［テレビ電話画面設定］
テレビ電話の親画面と子画面にどの画面を表示するかを設定します。

両方（相手画像）：親画面に相手画像を子画面に自画像を表示します。
両方（自画像）　：親画面に自画像を子画面に相手画像を表示します。
相手のみ　　　　：相手画像のみを表示します。
自分のみ　　　　：自画像のみを表示します。

［発信時自画像送信］
相手に自分の映像を送信するかどうかを設定します。「OFF」に設定すると、相手には代替画像が送信されます。

［画面サイズ設定］
親画面の表示サイズを設定します。

［送信画質設定］
相手に送信する画像の画質を設定します。

画質優先：画質を重視して送信します。動きが少ない場合に有効です。
標準　　：画質、動きともに標準で送信します。
動き優先：動きを重視して送信します。動きが多い場合に有効です。

［照明設定］
通話中画面の照明の点灯方法を設定します。

常時点灯　　　：通話中は常に点灯します。
端末設定に従う：「照明設定」の設定に従います。→P104

［音声自動再発信］
相手がテレビ電話を受けられない場合、自動的に音声電話に切り替えて電話をかけ直すかどうかを設定します。

［ハンズフリー設定］
テレビ電話時にハンズフリー通話にするかどうかを設定します。

3 ［保存］

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

電話帳には、FOMA端末に保存するFOMA端末（本体）電話帳と、FOMAカードに保存するFOMAカード電話帳の2種類があります。それぞれの電話帳に登録／設定できる内容は次のとおりです。

項　目		FOMA端末（本体）電話帳	FOMAカード電話帳
登録件数		最大1000件※	最大50件
登録内容	名前（フリガナ）	1件	1件
	電話番号	5件	1件
	メールアドレス	3件	1件
	グループ	31グループ	11グループ
	画像	1件	登録不可
	その他の設定項目	シークレットコード、電話着信音、メール着信音など	登録不可

※： 登録内容の状況によって1000件登録できない場合があります。

お知らせ

- お客様の FOMA カードを他の FOMA 端末に挿入しても、FOMA カード内の電話帳データを利用できます。

FOMA端末（本体）電話帳に登録する

- ドコモショップなどの窓口で機種変更時など新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によってはFOMA端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

1 [電話帳アイコン]を2秒以上タッチし続ける

電話帳登録画面
（FOMA端末（本体））

2 次の操作を行う

[（登録先選択）]

電話帳の登録先を選択します。ここでは、登録先に「本体」が選択されている場合について説明します。登録先に「FOMAカード」を選択した場合は、FOMAカード電話帳の登録画面が表示されます。→P83

[NO.（メモリー番号入力）]

最も小さい空きメモリー番号が自動的に割り当てられますが、000～999の範囲でお好みの番号に変更もできます。

[名前]

全角で16文字、半角で32文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

［フリガナ］
必要な場合に入力／修正します。半角で32文字まで入力できます。カタカナ、英数字、記号が入力できます。

［電話番号］
26桁まで入力できます。

▶電話番号を入力▶登録したいアイコンをタッチ▶［OK］
- 電話番号の入力画面で［メニュー］をタッチして「国際ダイヤルアシスト」「プレフィックス選択」「キャンセル」を選択できます。

［メールアドレス］
半角で50文字まで入力できます。英数字、記号が入力できます。

▶メールアドレスを入力▶登録したいアイコンをタッチ▶［OK］

［シークレットコード］※1
シークレットコードを設定します。

▶端末暗証番号を入力▶電話番号／メールアドレスにカーソルを移動▶［設定］▶シークレットコードを入力
- シークレットコード画面で［解除］をタッチすると、設定を解除します。

［（グループ選択）］
「グループなし」および「グループ1」～「グループ30」までの31種類が選択できます。グループ検索（P88）などに利用されます。

［画像］※2 ※3
発着信時や電話帳データ確認時に表示する画像やｉモーションなどを設定します。

キャラクター：キャラクターを設定します。◀／▶で部位（顔、髪、トップス、ボトムス、アクセサリー、背景）を選択し、▲／▼で選択中の部位のアイテムを選択します。設定後は［完了］をタッチします。

マイピクチャ：「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P226

ｉモーション：「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P236

静止画像撮影：カメラを起動して、撮影した静止画を設定します。→P129

端末設定に従う：「着信画面設定」の設定に従います。→P103

［電話着信音選択］※2 ※3
登録した相手から音声電話／テレビ電話を着信したときの着信音を設定します。

ミュージック：「データBOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→P275
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P270）へ進みます。

メロディ：「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P241

ｉモーション：「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P236

端末設定に従う：「着信音選択」の設定に従います。→P96

［メール着信音選択］
登録した相手からメールを受信したときの着信音を設定します。
- 設定項目は「電話着信音選択」と同じです。

［URL］
半角で256文字まで入力できます。

[郵便番号]
半角で7文字まで入力できます。

[自宅住所]
全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

[会社名]
全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

[役職名]
全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

[会社郵便番号]
半角で7文字まで入力できます。

[会社住所]
全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

[メモ機能]
全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

[誕生日]
誕生日を入力できます。

[テレビ電話代替画像]
テレビ電話の代替画像を設定します。

データBOX　：「データ BOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P226

端末設定に従う：「着信画面設定」の設定に従います。→P103

[(シークレット)]
「シークレットモード」（P116）が「ON」に設定されている場合に表示されます。作成する電話帳をシークレットデータにする場合は「ON」に設定します。

※1：シークレットコードについては『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
※2：「着信音選択」（P96）「着信画面設定」（P103）に映像／音声が含まれる動画／ｉモーションが設定されているときに、どちらかを「端末設定に従う」に設定した場合は、該当する音声電話／テレビ電話がかかってくると、「端末設定に従う」を設定した項目はお買い上げ時の画像や音声が再生されます。
※3：「画像」または「電話着信音選択」のどちらかを映像／音声が含まれる動画／ｉモーションに設定した場合は、もう片方にも自動的に同じ動画／ｉモーションが設定されます。

3 [完了]

お知らせ

<シークレットコード>
- メールアドレスを「電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手にメール送信や返信ができなくなります。「電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードの登録を行ってください。

<シークレット>
- 「シークレットモード」（P116）を「シークレット専用モード」に設定して電話帳を登録した場合もシークレットデータになります。
- シークレットデータの電話帳は、「シークレットモード」が「ON」または「シークレット専用モード」に設定されている場合に表示されます。
- FOMAカード電話帳は、シークレットデータとして登録できません。

- シークレットデータの電話帳に登録されている名前は、「シークレットモード」を「ON」または「シークレット専用モード」に設定中のみ、リダイヤルや履歴、およびメール一覧／詳細などの画面に表示されます。「シークレットモード」が「OFF」に設定されている場合は、電話番号やメールアドレスが表示されます。
- 「シークレットモード」が「OFF」に設定されているときに、シークレットデータの電話帳の相手から電話がかかってきたり、メールを受信したりした場合は、登録されている名前や画像は表示されず、設定されている着信音も鳴りません。

FOMAカード電話帳に登録する

1 電話帳登録画面(P80)▶ (登録先選択)欄をタッチ▶「FOMAカード」

電話帳登録画面(FOMAカード)

2 次の操作を行う

[(登録先選択)]
電話帳の登録先を選択します。登録先に「本体」を選択した場合は、FOMA端末（本体）電話帳の登録画面が表示されます。→P80

[名前]
全角で10文字、半角で21文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

[フリガナ]
必要な場合に入力／修正します。全角で12文字、半角で25文字まで入力できます。全角カタカナ、半角英数字、半角記号が入力できます。

[電話番号]
FOMAカード（緑色／白色）の場合は26桁、FOMAカード（青色）の場合は20桁まで入力できます。
- 電話番号の入力画面で［メニュー］をタッチして「国際ダイヤルアシスト」「プレフィックス選択」「キャンセル」を選択できます。

[メールアドレス]
半角で50文字まで入力できます。英数字、記号が入力できます。

[(グループ選択)]
「グループなし」および「グループ1」～「グループ10」までの11種類が選択できます。グループ検索（P88）などに利用されます。

3 [完了]

着信履歴やリダイヤルなどから電話帳に登録する

履歴やメール、メッセージの一覧画面や詳細画面など、電話番号やメールアドレスの情報が記録されている画面から電話帳登録ができます。また、電話番号入力画面やサイトなど、入力中／表示中の電話番号なども登録できます。

1 登録する内容が表示されている画面を表示

■ **リダイヤル一覧画面（P60）／リダイヤル詳細画面（P60）／着信履歴一覧画面（P61）／着信履歴詳細画面（P62）から登録する場合**

［メニュー］▶「電話帳登録」をタッチします。

- リダイヤル一覧画面／着信履歴一覧画面から登録する場合は、登録する履歴にカーソルを移動してから操作してください。
- 電話番号が電話帳に登録済みの場合、「電話帳登録」は選択できません。

■ **電話番号入力画面から登録する場合**

［メニュー］▶「電話帳登録」をタッチします。

■ **メールの送信元や送信先のメールアドレスを登録する場合**

メール詳細画面で［メニュー］▶「登録」▶「アドレス登録」▶［はい］をタッチします。

- メールアドレスが複数ある場合は登録するメールアドレスをタッチしてから操作します。

■ **メール本文中のアドレス／電話番号を登録する場合**

電話帳に登録したいアドレス／電話番号にカーソルを移動して［メニュー］▶「登録」▶「電話帳登録」▶［はい］をタッチします。

■ **サイト／画面メモに表示されたアドレス／電話番号を登録する場合**

電話帳に登録したいアドレス／電話番号にカーソルを移動して［メニュー］▶「電話帳登録」▶［はい］をタッチします。

2 次の操作を行う

［新規登録］

新しく電話帳を登録します。操作3へ進みます。

- 登録内容が入力された電話帳登録画面が表示されます。

［追加登録］

登録済みの電話帳の項目に追加登録します。電話帳の選択画面で［メニュー］をタッチすると、電話帳の検索方法を変更できます。→P87

▶追加登録する電話帳にカーソルを移動▶［選択］

- 登録内容が追加された電話帳登録画面が表示されます。
- FOMAカード電話帳に追加登録する場合は、上記操作を行うと登録内容が上書きされた電話帳登録画面が表示されます。

3 電話帳を登録／修正▶［完了］

- 登録の操作については、「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」の操作2（P80）を参照してください。
- 追加登録した場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きする場合は［はい］をタッチします。

お知らせ

- バーコードリーダーの読み取りデータ画面からも、情報を電話帳に登録できます。→P138
- 登録可能文字数を超える内容を登録しようとすると、一部登録できない旨をお知らせする画面が表示され、超えた分の内容が削除された状態で電話帳登録画面が表示されます。

グループ設定

グループ名を登録／変更する

FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳をグループに分けることができます。FOMA端末（本体）電話帳には31件まで、FOMAカード電話帳には11件までグループを登録できます（件数は「グループなし」を含む）。

- 「グループなし」は変更できません。
- FOMAカード電話帳の場合は、名前の変更のみできます。

1 ▶（Phonebook&Logs）▶「グループ設定」

- ［FOMAカード・本体］：FOMA端末本体とFOMAカードのグループ設定一覧画面を切り替えます。
- 簡易情報表示欄には選択しているグループの設定内容が表示されます。◀／▶をタッチすると表示内容が切り替わります。

簡易情報表示欄

グループ設定一覧画面

2 登録／変更するグループにカーソルを移動してタッチ

グループ設定画面

3 次の操作を行う

［（グループ名）］
全角で10文字、半角で21文字まで入力できます。漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナなどが入力できます。

［電話着信音選択］※1 ※2
電話の着信音を設定します。

ミュージック：「データBOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→P275
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P270）へ進みます。

メロディ：「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P241

iモーション：「データBOX」の「iモーション」内に保存されている動画／iモーションから選択します。→P236

端末設定に従う：「着信音選択」の設定に従います。→P96

［メール着信音選択］
メール受信時の着信音を設定します。

- 設定項目は「電話着信音選択」と同じです。

次のページへ続く

[画像] ※1 ※2

グループに画像を設定します。

マイピクチャ：「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P226

iモーション：「データBOX」の「iモーション」内に保存されている動画／iモーションから選択します。→P236

静止画像撮影：カメラを起動して、撮影した静止画を設定します。→P129

端末設定に従う：「着信画面設定」の設定に従います。→P103

[着信許可／拒否]

グループに着信を許可するかどうかを設定できます。

▶端末暗証番号を入力▶「設定なし」／「着信拒否」／「着信許可」

※1：「着信音選択」(P96)「着信画面設定」(P103)に映像／音声が含まれる動画／iモーションが設定されているときに、どちらかを「端末設定に従う」に設定した場合は、該当する音声電話／テレビ電話がかかってくると、「端末設定に従う」を設定した項目はお買い上げ時の画像や音声が再生されます。

※2：「電話着信音選択」または「画像」のどちらかを映像／音声が含まれる動画／iモーションに設定した場合は、もう片方にも自動的に同じ動画／iモーションが設定されます。

4 [完了]

お知らせ

<着信許可／拒否>

- 電話帳の「電話帳指定着信許可／拒否」(P91)の設定が優先されます。

グループ設定一覧画面のサブメニュー

1 グループ設定一覧画面(P85)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[リセット]

選択中のグループの設定内容をリセットします。グループ名はお買い上げ時の表示に戻ります。

[移動]

選択中のグループの表示位置を変更します。

▶表示位置をタッチ▶[OK]

[設定]

選択中のグループの設定内容を変更します。→P85

[オールリセット]

すべてのグループ設定や並び順をリセットします。

電話帳から電話をかける

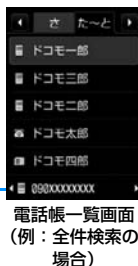
- シークレットに設定されている電話帳を検索する場合は、あらかじめ「シークレットモード」を「ON」に設定してください。→P116

電話帳を呼び出して電話をかける

電話帳を呼び出して簡単に電話をかけることができます。

1

通常設定された検索方法で検索された電話帳一覧画面が表示されます。→P93

電話帳一覧画面（例：全件検索の場合）

2 **電話帳にカーソルを移動してタッチ**

電話番号が表示された電話帳詳細画面が表示されます。

3

- 電話帳詳細画面で電話番号にカーソルを移動してタッチしても電話をかけられます。

■ 複数の電話番号が登録されている場合

- を押すと、登録されている電話番号が発信電話番号選択画面に一覧表示されます。電話番号をタッチすると電話をかけられます。

■ テレビ電話をかける場合

［メニュー］▶「発信」▶「テレビ電話発信」をタッチします。

お知らせ

- 「シークレットモード」が「シークレット専用モード」（P116）に設定されている場合は、シークレットデータの電話帳（P82）以外は検索／表示できません。
- 簡易情報表示欄には、一覧画面で選択中の電話帳に登録されている情報が表示され、次の操作ができます。
  - ◀／▶をタッチすると表示される情報が切り替わります。
  - タッチし続けると表示中の情報に応じて、電話をかけたり、メールを作成したりできます。

電話帳の検索方法

電話帳をいろいろな方法で検索できます。

1 ▶ (Phonebook&Logs)▶「電話帳検索」

- ［通常設定］：待受画面で をタッチしたときなどに表示される電話帳一覧画面の検索方法を設定します。→P93

電話帳検索画面

2 検索方法をタッチ

[全件検索]
フリガナの行（あ行～わ行）と「他」（50音以外のフリガナ）に分かれて、すべての電話帳が表示されます。
- ◀／▶でフリガナの行を切り替えます。

[グループ検索]
電話帳がグループ別に検索／表示されます（グループ一覧画面）。[FOMAカード・本体］をタッチしてFOMA端末（本体）電話帳／FOMAカード電話帳を切り替えます。グループにカーソルを移動してタッチすると、グループに登録されている電話帳が表示されます（グループ詳細画面）。
- グループ詳細画面では次の操作ができます。
  - グループ名をタッチすると、グループ設定ができます。→P85
  - ◀／▶で別のグループを選択できます。

[フリガナ検索]
「フリガナ」に含まれる文字の一部を入力してすべての電話帳を検索します。フリガナは半角で32文字まで入力できます。
▶「フリガナ」欄をタッチ▶フリガナを入力
- フリガナ未入力時は、すべての電話帳が表示されます。
- フリガナは、先頭以外の文字でも検索できます。
- 入力モード表示欄／［MODE］をタッチすると、入力モードを切り替えることができます。

[メモリ検索]
メモリ一番号順にFOMA端末（本体）に登録されている電話帳が「0」から50件ごとに分かれて表示されます。
- ◀／▶でメモリ一番号の表示を切り替えます。
- FOMAカード電話帳は表示できません。

[電話番号検索]
登録されている電話番号に含まれる数字の一部を入力してすべての電話帳を検索します。電話番号は26桁まで入力できます。
▶電話番号欄をタッチ▶電話番号を入力
- 電話番号未入力時は、すべての電話帳が表示されます。
- 電話番号は、先頭以外の数字でも検索できます。

[ドメイン検索]
メールアドレスが登録されている電話帳をドメイン別に表示します。
- ◀／▶でドメインを切り替えます。
- 検索するドメインは、あらかじめ登録しておきます。→P93

グループ一覧画面のサブメニュー

1 電話帳検索画面(P87)▶「グループ検索」▶[メニュー]▶次の操作を行う

[FOMAカードデータ表示・本体データ表示]
FOMAカード電話帳とFOMA端末（本体）電話帳のグループ検索画面を切り替えて表示します。

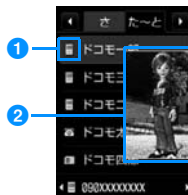
[設定]
グループ設定一覧画面（P85）が表示されます。

電話帳の登録内容を確認する

1 [電話帳]

❶ **電話帳の保存先**
- FOMA端末（本体）電話帳に保存※
- FOMAカード電話帳に保存

※：1件目の電話番号に設定されているアイコンが表示されます。

❷ **電話帳の画像表示**
電話帳に画像が設定されている場合は、設定されている画像やキャラクターが表示されます。

電話帳一覧画面

2 電話帳にカーソルを移動してタッチ

- 電話帳に画像が設定されている場合は、設定されている画像やキャラクターが表示されます。
- 各項目に表示されるアイコンは、電話帳登録画面と同様です。→P80

電話帳詳細画面

電話帳一覧画面での操作

電話番号とメールアドレスが登録されている電話帳にカーソルを移動してを押すと電話の発信、[メール] をタッチするとメールを作成します。複数の電話番号やメールアドレスが登録されている場合は、電話番号またはメールアドレスの選択画面が表示されます。

電話帳詳細画面での操作

登録されている電話番号、メールアドレス、URLにカーソルを移動してタッチすると、次の操作ができます。

電話番号：音声電話をかけます。
メールアドレス：メールを作成します。→P167
URL：サイトに接続します。

電話帳一覧画面のサブメニュー

1 電話帳一覧画面(P88)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[メール／URL接続]
メール作成やURL接続をします。

メール作成：選択中の電話帳に登録されているメールアドレスまたは電話番号を宛先にしたｉモードメールを作成します。→P167
メール添付：選択中の電話帳を添付してｉモードメールを作成します。→P167
SMS作成：選択中の電話帳に登録されている電話番号を宛先にしたSMSを作成します。→P200
URL接続：選択中の電話帳に登録されているURLのサイトに接続します。

[発信]
発信方法を選択します。複数の電話番号が登録されている場合は、発信方法を選択後、発信電話番号選択画面で発信先を選択します。

テレビ電話発信：テレビ電話をかけます。
カスタマイズ発信：登録されている電話番号を変更して電話をかけます。
国際電話（日本）：登録されている日本国内の電話番号に海外から電話をかける場合に、電話番号の先頭に日本の国番号「+81」を自動的に付けて発信します。
- 電話番号の先頭が「0」の場合は、自動的に削除されます。

[新規作成]
電話帳を新規作成します。→P80

[編集]
選択中の電話帳を編集します。→P91

[コピー]
選択中の電話帳をコピーやバックアップをします。

FOMAカードへ※1：選択中の電話帳をFOMAカードにコピーします。
本体へ※2：選択中の電話帳をFOMA端末本体にコピーします。
microSDへ：選択中の電話帳をmicroSDカードにコピーします。
バックアップ：FOMA端末本体に登録されている電話帳の全データをmicroSDカードにバックアップします。
- 電話帳に登録されている画像は含まれません。

[検索方法選択]
他の検索方法で電話帳を検索し直します。→P87

[複数選択]
複数の電話帳を選択して、コピーや削除をします。複数選択する電話帳の登録先を「本体」／「FOMAカード」(FOMA端末（本体）電話帳／FOMAカード電話帳）から選択した後、次の操作をします。

▶選択する電話帳にチェックを付ける▶［メニュー］▶次の操作を行う

FOMAカードへコピー※1：選択された電話帳をFOMAカードにコピーします。
本体へコピー※2：選択された電話帳をFOMA端末本体にコピーします。
microSDへコピー：選択された電話帳をmicroSDカードにコピーします。
削除：選択された電話帳を削除します。
選択／解除：電話帳の全データを選択または解除します。

[削除]
電話帳に登録されているデータを削除します。

1件削除：選択中の電話帳を削除します。
本体全件：FOMA端末本体に登録されている電話帳の全データを削除します。
FOMAカード全件：FOMAカードに登録されている電話帳の全データを削除します。

[赤外線送信]
赤外線通信を利用して電話帳を外部機器に転送します。→P255

送信：選択中の電話帳を送信します。
本体全件：FOMA端末本体に登録されている電話帳の全データを送信します。
FOMAカード全件：FOMAカードに登録されている電話帳の全データを送信します。

[ドメインリスト作成]※3
ドメイン検索で検索するドメインを作成します。→P93

※1：FOMA端末（本体）電話帳で表示されます。
※2：FOMAカード電話帳で表示されます。
※3：ドメイン検索の場合のみ、表示されます。

電話帳詳細画面のサブメニュー

1 電話帳詳細画面(P89)▶［メニュー］▶次の操作を行う

[メール／URL接続]
メール作成やURL接続をします。

メール作成：表示中の電話帳に登録されているメールアドレスまたは電話番号を宛先にしたｉモードメールを作成します。→P167
メール添付：表示中の電話帳を添付してｉモードメールを作成します。→P167
SMS作成：表示中の電話帳に登録されている電話番号を宛先にしたSMSを作成します。→P200
URL接続：表示中の電話帳に登録されているURLのサイトに接続します。

[発信]
発信方法を選択します。

テレビ電話発信　：テレビ電話をかけます。
カスタマイズ発信：登録されている電話番号を変更して電話をかけます。
国際電話（日本）：登録されている日本国内の電話番号に海外から電話をかける場合に、電話番号の先頭に日本の国番号「+81」を自動的に付けて発信します。
- 電話番号の先頭が「0」の場合は、自動的に削除されます。

[編集]
表示中の電話帳を編集します。→P91

[コピー]
表示中の電話帳をコピーします。

項目コピー：表示中の電話帳の登録内容から項目を選択してコピーします。
FOMAカードへ※1：表示中の電話帳をFOMAカードにコピーします。
本体へ※2：表示中の電話帳をFOMA端末本体にコピーします。
microSDへ：表示中の電話帳をmicroSDカードにコピーします。

[削除]
表示中の電話帳を削除します。

[赤外線送信]
赤外線通信を利用して、表示中の電話帳を送信します。→P255

[電話帳指定着信許可／拒否]
FOMA端末（本体）電話帳に登録されている電話番号ごとに着信許可／拒否を設定します。
あらかじめ電話番号にカーソルを移動している場合に、選択できます。
- 「リスト指定着信拒否」（P117）に登録されている電話番号は、「着信許可」に設定できません。

▶端末暗証番号を入力▶「設定なし」／「着信拒否」／「着信許可」

※1：FOMA端末本体の電話帳で表示されます。
※2：FOMAカードの電話帳で表示されます。

電話帳を修正する

1 電話帳詳細画面(P89)▶[メニュー]▶「編集」▶それぞれの項目を修正

「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」（P80）または「FOMAカード電話帳に登録する」（P83）と同じ操作で、必要な項目を修正します。

■ メモリー番号を変更して登録する場合
メモリー番号を変更して登録すると、修正前の内容は元のメモリー番号にそのまま残り、修正した電話帳の内容が別のメモリー番号で新しく登録されます。
▶ NO.（メモリー番号入力）欄をタッチ▶電話帳が登録されていないメモリー番号（000〜999）を入力

2 修正が終わったら[完了]▶[はい]

電話帳を削除する

1件／全件削除する

例：電話帳一覧画面から削除する場合

1 電話帳一覧画面(P88)で削除する電話帳にカーソルを移動▶[メニュー]▶「削除」▶削除方法をタッチ

1件削除：選択中の電話帳を削除します。

本体全件：FOMA端末本体に登録されている電話帳をすべて削除します。削除には端末暗証番号の入力が必要となります。

FOMAカード全件

：FOMAカードに登録されている電話帳をすべて削除します。削除には端末暗証番号の入力が必要となります。

2 [はい]

選択中／表示中の電話帳が削除されます。

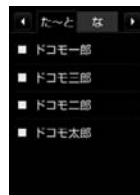
■ **電話帳詳細画面から削除する場合**

電話帳詳細画面からは1件ずつのみ削除できます。

▶電話帳詳細画面（P89）▶［メニュー］▶「削除」▶［はい］

複数の電話帳を選択して削除する

- FOMA端末（本体）電話帳、またはFOMAカード電話帳のどちらか一方を表示中の場合は、表示中の電話帳から削除します。

1 電話帳一覧画面(P88)▶[メニュー]▶「複数選択」▶「本体」／「FOMAカード」

複数選択画面

2 削除する電話帳にチェックを付ける▶[メニュー]▶「削除」

- 削除するすべての電話帳にチェックを付けてから「削除」をタッチします。

3 [はい]

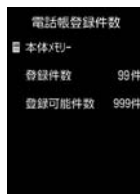
選択した電話帳が削除されます。

電話帳登録件数

電話帳の登録状況を確認する

FOMA端末とFOMAカードのメモリの登録状況を確認できます。

1 ▶ (Phonebook&Logs)▶「電話帳登録件数」

- ［FOMAカード・本体］：FOMA端末本体とFOMA カードの電話帳登録件数画面を切り替えます。
- 「シークレットモード」が「ON」または「シークレット専用モード」に設定されている場合は、「シークレット登録件数」が表示されます。

電話帳登録件数画面
（FOMA端末（本体））

電話帳を設定する

待受画面から呼び出せる電話帳や画像などを設定できます。

1 ▶ (Phonebook&Logs)▶「電話帳設定」

電話帳設定画面

2 次の操作を行う

［通常検索モード設定］
待受画面で をタッチして表示させる検索方法を設定します。

［ドメインリスト作成］
ドメイン検索で検索するドメインを作成します。リスト上の登録されていない項目にカーソルを移動してタッチし、ドメイン名を入力します。

［画像表示］
電話帳に設定している画像を表示するかどうかを設定します。

設定したドメイン名を修正するには

ドメインリスト上から修正するドメインにカーソルを移動してタッチ▶ドメイン名を修正します。
ドメインリスト上の「@docomo.ne.jp」は修正できません。

設定したドメイン名を削除するには

ドメインリスト上から削除するドメインにカーソルを移動▶［削除］▶［はい］をタッチします。

クイックサーチ

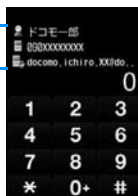
少ない操作で電話をかける

電話番号入力画面でダイヤルキーをタッチして1桁または2桁の数字を入力するだけで、FOMA端末（本体）電話帳のメモリー番号「0」〜「99」の電話番号に簡単に電話をかけることができます。

例：メモリー番号を入力して電話帳を呼び出す場合

1 ▶1桁または2桁の数字を入力▶または［発信］

入力された数字に該当するメモリー番号の電話帳の情報が表示され、表示されている電話帳の電話番号に電話をかけます。

入力した番号に該当するメモリー番号の電話帳の内容、または電話番号が表示されます。

- ［メニュー］：電話番号入力画面のサブメニューが表示されます。→P58

お知らせ

- 「01」など、1桁目が「0」の2桁の数字を入力した場合は、メモリー番号として認識されないため、本機能は動作しません。
- FOMAカード電話帳には、本機能は動作しません。

通話やメールの履歴を表示する

1 ▶（Phonebook&Logs）▶「通話／メール履歴」▶表示する履歴をタッチ

着信履歴：電話／テレビ電話の着信履歴を表示します。→P61
リダイヤル：電話／テレビ電話のリダイヤルを表示します。→P60
受信履歴：メールの受信履歴を表示します。→P194
送信履歴：メールの送信履歴を表示します。→P194

お知らせ

- 待受画面でを押すと、発着信履歴一覧（着信履歴＋リダイヤル）が表示されます。→P63

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

着信音選択

携帯電話から鳴る着信音を変える

音声電話やテレビ電話、メールなどの着信音を設定します。

- お買い上げ時に登録されている着信音やメロディ以外にも、ｉモードのサイトやインターネットのホームページから取得したｉモーションやメロディ、着うた®、着うたフル®を着信音に設定できます。

1 ▶(Settings)▶「音／バイブレータ」▶「着信音選択」

着信音選択画面

2 次の操作を行う

[着信音]
音声電話の着信音を選択します。

ミュージック：「データ BOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→P275
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P270）へ進みます。

ｉモーション：「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P236

メロディ：「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P241

[テレビ電話着信音]
テレビ電話の着信音を選択します。
- 設定項目は「着信音」と同じです。

[メール／メッセージ着信音]
メールの着信音を選択します。
- 設定項目は「着信音」と同じです。

[メッセージR着信音]
メッセージRの着信音を選択します。
- 設定項目は「着信音」と同じです。

[メッセージF着信音]
メッセージFの着信音を選択します。
- 設定項目は「着信音」と同じです。

[SMS着信音]
SMSの着信音を選択します。
- 設定項目は「着信音」と同じです。

3 [保存]

お知らせ

- 着信音はファイル名で表示されます。
- 着信音に設定できるファイル形式は次のとおりです（設定が制限されているファイルや、映像または音声のみが含まれるファイルなど、ファイルによっては設定できない場合があります）。
SMF、MFi、MP4（Mobile MP4）、AMR
- 動画／ｉモーションを着信音に設定（着モーション）すると、「着信画面設定」（P103）も同様に変更されます。
- 映像が含まれる動画／ｉモーションが着信音に設定されている場合、着信音を映像が含まれない動画／ｉモーションに変更すると自動的に着信画面はお買い上げ時の状態に戻ります。
- 映像のみの動画／ｉモーションは、着信音に設定できません。

着信音一覧（プリインストール）

Alone	Downtown	Ring01～Ring07
Show Window		

音量設定

着信音やアラーム音などの各種の音量を設定する

1 ▶ (Settings)▶「音／バイブレータ」▶「音量設定」

音量設定画面

2 設定したい項目の音量ゲージ上でスライド

- 音量を調節するたびに、変更した音量で調節した項目の音※が鳴ります（「受話音量」を除く）。
  ※：動画／ｉモーションや着うたフル®が設定されている項目は、お買い上げ時の音が鳴ります。ただし、着うたフル®が「まるごと設定」で着信音に設定されている場合は、着うたフル®が鳴ります。
- ：選択されている項目の音が鳴らなくなります。
- ：選択されている項目の音量を次第に大きくすることができます。
- ／：選択されている項目の音量を調節します。
- ［レベル］：選択されている項目の音量調節画面が表示されます。

［着信音］
音声電話／テレビ電話の着信音量を調節します。

［メール／メッセージ着信音］
メール／メッセージR/Fの着信音量を調節します。

［アラーム／スケジュール音］
アラーム／スケジュールアラーム音を調節します。

［ダイヤル音］
ダイヤルキーをタッチしたときの音量を調整します。

［電源ON／OFF］
FOMA端末の電源をONまたはOFFにしたときの音量を調節します。

［ポップアップ表示音］
ポップアップ画面が表示されたときの音量を調節します。

［受話音量］
受話音量を調節します。音を消すことはできません。

3 ［保存］

お知らせ

- 通話中の受話音量調節については→P70

バイブレータ設定

着信やアラームを振動で知らせる

電話の着信時やメールの受信時、スケジュールアラームの起動時などに、振動で知らせるように設定できます。

1 ▶ (Settings)▶「音／バイブレータ」▶「バイブレータ設定」

バイブレータ設定画面

2 次の操作を行う

- ［レベル］：選択されている項目の振動の強さを調節する画面が表示されます。

［音声／テレビ電話］
音声電話／テレビ電話着信時の振動パターンを設定します。

［メール／メッセージ着信］
メール／メッセージR/F受信時の振動パターンを設定します。

［アラーム／スケジュール］
アラーム／スケジュールアラームの振動パターンを設定します。

3 ［保存］

効果音選択

タッチしたときに鳴る音を設定する

タッチパネルにタッチしたときなど、各種操作を行ったときの効果音を設定します。

1 ▶ (Settings)▶「音／バイブレータ」▶「効果音選択」

効果音選択画面

2 次の操作を行う

［ダイヤル音］※
電話番号入力画面（P56）でダイヤルキーをタッチしたときの効果音を選択します。「日本語」「英語」「韓国語」に設定すると、タッチしたダイヤルキーを読み上げます。

［バッテリー警告音］
電池残量がなくなってきたときの警告音を鳴らすかどうかを設定します。

※：ダイヤル音の一覧画面でも［Play］をタッチすると、選択した効果音が確認できます。ただし、「音量設定」で「ダイヤル音」をレベル0に設定している場合は、効果音を確認できません。

3 ［保存］

タッチパネル設定

タッチパネル操作を音や振動で知らせる

1 ▶ (Settings)▶「音／バイブレータ」▶「タッチパネル設定」▶次の操作を行う

［タッチ連動］
タッチパネルにタッチした時の動作を選択します。

OFF　：動作しません。
音のみ　：「音選択」で選択した音が鳴ります。
バイブのみ　：「バイブ選択」で選択した振動パターンで振動します。
音＋バイブ　：「音選択」で設定した音と「バイブ選択」で選択した振動パターンで振動します。

［音選択］
タッチパネルにタッチした時の効果音を選択します。

［バイブ選択］
タッチパネルにタッチした時の振動パターンを選択します。

［音量設定］
音量を調節します。

［バイブ設定］
タッチパネルにタッチした時の振動の強さを調節します。

2 ［保存］

通話品質アラーム

通話が切れそうなときはアラームで知らせる

通話状態が悪くなり途中で通話が切れそうな場合、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

- 急に通話状態が悪くなると、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 ▶ (Settings)▶「発着信／通話機能」▶「通話機能」▶「通話品質アラーム」▶「アラーム高音」／「アラーム低音」／「アラームなし」▶「選択」

メール鳴動設定

メールの着信音を鳴らす時間を設定する

メール受信時に着信音の鳴動回数や鳴動時間を設定します。

1 ▶ (Settings)▶「音／バイブレータ」▶「メール鳴動設定」

2 次の操作を行う

［鳴動設定］

OFF　：着信音が鳴らないようにします。
1回のみ　：着信音を1回、最大約30秒まで鳴らします。
時間設定　：着信音の鳴動時間を設定します。
▶鳴動時間入力欄をタッチ▶1～30秒の間で入力

3 ［保存］

マナーモード

電話から鳴る音を消す

FOMA端末から聞こえる音を鳴らさないようにして、周囲の迷惑にならないようにします。

1 (1秒以上)▶「マナーモード設定」／「オリジナルマナーモード設定」

マナーモードを解除するには

待受画面を表示中に（1秒以上）▶「マナーモード解除」／「オリジナルマナーモード解除」をタッチします。

お知らせ

- マナーモードには、「マナーモード」「オリジナルマナーモード」の2種類のモードがあります。→P100
- マナーモードが設定されると、画面上部にが表示されます。
- マナーモードを設定中にメロディや動画／ｉモーションなどを再生しようとすると、再生の確認画面が表示されます。
- マナーモードを設定中でも、カメラのシャッター音は鳴ります。

オリジナルマナーモード

マナーモードを変更する

マナーモード設定時の動作をお好みで変更できます。

1 ▶ (Settings)▶「音／バイブレータ」▶「オリジナルマナーモード」

2 次の操作を行う

- ：選択されている項目の音が鳴らなくなります。
- ：選択されている項目の音量を次第に大きくすることができます。
- ／：選択されている項目の音量を設定します。

[着信バイブ]
音声電話／テレビ電話着信時の振動パターンを設定します。

[メールバイブ]
メール／メッセージR/F受信時の振動パターンを設定します。

[アラームバイブ]
アラーム／スケジュールアラームの振動パターンを設定します。

[電話着信音量]
音声電話／テレビ電話の着信音量を調節します。

[メール着信音量]
メール／メッセージR/Fの着信音量を調節します。

[アラーム音量]
アラーム／スケジュールアラーム音を調節します。

[効果音／タッチ音]
効果音やポップアップが表示されたときの音量を調節します。

[バッテリー警告音]
電池残量がなくなってきたときの警告音を鳴らすかどうかを設定します。

3 [保存]

待受画面設定

待受画面の表示を変える

待受画面に表示する内容（壁紙、時計、カレンダー、スケジュール）を設定します。

1 ▶(Settings)▶「表示」▶「待受画面設定」

待受画面設定画面

2 次の操作を行う

- [表示]：選択された内容のプレビュー画面が表示されます。プレビュー画面では、時計表示などをスライドして表示位置を変更できます。

[壁紙]
壁紙を設定します。

テーマ　：「テーマ設定」に従います。

画像　：「データ BOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P226

ｉモーション：「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P236

▶画像名欄をタッチ▶画像データにカーソルを移動▶［選択］

[画面表示]
待受画面の時計やカレンダーなどの表示を設定します。

表示しない：時計やカレンダーなどを表示しません。

時計：時計を表示します。
- 設定すると、待受画面で日付表示にカーソルを移動してタッチすると、スケジュールのカレンダー画面（P286）を表示できます。

カレンダー：カレンダーを表示します。※1
- 設定すると、待受画面でカレンダーにカーソルを移動してタッチすると、スケジュールのカレンダー画面（P286）を表示できます。

カレンダー＋スケジュール
：カレンダーと当日のスケジュールを表示します。※1
- 設定すると、待受画面でスケジュールにカーソルを移動してタッチすると、スケジュール一覧画面（P286）を表示できます。また、「カレンダー」を設定した場合と同じ操作で、待受画面からスケジュールのカレンダー画面（P286）を表示できます。

次のページへ続く

[時計表示設定] ※2

時計の表示方法を設定します。

アナログ1　：アナログ時計1を表示します。
アナログ2　：アナログ時計2を表示します。
デジタル表示　：デジタル時計を表示します。
デュアルクロック　：待受画面に2つの国や地域、および都市の日付と時刻を表示します。下側に表示される時計の国や地域、および都市を「サブ時計」で選択します。

- 設定すると、待受画面で時計表示にカーソルを移動してタッチすると次の画面を表示できます。
  - 「アナログ1」「アナログ2」「デジタル表示」に設定した場合
    アラーム一覧画面（P283）を表示できます。
  - 「デュアルクロック」に設定した場合
    ホームに設定されている都市（P297）の時計にカーソルを移動してタッチすると、「日付／時刻設定画面」（P51）が表示されます。サブ時計にカーソルを移動してタッチすると、「待受画面設定」が表示されます。

[サブ時計] ※3

2つ目の時計の都市を設定します。

▶［一覧］▶都市にタッチ

※1：壁紙にFlash画像を設定した場合は、選択できません。
※2：「画面表示」で「時計」を選択した場合に表示されます。
※3：「時計表示設定」で「デュアルクロック」をタッチした場合に表示されます。

3 ［保存］

お知らせ

- 画像や動画／ｉモーションによっては待受画面に設定できない場合があります。
- 待受画面に設定した動画／ｉモーションは、FOMA端末のタッチパネルのロックがかかっていないときは、により再生／停止できます。
- 待受画面に設定した動画／ｉモーションからWeb To機能は利用できません。

＜壁紙＞

- 「テーマ設定」を「Water」に設定し、壁紙を「テーマ」に設定した場合は、次のようになります。
  - 「画面表示」は「表示しない」に設定され、変更できません（項目も表示されません）。
  - 設定後、待受画面ではタッチした場所にしずくが移動し、その中に時計／日付／時刻などが表示されます。

＜画面表示＞

- 「時計」に設定中に「自動時刻時差補正」（P52）や「タイムゾーン設定」（P52）でタイムゾーンが日本と異なる時間帯（GMT+9以外）に設定された場合は、「時計表示設定」が自動的に「デュアルクロック」に変更されます。
- 設定後、待受画面で時計やカレンダーの表示位置を変更するには、時計やカレンダーをスライドします。

＜時計表示設定＞

- 「自動時刻時差補正」（P52）や「タイムゾーン設定」（P52）により、タイムゾーンが日本と異なる時間帯（GMT+9以外）に設定された場合は、「デュアルクロック」のみ選択できます。

着信画面設定

着信時の画像を設定する

電話の着信時に表示される画像を設定します。

1 ▶ (Settings)▶「表示」▶「着信画面設定」

着信画面設定画面

2 次の操作を行う

[音声着信]

音声着信時に表示する画像を設定します。

画像：「データ BOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P226

i モーション：「データBOX」の「i モーション」内に保存されている動画／i モーションから選択します。→P236

▶画像名欄をタッチ▶画像データをタッチ▶［選択］

[テレビ電話着信]

テレビ電話着信時に表示する画像を設定します。

- 設定項目と操作方法は「音声着信」と同じです。

3 ［保存］

お知らせ

- 音声のみの動画／i モーションは着信画面に設定できません。
- 着信画面を動画／i モーションに設定すると、「着信音選択」(P96)も同様に変更されます。
- 音声が含まれる動画／ i モーションが着信画像に設定されている場合、着信画像を音声が含まれない動画／ i モーションに変更すると自動的に着信音はお買い上げ時の状態に戻ります。

電話帳画像表示

電話帳の登録画像を着信中に表示させる

電話帳に登録されている相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合に、電話帳に設定されている画像を表示します。

1 ▶ (Settings)▶「発着信／通話機能」▶「音声着信」▶「電話帳画像表示」▶「ON」／「OFF」▶「選択」

お知らせ

- 電話がかかってきたときの画像表示の優先順位は以下のとおりです。
  ①電話帳の設定画像　②電話帳のグループの設定画像　③着信画面設定の設定画像

照明設定

ディスプレイの照明を設定する

ディスプレイの照明（バックライト）を設定します。

1 ▶ (Settings)▶「表示」▶「照明設定」

2 次の操作を行う

[照明時間]
ディスプレイのバックライトの照明時間を5～30秒の間で設定します。

[明るさ設定]
ディスプレイのバックライトの明るさを4段階で設定します。
▶明るさ設定のゲージ上でスライド▶［OK］

[充電器接続時]
充電器接続時の照明を設定します。
端末設定に従う：「照明時間」「明るさ設定」の設定に従います。
常時点灯：常時点灯します。

3 ［保存］

省電力モード

ディスプレイを省電力で表示する

ディスプレイの照明（バックライト）の明るさを最小レベルの省電力状態に設定します。

1 ▶ (Settings)▶「その他」▶「省電力モード」▶「ON」／「OFF」▶［選択］

テーマ設定

画面の色の組み合わせを設定する

画面の配色とメニューの表示形式の組み合わせを設定します。

1 ▶ (Settings)▶「表示」▶「テーマ設定」▶「PRADA」／「Water」▶［選択］

PRADA：黒をベースにした配色です。
Water：水色をベースにした配色です。

メインメニューの表示を変更する

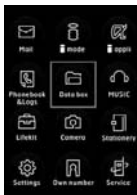
メニューカスタマイズ
メインメニューの表示方法を変更する

メインメニューのアイコンの組み合わせを変更して、2種類まで登録できます。

例：メインメニューのアイコンの組み合わせを変更する場合

1 ▶ (Settings)▶「表示」▶「メニューカスタマイズ」▶「カスタマイズ1」／「カスタマイズ2」▶[選択]

アイコンの組み合わせの登録先を「カスタマイズ1」「カスタマイズ2」から選択します。

■ **アイコンの組み合わせを変更しない場合**
「OFF」をタッチします。
メインメニューの表示は、「テーマ設定」に従います。
メニューカスタマイズが終了します。

カスタマイズ画面

2 変更するアイコンを選択▶新しいアイコンを選択▶[保存]▶[はい]

「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像データからアイコンを選択します。

■ **アイコンの変更を中止する場合**
保存の確認画面で［いいえ］をタッチします。

メインメニューをお買い上げ時の状態に戻すには

元の状態に戻したいカスタマイズ画面で［メニュー］▶「初期化」▶［はい］をタッチします。

お知らせ

- カスタマイズに使用できるアイコンは、画素数が80×80ドット以下のJPEG形式またはGIF形式の画像です。アニメーションGIF形式の画像の場合は、1コマ目の画像のみ表示されます。

日付／時刻表示設定
時計の表示を設定する

日付や時刻の表示形式を設定できます。

1 ▶ (Settings)▶「日付／時刻」▶「日付／時刻表示設定」

2 次の操作を行う

[日付表示形式]
日付の表示形式を設定します。

[時刻表示形式]
時刻の表示形式を設定します。

3 [完了]

お知らせ

- YYYYは年、MMは月、DDは日付を表しています。

デュアルクロック自動表示

デュアルクロックを自動で表示する

ローミング地域で、待受画面の時計表示を自動的にデュアルクロックに変更するかどうかを設定できます。

1 ▶ (Settings)▶「日付／時刻」▶「デュアルクロック自動表示」

2 「ON」／「OFF」▶[完了]

Select language

画面を英語表示に切り替える

FOMA端末の表示言語を日本語または英語に切り替えることができます。

1 ▶ (Settings)▶「その他」▶「Select language」▶「日本語」／「English」▶[選択]

お知らせ

- 「English」に設定されている場合は、「Select language」は「バイリンガル」と表示されます。
- 本設定内容はFOMA端末と挿入されているFOMAカードに記憶されます。別のFOMAカードを挿入した場合は、挿入したFOMAカードの設定が優先されます。

あんしん設定

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほか、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気を付けください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

端末暗証番号とは4～8桁の暗証番号です。端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P110

端末暗証番号入力画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、[OK] をタッチします。

- 端末暗証番号入力時はディスプレイに「＊」で表示され、数字は表示されません。

端末暗証番号入力画面

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、iモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更できます。

- 「My docomo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

iモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には4桁の「iモードパスワード」が必要になります（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。
iモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。iモードから変更される場合は、「i Menu」▶「料金＆お申込・設定」▶「オプション設定」▶「iモードパスワード変更」から変更できます。

PIN1コード／PIN2コード

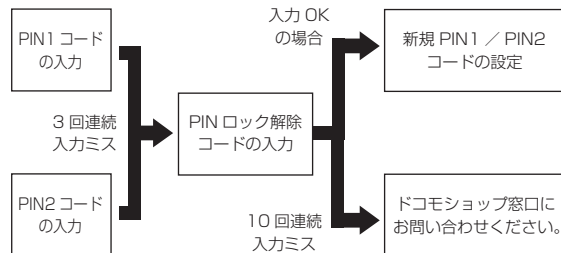
FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P110
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。PIN2コードは、発信通話料金／着信通話料金／全通話料金のリセット、積算通話料金のリセット、通話料金上限の設定、通貨設定、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。
PIN1コード／PIN2コード入力画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力し、［OK］をタッチします。

- PIN1 コード／ PIN2 コード入力時はディスプレイに「＊」で表示され、数字は表示されません。
- 新しく FOMA 端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PINコード入力画面（例：PIN1コードの場合）

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。→P111
なお、お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続で失敗すると、PIN1コード／PIN2コードは完全にロックされます。

端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

端末暗証番号を変更できます。

1 ▶ (Settings)▶「ロック／セキュリティ」▶「端末暗証番号変更」

2 現在の端末暗証番号を入力

端末暗証番号変更画面が表示されます。

3 新しい端末暗証番号を入力

4 操作3で入力した端末暗証番号を再入力

PINコード

PINコードを設定する

PIN1コードリクエスト

電源を入れたときにPIN1コードを入力させる

FOMA端末の電源を入れたときに、PIN1コード入力画面を表示させ、PIN1コードを入力しなければ使用できないように設定します。

1 ▶ (Settings)▶「ロック／セキュリティ」▶「PINコード」▶端末暗証番号を入力▶「PIN1コードリクエスト」▶「ON」／「OFF」▶[選択]▶PIN1コードを入力

お知らせ

- 日本国内では、PIN1コード入力画面表示中に、[緊急呼]をタッチしても、緊急通報（110番、119番、118番）ができません。

PIN1／PIN2コード変更

PIN1コード／PIN2コードを変更する

- PIN1コードを変更する場合は、あらかじめ「PIN1コードリクエスト」を「ON」に設定してください。

1 ▶ (Settings)▶「ロック／セキュリティ」▶「PINコード」▶端末暗証番号を入力

2 「PIN1コード変更」／「PIN2コード変更」▶現在のPIN1コード／PIN2コードを入力

新規PIN1コード／PIN2コード入力画面が表示されます。

3 新しいPIN1コード／PIN2コード(4～8桁)を入力

新規PIN1コード／PIN2コード再入力画面が表示されます。

4 操作3で入力したPIN1コード／PIN2コードを再入力

PINロックを解除する

PIN1コード／PIN2コードの入力を3回連続で間違えてPINロック画面が表示された場合は、PINロック解除コードを入力してロックを解除します。

- PINコードのロックを解除した場合は、新しいPIN1コード／PIN2コードを設定する必要があります。

1 PINロック画面▶PINロック解除コード(8桁)を入力

新PIN1コード／PIN2コード入力画面が表示されます。

2 新しいPIN1コード／PIN2コード(4～8桁)を入力

確認用の再入力画面が表示されます。

3 操作2で入力したPIN1コード／PIN2コードを再入力

各種ロック機能について

ロック機能	説　明	参照先
オールロック	他の人にFOMA端末を操作されないように、FOMA端末をロックします。	P111
発着信／メールロック設定	他の人のFOMA端末の操作を制限するために、ダイヤルキー操作による電話発信やアドレス入力、電話着信やメール表示ができないようにします。	P112
セルフモード	電話の発着信、ｉモードの利用やメールの送受信など、通信を必要とするすべての機能を使えないようにします。	P113
プライバシーモード設定	他の人に無断で操作されたくない機能を指定してロックします。	P113
タッチパネルロック時間	一定時間FOMA端末の動作がないとき、自動的にタッチパネルをロックして使用できないように設定できます。	P114
履歴表示設定	リダイヤル、着信履歴、送信履歴、受信履歴が表示されないようにします。	P115
シークレットモード	シークレットデータの電話帳やスケジュールを表示できないようにします。	P116

オールロック

他の人が使用できないようにする

FOMA端末をロックし、使用できないようにします。

- オールロックを設定中は、電源ON／OFF、緊急通報、音声電話／テレビ電話着信、オールロック解除以外の操作はできません。

1 ▶ (Settings)▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶「オールロック」▶端末暗証番号を入力▶[はい]／[いいえ]

お知らせ

- オールロック中は、メールやメッセージR/Fを受信しても受信結果画面やアイコンは表示されません。
- オールロック中は、ｉチャネルのテロップは表示されません。

オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）するには

オールロック中でも緊急通報（110番、119番、118番）ができます。（FOMAカード未挿入時を除く）

▶［緊急呼］▶緊急通報の番号にカーソルを移動▶［選択］▶［OK］

オールロックを解除するには

［ロック解除］をタッチし、端末暗証番号を入力します。端末暗証番号の入力を5回連続して失敗すると、自動的に電源が切れます。

発信や着信ができないようにする

発着信／メールロック設定

機能を選んで発信や着信などができないようにする

ダイヤルキー操作による電話発信やアドレス入力、電話着信やメール表示などができないようにします。

1 ▶（Settings）▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶「発着信／メールロック設定」▶端末暗証番号を入力

発着信／メールロック設定画面

2 次の操作を行う

［発着信／メールロック設定］

発着信／メールロック設定を有効にするかどうかを設定します。

［ダイヤル発信制限］※

次の操作をできないようにします。

- ダイヤルキー入力による発信
- 着信履歴や受信メール履歴の電話番号からの発信
- リダイヤルの電話番号への発信（電話帳に登録されている電話番号や110、119、118の緊急通報は発信可能）
- 電話帳の登録、編集、削除（赤外線通信による送受信、microSDカードとのコピー／移動含む）

［メール送信制限］※

次の操作をできないようにします。

- メールの宛先の直接入力
- リダイヤルや履歴のアドレスへのメール送信（電話帳に登録されているアドレスには送信可能）
- パソコンなどとの接続によるデータ通信
- 電話帳の登録、編集、削除（赤外線通信による送受信、microSDカードとのコピー／移動含む）

［ダイヤル着信制限］※

電話の着信をできないようにします。設定中は不在着信を示すアイコンが表示されず、着信履歴も表示できなくなります。

［メール受信表示制限］※

送受信したメール／メッセージR/Fを表示できないようにします。設定中はメールの受信を示すアイコンが表示されず、FOMA端末内のメールや受信メール履歴も表示できなくなります。

※：「発着信／メールロック設定」を「ON」にすると設定できます。

3 ［完了］

セルフモード
すべての発信や着信ができないようにする

電話の発着信、ｉモードの利用やメールの送受信など、通信を必要とするすべての機能を使えないようにします。また、赤外線通信によるデータ送受信も利用できません。

1 ▶ (Settings)▶「発着信／通話機能」▶「セルフモード」▶「ON」／「OFF」▶[選択]▶[はい]

お知らせ

- セルフモード中に緊急通報（110、119、118）を行うと、セルフモードは解除されます。
- セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。
- セルフモード中でも留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- セルフモード中に送られてきたメールやメッセージR/Fは、ｉモードセンターで、SMSはSMSセンターでお預かりします。受信する場合は、セルフモードを解除してからｉモード問い合わせ／SMS問い合わせをしてください。

プライバシーモード設定
電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

指定した機能をロックし、端末暗証番号を入力しないと利用できないようにしたり、利用を制限したりできます。

1 ▶ (Settings)▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶「プライバシーモード設定」▶端末暗証番号を入力

プライバシーモード設定画面

2 次の操作を行う

[プライバシーモード設定]
プライバシーモード設定を有効にするかどうかを設定します。

[電話帳]※
端末暗証番号を入力しないと、電話帳が使用できなくなります。
- リダイヤルや履歴には電話帳の登録名が表示されず、相手から通知された電話番号やアドレスが表示されます。
- 赤外線通信などを利用した電話帳の受信ができなくなります。

[データBOX] ※
端末暗証番号を入力しないと、データBOXのデータが使用できなくなります。
- 赤外線通信などを利用した画像やメロディなどデータBOXに保存されるデータの受信ができなくなります。

[伝言メモ] ※
端末暗証番号を入力しないと、伝言メモが使用できなくなります。
- 伝言メモを「ON」に設定してロックした場合、伝言メモが録音されても待受画面にはは表示されません。

[スケジュール] ※
端末暗証番号を入力しないと、スケジュール機能が使用できなくなります。
- スケジュールに設定されたアラームは、通知されなくなります。
- 赤外線通信などを利用したスケジュールの受信ができなくなります。

[ｉモード] ※
端末暗証番号を入力しないと、ｉモード機能が使用できなくなります。
- Web Toなどｉモードメニュー画面以外からのｉモード接続ができなくなります。
- ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。
- ソフトウェア更新やスキャン機能のパターンデータ更新ができなくなります。
- 赤外線通信などを利用したブックマークの受信ができなくなります。

[ｉアプリ] ※
端末暗証番号を入力しないと、ｉアプリが使用できなくなります。
- 赤外線通信などを利用したｉアプリのデータなどが受信できなくなります。

※：「プライバシーモード設定」を「ON」にすると設定できます。

3 [完了]

お知らせ
- 次の場合に端末暗証番号を入力して機能を呼び出すことができます。
  - メインメニューやカスタムメニューから機能を呼び出す場合
  - 待受画面表示時に機能呼び出しに割り当てられているキーを押した場合
  - 新規タスク画面（P281）やタスク一覧画面（P282）から機能を呼び出す場合

タッチパネルやボタンの誤操作を防止する

FOMA端末にロックをかけて、タッチパネルとボタンの誤操作を防止できます。

ロックを設定する

1

ロックを解除する

1 **を1秒以上押す**

お知らせ
- ロック中に電話の着信などがあった場合は、ディスプレイに着信中画面などが表示され、ボタンによっては一時的に操作できます。
- ロック中にメールを受信すると、振動や音が鳴り、ディスプレイに受信アイコンと受信件数が表示されます。

タッチパネルロック時間

ロックを自動的に設定する

一定時間FOMA端末の動作がないとき、自動的にタッチパネルをロックして使用できないように設定できます。

1 ▶ (Settings)▶「ロック／セキュリティ」▶「タッチパネルロック時間」▶ロック方法をタッチ▶[選択]

OFF	：ロックしません。
15秒後	：最後の動作から15秒が経つと、ロックします。
30秒後	：最後の動作から30秒が経つと、ロックします。
60秒後	：最後の動作から60秒が経つと、ロックします。
LCDオフ時	：ディスプレイ消灯時にロックします。

タッチアンロック

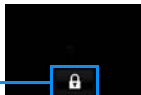
タッチキーでロックを解除する

タッチパネルにロック解除キーを表示して、ロックを解除できます。

1 ▶ (Settings)▶「ロック／セキュリティ」▶「タッチアンロック」▶「ON」／「OFF」▶[選択]

ロック解除キーでロックを解除するには

ロック解除キーをタッチし続けます。

ロック解除キー

お知らせ

- ロック解除キーの表示は、ｉチャネルのテロップ表示のON／OFFの設定により表示される大きさが異なります。

履歴表示設定

リダイヤルや着信履歴の表示を設定する

リダイヤル、着信履歴、送信履歴、受信履歴を表示しないように設定できます。

1 ▶ (Settings)▶「ロック／セキュリティ」▶「履歴表示設定」▶端末暗証番号を入力

履歴表示設定画面

2 次の操作を行う

「OFF」に設定した項目は表示できなくなります。

[リダイヤル]
リダイヤルを表示させるかどうかを設定します。

[着信履歴]
着信履歴を表示させるかどうかを設定します。

[送信メール履歴]
送信履歴を表示させるかどうかを設定します。

次のページへ続く

[受信メール履歴]
受信履歴を表示させるかどうかを設定します。

3 [保存]

お知らせ

- 「着信履歴」を「OFF」に設定した場合は、伝言メモ一覧が表示できなくなります。

シークレットモード

シークレット設定されている情報を表示する

電話帳とスケジュールのシークレットデータを表示するかどうかを設定できます。

1 ▶ (Settings)▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレットモード」▶端末暗証番号を入力▶シークレットモードの設定方法をタッチ▶[選択]

OFF　：シークレットデータ以外の一般データのみ表示されます。

ON　：シークレットデータと一般データをすべて表示されます。

シークレット専用モード

：シークレットデータのみ表示します。

リスト指定着信拒否

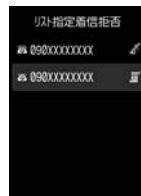
指定した電話番号からの電話を受けない

リストに登録した特定の相手からの電話を拒否するように設定できます。

- 本機能は、相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合のみ有効です。
- 番号通知お願いサービスを同時に設定することをおすすめします。

着信拒否する電話番号を登録する

着信拒否する電話番号を20件まで登録できます。

1 ▶ (Settings)▶「発着信／通話機能」▶「音声着信」▶「着信許可／拒否」▶端末暗証番号を入力▶「着信許可／拒否設定」▶「リスト指定着信拒否」▶[リスト編集]▶[追加]

リスト指定着信拒否画面

2 次の操作を行う

新規追加画面

[着信拒否動作]

着信拒否の動作を設定します。

ミュート：着信音を消音して着信します。リスト上にはが表示されます。

非接続：着信動作を行いません。リスト上にはが表示されます。

[着信拒否番号]

着信拒否をする電話番号を設定します。

- 電話帳から検索して設定する場合は、「着信拒否番号」欄をタッチ▶［メニュー］▶「電話帳検索」をタッチします。リスト上には電話帳に登録してある名称が表示されます。
- 「着信拒否番号」欄をタッチし、電話番号を入力して設定します。リスト上には入力した電話番号が表示されます。

3 [保存]

お知らせ

- 既に登録済みの電話番号がある場合は、リスト指定着信拒否画面▶［メニュー］▶「新規作成」でも着信拒否をする電話番号を登録できます。

登録した電話番号を削除するには

リスト指定着信拒否画面で削除する電話番号にカーソルを移動▶［メニュー］▶「1件削除」／「全件削除」▶［はい］をタッチします。

登録した電話番号を編集するには

リスト指定着信拒否画面で編集する電話番号にカーソルを移動▶［編集］をタッチします。

リスト指定着信拒否を設定する

1 ▶(Settings)▶「発着信／通話機能」▶「音声着信」▶「着信許可／拒否」▶端末暗証番号を入力▶「着信許可／拒否設定」▶「リスト指定着信拒否」▶[保存]

■ **解除する場合**

「着信許可／拒否設定」選択後の画面で「許可」をタッチします。

お知らせ

- リスト指定着信拒否の設定中に、「非接続」に登録されている相手から着信した場合は、着信は通知されず、待受画面にが表示され、不在着信として着信履歴に記録されます。相手には「プー･･･」という話中音が流れます。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。

全着信拒否

すべての着信を拒否する

かかってきたすべての電話の着信音を消音（ミュート）したり、着信動作を行わずに切断したりできます。

1 ▶ (Settings)▶「発着信／通話機能」▶「音声着信」▶「着信許可／拒否」▶端末暗証番号を入力▶「着信許可／拒否設定」▶「全着信拒否」▶「ミュート」／「非接続」▶[保存]

ミュート　：かかってきたすべての電話の着信音を消音して着信します。

非接続　　：かかってきたすべての電話の着信動作を行いません。

■ 解除する場合

「着信許可／拒否設定」選択後の画面で「許可」をタッチします。

お知らせ

- 「非接続」に設定中に着信した場合は、着信は通知されず、待受画面にが表示され、不在着信として着信履歴が記録されます。相手には「プー･･･」という話中音が流れます。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。

非通知着信

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

電話番号が通知されない電話の着信を、非通知理由ごとに拒否できます。

1 ▶ (Settings)▶「発着信／通話機能」▶「音声着信」▶「非通知着信」▶端末暗証番号を入力

非通知着信画面

2 次の操作を行う

[非通知設定]

発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信された電話について設定します。

設定解除　：設定を解除します。

着信拒否　：着信を拒否します。

着信音なし　：着信音を消音して着信します。着信画面を「データBOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択できます。→P226
▶欄をタッチ▶「画像」／「ｉモーション」▶画像をタッチ

端末設定に従う：着信時の着信画面と着信音を「データBOX」内のデータから選択できます。

着信画面：▶欄をタッチ▶「画像」／「ｉモーション」▶画像データをタッチ

着信音　：▶欄をタッチ▶「ミュージック」／「ｉモーション」／「メロディ」▶着信音をタッチ
- 「ミュージック」内に保存されている着うたフル®を選択した場合は、「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P270）へ進みます。

[公衆電話]

公衆電話などから発信された電話について設定します。
- 設定項目と操作方法は「非通知設定」と同じです。

[通知不可能]

海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信された電話について設定します（経由する電話会社などによっては、発信者番号が通知されることがあります）。
- 設定項目と操作方法は「非通知設定」と同じです。

3 [保存]

お知らせ

- 非通知着信の設定中に、「着信拒否」に設定した非通知着信があった場合は、着信は通知されず、待受画面にが表示され、不在着信として着信履歴に記録されます。相手には「プー…」という話中音が流れます。また、留守番電話サービス／転送でんわサービスを開始に設定している場合も着信を拒否します。ただし、呼出時間を0秒に設定しているときや、サービスエリア外、FOMA端末の電源を切っているときは各ネットワークサービスが起動します。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。
- 「着信音選択」（P96）「着信画面設定」（P103）に映像／音声が含まれる動画／ｉモーションが設定されているときに、「端末設定に従う」を選択して着信画面または着信音を「端末設定に従う」に設定した場合は、該当する音声電話／テレビ電話がかかってくると、「端末設定に従う」を設定した項目はお買い上げ時の画像や音声が再生されます。
- 「端末設定に従う」の着信音または着信画面のどちらかを映像／音声が含まれる動画／ｉモーションに設定した場合は、もう片方にも自動的に同じ動画／ｉモーションが設定されます。

<非通知設定>
- 番号通知お願いサービスを開始に設定している場合は、「非通知着信」の設定より優先して動作します。相手には番号通知お願いガイダンスが流れます。

呼出動作開始時間設定

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

電話帳に登録されていない相手や、発信者番号が非通知の相手から電話がかかってきたとき、着信音などの呼出動作をすぐに開始しないように設定できます。呼出時間が短い「ワン切り」などの迷惑電話対策として有効です。

1 ▶(Settings)▶「音／バイブレータ」▶「呼出動作開始時間設定」

2 次の操作を行う

[呼出動作開始時間設定]
呼出動作開始時間設定を有効にするかどうかを設定します。

[呼出動作開始時間]※
着信してから呼出動作を開始するまでの時間を1秒〜99秒の間で設定します。

[着信履歴]※
「呼出動作開始時間」で設定した時間内に切れた電話の着信履歴を表示するかどうかを設定します。

※：「呼出動作開始時間設定」を「ON」にすると設定できます。

3 [保存]

お知らせ

- 本機能を設定中に該当する相手から電話がかかってきた場合、設定した時間内は着信音などの呼出動作は行われませんが、着信中画面は表示されます。
- 「シークレットモード」を「OFF」に設定しているとき、電話帳をシークレットに設定している相手から電話がかかった場合でも本機能が動作します。

<呼出動作開始時間設定>
- 留守番電話サービス／転送でんわサービスの呼出時間よりも長く設定した場合は、呼出動作を行う前に各ネットワークサービスが起動します。
- 「伝言メモ」の「応答時間」よりも長く設定した場合は、呼出動作を行わずに伝言メモが起動します。
- 「メモリ登録外着信拒否」が「ON」に設定されている場合は、「呼出動作開始時間設定」は設定できません。

メモリ登録外着信拒否

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

電話帳に登録されていない相手からの電話を拒否するように設定できます。

- 本機能は、相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合のみ有効です。
- 番号通知お願いサービスと「非通知着信」を同時に設定することをおすすめします。

1 **▶(Settings)▶「発着信／通話機能」▶「音声着信」▶「着信許可／拒否」▶端末暗証番号を入力▶「メモリ登録外着信拒否」▶「ON」／「OFF」▶[保存]**

お知らせ

- 拒否設定に該当する相手から電話がかかってきた場合、着信動作は行われずに着信履歴が記録されます。相手には「プー…」という話中音が流れます。
- 留守番電話サービス／転送でんわサービスを開始に設定中でも着信を拒否します。ただし、呼出時間を0秒に設定している場合は各ネットワークサービスが起動します。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。
- 「呼出動作開始時間設定」を「ON」に設定している場合、または「プライバシーモード設定」を「ON」に設定して「電話帳」にチェックを付けている場合は、「メモリ登録外着信拒否」は設定できません。

その他の「あんしん設定」について

本章で説明した機能のほかに、次のような機能やサービスを利用できます。

目　的	機能名／サービス名	参照先
いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	迷惑電話ストップサービス	P326
発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	番号通知お願いサービス	P327
必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	ソフトウェア更新	P389
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	スキャン機能	P391
ｉモードメール受信する際に、必要なメールのみを受信したい	メール選択受信	P178
災害が発生した際にｉモードを利用して安否情報を登録／確認したい	「ｉモード災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。
メールアドレスを変更したい	メールアドレス変更	
URLが記載されたメールを受信したくない	迷惑メール対策（URL付きメール拒否設定）	
指定したドメインからのメールを受信／拒否したい	迷惑メール対策（受信／拒否設定）	
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否したい		
指定したアドレスからのメールを受信／拒否したい		

次のページへ続く

目　的	機能名／サービス名	参照先
迷惑メール対策のおすすめ設定を簡単に設定したい	迷惑メール対策（かんたんメール設定）	『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
1日1台のｉモード対応携帯電話から送信される500通目以降のｉモードメールを受信拒否したい	迷惑メール対策（ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限）	
SMSを受信したくない	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	
一方的に送られてくる広告メールを受信したくない	迷惑メール対策（未承諾広告※メール拒否）	
受信するメールのサイズを制限したい	メールサイズ制限	
メール機能の設定状況を確認したい	メール設定確認	
メール機能を一時的に停止したい	メール機能停止	
紛失した携帯電話のおおよその位置を確認したい	ケータイお探しサービス	

カメラ

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

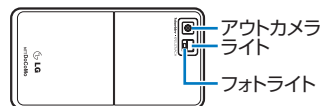
撮影するときのご注意

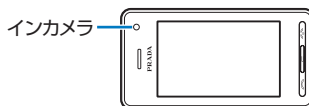
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線がある場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などがつくと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- FOMA 端末を暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間放置したりすると、撮影する画像や映像が劣化することがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては静止画や動画の色合いが異なることがあります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となったりします。
- 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- 速く動いている被写体を撮影すると、撮影したときに画面に表示されていた位置とは若干ずれた位置で撮影されたり、画像がぶれたりする場合があります。
- 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。電池残量を確認してから撮影してください。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。
- シャッター音はマナーモード設定中でも一定の音量で鳴ります。また、FOMA端末に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を取り付けている場合でも、スピーカーからシャッター音が鳴ります。

カメラの使いかた

カメラで撮影するときは、FOMA端末を横向きに持ちます。
また、撮影状況に合わせてインカメラとアウトカメラを切り替えて使います。カメラの切り替え方法について→P129、P132

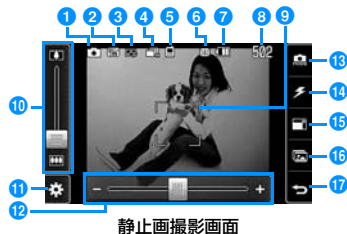
■ アウトカメラ

他の人や風景などを撮影するときに使うと便利です。画面には自分の見たとおりに表示されます（正像表示）。アウトカメラでは、オートフォーカスを使って静止画を撮影できます。→P129

■ インカメラ

自分を撮影するときに使うと便利です。画面は左右が反転した状態（鏡像）で表示されます。撮影結果は鏡像表示と正像表示（左右が反転しない状態）を選んで保存できます。→P130

お知らせ

- ライトはアウトカメラで撮影するときだけ有効です。

撮影画面の見かた

静止画／動画撮影画面に表示されるマーク（アイコンなど）の意味は次のとおりです。

静止画撮影画面

動画撮影画面

❶ カメラモード→P129、P132
- フォトモード
- ビデオモード
- バーコードリーダー

❷ 画像サイズ→P131、P134
- 2M（1600×1200）
- 1600×960
- 1M（1280×960）
- WXGA（1280×768）
- VGA（640×480）（アウトカメラの場合）
- VGA（480×640）（インカメラの場合）
- CIF（352×288）
- QVGA（320×240）
- 壁紙（240×400）
- 壁紙（400×240）
- QCIF（176×144）
- SQCIF（128×96）
- 電話帳（120×160）
- メニューアイコン（80×80）

❸ 画質→P131、P134
- スーパーファイン
- ファイン
- 標準

❹ 連続撮影→P131
- 自動
- 手動

❺ 保存先→P136
- 本体
- microSDカード

❻ メールの受信状況→P33

❼ 電池残量表示→P49

❽ 撮影可能枚数（静止画撮影画面）／合計撮影可能時間（動画撮影画面）→P126、128

❾ フォーカス枠→P130
オートフォーカス機能の使用時に色が変わって状態を示します。

❿ ズームバー→P134

⓫ 設定メニュー→P131、P134

⓬ 明るさ調節バー→P135

⓭ カメラモード変更

⓮ ライト→P129、P132

⓯ カメラ切替→P129、P132

⓰ アルバム→P129、P132

⓱ 終了キー
一つ前の画面に戻ります。

⓲ サイズ制限→P134
- 制限なし
- 2Mバイト
- 500Kバイト

⓳ 撮影種別→P134
- 音声＋映像
- 映像のみ
- 音声のみ

次のページへ続く

お知らせ

- タッチして操作するキーやバー以外の箇所をタッチすると、フォーカス枠と画面上部以外の画面表示が消えます。撮影画面で30秒以上操作がない場合も非表示の状態になります。画面をタッチすると再び表示されます。

静止画／動画の保存形式について

		静止画ファイル	動画ファイル
ファイル形式	JPEG		MP4（Mobile MP4）
解像度	アウトカメラ	2M（1600×1200） 1600×960 1M（1280×960） WXGA（1280×768） VGA（640×480） CIF（352×288） QVGA（320×240） 壁紙（240×400） 壁紙（400×240） QCIF（176×144） SQCIF（128×96） 電話帳（120×160） メニューアイコン（80×80）	QCIF（176×144） SQCIF（128×96）
	インカメラ	VGA（480×640） CIF（352×288） QVGA（320×240） 壁紙（240×400） 壁紙（400×240） QCIF（176×144） SQCIF（128×96） 電話帳（120×160） メニューアイコン（80×80）	

	静止画ファイル	動画ファイル
符号化方式	－	映像：MPEG-4 音声：AMR
拡張子	.jpg	.3gp
ファイル名	撮影した年月日時分が自動的に付けられます。 例：2008年6月1日10時10分10秒に撮影した場合 フォトモード：「P2008_0601_101010」 ビデオモード：「V2008_0601_1010」 ※：動画のファイル名には、撮影時刻の秒数は記録されません。	
最大ファイルサイズ	約1.6Mバイト（目安）	約80Mバイト

静止画の保存枚数の目安

保存できる件数は、解像度、画質の設定や撮影状態、被写体により異なります。

保存先	L852i（本体）※		
解像度＼画質	スーパーファイン	ファイン	標準
2M（1600×1200）	約160枚	約320枚	約510枚
1600×960	約290枚	約480枚	約740枚
1M（1280×960）	約360枚	約560枚	約870枚
WXGA（1280×768）	約370枚	約650枚	約1000枚
VGA（640×480、480×640）	約1000枚	約1000枚	約1000枚

保存先	L852i（本体）※		
解像度 ＼ 画質	スーパーファイン	ファイン	標準
CIF（352×288）	約1000枚	約1000枚	約1000枚
壁紙（240×400、400×240）	約1000枚	約1000枚	約1000枚
QVGA（320×240）	約1000枚	約1000枚	約1000枚
QCIF（176×144）	約1000枚	約1000枚	約1000枚
SQCIF（128×96）	約1000枚	約1000枚	約1000枚
電話帳（120×160）	約1000枚	約1000枚	約1000枚
メニューアイコン（80×80）	約1000枚	約1000枚	約1000枚

※：削除可能なプリインストールデータを削除した場合の保存可能枚数です。

保存先	microSDカード（64MB）		
解像度 ＼ 画質	スーパーファイン	ファイン	標準
2M（1600×1200）	約130枚	約250枚	約400枚
1600×960	約230枚	約380枚	約600枚
1M（1280×960）	約280枚	約450枚	約700枚
WXGA（1280×768）	約290枚	約520枚	約950枚

保存先	microSDカード（64MB）		
解像度 ＼ 画質	スーパーファイン	ファイン	標準
VGA（640×480、480×640）	約800枚	約1500枚	約2300枚
CIF（352×288）	約2000枚	約3400枚	約5000枚
壁紙（240×400、400×240）	約2400枚	約4000枚	約5600枚
QVGA（320×240）	約2500枚	約4300枚	約6000枚
QCIF（176×144）	約2860枚	約4500枚	約6250枚
SQCIF（128×96）	約3230枚	約4700枚	約6500枚
電話帳（120×160）	約2880枚	約4510枚	約6260枚
メニューアイコン（80×80）	約4700枚	約7350枚	約9410枚

動画の録画時間の目安

動画の撮影時間は、動画容量、画質の設定や撮影状態、被写体により異なります。

■ 1回あたりの連続録画時間（保存先はL852i（本体）、microSDカード（64MB）共通です。）

撮影種別	サイズ制限	制限なし	
	解像度 / 画質	QCIF（176 X 144）	SQCIF（128 X 96）
音声＋映像	スーパーファイン	約60分※	約60分
	ファイン	約60分	約60分
	標準	約60分	約60分
映像のみ	スーパーファイン	約60分	約60分
	ファイン	約60分	約60分
	標準	約60分	約60分
音声のみ		約60分	

撮影種別	サイズ制限	2Mバイト	
	解像度 / 画質	QCIF（176 X 144）	SQCIF（128 X 96）
音声＋映像	スーパーファイン	約117秒	約220秒
	ファイン	約153秒	約285秒
	標準	約222秒	約400秒
映像のみ	スーパーファイン	約153秒	約285秒
	ファイン	約200秒	約400秒
	標準	約285秒	約500秒
音声のみ		約19分	

※： 保存先がmicroSDカード（64MB）の場合は、約50分です。

撮影種別	サイズ制限	500Kバイト	
	解像度 / 画質	QCIF（176 X 144）	SQCIF（128 X 96）
音声＋映像	スーパーファイン	約29秒	約55秒
	ファイン	約38秒	約71秒
	標準	約55秒	約100秒
映像のみ	スーパーファイン	約38秒	約71秒
	ファイン	約50秒	約100秒
	標準	約71秒	約125秒
音声のみ		約284秒	

■ 合計録画時間：各サイズ制限共通

保存先	撮影種別	解像度 / 画質	QCIF（176 X 144）	SQCIF（128 X 96）
L852i（本体）※	音声＋映像	スーパーファイン	約70分	約140分
		ファイン	約100分	約180分
		標準	約140分	約260分
	映像のみ	スーパーファイン	約85分	約170分
		ファイン	約110分	約230分
		標準	約170分	約340分
	音声のみ		約900分	

※： 削除可能なプリインストールデータを削除した場合の録画可能時間です。

保存先	撮影種別	解像度 / 画質	QCIF (176 X 144)	SQCIF (128 X 96)
microSDカード（64MB）	音声＋映像	スーパーファイン	約50分	約100分
		ファイン	約70分	約130分
		標準	約100分	約160分
	映像のみ	スーパーファイン	約63分	約122分
		ファイン	約84分	約160分
		標準	約123分	約230分
	音声のみ		約600分	

フォトモード

静止画を撮影する

- 撮影した静止画はFOMA端末本体の「データBOX」内「マイピクチャ」の「カメラ」フォルダに保存されます。保存先をmicroSDカードに変更する場合は「自動保存設定」（P136）で設定します。

1 **待受画面▶**

撮影画面が起動し、フォトライトが点灯します。

静止画撮影画面

■ 静止画撮影画面の操作

操　作	説　明
	シャッター
	設定メニューの表示
（半押し）	オートフォーカス開始
（カメラモード）	撮影モードを変更
（ライト）	ライトの点灯条件を設定
（カメラ切替）	インカメラとアウトカメラを切り替え
（アルバム）	「データBOX」の「マイピクチャ」内にある撮影画像などを表示
／	フォトモード終了

2 **カメラを被写体に向ける▶**

シャッター音が鳴って静止画が撮影され、フォトライトが消灯します。撮影後に保存確認画面が表示され、撮影した画像を保存するかどうかを選択できます。

保存確認画面
（例：アウトカメラの場合）

次のページへ続く

■ 静止画保存確認画面の操作

操　作	説　明
	撮影した画像が添付されたｉモードメールを作成
	撮影した画像を保存
	撮影した画像を保存せずに、静止画撮影画面に戻る
※1	撮影した画像を正像／鏡像に切り替えて確認
※1	撮影した画像を鏡像で保存
※2	撮影した連続写真をすべて保存
※2	撮影した静止画を削除

※1：インカメラの場合のみ表示されます。
※2：連続撮影を設定している場合のみ表示されます。

3

「自動保存設定」（P136）で設定された保存先に自動的に保存され、保存完了画面が表示されます。

保存完了画面
（例：アウトカメラの場合）

■ **保存しない場合**

またはを押します。

- アウトカメラで撮影する場合は、オートフォーカス機能が利用できます。→P130
- インカメラを使用した場合、撮影画面と保存確認画面では左右反転した状態（鏡像）で表示されますが、撮影した画像は左右反転しない状態（正像）で保存されます。鏡像のまま保存するには、「自動保存設定」を「OFF」にして、保存確認画面でをタッチします。

■ 静止画保存完了画面の操作

操　作	説　明
	撮影した静止画を待受画面の壁紙に設定
	撮影した画像が添付されたｉモードメールを作成
	撮影した静止画を編集
	撮影した静止画を削除
	静止画撮影画面に戻る

オートフォーカス機能を使うには

アウトカメラで撮影する場合は、画面中央部の被写体に自動でピントを合わせるオートフォーカス機能が使用できます。静止画撮影画面でを半押し（浅く押す）すると自動調節が開始され、フォーカス枠が赤くなります。ピントが合うと音が鳴り、フォーカス枠が緑色に変わります。撮影を行う場合は、そのままを押し切ります。を離すとオートフォーカスをやり直すことができます。

「連続撮影」で撮影した画像の場合

保存確認画面で保存する画像の選択や削除、表示などができます。

- 画像を選択して保存する場合は、保存する画像にカーソルを移動▶をタッチします。
- 撮影した画像をすべて保存する場合は、をタッチします。
- 画像を選択してメール送信する場合は、送信する画像にカーソルを移動▶をタッチします。
- 画像を選択して削除する場合は、削除する画像にカーソルを移動▶をタッチします。
- 選択した画像のみを表示させる場合は、表示したい画像にカーソルを移動してタッチします。画像の選択画面に戻る場合は、画面をタッチします。

「自動保存設定」(P136)を「ON」に設定したときは
●を押すと静止画が撮影され、「自動保存設定」(P136)で設定された保存先に自動的に保存されます。
保存完了画面が表示された後、静止画撮影画面に戻ります。ただし、連続撮影時は保存完了画面の代わりに、保存をお知らせする画面が表示されます。

お知らせ

- 撮影時にはマナーモード設定中でもシャッター音が鳴ります。オートフォーカスのピントが合ったときも、同様に音が鳴ります。

静止画撮影画面の設定メニュー

1 静止画撮影画面(P129)▶ ▶次の操作を行う

[フレーム撮影]
被写体にフレームを付けて撮影するときに設定します。
画像サイズが「WXGA(1280×768)」、「CIF(352×288)」、「QVGA(320×240)」、「壁紙(240×400)」、「壁紙(400×240)」、「QCIF(176×144)」、「SQCIF(128×96)」の場合に設定できます。

Off :フレームを付けません。

フレーム選択 :「マイピクチャ」よりフレームを選択します。
▶フォルダにカーソルを移動▶[開く]▶フレームにカーソルを移動▶[選択]

[連続撮影]
シャッターを押して連続で撮影できるように設定します。
画像サイズが「QVGA(320×240)」、「壁紙(240×400)」、「壁紙(400×240)」、「QCIF(176×144)」、「SQCIF(128×96)」、「電話帳(120×160)」、「メニューアイコン(80×80)」の場合は6枚まで、「CIF(352×288)」の場合は4枚まで撮影できます。

Off :連続撮影しません。

自動 :1回のシャッターで連続して撮影します。
アウトカメラの場合は約0.7秒間隔、インカメラの場合は約0.2秒間隔で撮影します。

手動 :シャッターを押すたびに連続して撮影します。

[ナイトモード]
暗い場所などで撮影するときに設定します。

[効果]
画像に特殊な効果をかけて撮影するときに設定します。

[ホワイトバランス]
画像の色合いを補正します。撮影状況に合わせて設定すると自然な色合いとなります。

[セルフタイマー]
シャッターを押してから撮影されるまでの秒数を選択します。

[サイズ選択]
撮影する画像サイズを設定します。

[保存画質設定]
撮影した静止画を保存するときの画質を設定します。

[ガイド撮影]
ガイド線を設定します。

2 [OK]

お知らせ

- 「サイズ選択」を「2M（1600×1200)」「1600×960」「1M（1280×960)」に設定して撮影する場合、ズームは利用できません。

<連続撮影>

- 「サイズ選択」を「CIF（352×288)」以上に設定している場合、「連続撮影」を設定できません。
- 「連続撮影」を設定すると、「セルフタイマー」の設定は無効になります。

ビデオモード

動画を撮影する

- 撮影した動画はFOMA端末本体の「データBOX」内「ｉモーション」の「カメラ」フォルダに保存されます。保存先をmicroSDカードに変更する場合は「自動保存設定」（P136）で設定します。

1 待受画面▶[カメラボタン]（1秒以上）

撮影画面が起動し、フォトライトが点灯します。

動画撮影画面

■ 動画撮影画面の操作

操　作	説　明
[カメラボタン]	撮影開始
[設定アイコン]	設定メニューの表示
[MODEアイコン]（カメラモード）	撮影モードを変更
[ライトアイコン]（ライト）	ライトの点灯条件を設定
[カメラ切替アイコン]（カメラ切替）	インカメラとアウトカメラを切り替え
[アルバムアイコン]（アルバム）	「データBOX」の「ｉモーション」内にある撮影画像などを表示
[戻るアイコン]／[終話キー]	ビデオモード終了

2 カメラを被写体に向ける▶[カメラボタン]

撮影開始音が鳴り、動画の撮影を開始します。撮影中はフォトライトが点滅します。

- [一時停止アイコン]／[再生アイコン]：撮影を一時停止／再開します。

  ※「撮影種別」が「音声のみ」の場合は、一時停止できません。

動画撮影中画面

❶ **撮影経過時間／最大撮影時間**
撮影経過時間／最大撮影時間を表示

❷ **撮影経過バー**
撮影経過をバーで表示

3 □／▯

撮影終了音が鳴って動画の撮影を終了し、フォトライトが消灯します。撮影後に保存確認画面が表示され、撮影した動画を保存するかどうかを選択できます。

- 保存確認画面で▶をタッチすると、撮影した動画を再生して確認できます。⮌をタッチすると、保存確認画面に戻ります。

保存確認画面

■ 動画保存確認画面の操作

操　作	説　明
✉	撮影した動画が添付されたｉモードメールを作成
💾	撮影した動画を保存
NEW	撮影した動画を保存せずに、動画撮影画面に戻る
▶	撮影した動画を確認

4 💾

「自動保存設定」（P136）で設定された保存先に自動的に保存され、保存完了画面が表示されます。

■ 保存しない場合

NEWまたは▭を押します。

- インカメラを使用した場合、撮影画面では左右反転した状態（鏡像）で表示されますが、撮影した画像は左右反転しない状態（正像）で保存されます。

保存完了画面

■ 動画保存完了画面の操作

操　作	説　明
壁紙	撮影した動画を待受画面の壁紙に設定
✉	撮影した画像が添付されたｉモードメールを作成
🗑	撮影した動画を削除
NEW	動画撮影画面に戻る

「自動保存設定」（P136）を「ON」に設定したときは

□／▯を押すと撮影が終了し、撮影した動画が「自動保存設定」（P136）で設定された保存先に自動的に保存されます。
保存完了画面が表示された後、動画撮影画面に戻ります。

お知らせ

- 撮影開始時、終了時には、マナーモード設定中でもシャッター音が鳴ります。
- 動画撮影中に電話の着信など撮影を中断する動作があった場合、撮影を終了します。通話終了後は保存確認画面が表示され、中断するまでの動画を保存することができます。

動画撮影画面の設定メニュー

1 動画撮影画面(P132)▶⚙▶次の操作を行う

[サイズ制限]
撮影する動画のファイルサイズを制限します。

[ナイトモード]
暗い場所などで撮影するときに設定します。

[効果]
画像に特殊な効果をかけて撮影するときに設定します。

[ホワイトバランス]
画像の色合いを補正します。撮影状況に合わせて設定すると自然な色合いとなります。

[サイズ選択]
撮影する画像サイズを設定します。

[保存画質設定]
撮影した動画を保存するときの画質を設定します。

[撮影種別]
動画を撮影するときの映像や音声の有無を設定します。

[共通再生モード]
ｉモードメールへの添付に適したファイルサイズ（500Kバイトまで）に設定します。

2 [OK]

お知らせ

- 「共通再生モード」を「On」に設定した場合、「保存画質設定」は設定できません。

撮影時の設定を変える

撮影状況に合わせてカメラを設定します。

ズームを使う

画像のズーム倍率を設定します。
各画像サイズの最大倍率は次のとおりです。

■ アウトカメラ

カメラモード	画像サイズ	ズーム段階	最大倍率
フォトモード	2M（1600×1200）	－	－
	1600×960	－	－
	1M（1280×960）	－	－
	WXGA（1280×768）	10段階	約1.2倍
	VGA（640×480）		
	CIF（352×288）		約1.7倍
	壁紙（240×400、400×240）		約2.5倍
	QVGA（320×240）		約3.4倍
	QCIF（176×144）		
	SQCIF（128×96）		
	電話帳（120×160）		
	メニューアイコン（80×80）		

カメラモード	画像サイズ	ズーム段階	最大倍率
ビデオモード	QCIF（176×144）	10段階	約3.4倍
	SQCIF（128×96）		

■ インカメラ

カメラモード	画像サイズ	ズーム段階	最大倍率
フォトモード	VGA（480×640）	－	－
	CIF（352×288）	10段階	約1.7倍
	壁紙（240×400、400×240）		約2.5倍
	QVGA（320×240）		約3.4倍
	QCIF（176×144）		
	SQCIF（128×96）		
	電話帳（120×160）		
	メニューアイコン（80×80）		
ビデオモード	QCIF（176×144）	10段階	約3.4倍
	SQCIF（128×96）		

1 静止画撮影画面（P129）／動画撮影画面（P132）▶ズームバーをスライドして倍率を変更

ズーム設定
（例：静止画撮影画面）

明るさを調節する

画像の明るさ（露出）を調節します。明るさは8段階で調節できます。

1 静止画撮影画面（P129）／動画撮影画面（P132）▶明るさ調節バーをスライドして明るさを調節

明るさ調節バー
明るさ設定
（例：静止画撮影画面）

セルフタイマーを設定する

シャッターを押してから撮影されるまでの秒数を設定します。

- 動画撮影では、セルフタイマーは設定できません。

1 静止画撮影画面(P129)▶⚙▶⏱

2 「なし」／「3秒」／「5秒」／「10秒」▶[OK]

3 ▯

セルフタイマーが作動します。設定した秒数経過後、自動的に撮影します。
シャッターを押した後、撮影されるまでの間はタイマー音が鳴ります。

カメラ設定

カメラの設定を変える

自動保存設定

自動保存設定

撮影した静止画や動画を自動で保存するかどうかを設定します。

1 ▶(Camera)▶「カメラ設定」▶「自動保存設定」▶次の操作を行う

[保存先選択]
画像の保存先を設定します。

[自動保存]
自動保存するかどうかを設定します。
- 「保存先選択」を「microSDカード」にした場合は、自動的に「ON」になり変更できません。

2 [保存]

シャッター音の設定

1 ▶(Camera)▶「カメラ設定」▶「シャッター音」▶シャッター音を選択▶[保存]

シャッター音をタッチするとサンプル音が鳴ります。

ちらつき調整の設定

蛍光灯などの影響による画面のちらつきを、設定により低減できることがあります。

1 ▶(Camera)▶「カメラ設定」▶「ちらつき調整」▶調整方法をタッチ

自動：自動的にちらつきを抑制します。
50Hz：電源の周波数が50Hzの地域の場合に設定します。
60Hz：電源の周波数が60Hzの地域の場合に設定します。

2 [選択]

バーコードリーダーを利用する

FOMA端末のカメラを使ってJANコードやQRコードに含まれている情報を読み取ります。読み取った情報からｉモードメールを作成したり、インターネットへ接続したりできます。また、読み取った情報、画像、メロディを保存、再生することもできます。

- 読み取った情報は5件まで保存できます。
- 読み取るとき、コードがすべて画面内に表示されるようにしてください。
- コードに対してカメラを平行にしてください。

■ JANコードとは

太さや間隔の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取ります。

- 次のJANコードをFOMA端末で読み取ると「4942857123456」と表示されます。

■ QRコードとは

縦、横方向の模様で英数字、漢字、カナ、絵文字などの文字列を表現している二次元コードの1つです。また、画像やメロディを扱っているQRコード、1つのデータが複数のQRコードに分かれているものもあります。

- 次のQRコードをFOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

コードを読み取る

1 ▶(Camera)▶「バーコードリーダー」

読み取り画面

次のページへ続く

■ 読み取り画面の操作

操　作	説　明
[読取]	オートフォーカス開始
(MODE)	撮影モードをフォトモード／ビデオモード／バーコードリーダーに変更
[一覧]	保存されている読み取りデータ一覧を表示
(ライト)	ライトの点灯／消灯を切り替え
[リトライ] ※	オートフォーカスを再調節します。
(戻る)／(終了)	バーコードリーダー終了

※：[読取] をタッチしてオートフォーカス調整後の画面でのみ、操作できます。

2 読み取るコードを画面内に表示▶[読取]

ピントの自動調節後、コードを読み取ります。読み取りが完了すると完了音が鳴り、読み取ったデータが表示されます（読み取りデータ画面）。

- バーコードリーダーは、起動後、自動的に読み取りを開始します。[読取] をタッチしなくても、ピントが合えば、コードを読み取ります。
- 「マナーモード」設定中は、完了音が鳴りません。

3 読み取ったデータの種類に応じて、次の操作を行う

- 読み取ったデータの種類によって、表示や操作が異なります。
- 読み取ったデータを後で利用する場合は、必ず保存してください。
- 分割されたQRコードを最大16個まで続けて読み取り、連結できます。→P140

■ 電話番号の場合

表示された電話番号にカーソルを移動してから [選択] をタッチすると、読み取った電話番号が入力された電話番号入力画面が表示され、電話をかけられます。
「電話帳登録」などが表示された場合は、カーソルを移動してから [選択] をタッチすると電話帳に登録できます。

■ メールアドレスの場合

表示されたメールアドレスにカーソルを移動してから [選択] をタッチすると、読み取ったデータのメールアドレスや件名などが入力されたｉモードメールを作成します。
「電話帳登録」などが表示された場合は、カーソルを移動してから [選択] をタッチすると電話帳に登録できます。

■ URLの場合

表示されたURLにカーソルを移動してから [選択] をタッチすると、読み取ったデータのURLのサイトに接続します。
「ブックマーク登録」などが表示された場合は、カーソルを移動してから [選択] をタッチするとBookmarkに保存できます。

■ 文字の場合

読み取ったデータの文字が表示されます。

■ 画像の場合

読み取ったデータの画像が表示されます。

■ メロディの場合

(▶)／「再生します」をタッチすると、読み取ったデータのメロディを再生します。再生中に(■)をタッチすると、メロディの再生が止まります。

■ ｉアプリの場合

「ｉアプリ起動」などが表示された場合は、タッチすると起動できます。

お知らせ

<共通>

- JANコードとQRコード以外のバーコード、二次元コードは読み取れません。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射の具合によっては正しく読み取れない場合があります。
- バーコードの種類やサイズ、QRコードのバージョンによっては読み取れない場合があります。
- 読み取ったデータが既に5件保存されている場合は、古いデータを削除するかどうかを確認するメッセージが表示されます。新しいデータを保存するには、[はい] ▶削除する読み取りデータにカーソルを移動▶ [選択] ▶ [はい] をタッチしてください。
- バーコードリーダー起動後、約30秒以内にコードを読み取れなかった場合は、読み取れなかった旨をお知らせする画面が表示されます。さらに一定時間、コードが読み取れなかった場合は、自動的にバーコードリーダーは終了します。

<メール作成>

- 宛先に入力できない文字が含まれている場合、宛先には何も入力されません。

<電話発信>

- 発信できる文字は数字と記号（#、*、+、−、P、「(」、「)」）です。これら以外の文字が含まれている場合は発信できません。

<ｉアプリ起動>

- 「バーコードからｉアプリTo」（P212）を設定していない場合は、読み取ったデータからｉアプリを起動できません。

読み取りデータ画面のサブメニュー

- 読み取ったデータの種類によって、表示される項目は異なります。

1 読み取りデータ画面（P138）▶[メニュー]▶次の操作を行う

[コピー]
読み取ったデータのURL、電話番号、アドレスなどをコピーします。

[再生]
読み取ったデータを再生します。

[読み取りデータ保存]
読み取ったデータをバーコードリーダー保存リストに保存します。

[データBOXへ登録]
読み取った画像やメロディを「データBOX」に保存します。

[電話帳登録]
読み取ったデータの名前や電話番号、URL、メールアドレスなどの情報を電話帳に登録します。

[ブックマーク登録]
読み取ったデータのURLを「Bookmark」に登録します。

[リトライ]
再度コードを読み取ります。

次のページへ続く

分割されたQRコードを読み取るには

①「コードを読み取る」（P137）の操作1～3を行う
②「次のデータを読み取ってください」のメッセージ表示後、次のQRコードを読み取る
③ 操作②を繰り返す

- 読み取りを中断する場合は⎗／▭、オートフォーカスを再度調節する場合は［リトライ］をタッチします。

読み取った情報のファイル名について

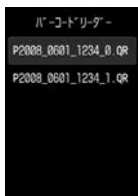
読み取った情報のファイル名は、年月日時分が自動的に付けられます。ファイル名は変更できません。
例：2008年6月1日10時10分に撮影した場合
JANコード：「P2008_0601_1010_0.JAN」
QRコード：「P2008_0601_1010_0.QR」

保存したデータを利用／削除する

1 読み取り画面（P137）▶［一覧］

■ **保存した読み取りデータを1件削除する場合**
削除する読み取りデータにカーソルを移動して［メニュー］▶「削除」▶［はい］をタッチします。

■ **保存した読み取りデータを全件削除する場合**
読み取りデータ一覧画面で［メニュー］▶「全件削除」▶端末暗証番号を入力▶［はい］をタッチします。

■ **読み取り画面を起動する場合**
読み取りデータ一覧画面で［メニュー］▶「読取」をタッチします。

読み取りデータ一覧画面

2 利用する読み取りデータにカーソルを移動▶［選択］

以降の操作は、選択したデータの種類に応じて「コードを読み取る」の操作3（P138）を参照してください。

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ｉモードのご利用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布できません。
- 別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、動画、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- FOMAカードにより表示･再生が制限されているファイルを待受画面、着信音などに設定している場合、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

ｉモードメニュー

ｉモードメニューを表示する

ｉモードメニューからｉモードの各機能を利用できます。

1 ▶ (imode)▶次の操作を行う

ｉモードメニュー画面

[ｉMenu]
ｉモードセンターに接続します。→P143

[Bookmark]
ブックマークフォルダ一覧画面を表示します。→P150

[画面メモ]
画面メモ一覧画面を表示します。→P152

[ラストURL]
最後に表示したｉモードのサイトやインターネットホームページを表示します。→P145

[Internet]
URLを直接入力してインターネットに接続します。→P148

[メッセージ]
受信したメッセージR/Fの一覧を表示します。→P198

［ｉチャネル］
ｉチャネルメニュー画面を表示します。→P164

［ｉモード問い合わせ］
ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージR/Fが保管されているかどうかを問い合わせます。→P198

［ｉモード設定］
ｉモードに関するFOMA端末の機能を設定します。→P157

［フルブラウザ］
フルブラウザメニュー画面を表示します。→P216

サイトを表示する

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスを利用します。

- IP（情報サービス提供者）により、サービス内容が異なります。また、別途お申し込みが必要な場合があります。

1 ｉモードメニュー画面（P142）▶「ｉMenu」▶「メニューリスト」にカーソルを移動▶［決定］

ｉモード通信中は画面上部に が表示されます。

- ページ取得中に中止するときは をタッチします。

2 項目（リンク先）にカーソルを移動▶［決定］

- ：ｉモードを終了します。［はい］をタッチします。

■ サイト表示画面の操作

操　作	説　明
／	ダイヤルキーを表示／非表示
▲／▼	カーソルを移動
［決定］	カーソルのある項目を選択
［メニュー］	サブメニューを表示
／	前のページに戻る／進む
	再読み込み

お知らせ

- 画面上の項目（リンク先）を直接タッチすることもできます。
- リンク先を示す項目の前に番号が表示されている場合は、 をタッチして、その番号と同じダイヤルキーをタッチすると直接リンク先に接続できます。ただし、サイトによっては接続できない場合があります。
- 接続先のサイトによっては、ご利用になるために「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」の送信が必要な場合があります。送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を認識し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツがお客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定したりするために用いられます。送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりお客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

サイト表示画面のサブメニュー

1 サイト表示中▶[メニュー]▶次の操作を行う

[Bookmark]

登録：表示中のサイトのURLをブックマークに登録します。「ブックマークに登録する」の操作2（P149）へ進みます。

一覧：Bookmarkフォルダ一覧画面を表示します。→P150

[画面メモ]

保存：表示中のサイトを画面メモに保存します。→P152

一覧：画面メモ一覧画面を表示します。→P152

[画像保存]

表示中のサイトに含まれている画像を保存します。→P154

[詳細表示]

URL表示：表示中のサイトのURLを表示します。

ページ情報：表示中のサイトのタイトルとURLを表示します。

証明書：表示中のサイトがSSLに対応している場合は、SSL証明書を表示します。

[Internet]

URL入力：URLを入力してインターネットホームページを表示します。

URL履歴：URL履歴を選択してインターネットホームページを表示します。「URL履歴を使って表示する」の操作2（P149）へ進みます。

[ホーム]

「ホーム」として設定しているURLのサイトに接続します。

[再読み込み]

表示中のサイトが更新されていれば、サイトの内容を最新の情報に更新します。

[メール作成]

表示中のサイトのURLを本文に貼り付けて、ｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P167）へ進みます。
項目（リンク先）選択中は次の項目のいずれかを選択してください。

このページ：表示中のサイトのURLを貼り付けます。

リンク先ページ：選択中の項目（リンク先）のURLを貼り付けます。

[文字コード変換]

文字が正しく表示されていないときに、文字コードを変えて表示し直します。

[電話帳登録]

サイトのページに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。→P147

[リトライ]

表示中のサイトに含まれているFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

[設定]

画像表示：表示中のサイトに含まれている画像を表示するかどうかを設定します。

効果音設定：表示中のサイトに含まれているFlash画像の効果音を再生するかどうかを設定します。

ｉモーションタイプ：取得するｉモーションのタイプを設定します。→P162

[フルブラウザ切替]

フルブラウザに切り替えます。

お知らせ

＜文字コード変換＞
- 正しく表示されない場合は、操作を繰り返してください。ただし、4回操作を行うと元の文字コードで表示されます。
- 変換操作を繰り返しても正しく表示されない場合があります。
- 変換した文字コードは、表示中のサイトに対してのみ有効です。

＜画像表示＞
- 「表示する」に設定しても、正しく表示されない場合があります。その場合は×が表示されます。

SSLページを取得するときは

SSLに対応したサイトを取得すると右の画面が表示されます。取得が完了するとSSLページが表示され、画面上部にが表示されます。

通常のサイトに戻るには

SSLに対応していないサイトに戻る場合、右の画面が表示されます。［はい］をタッチすると通常のサイトが表示され、が消えます。

お知らせ

- SSL証明書が期限切れになっている場合、サポートしていない場合など、接続先の安全性を確認できないことを知らせるメッセージが表示される場合があります。接続するときは［はい］をタッチしてください。ただし、お客様の個人情報（クレジットカード番号、連絡先など）を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。

ラストURL

最後に表示したページに再接続する

ｉモードを終了すると、最後に表示していたページのURLが「ラストURL」に記憶されます。ラストURLを使って最後に表示したページに再接続します。

1 ｉモードメニュー画面(P142)▶「ラストURL」▶［接続］

サイトの見かたと操作

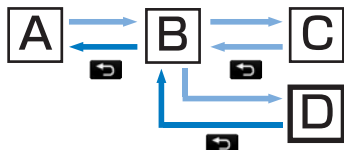
サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

前のページに戻る／進む

FOMA端末は、表示したサイトなどの画面データをキャッシュという端末内の場所に記憶しています。
キャッシュに記憶された画面は、／で通信を行わずに表示できます。

- キャッシュサイズをオーバーしていたり、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示したりするときは通信を行います。
- サイトなどで入力した文字や設定は、キャッシュに記憶されません。
- ｉモードを終了すると、キャッシュは削除されます。

例：画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させた場合

下図のように「A」→「B」→「C」の順にページを表示させてから「B」に戻り、次に「D」のページを表示させた場合は、「C」はキャッシュから削除されます。／をタッチすると「B」⇔「D」のページが表示されます。

お知らせ

- Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。

リンク先や項目先を選択する

ｉモード接続中に、サイトによっては次の操作が必要となる場合があります。詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

名　称	表示例	内　容
ラジオボタン	（非選択状態）	選択肢の中から1つだけ選択できます。
	（選択状態）	
チェックボックス	（非選択状態）	選択肢の中から複数の項目を選択できます。
	（選択状態）	
テキストボックス		文字を入力します。テキストボックスをタッチすると文字入力画面が表示されます。
プルダウンメニュー		選択肢の一覧から項目を選択します。プルダウンメニューをタッチすると選択肢一覧が表示されます。

お知らせ

<テキストボックス>

- FOMA端末に登録されている電話帳の情報、自局番号やバーコードリーダーで読み取った情報を次の操作で引用して入力できます。
[メニュー]▶「引用」▶「電話帳」／「自局番号」／「バーコードリーダー」

Flash画像の表示について

FOMA端末では、絵や音を利用したアニメーション技術を用いたFlash画像の表示に対応しており、多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像をダウンロードし、待受画面に設定することもできます。

お知らせ

- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
- Flash画像によっては、お客様のFOMA端末の端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するには、「端末情報データ利用」設定を「利用する」に設定してください。
- Flash画像に音声が含まれている場合は、「着信音」で設定された音量で鳴ります。効果音を鳴らさない場合は「効果音」を「OFF」に設定してください。→P157
- バイブレータが設定されているFlash 画像を再生した場合、FOMA端末の「バイブレータ設定」(P98)などの設定に関わらず振動します。
- 「画像」設定を「表示しない」に設定すると、Flash画像は表示されません。
- Flash画像をデータBOX、画面メモに保存して再生した場合、保存箇所により見えかたが異なる場合があります。
- 待受画面や着信画面などに設定されたFlash画像の効果音は鳴りません。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

サイトのページに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録することができます。

1 **サイト表示中▶電話番号／メールアドレスにカーソルを移動▶[メニュー]▶「電話帳登録」▶[はい]**

「着信履歴やリダイヤルなどから電話帳に登録する」の操作2(P84)へ進みます。

マイメニュー

マイメニューに登録する

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。

- マイメニューは45件まで登録できます。
- マイメニューに登録できないサイトもあります。

1 **登録したいサイトを表示▶「マイメニュー登録」▶[決定]**

- サイトにより項目名が若干異なる場合があります。

2 **ｉモードパスワードのテキストボックスにカーソルを移動▶[決定]▶ｉモードパスワードを入力▶「決定」にカーソルを移動▶[決定]**

- 入力したｉモードパスワードは「＊」で表示されます。
- ｉモードパスワード→P148

お知らせ
- 「メニューリスト」内の有料サイトに申し込まれると、自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューからサイトを表示する

1 ｉモードメニュー画面(P142)▶「ｉMenu」▶「マイメニュー」▶[決定]▶接続したいサイトにカーソルを移動▶[決定]

ｉモードパスワード変更

ｉモードパスワードを変更する

マイメニューの登録／解除、メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定をするときは、「ｉモードパスワード」（4桁）が必要になります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、安全のためお客様独自のｉモードパスワードに変更してください。なお、ｉモードパスワードは他人に知られないように十分ご注意ください。

1 ｉモードメニュー画面(P142)▶「ｉMenu」▶「料金＆お申込･設定」▶[決定]▶「オプション設定」▶[決定]▶「ｉモードパスワード変更」▶[決定]

2 「現在のパスワード」のテキストボックスにカーソルを移動▶[決定]▶ｉモードパスワード(4桁)を入力

3 「新パスワード」のテキストボックスにカーソルを移動▶[決定]▶新しいｉモードパスワード(4桁)を入力

4 「新パスワード確認」のテキストボックスにカーソルを移動▶[決定]▶新しいｉモードパスワード(4桁)を入力

5 「決定」にカーソルを移動▶[決定]

お知らせ
- ｉモードパスワードをお忘れの場合は、ご契約者本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口で確認させていただいた上で、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

Internet接続

インターネットホームページを表示する

URLを入力して、インターネットホームページを表示します。URLは半角の英数字や記号で入力します。

1 ｉモードメニュー画面(P142)▶「Internet」

2 「URL入力」▶URLを入力
- 半角で256文字まで入力できます。

お知らせ
- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は、正しく表示されない場合があります。
- 履歴に記録されているURLと同じURLを入力して接続した場合は、上書き保存され、最新のURL履歴として一番上に表示されます。

URL履歴を使って表示する

入力したURLは、URL履歴として10件まで記録されます。URL履歴を利用してインターネットホームページを表示します。

1 ｉモードメニュー画面(P142)▶「Internet」▶「URL履歴」

URL履歴一覧画面が表示されます。

2 表示したいURLにカーソルを移動▶[接続]

お知らせ

- 履歴が10件を超えた場合、古いものから順に自動的に上書きされます。
- 利用した履歴は、最新のURL履歴として一番上に表示されます。

URL履歴一覧画面のサブメニュー

1 URL履歴一覧画面(P149)▶URL履歴にカーソルを移動▶[メニュー]▶次の操作を行う

[接続]
選択中のURL履歴のサイトに接続します。

[URL編集]
選択中の履歴のURLを編集してサイトに接続します。
▶URLを編集▶［確定］

[削除]
1件削除：選択中のURL履歴を削除します。
選択削除：URL履歴を選択して削除します。
▶削除したいURL履歴にチェックを付ける▶［完了］▶［はい］
全件削除：URL履歴をすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

[メール作成]
選択中の履歴のURLを本文に貼り付けて、ｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P167）へ進みます。

ブックマーク

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する

よく見るサイトやインターネットホームページをブックマークに登録しておくと、見たいページをすぐに表示できます。

ブックマークに登録する

- ブックマークはフォルダ全体で最大100件登録できます。

1 サイト表示中▶[メニュー]▶「Bookmark」▶「登録」

2 タイトル欄をタッチ▶タイトルを編集▶[OK]▶登録したいフォルダにカーソルを移動▶[選択]

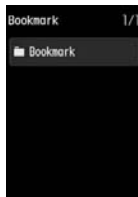
- 既に登録済みのURLを登録しようとした場合は、上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。［はい］をタッチします。

次のページへ続く

お知らせ

- ブックマークに登録できるURLの文字数は、半角で256文字までです。
- ブックマークのタイトルは全角12文字まで、半角24文字まで登録できます。
- ブックマークが最大保存件数まで保存されている場合は、削除するものを選択するかどうかを確認する画面が表示されます。選択する場合は［はい］▶フォルダにカーソルを移動▶［選択］▶削除するブックマークにカーソルを移動▶［選択］▶登録したいフォルダにカーソルを移動▶［選択］をタッチします。

ブックマークからホームページやサイトを表示する

1 ｉモードメニュー画面(P142)▶「Bookmark」

Bookmark
フォルダ一覧画面

アイコン	説　明
(グレー)	「Bookmark」(お買い上げ時に登録されているフォルダ)
(黄)	ユーザ作成フォルダ

2 フォルダにカーソルを移動▶[選択]

Bookmark
一覧画面

3 表示したいブックマークにカーソルを移動▶[選択]

Bookmarkフォルダ一覧画面のサブメニュー

1 Bookmarkフォルダ一覧画面(P150)▶フォルダにカーソルを移動▶[メニュー]▶次の操作を行う

[フォルダ管理]

フォルダ追加：フォルダを追加します。フォルダ名は全角で16文字、半角で32文字までで入力します。

フォルダ名編集：選択中のフォルダの名前を編集します。

フォルダ並べ替え：選択中のフォルダを並べ替えます。

[削除]

フォルダ1件削除：選択中のフォルダを削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

全削除：ブックマークをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

[赤外線全件送信]

ブックマークをすべて赤外線送信します。

▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶［はい］

[microSD全件コピー]

ブックマークをすべてmicroSDカードにコピーします。

▶端末暗証番号を入力▶［はい］

[件数確認]

ブックマーク件数を表示します。

お知らせ

<フォルダ名編集／フォルダ並べ替え／フォルダ1件削除>

- お買い上げ時に登録されている「Bookmark」フォルダは、フォルダ名の変更や移動、削除はできません。

<フォルダ1件削除>

- フォルダ内にブックマークがある場合は、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。削除する場合は［はい］をタッチします。

Bookmark一覧画面のサブメニュー

1 Bookmark一覧画面（P150）▶ブックマークにカーソルを移動▶［メニュー］▶次の操作を行う

[接続]

選択中のブックマークのサイトに接続します。

[タイトル編集]

選択中のブックマークのタイトルまたはURLを編集します。

▶タイトルまたはURLを編集▶［OK］

[フォルダ移動]

1件移動：選択中のブックマークを他のフォルダに移動します。
▶移動先のフォルダにカーソルを移動▶［選択］

選択移動：ブックマークを選択して移動します。
▶移動したいブックマークにチェックを付ける▶［完了］▶移動先のフォルダにカーソルを移動▶［選択］

全件移動：フォルダ内のブックマークをすべて他のフォルダに移動します。
▶移動先のフォルダにカーソルを移動▶［選択］

[削除]

1件削除：選択中のブックマークを削除します。

選択削除：ブックマークを選択して削除します。
▶削除したいブックマークにチェックを付ける▶［完了］▶［はい］

全件削除：ブックマークをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

[URL表示]

選択中のブックマークのURLを表示します。

[URLコピー]

選択中のブックマークのURLをコピーします。

[メール作成]

選択中のブックマークを添付して、iモードメールを作成します。「iモードメールを作成して送信する」の操作2（P167）へ進みます。

[赤外線送信]

送信：選択中のブックマークを赤外線送信します。

全件送信：ブックマークをすべて赤外線送信します。
▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶［はい］

次のページへ続く

[microSDへコピー]

1件コピー：選択中のブックマークをmicroSDカードへコピーします。

全件コピー：フォルダ内のブックマークをすべてmicroSDカードへコピーします。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

[件数確認]

フォルダ内のブックマーク件数を表示します。

画面メモ

サイトの内容を保存する

表示中のサイトの内容を画面メモとして保存できます。画面メモに保存したページは、ｉモードに接続せずに表示できます。

画面メモを保存する

- 画面メモは最大50件保存できます。ただし、データ量により実際に保存できる件数が少なくなることがあります。
- 1件あたり約100Kバイトまでのページを保存できます。

1 サイト表示中▶［メニュー］▶「画面メモ」▶「保存」▶［はい］

お知らせ

- 画面メモが最大保存件数まで保存されている場合は、削除するものを選択するかどうかを確認する画面が表示されます。選択する場合は［はい］▶削除する画面メモをタッチします。

画面メモを表示する

1 ｉモードメニュー画面(P142)▶「画面メモ」

画面メモ一覧画面

2 表示したい画面メモにカーソルを移動▶［選択］

画面メモ詳細画面が表示されます。

お知らせ

- 画面メモに保存されているページは保存したときの情報です。最新のページの情報と異なる場合があります。

画面メモ一覧画面のサブメニュー

1 画面メモ一覧画面(P152)▶画面メモにカーソルを移動▶［メニュー］▶次の操作を行う

[表示]

選択中の画面メモを表示します。

[タイトル編集]

選択中の画面メモのタイトルを編集します。タイトルは全角で12文字、半角で24文字までで入力します。

[削除]

1件削除 ：選択中の画面メモを削除します。

選択削除：画面メモを選択して削除します。
▶削除したい画面メモにチェックを付ける▶［完了］▶［はい］

全件削除：画面メモをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

[URL表示]

選択中の画面メモのURLを表示します。

[保護／保護解除]

1件保護／解除 ：選択中の画面メモを保護または保護を解除します。

選択保護／解除：画面メモを選択して保護または保護を解除します。
▶保護したい画面メモにチェックを付ける▶［完了］▶［はい］

全件保護解除 ：画面メモをすべて保護解除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

[件数確認]

画面メモ件数を表示します。

画面メモ詳細画面のサブメニュー

1 画面メモ詳細画面（P152）▶［メニュー］▶次の操作を行う

[画像保存]

表示中の画面メモに含まれている画像を保存します。「サイトから画像を取得する」の操作2（P154）へ進みます。

[詳細表示]

URL表示 ：表示中の画面メモのURLを表示します。

ページ情報：表示中の画面メモのタイトルとURLを表示します。

証明書 ：表示中の画面メモがSSLに対応している場合は、SSL証明書を表示します。

[電話帳登録]

サイトのページに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。→P147

[リトライ]

表示中の画面メモに含まれているFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

[効果音設定]

表示中の画面メモに含まれているFlash画像の効果音を再生するかどうかを設定します。

ON ：Flash画像の効果音を再生します。

OFF：Flash画像の効果音を再生しません。

[タイトル編集]

表示中の画面メモのタイトルを編集します。タイトルは全角で12文字、半角で24文字までで入力します。

[削除]

表示中の画面メモを削除します。

[保護／保護解除]

表示中の画面メモを保護または保護を解除します。

お知らせ

＜削除＞

- 保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。

＜保護／保護解除＞

- 保護できる画面メモは最大10件です。保護できる件数は画面メモのデータ量によって異なります。

画像保存

サイトから画像を取得する

表示中のサイトや画面メモに含まれている画像をFOMA端末に保存します。

- 取得した画像は、「データBOX」内「マイピクチャ」の「ｉモード」フォルダまたはmicroSDカードに保存されます。

例：サイトに表示されている画像を保存する場合

1 サイト表示中▶[メニュー]▶「画像保存」

2 「画像選択」▶取得する画像にカーソルを移動▶[決定]

■ **サイトの背景画像を保存する場合**

「背景画像保存」をタッチします。

取得できる画像は点線で囲まれます。

3 [はい]

- microSDカードを取り付けている場合は、さらに保存先を選択します。
- FOMA端末に保存した場合は、保存した画像を待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。設定する場合は、［OK］をタッチします。

お知らせ

- 「画像」設定を「表示しない」に設定している場合は、保存できません。
- サイト上では表示されていても、FOMA端末に保存すると表示されない場合があります。
- 取得した画像は正しく表示されない場合があります。
- JPEG形式、GIF形式、プログレッシブJPEG形式※の画像ファイルが以下の表示サイズ（総画素数）を超える場合は、保存するとFOMA端末では表示できません。ただし、メール添付などによってFOMA端末外に出力することはできます。

  ※：プログレッシブJPEG形式は、インターネットなどで利用されており、最初は画像全体が粗く表示され、ダウンロードが進むにつれて徐々に鮮明に表示される画像形式です。

  - 総画素数が1600×1200ドットを超えるJPEG形式の画像ファイル
  - 総画素数が800×600ドットを超えるGIF形式、プログレッシブJPEG形式の画像ファイル

ｉメロディ

サイトからメロディをダウンロードする

- ダウンロードしたメロディは、「データBOX」内「メロディ」の「ｉモード」フォルダに保存されます。

1 サイト表示中▶メロディにカーソルを移動▶[決定]

ダウンロードが完了すると、確認画面が表示されます。

2 「保存」

再生　：ダウンロードしたメロディを再生します。

情報表示：ダウンロードしたメロディの情報を表示します。

戻る　：メロディを保存せずにサイト画面に戻ります。

- microSDカードを取り付けている場合は、さらに保存先を選択します。

お知らせ

- 接続するサイトによっては、ダウンロードできない場合があります。
- ダウンロードしたメロディは正しく再生できない場合があります。
- ダウンロードしたメロディには、あらかじめ再生部分が指定されている場合があります。そのようなメロディは、再生するときはメロディのすべての部分が再生されますが、着信音などに設定したときは、指定部分だけが再生されます。

テンプレートダウンロード

サイトからテンプレートをダウンロードする

デコメール®用のテンプレートをダウンロードできます。

- ダウンロードしたテンプレートは、メールメニューの「テンプレート」（P174）に保存されます。

1 サイト表示中▶テンプレートにカーソルを移動▶[決定]

ダウンロードが完了すると、確認画面が表示されます。

2 「保存」

プレビュー：ダウンロードしたテンプレートを表示します。

情報表示　：ダウンロードしたテンプレートの情報を表示します。

メール作成：ダウンロードしたテンプレートを利用してデコメール®を作成します。

戻る　　：テンプレートを保存せずにサイト画面に戻ります。

3 [完了]

- ファイル名を変更してから保存する場合は、ファイル名入力欄をタッチ▶ファイル名を変更▶［完了］をタッチします。

辞書ダウンロード

サイトから辞書をダウンロードする

- ダウンロードした辞書は、「ダウンロード辞書」（P320）に保存されます。
- 最大10件保存できます。ただし、使用できる辞書は5件までです。

1 サイト表示中▶辞書データにカーソルを移動▶[決定]

ダウンロードが完了すると、確認画面が表示されます。

2 「保存」

表示　　：ダウンロードした辞書の情報を表示します。

キャンセル：辞書を保存せずにサイト画面に戻ります。

3 保存先にカーソルを移動▶[選択]

- 使用している辞書が4件以下の場合は、ダウンロードした辞書を有効に設定するかどうかを確認する画面が表示されます。設定する場合は［はい］をタッチします。

お知らせ

- ダウンロード辞書の使いかた→P320

Phone To／Mail To／Web To／ｉアプリTo機能を使う

サイトのページやメールなどに、電話番号、メールアドレス、URLが反転表示されている場合、これらを利用して簡単な操作で電話をかけたり、ｉモードメールの送信、インターネットホームページを表示したりできます。

- パソコンなどから送信されたメールでは、Phone To、AV Phone To、Mail To、Web To機能を利用できない場合があります。

Phone To／AV Phone To機能

サイトやメールに反転表示されている電話番号へ音声電話（Phone To）／テレビ電話（AV Phone To）をかけます。

1 電話番号にカーソルを移動してタッチ▶操作したい項目をタッチ

電話発信：音声電話をかけます。

テレビ電話発信：テレビ電話をかけます。

コピー：選択中の電話番号をコピーします。

電話帳登録：選択中の電話番号を電話帳に登録します。「着信履歴やリダイヤルなどから電話帳に登録する」の操作2（P84）へ進みます。

お知らせ

- サイトによっては、Phone To／AV Phone To機能を利用できない場合があります。

Mail To機能

サイトやメールに反転表示されているメールアドレスへｉモードメールを送ります。

1 メールアドレスにカーソルを移動してタッチ

- 「ｉモードメールを作成して送信する」の操作3（P168）へ進みます。

お知らせ

- サイトによっては、Mail To機能を利用できない場合があります。
- メールアドレスが正しく入力されていないときは、正しいメールアドレスに修正してからメールを送信してください。

Web To機能

サイトやメールに反転表示されているURLのサイトに接続します。

1 URLにカーソルを移動してタッチ

- メールの場合は、さらに［接続］をタッチします。

お知らせ

- サイトによっては、Web To機能を利用できない場合があります。
- URLの表示はサイトによって異なります。
- URL以外の反転された情報を使ってWeb To機能を利用できる場合があります。

ｉアプリTo機能

サイトやｉモードメールに反転表示されているURLからｉアプリを起動します。

- 「ｉアプリTO設定」（P212）で、「サイトからｉアプリTo」「メールからｉアプリTo」にチェックを付けていない場合は、ｉアプリは起動しません。

1 ｉアプリの情報にカーソルを移動してタッチ▶［はい］

お知らせ

- ｉアプリTo機能でサイトからすぐに起動するソフトには、保存できないものがあります。

ｉモード設定

ｉモードの設定を行う

ｉモードやメッセージR/Fの機能を設定します。

通信

通信の設定を行う

1 ｉモードメニュー画面(P142)▶「ｉモード設定」▶「通信」▶次の操作を行う

［接続待ち時間］
サイトが混み合っていて応答がなかったときなど、自動的に接続を中止するまでの時間を設定します。→P158

［ｉモード問い合わせ］
「ｉモード問い合わせ」をするときに、問い合わせる項目を設定します。

▶問い合わせたい項目にチェックを付ける▶［完了］

表示

表示の設定を行う

1 ｉモードメニュー画面(P142)▶「ｉモード設定」▶「表示」▶次の操作を行う

［画像］
サイトや画面メモなどに含まれている画像やFlash画像を表示するかどうかを設定します。

［効果音］
サイトや画面メモに含まれているFlash画像の効果音を再生するかどうかを設定します。

［端末情報データ利用］
サイトや画面メモ表示中にFlash画像を表示する場合、FOMA端末の情報を利用することがあります。その際に、端末情報データを利用するかどうかを設定します。

［文字サイズ］
サイト、画面メモ、メッセージR/Fの本文の文字サイズを設定します。

［メッセージ一覧表示］
メッセージR/F一覧画面の表示方法を設定します。

1行：件名のみを1行で表示します。

2行：件名と受信日時を合わせて2行で表示します。

［メッセージ自動表示］
メッセージR/Fの自動表示のしかたを設定します。→P197

［メロディ自動再生］
メッセージR/Fを表示したときにメロディを自動再生するかどうかを設定します。→P197

次のページへ続く

お知らせ

＜画像＞

- 「表示する」に設定しても、正しく表示されない場合があります。その場合は☒が表示されます。

＜効果音＞

- 「効果音ON」に設定しても、Flash画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

＜端末情報データ利用＞

- 「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、着信音量設定、Select language、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

ホーム

ホームの設定を行う

サイト表示画面のサブメニューから「ホーム」を選択して表示されるページのURLを設定します。

1 **ｉモードメニュー画面(P142)▶「ｉモード設定」▶「ホーム」**

2 **「有効」▶「http://」欄をタッチ▶URLを入力▶[完了]**

お知らせ

- 「無効」に設定すると、「ホーム」を選択しても、設定したページを表示しません。「http://」欄に入力したURLはそのまま残ります。

その他

その他の設定を行う

1 **ｉモードメニュー画面(P142)▶「ｉモード設定」▶「その他」▶次の操作を行う**

[ｉモード設定確認]

「ｉモード設定」で設定した内容を確認します。

[ｉモード設定リセット]

「ｉモード設定」で設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

▶端末暗証番号を入力▶［はい］

接続待ち時間

接続待ち時間を設定する

サイトが混み合っていて応答がなかったときなど、自動的に接続を中止するまでの時間を設定します。

1 **ｉモードメニュー画面(P142)▶「ｉモード設定」▶「通信」▶「接続待ち時間」▶「60秒間」／「90秒間」／「無制限」▶[完了]**

- 「無制限」に設定すると自動的には中止しません。

お知らせ

- 「無制限」に設定しても、電波状況などにより切断される場合があります。

接続先選択

ｉモードから接続先を変更する

※ドコモのｉモードサービスを利用する場合、設定を変更する必要はありません。

ｉモード（ドコモ）以外のサービスを受けるときに使う接続先（APN）の設定をします。登録した接続先に変更したときはｉモードやｉモードメールは利用できなくなります。

接続先を追加する

1 ▶ (Settings)▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶「接続先選択」

接続先選択画面が表示されます。

2 [メニュー]▶「新規追加」▶端末暗証番号を入力▶次の操作を行う

[接続先名称]
接続先の名称を、全角15文字、半角30文字以内で入力します。

[接続先番号]
接続先の番号を、半角英数字99文字以内で入力します。

[接続先アドレス]
接続先のアドレスを、半角英数字30文字以内で入力します。

[接続先アドレス2]
ｉチャネルの接続先アドレスを、半角英数字30文字以内で入力します。

3 [完了]

接続先を変更する

1 接続先選択画面（P159）▶変更したい接続先にカーソルを移動▶[保存]

接続先選択画面のサブメニュー

1 接続先選択画面（P159）▶接続先にカーソルを移動▶[メニュー]▶次の操作を行う

[新規追加]
接続先を追加します。→P159

[編集] ※
接続先の設定を編集します。
▶端末暗証番号を入力▶接続先の設定を編集する▶［完了］

[削除] ※
選択中の接続先を削除します。
▶［OK］▶端末暗証番号を入力

[表示] ※
選択中の接続先の設定を表示します。
- ［編集］：接続先の設定を編集します。

※：「ｉモード」選択中は操作できません。

お知らせ

- 「ｉモード」以外の接続先に接続した場合のパケット通信はパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
- 接続先を変更した場合、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、待受画面で を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- 設定中の接続先を削除すると、「ｉモード」が接続先に設定されます。

SSL証明書を操作する

SSL証明書の内容を確認したり、有効／無効を設定します。

1 ｉモードメニュー画面(P142)▶「ｉモード設定」▶「証明書」

証明書一覧画面が表示されます。
- ［選択］：選択中の証明書の内容を表示します。

2 証明書にカーソルを移動▶［メニュー］▶「有効／無効」

- 「証明書参照」：選択中の証明書の内容を表示します。

SSL通信で使用する証明書について

認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時のFOMA端末内に保存されています。

ｉモーションとは

ｉモーションとは映像と音が含まれる動画データです。ｉモーション対応サイトからFOMA端末に取り込み、再生したり、保存して待受画面や着信音などに設定できます。

ｉモーションのタイプ

ｉモーションには、大きく分けて次の2つのタイプがあります。

■ 標準タイプ

標準タイプには次の2つの形式があります。
① 取得後に再生可能な形式（最大500Kバイトまで）
② 取得しながら再生可能な形式（最大500Kバイトまで）
- ｉモーションによっては、標準タイプでも保存できない場合があります。

■ ストリーミングタイプ

データを取得しながら同時に再生するタイプで、最大2Mバイトのｉモーションを再生できます。再生が終了したデータは破棄されるため、FOMA端末に保存できません。

お知らせ

- 取得、再生できるｉモーションはMP4（Mobile MP4）形式です。ASF形式のｉモーションの取得、再生はできません。
- ｉモーション再生中に早送り／巻戻しをすると、音声のみ再生され画像が正しく表示されない場合があります。

iモーション取り込み

サイトからｉモーションを取得する

ｉモーションは最大1000件まで保存できます。ただし、データ量により保存できる件数は異なります。

- 取得したｉモーションは、「データBOX」内「ｉモーション」の「ｉモード」フォルダに保存されます。

1 サイト表示中▶ｉモーションにカーソルを移動▶[決定]

- 「ｉモーション自動再生」設定を「自動再生する」に設定している場合は、取得した後に自動的にｉモーションが再生します。再生中の操作→P237

■ ストリーミングタイプのｉモーションの場合

- 再生するかどうかの確認画面が表示されます。[はい] をタッチすると、ｉモーションを取得しながら再生します。
- 「ｉモーションタイプ」が「標準タイプ」に設定されている場合は、再生できません。「標準・ストリーミングタイプ」に変更してから、再度ｉモーションを取得してください。→P162

2 取得完了後に［メニュー］▶「保存」

再生　：取得したｉモーションを再生します。

情報表示：取得したｉモーションの情報を表示します。

戻る　：ｉモーションを保存せずにサイト表示画面に戻ります。

お知らせ

- 接続するサイトやｉモーションによっては、取得またはデータ取得中の再生ができない場合があります。
- データを取得しながら再生する場合、電波状況などにより再生が停止したり、画像が乱れたりすることがあります。
- ｉモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
- ｉモーションには再生制限が設定されているものがあります。再生回数が制限されているｉモーションには[icon]、再生期間または再生期限のあるｉモーションには[icon]が表示されます。再生できる期間が制限されているｉモーションは、期間前や期間後には再生できません。
- 取得したｉモーションによっては、正しく再生できない場合があります。

テロップ中にリンクが設定されていた場合

テロップが設定されているｉモーションの場合、再生中にテロップが表示されます。電話番号、メールアドレス、URLが設定されていたときは、再生終了時にPhone To、AV Phone To、Mail To、Web To機能を利用できます。

1 ｉモーション再生終了後▶項目をタッチ

ｉモーション自動再生

ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する

サイトやメールからｉモーションを取得したとき、ｉモーションを自動再生するかどうかを設定します。

1 ｉモードメニュー画面(P142)▶「ｉモード設定」▶「ｉモーション」▶「ｉモーション自動再生」▶「自動再生する」／「自動再生しない」▶[完了]

お知らせ

- 「自動再生しない」に設定していても、ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生されます。

ｉモーションタイプ

取得するｉモーションのタイプを設定する

サイトから新しいｉモーションを取得するとき、取得するｉモーションのタイプを設定します。

1 ｉモードメニュー画面(P142)▶「ｉモード設定」▶「ｉモーション」▶「ｉモーションタイプ」▶設定するタイプをタッチ

標準タイプ：標準タイプのｉモーションだけを取得します。

標準・ストリーミングタイプ

：標準タイプおよびストリーミングタイプのｉモーションを取得します。

2 [完了]

お知らせ

- ストリーミングタイプのｉモーションを取得する場合は、「標準・ストリーミングタイプ」に設定する必要があります。

ｉチャネルとは

ニュースや天気などグラフィカルな情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、待受画面で[ｉチャネルキー]を押すことでチャネル一覧に表示されたりします（チャネル一覧の表示方法は→P163）。

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

また、ｉチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP（情報サービス提供者）が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。お好きなチャネルを登録し利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。国際ローミングサービスご利用の際は、自動更新・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。

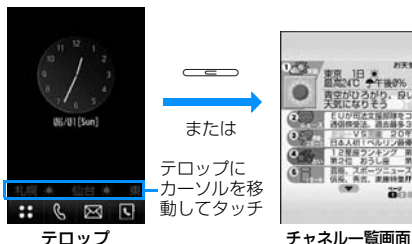
- ｉチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ｉチャネルを表示する

ｉチャネルを契約した場合、情報を受信したタイミングで待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。

- テロップを自動的に表示するには「テロップ表示」を「ON」に設定してください。→P164
- 公共モード（ドライブモード）設定中は、テロップは表示されません。

1 待受画面▶ 、またはテロップにカーソルを移動してタッチ

テロップ　　チャネル一覧画面

2 ▲／▼をタッチして、チャネル項目を選択▶［選択］

サイトに接続し、詳細情報が表示されます。

お知らせ

- 情報受信中は が点滅します。
- 情報を受信しても、着信音、バイブレータは鳴動しません。また、イルミネーションも点灯／点滅しません。
- 端末の電源がOFF、もしくは圏外であった場合や、電波状況が良くないときは、情報を受信できない場合があります。待受画面で を押して情報を受信すると、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。また、お買い上げ時の状態のままでは情報を受信できない場合があります。その場合は、待受画面で を押すと情報を受信し、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。
- ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したタイミングで情報を受信する場合があります。
- 「接続先選択」で接続先を変更した場合は、ｉチャネルの接続先も変更されます（通常は設定を変更する必要はありません）。
- ｉチャネル解約後などは、自動的に表示されなくなります。
- 待受画面にｉモーションを設定している場合、ｉモーション再生中はテロップが表示されません。
- 次の場合、チャネル情報が取得できなかったというメッセージが表示されることがあります。
  - ｉチャネルの接続先を変更した場合
  - FOMAカードを差し替えた場合

ｉチャネル設定

ｉチャネルの設定を行う

待受画面にテロップを表示するかどうかや、テロップの流れる速度を設定します。また、FOMA端末に記録されたｉチャネルの情報をすべて削除できます。

1 ▶(imode)▶「ｉチャネル」▶次の操作を行う

［ｉチャネルリスト］
チャネル一覧画面を表示します。

［テロップ設定］

テロップ表示	：待受画面にテロップを表示するかどうかを設定します。
テロップ速度	：テロップの流れる速度を設定します。
テロップ文字サイズ	：テロップの文字サイズを設定します。
テロップ文字色	：テロップの文字色を設定します。

［ｉチャネル初期化］
FOMA端末に記録されたｉチャネルの情報をすべて削除して初期化します。また、テロップ設定もお買い上げ時の状態に戻します。

お知らせ

<テロップ表示>

- ｉチャネル解約前にｉモードサービス解約を行った場合、「テロップ表示」の設定はそのままになります。

メール

FOMA端末のメール機能について

FOMA端末では、ｉモードメール、SMSの2種類のメール機能を利用できます。

- ｉモードメールをご利用いただくには、ｉモードのご契約が必要です。
- SMSは、ｉモードをご契約されていなくてもご利用いただけます。

ｉモードメールとは

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内で10個までファイル（写真や動画ファイルなど）を添付することができます。また、デコメール®にも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えられるほか、デコメ®絵文字も使えて、簡単に表現力豊かなメールを送ることができます。

- ｉモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

SMSについて

ｉモードを契約しなくても、携帯電話番号のみで文字メッセージを送受信できます。
送信方法→P200　受信方法→P201　問い合わせ方法→P202

SMSの宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

- ドコモ以外の海外通信事業者とお客様との間で送受信を行う場合の宛先は、ドコモのホームページをご覧ください。

送受信できる文字数

SMSで送受信できる文字数は次のとおりです。

宛先	21文字（「＋」を含む）
SMS本文入力設定	日本語（70文字）
	英語（160文字）

SMSを受信できないとき

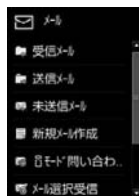
SMSセンターに届いたSMSは、すぐにお客様のFOMA端末に送信されます。ただし、お客様のFOMA端末の電源が入っていないときや圏外などで受信できないときは、SMS センターに保管されます。

お知らせ

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。「SMS有効期間」で保管期間を指定することもできます。→P202
- 保管期間が過ぎたSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、「SMS問い合わせ」により受信できます。→P202
- SMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。

メールメニュー

メールメニューを表示する

1 ✉▶次の操作を行う

メールメニュー画面

[受信メール]
受信メールフォルダ一覧画面を表示します。→P182

[送信メール]
送信メールフォルダ一覧画面を表示します。→P183

[未送信メール]
未送信メール一覧画面を表示します。→P184

[新規メール作成]
ｉモードメールを新規に作成します。→P167

[ｉモード問い合わせ]
ｉモード問い合わせを行って、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを受信します。→P179

[メール選択受信]
ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するｉモードメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでｉモードメールを削除したりできます。→P178

[SMS]
SMSを新規に作成したり、SMS問い合わせを行って、SMSセンターに保管されているSMSを受信したりします。→P200、P202

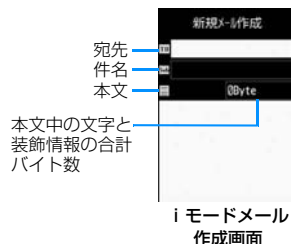
[テンプレート]
保存されているテンプレートの一覧を表示します。→P174

[メール設定]
メール機能を設定します。→P195

ｉモードメール作成／送信

ｉモードメールを作成して送信する

1 メールメニュー画面（P167）▶「新規メール作成」

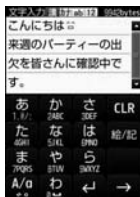
ｉモードメール作成画面

2 TO（宛先）欄にカーソルを移動してタッチ▶「直接入力」▶［OK］▶宛先を入力

- 半角で50文字まで入力できます。
- 電話帳や送信履歴、受信履歴から宛先を選択できます。→P168

3 Sub(件名)欄にカーソルを移動してタッチ▶件名を入力

- 全角で15文字、半角で30文字まで入力できます。

4 (本文)欄にカーソルを移動してタッチ▶本文を入力

- 全角で最大5000文字、半角で最大10000文字まで入力できます。

メール本文入力画面

5 [送信]

お知らせ

- 本文をデコレーションしたい場合→P171
- ファイルを添付して送信したい場合→P175
- 本文編集中に改行ができます。改行は全角1文字分としてカウントされます。
- スペースを挿入した場合、半角1文字分としてカウントされます。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- ｉモード端末どうしのメールのやりとり以外では、半角カタカナ、絵文字を使用すると、正しく表示されない場合があります。
- シークレットコードが設定されている宛先を入力した場合は、送信するときに自動的にシークレットコードが追加されます。ただし、送信したメールの宛先には追加されたシークレットコードは表示されません。
- ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては送信できなかった旨のエラーメッセージが表示される場合があります。
- デコメ®絵文字（絵文字D）を使用すると、デコメール®として送信されます。
- 題名や本文に絵文字を使用して他の携帯電話会社に送信すると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。ただし、送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。
- 送信が正常に終了したときは、ｉモードメールは送信メールBOXに保存されます。最大保存件数または最大保存容量を超えるときは、古い送信メールから順に削除されます。残しておきたい送信メールは保護してください。

ｉモードメール作成画面のサブメニュー

1 ｉモードメール作成画面(P167)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[送信]
メールを送信します。

[プレビュー]
送信メールのプレビューを表示します。

[保存]
作成中、編集中のメールを未送信メールに保存します。

[宛先追加]
複数の宛先に送信（同報送信）します。宛先は5件まで追加できます。

電話帳参照　：電話帳から宛先を選択します。
送信アドレス一覧：送信履歴から宛先を選択します。
受信アドレス一覧：受信履歴から宛先を選択します。
直接入力　：宛先を直接入力します。

[宛先削除]
選択中の宛先を削除します。

[宛先操作]

Toに変更：選択中の宛先をToに変更します。通常の宛先で、入力したメールアドレスは送信相手に表示されます。

Ccに変更：選択中の宛先をCcに変更します。直接の送信相手以外にメール内容を知らせたいときに指定します。Ccに入力したメールアドレスは、他の送信相手に表示されます。
- 受信側の端末や機器、メールソフトによっては、メールアドレスが表示されない場合があります。

Bccに変更：選択中の宛先をBccに変更します。他の送信相手に知られたくないときに指定します。Bccに入力したメールアドレスは、他の送信相手には表示されません。

[テンプレート]

読み込み：テンプレートを読み込んでデコメール®を作成します。→P174

保存：作成中のデコメール®をテンプレートとして保存します。

[添付ファイル操作]

ファイルを添付したり再生／表示、削除したりします。→P175

[カメラ起動]

フォトモード：静止画を撮影して添付します。
▶静止画を撮影▶

ビデオモード：動画を撮影して添付します。
▶動画を撮影▶

[冒頭文／署名]

冒頭文貼付：設定されている冒頭文を貼り付けます。

署名貼付：設定されている署名を貼り付けます。

[本文消去]

本文を削除します。

[メール削除]

作成中のメールを削除します。

お知らせ

<宛先追加>
- 複数のメールアドレスが登録されている電話帳を選択した場合は、どのメールアドレスを宛先に追加するかを、さらに選択します。

<宛先操作>
- メールアドレスが入力されていない場合は操作できません。

<テンプレート>
- 既に本文が入力されている場合は、本文を削除するかどうかを確認する画面が表示されます。テンプレートを読み込む場合は［はい］をタッチします。

メール本文入力画面のサブメニュー

1 メール本文入力画面（P168）▶［メニュー］▶次の操作を行う

[デコレーション] ※1

デコメール®の装飾（デコレーション）を選択するパレットを表示します。→P171

[範囲選択] ※2

デコレーションを設定する文字の範囲を選択します。
「デコレーションを変更する」の操作2（P173）へ進みます。
- 本文に文字が入力されていない場合は選択できません。

[定型文]

定型文を入力、編集します。→P314

[文字編集]

本文中の文字やデコレーションを選択してコピー、切り取り、貼り付けします。また、文字の入力や貼り付けを1つ前の状態に戻します。→P318

[辞書編集]

FOMA端末の辞書を編集します。→P319

[引用]
電話帳の登録内容などを引用します。→P314

[入力設定]
文字入力の設定を行います。→P314

[特殊入力]
スペースや改行、区点コードなどを入力します。→P314

[冒頭文／署名]
冒頭文：設定されている冒頭文を貼り付けます。
署名　：設定されている署名を貼り付けます。

[ジャンプ] ※2
文頭：文頭に移動します。
文末：文末に移動します。

[情報表示] ※2
添付ファイルの情報を表示します。

[プレビュー] ※2
本文のプレビューを表示します。

[入力中止] ※1
作成中のメールを削除します。

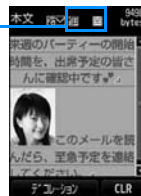
※1：「デコレーション」選択前にのみ表示されます。
※2：「デコレーション」選択後にのみ表示されます。

デコメール®

デコメール®を作成して送信する

ｉモードメールの本文編集では、文字の大きさや色、背景色を変更したり、画像を挿入するなどの装飾（デコレーション）を行ったりして、オリジナルメールを作成できます。

- 送信できるデコメール®のサイズは100Kバイト以内です。
- 最大20件、合計90Kバイト以内の画像が挿入できます。
- 受信側のｉモード端末によっては、閲覧用URLが付いたメールを受信します。ただし、端末によっては、閲覧用URLがないメールを受信することがあります。

カーソルがあたっている箇所に設定されているデコレーションが表示されます。

本文入力画面

1 メールメニュー画面（P167）▶「新規メール作成」

2 宛先、件名を入力

- 宛先、件名の入力方法→「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2、3（P167）

3 ▤(本文)欄にカーソルを移動してタッチ▶[メニュー]▶「デコレーション」▶[デコレーション]

パレット表示画面

4 パレットを操作して本文をデコレーションする

■ **デコレーションを選択してから文字を入力する場合**
操作方法については「本文をデコレーションする」(P171)を参照してください。

■ **文字を入力してからデコレーションを設定する場合**
操作方法については「デコレーションを変更する」(P173)を参照してください。

5 Close をタッチ

パレットが閉じられます。

■ **デコメール®の内容を確認する場合**
[メニュー] ▶「プレビュー」をタッチします。

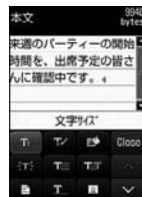
6 [確定]▶[送信]

お知らせ

- デコメール®対応ｉモード端末以外とデコメール®を送受信すると、デコレーションが正しく表示されない場合があります。
- デコレーションを設定した文字を削除しても、デコレーションデータのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。デコレーションの解除を行ってから文字を削除してください。▭を1秒以上押して文字を削除した場合は、デコレーションデータも含めて文字が削除されます。
- メール送信できない画像が含まれたテンプレートを利用すると、画像が削除される場合があります。

本文をデコレーションする

1 パレット表示画面(P171)▶次の操作を行う

- [文字入力]:パレットの操作から本文入力の操作に切り替えます。

[T(文字サイズ)]
文字のサイズを設定します。

[T(文字色)]
文字の色を設定します。
▶色を選択▶文字を入力

[▭(背景色)]
メール本文の背景色を設定します。

[(点滅)]
文字を点滅表示させます。

▶ (点滅：開始)▶文字を入力

- 点滅を終了するには、 (点滅：終了)をタッチします。

[(テロップ)]
文字を右から左へテロップ表示します。

▶ (テロップ：開始)▶文字を入力

- と間に入力した文字がテロップ表示します。
- テロップを終了するには、 (テロップ：終了)をタッチします。

[(スウィング)]
文字を左右にスウィング表示します。

▶ (スウィング：開始)▶文字を入力

- と間に入力した文字がスウィング表示します。
- スウィングを終了するには、 (スウィング：終了)をタッチします。

[(文字位置)]
入力する文字、挿入する画像の位置を設定します。

[(ライン挿入)]
メール本文にラインを挿入します。

[(画像挿入)]
データBOX：「マイピクチャ」に保存されている画像をメール本文に挿入します。
▶フォルダにカーソルを移動▶［開く］▶画像にカーソルを移動▶［選択］

静止画撮影：静止画を撮影して挿入します。
▶静止画を撮影▶

[(デコレーション変更)]
デコレーションを設定する文字の範囲を選択します。→P173

- 本文に文字が入力されていない場合は選択できません。

[(デコレーションなし)]
カーソルがある行のデコレーションを解除します。

[(元に戻す)]
設定したデコレーションを1つ前の設定に戻します。

[(コピー)]
範囲を指定して文字や画像、ラインなどをコピーします。

▶始点をタッチ▶［選択］▶終点をタッチ▶［選択］

[(切取り)]
範囲を指定して文字や画像、ラインなどを切り取ります。

▶始点をタッチ▶［選択］▶終点をタッチ▶［選択］

[(貼付け)]
コピー／切り取りしたデータをカーソルの後に貼り付けます。

[(デコレーションコピー)]
カーソルがある行の複数の設定をすべてコピーします。

[(デコレーション貼付け)]
「デコレーションコピー」でコピーした複数の設定を、カーソルがある行に貼り付けます。

[(全解除)]
設定したデコレーションをすべて解除します。

[Close]
パレットを非表示にします。

- 再びパレットを表示するには、［デコレーション］をタッチします。

[ ]
パレットの上半分を表示します。

[ ]
パレットの下半分を表示します。

お知らせ

<コピー／切取り>

- 「テロップ」「スウィング」が設定されている文字を選択して「コピー」「切取り」をしても、「テロップ」「スウィング」の設定は反映されません。
- デコメール®本文中にコピー・切り取りして貼り付けた場合、デコレーションの情報も貼り付けられます（一部のデコレーション情報を除く）。

<文字サイズ>

- デコメ®絵文字のサイズは設定できません。

<文字色>

- 絵文字の色も指定した文字色で表示されます。通常の色に戻したい場合は、文字色設定で（指定なし）を設定してください。

<点滅>

- 設定した点滅を、プレビュー画面やｉモードメール作成画面などで表示した場合、一定の時間が経過すると点滅表示は終了します。

<画像挿入>

- 挿入できる画像は最大20件で90Kバイト以内です。ただし、ファイルのサイズによっては添付可能な件数が少なくなることがあります。挿入できる画像の数やサイズを超えたときは、メッセージが表示されます。
- お買い上げ時は「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」フォルダに画像が保存されています。
- 同じ画像を複数挿入した場合は、挿入件数を1件として扱います。

デコレーションを変更する

1 パレット表示画面（P171）▶（デコレーション変更）にカーソルを移動▶［選択］

2 始点をタッチ▶［選択］▶終点をタッチ▶［選択］

- ［全選択］：全文を選択します。

3 次の操作を行う

［（文字サイズ）］
指定した範囲の文字のサイズを変更します。

［（文字色）］
指定した範囲の文字の色を変更します。

［（点滅）］
指定した範囲の文字を点滅表示します。
▶**（点滅：設定）**
- 点滅を解除するには、（点滅：解除）をタッチします。

［（テロップ）］
指定した範囲の文字を右から左へテロップ表示します。
▶**（テロップ：設定）**
- テロップを解除するには、（テロップ：解除）をタッチします。

［（スウィング）］
指定した範囲の文字を左右にスウィング表示します。
▶**（スウィング：設定）**
- スウィングを解除するには、（スウィング：解除）をタッチします。

［（文字位置）］
指定した範囲の文字、画像の位置を変更します。

［（デコレーションなし）］
指定した範囲のデコレーションを解除します。

次のページへ続く

お知らせ

- パレットを閉じた状態で、始点から終点をスライドして選択すると、選択した文字の範囲のデコレーションを変更することができます。操作3へ進みます。

テンプレート

テンプレートを利用してデコメール®を作成する

テンプレートとは、文字の大きさや画像挿入などのデコレーションが既に指定されているデコメール®用のひな形データです。お買い上げ時に保存されている以外に、サイトからダウンロードしたテンプレートなども設定できます。

1 iモードメール作成画面(P167)▶[メニュー]▶「テンプレート」▶「読み込み」▶[はい]

- メール本文に文字が入力されている場合は、入力した文字を削除してテンプレートを読み込みます。

2 テンプレートにカーソルを移動▶[選択]

選択したテンプレートが本文に挿入されます。

- テンプレート挿入後も本文を編集できます。

テンプレートを新規に作成する

オリジナルのテンプレートを作成します。作成したテンプレートはメールメニューの「テンプレート」に保存されます。

1 メールメニュー画面(P167)▶「テンプレート」▶[メニュー]▶「新規テンプレート作成」

2 テンプレートを作成する

- デコレーションの操作→P171

3 テンプレート作成後▶[確定]▶タイトル欄をタッチ▶タイトルを編集▶[完了]

お知らせ

- 本文がデコレーションされていない場合は、テンプレートとして保存できません。

テンプレートを編集する

オリジナルのテンプレートや作成したテンプレートを編集します。

1 メールメニュー画面(P167)▶「テンプレート」

テンプレート一覧画面

2 テンプレートにカーソルを移動▶[選択]▶[メニュー]▶「編集」▶テンプレートを編集する

- デコレーションの操作→P171

3 テンプレート編集後▶[確定]▶「上書き保存」/「新規保存」

上書き保存：編集元のテンプレートに上書き保存します。

新規保存　：編集したテンプレートを新規に保存します。
▶タイトル欄をタッチ▶タイトルを編集

4 [完了]

テンプレート一覧画面のサブメニュー

1 テンプレート一覧画面(P174)▶テンプレートにカーソルを移動▶[メニュー]▶次の操作を行う

[新規テンプレート作成]
テンプレートを新規に作成します。→P174

[編集]
選択中のテンプレートを編集します。→P174

[タイトル編集]
選択中のテンプレートのタイトルを編集します。

[情報表示]
選択中のテンプレートの情報を表示します。

[ソート]
条件を設定してテンプレートを並べ替えます。

[削除]

1件削除：選択中のテンプレートを削除します。

選択削除：テンプレートを選択して削除します。
▶削除したいテンプレートにチェックを付ける▶[完了]▶[はい]

全件削除：テンプレートをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶[はい]

[件数確認]
保存されているテンプレートの件数を表示します。

添付ファイル

ファイルを添付する

iモードメールに画像やメロディを添付して送信します。

- 最大10件、合計2Mバイトまで添付できます。ただし、ファイルのサイズによっては、添付可能な件数が少なくなることがあります。
- 添付可能なファイルは次のとおりです。
  - 画像（JPEG、GIF）
  - 動画／iモーション
  - メロディ
  - 電話帳
  - スケジュール
  - To Do
  - ブックマーク
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは添付できません。

1 iモードメール作成画面(P167)▶[メニュー]▶「添付ファイル操作」▶次の操作を行う

[添付ファイル追加]

イメージ　　：「データ BOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像を選択します。
▶フォルダにカーソルを移動▶［開く］▶画像にカーソルを移動▶［選択］

iモーション：「データ BOX」の「iモーション」内に保存されている動画／iモーションを選択します。
▶フォルダにカーソルを移動▶［開く］▶iモーションにカーソルを移動▶［選択］

メロディ　：「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディを選択します。
▶フォルダにカーソルを移動▶［開く］▶メロディにカーソルを移動▶［選択］

電話帳　：電話帳を選択します。

カレンダー　：FOMA端末に登録されているスケジュールを選択します。
▶日付にカーソルを移動▶［選択］▶スケジュールにカーソルを移動▶［選択］

To Do　：FOMA端末に登録されているTo Doを選択します。

Bookmark　：「ｉモード」と「フルブラウザ」の「Bookmark」内に保存されているブックマークを選択します。
▶「ｉモード」／「フルブラウザ」▶［OK］▶フォルダにカーソルを移動▶［選択］▶ブックマークにカーソルを移動▶［選択］

［添付ファイル削除］

選択中の添付ファイルを削除します。

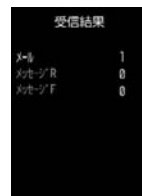
［再生／表示］

選択中の添付ファイルを再生／表示します。

お知らせ

<添付ファイル追加>

- GIF画像、添付されたメロディはmovaサービスのｉモード端末では受信できません。
- 2Mバイトを超える動画／ｉモーションは添付できません。「トリミング」でメールに添付できるサイズに変更してから添付してください。→P240
- 受信側の端末によっては、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示されたりする場合があります。500Kバイトを超える動画／ｉモーションを2Mバイト対応機種以外の機種に送るときは、以下の設定で撮影した動画がおすすめです。
サイズ制限：500Kバイト、サイズ選択：QCIF（176×144）、保存画質設定：スーパーファイン
- ｉモーションによっては、添付できない場合があります。

メール自動受信

ｉモードメールを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、ｉモードセンターから自動的にｉモードメールが送られてきます。

1 ｉモードメールを受信すると画面上部に ✉ が表示される

受信が完了すると、受信結果画面が表示されます。

- 何も操作しないで約30秒経過すると、受信する前の画面に戻ります。
- 「メール」をタッチすると、受信メールフォルダ一覧画面が表示されます。
- 受信したｉモードメールの詳細画面を表示するまで、画面上部には ✉、待受画面には ✉1（数字は件数）が表示されます。

受信結果画面

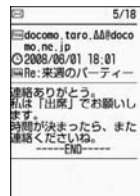
お知らせ

- 新しいｉモードメールが届いたときは、ｉモードセンターに保管されている他のｉモードメールやメッセージR/Fも受信します。
- ｉモードメールを選択受信するように設定すると、送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。センターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認してから選択して受信できます。→P178
- To、Cc、Bccを設定できる端末からメールを受信した場合、自分のアドレスがTo、Cc、BccのどれにあてはまるかFOMA端末で確認できます。→P185

- ｉモードメールではメロディや動画、静止画などを添付ファイルとして受信できます。対応していない添付ファイルはｉモードセンターで自動的に削除される場合があります。添付ファイルが削除された場合は、本文に「添付ファイル削除」のメッセージが追加されます。
- FOMA端末が対応していない添付ファイルは、FOMA端末に保存できません。microSDカードに保存したり、転送したりはできます。→P180
- ｉモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。→P181
- ｉモードメールに添付されているメロディや画像を受信するかどうかを「添付ファイル」設定で設定できます。→P195
- 受信したｉモードメールのデータ量が、「ｉMenu」▶「料金＆お申込・設定」▶「オプション設定」▶「メール設定」▶「メールサイズ制限」で設定した文字数（データ量）を超えた場合、本文中に表示される添付ファイル、貼り付けデータのファイル名を選択して受信できます。→P181
- FOMA端末に保存されている受信メールが（ｉモードメールとSMSの合計）が最大保存件数または最大保存容量を超えるときは、古い既読の受信メールから順に削除されます。残しておきたい受信メールは保護してください。
- 次のような場合にメールを受信したときは、ｉモードセンターに保管されます。
  - 電源OFFのとき　- テレビ電話中
  - セルフモード設定中　- 圏外のとき
  - 「メール選択受信設定」を「ON」に設定しているとき
  - 受信メールが保護や未読メールで満杯のとき
- ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、や が表示されます。ただし、電源OFFや圏外のときなど、ｉモードメールがあっても表示されない場合があります。
- 複数のｉモードメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメール、メッセージR/Fに設定されている着信音が鳴ります。

新着ｉモードメールを表示する

1 受信結果画面（P176）▶「メール」▶フォルダにカーソルを移動▶［選択］

2 表示したいメールにカーソルを移動▶［選択］

受信メール詳細画面

お知らせ

- ｉモードメールに添付された画像ファイルは正しく表示できない場合があります。
- 本FOMA端末で対応していない添付ファイルは、データBOXへの保存はできませんが、microSDカードへの保存とメール転送は可能です（microSDカードに保存した場合、ファイル名は「OTHER001」～「OTHER999」に変更されます）。

メール選択受信

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。メール選択受信を利用するためには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ON」に設定します。

メール選択受信を設定する

ｉモードメールを選択受信するために、「メール選択受信」を「ON」に設定します。

1 メールメニュー画面（P167）▶「メール選択受信」▶［メール選択受信設定へ］▶「ON」▶［完了］

設定後、ｉモードメールは自動的に受信できなくなります。

お知らせ

- 「メール選択受信」を「OFF」に設定する場合は、「メール選択受信設定」（P195）で行います。

メール選択受信の設定中にｉモードメールを受信すると

1 受信通知画面が表示される

／を押すか画面をタッチすると、通知画面が消えます。

受信通知画面

お知らせ

- ｉモードメールの受信をお知らせするやは表示されず、メール着信音も鳴りません。
- 受信通知画面表示中はｉチャネルのテロップが止まります。

ｉモードメールを選択受信する

「メール選択受信」を「ON」に設定後は、次の操作でｉモードメールを選択受信します。

1 メールメニュー画面（P167）▶「メール選択受信」

以降、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』の手順に従って操作してください。

■ 添付ファイルがある場合にメール選択受信の画面に表示されるアイコン

アイコン	ファイルの種類
(カメラ)	画像が添付されています。
(ビデオ)	ｉモーションが添付されています。
♪	メロディが添付されています。
(ファイル)	その他のファイルが添付されています。

お知らせ

- 「メール選択受信設定」を「ON」に設定している場合でも、「ｉモード問い合わせ」を利用するとすべてのメールを受信します。受信したくない場合は、問い合わせたい項目から「メール」を外してご利用ください。→P195
- メール選択受信は「ｉMenu」からも行えます。「ｉMenu」▶「メニューリスト」▶「メール選択受信」をタッチします。

ｉモード問い合わせ

ｉモードメールがあるかを問い合わせる

FOMA端末が圏外のときなど、受信できなかったｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに問い合わせると、保管されているｉモードメールを受信できます。

- ｉモードセンターにメールが保管されている場合は、画面に(アイコン)が表示されます。
- 問い合わせる項目（メール、メッセージR/F）は、「ｉモード問い合わせ」設定（P195）で選択できます。
- 圏外のときは、問い合わせできません。

1 (アイコン)を2秒以上タッチし続ける

問い合わせが完了すると、受信結果画面が表示されます。

お知らせ

- ｉモードセンターにｉモードメールが保管されている場合でも、FOMA端末の電源が入っていないときなどにセンターに届いた場合は、画面に(アイコン)が表示されない場合があります。

ｉモードメール返信

ｉモードメールに返事を出す

ｉモードメールの送信元に返信します。返信は新たに本文を入力する方法と受信したｉモードメールの本文を引用する方法があります。

1 受信メール詳細画面（P183）▶［メニュー］▶「返信」▶「返信」／「引用返信」

- 自分のアドレス以外に同報先がある場合は、「全員に返信」または「全員に引用返信」を選択できます。

2 件名、本文を入力

- 件名には、「Re:」が追加されます。
- 引用返信の場合は、引用した本文の頭に「>」が付きます。
- 件名、本文の編集方法→「ｉモードメールを作成して送信する」（P167）

3 ［送信］

お知らせ

- 送信メールが保存容量を超えた場合は、返信できません。保存されている送信メールを削除してから返信してください。
- 受信したデコメール®を引用返信した場合、デコレーションや画像はそのままの状態で本文に入力されます。ただし、FOMA端末外への出力が制限されている画像は入力されません。

i モードメール転送

i モードメールを他の宛先に転送する

受信した i モードメールを他の人に転送します。

1 受信メール詳細画面(P183)▶[メニュー]▶「転送」

2 宛先を入力

- 題名には、「Fw:」が追加されます。
- 宛先、本文の編集方法→「i モードメールを作成して送信する」(P167)

3 [送信]

お知らせ

- 転送する i モードメールにメールへの添付や本FOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付または貼り付けられているときは、それらのファイルや情報は削除されます。
- 送信メールが保存容量を超えた場合は、転送できません。保存されている送信メールを削除してから転送してください。
- 受信したデコメール®を転送した場合、デコレーションや画像はそのままの状態で本文に入力されます。ただし、FOMA端末外への出力が制限されている画像は入力されません。

メールアドレス／電話番号を電話帳に登録する

受信したメールに含まれるアドレスや電話番号を登録します。

本文中のアドレス／電話番号を登録する場合

1 受信メール詳細画面(P183)▶電話帳に登録したいアドレス／電話番号にカーソルを移動▶[メニュー]▶「登録」▶「電話帳登録」

アドレス確認画面

2 [はい]

「着信履歴やリダイヤルなどから電話帳に登録する」の操作2(P84)へ進みます。

宛先／送信元のアドレス／電話番号を登録する場合

1 受信メール詳細画面(P183)▶[メニュー]▶「登録」▶「アドレス登録」

宛先／送信元が複数ある場合は、さらに登録するアドレス／電話番号を選択します。

2 [はい]

「着信履歴やリダイヤルなどから電話帳に登録する」の操作2（P84）へ進みます。

ｉモードメールから添付ファイルを再生／保存する

ｉモードメールに添付または貼り付けられている画像やメロディ、動画／ｉモーションなどを再生、保存します。

選択受信添付ファイルを取得する

受信したメールのサイズが添付ファイルを含めて100Kバイトを超える場合、ｉモードセンターからファイルを取得する必要があります。

- 「メール設定」の「通信」の「添付ファイル」にて、チェックを外しているファイルも選択受信添付ファイルとして受信します。
- 保存期限を過ぎたファイルは取得できません。

1 受信メール詳細画面（P183）▶ファイル名にカーソルを移動してタッチ

お知らせ

- 受信メール用の空き容量が添付ファイルより少ないときは取得できません。

添付ファイルを表示／再生／保存／削除する

1 受信メール詳細画面（P183）▶添付ファイルにカーソルを移動

- 添付ファイルにカーソルを移動してタッチすると、添付ファイルを表示／再生します。

2 [メニュー]▶「添付ファイル操作」▶次の操作を行う

[保存]

選択中の添付ファイルを保存します。
- 画像は「データBOX」内「マイピクチャ」の「ｉモード」フォルダ（デコメ®絵文字として利用できる画像の場合は「デコメ絵文字」フォルダ）に保存されます。
- 動画／ｉモーションは「データBOX」内「ｉモーション」の「ｉモード」フォルダに保存されます。
- メロディは「データBOX」内「メロディ」の「ｉモード」フォルダに保存されます。
- 電話帳はFOMA端末の電話帳に登録されます。
- スケジュールはFOMA端末のスケジュールに登録されます。
- To DoはFOMA端末のTo Doリストに登録されます。
- ブックマークは「ｉモード」の「Bookmark」に保存されます。
- 上記以外の添付ファイルはmicroSDカード内「OTHER」フォルダに保存できます。
- microSDカードを取り付けている場合は、保存先を選択します。
- FOMA端末に画像を保存した場合は、保存した画像を待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。設定する場合は、[OK] をタッチします。

[表示／再生]

選択中の添付ファイルを表示／再生します。

[削除]

選択中の添付ファイルを削除します。

次のページへ続く

お知らせ

- 容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずにエラーメッセージとともに送信元に返信される場合があります。
- ｉモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。
- あらかじめ受信するｉモードメールのサイズを制限できます。
- 画像のサイズがディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 画像、動画／ｉモーションによっては表示・再生できない場合があります。
- 「メロディ自動再生」設定を「自動再生する」に設定している場合は、ｉモードメール表示時に自動的にメロディが再生します。
- ｉモーションメールをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。

貼り付けられた画像を保存する

1 受信メール詳細画面(P183)▶[メニュー]▶「挿入画像操作」

2 画像にカーソルを移動▶[選択]▶次の操作を行う

[保存]

選択中の画像を「データBOX」内「マイピクチャ」の「ｉモード」フォルダに保存します。

- microSDカードを取り付けている場合は、保存先を選択します。
- FOMA端末に保存した場合は、保存した画像を待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。設定する場合は、[OK]をタッチします。

[情報]

選択中の画像の情報を表示します。

受信メールBOX／送信メールBOX／未送信メール

受信／送信メールBOXのメールや未送信メールを表示する

- セキュリティが設定されたフォルダ内を表示するときは、端末暗証番号を入力します。

受信メールを表示する

- 受信メールは、ｉモードメールとSMSを合わせて最大1000件まで保存できます。ただし、データ量により保存できる件数は異なります。

1 メールメニュー画面(P167)▶「受信メール」

受信メールフォルダ一覧画面

2 フォルダにカーソルを移動▶[選択]

受信メール一覧画面

3 メールにカーソルを移動▶[選択]

受信メール詳細画面

送信メールを表示する

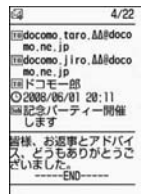
- 送信メールは、ｉモードメールと SMS、未送信メールを合わせて最大500件まで保存できます。ただし、データ量により保存できる件数は異なります。

1 メールメニュー画面(P167)▶「送信メール」

送信メールフォルダ一覧画面

2 フォルダにカーソルを移動▶[選択]

送信メール一覧画面

3 メールにカーソルを移動▶[選択]

送信メール詳細画面

未送信メールを表示する

- 未送信メールの件数は、送信メールの最大保存件数に含まれます。

1 メールメニュー画面（P167）▶「未送信メール」

未送信メール一覧画面

2 メールにカーソルを移動▶［選択］

選択したメールの種類に応じてｉモードメール／SMS作成画面が表示され、未送信メールが編集できます。

自動振り分け設定

送受信メールを自動的にフォルダに振り分ける

条件を設定して、メールを指定のフォルダに自動的に保存するように設定します。

- お買い上げ時に登録されている「受信BOX」「送信BOX」には設定できません。

1 受信メールフォルダ一覧画面（P182）／送信メールフォルダ一覧画面（P183）▶フォルダにカーソルを移動▶［メニュー］▶「自動振り分け設定」

2 ［メニュー］▶次の操作を行う

［アドレス］

メールアドレスを条件に設定して振り分けます。複数のメールアドレスを設定できます。

電話帳参照　：電話帳から選択して設定します。

送信アドレス一覧：送信履歴から選択して設定します。

受信アドレス一覧：受信履歴から選択して設定します。

直接入力　：メールアドレスを直接入力して設定します。

［題名］

メールの件名を条件に設定します。

［返信不可］※

選択中のフォルダに返信不可のメールを振り分けます。

［表示切替］

「自動振り分け設定」の画面で条件を表示する方法を設定します。

名前表示　：電話帳に登録されている名前で表示します。

アドレス表示：メールアドレスで表示します。

［解除］

1件解除：選択中の振り分け条件を解除します。

選択解除：振り分け条件を選択して解除します。
▶解除したい条件にチェックを付ける▶［完了］▶［はい］
- ［メニュー］をタッチして、「表示切替」を選択できます。

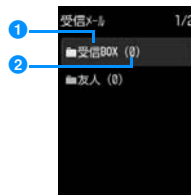
全件解除：選択中のフォルダに設定した振り分け条件をすべて解除します。

※：送信メールでは表示されません。

お知らせ

- 1つのフォルダには、「アドレス」「題名」「返信不可」の複数の種類の条件を同時に設定できません。
- 他のフォルダに設定されている振り分け条件と同じ条件は設定できません。

受信／送信／未送信メール画面の見かた

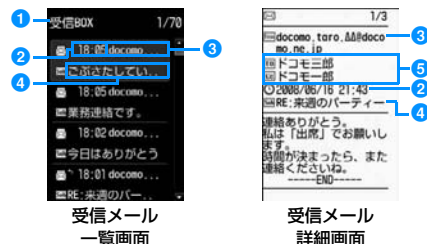
受信／送信メールフォルダ一覧画面

例：受信メール
フォルダ一覧画面

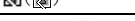
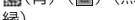
❶ **フォルダ名**
❷ **未読メール数**
受信メールフォルダ一覧画面に表示されます。

■ **受信／送信メールフォルダ画面に表示されるアイコン**

アイコン	説　明
(グレー)	「受信BOX」／「送信BOX」（お買い上げ時に登録されているフォルダ）
(青)	ユーザ作成フォルダ
	自動振り分け設定あり
	セキュリティ設定中
	未読メールあり

受信メール一覧画面／受信メール詳細画面

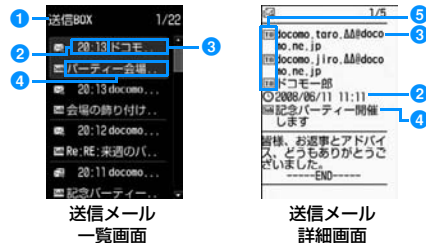
受信メール
一覧画面

受信メール
詳細画面

❶ **表示中のフォルダ名**
❷ **受信した日時**
受信メール一覧画面では、前日までに受信したメールは日付が表示され、当日受信したメールは時刻が表示されます。
❸ **送信元の電話番号／メールアドレス**
電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。※
※：「表示切替」が名前を表示する設定の場合→P189
❹ **件名**
SMSでは「SMS」と表示されます。
❺ **宛先の種類と同報先のアドレス**
メールが複数の宛先に同報送信された場合、宛先の種類（To、Cc）とアドレスが表示されます。メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

■ 受信メール一覧画面／受信メール詳細画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
／／	未読のｉモードメール／SMS／SMS送達通知
／／	既読のｉモードメール／SMS／SMS送達通知
	返信済み
	転送済み
（）	返信できない送信元のメールアドレス
／	返信できない同報先のアドレス
	保護されています。
	FOMAカードに保存されています。
	受信日時
（）	SMSの受信日時が日本標準時以外の場合
（）	メロディが貼り付けられています。
（）	メールの本文からｉアプリを起動できます。
／／／ ／／／ （／／／ ／／／）	メロディ／静止画／動画／電話帳／スケジュール／ブックマーク／その他のファイルが添付されています。
	複数種類の添付ファイル
	同じ種類の複数の添付ファイル（例：静止画のファイルの場合）
（）	破損した添付ファイル
（青）（）（黒緑）	削除された添付ファイル（例：静止画のファイルの場合）
（）（グレー）	未取得の添付ファイル （例：静止画のファイルの場合）
	取得に失敗しました。
（）（グレー）	取得途中で中断された添付ファイル（例：静止画のファイルの場合）
（）	FOMAカード動作制限機能が設定されている添付ファイルあり
	件名
／／	送信元がTo／Cc／Bccで送信
／	自分以外の同報先の宛先の種類（To／Cc）

※ 詳細画面での表示が異なる場合は（　）内に示しています。

送信メール一覧画面／送信メール詳細画面

送信メール一覧画面　　送信メール詳細画面

❶ **表示中のフォルダ名**

❷ **送信した日時**
送信メール一覧画面では、前日までに送信したメールは日付が表示され、当日送信したメールは時刻が表示されます。

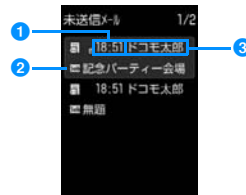
❸ **送信先の電話番号／メールアドレス**
電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。※
※：「表示切替」が名前を表示する設定の場合→P191

❹ **件名**
SMSでは「SMS」と表示されます。
❺ **宛先の種類**
送信した宛先の種類（To、Cc、Bcc）を表示します。

■ 送信メール一覧画面／送信メール詳細画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
／	送信済みのｉモードメール／SMS
	複数の宛先に送信済みのｉモードメール
	送信失敗
	複数の宛先に送信失敗
	保護されています。
	FOMAカードに保存されています。
	送信日時
（）	メロディが貼り付けられています。
（）	メールの本文からｉアプリを起動できます。
／／／／／／（／／／／／／）	メロディ／静止画／動画／電話帳／スケジュール／ブックマーク／その他のファイルが添付されています。
	複数種類の添付ファイル
	同じ種類の複数の添付ファイル（例：静止画のファイルの場合）
（）	FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルが添付されています。
Sub	件名
TO／Cc／Bcc	To／Cc／Bccで送信

※ 詳細画面での表示が異なる場合は（　）内に示しています。

未送信メール一覧画面

未送信メール
一覧画面

❶ **保存した日時**
前日までに保存したメールは日付が表示され、当日保存したメールは時刻が表示されます。
❷ **件名**
SMSでは「SMS」と表示されます。
❸ **送信先の電話番号／メールアドレス**
電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。※
※：「表示切替」が名前を表示する設定の場合→P193

■ 未送信メール一覧画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
	未送信のｉモードメール
	未送信のSMS

※上記以外は、送信メールと同様です。

受信メールフォルダ／送信メールフォルダ一覧画面のサブメニュー

1 受信メールフォルダ一覧画面（P182）／送信メールフォルダ一覧画面（P183）▶［メニュー］▶次の操作を行う

［フォルダ管理］

フォルダ追加：フォルダを追加します。

フォルダ名編集

：選択中のフォルダの名前を変更します。

フォルダ並べ替え

：選択中のフォルダの表示位置を選択して並べ替えます。

フォルダセキュリティ

：選択中のフォルダにセキュリティを設定／解除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

［削除］

フォルダ1件削除

：選択中のフォルダを削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

既読全削除※：受信メールフォルダ内の既読メールをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

全削除：受信メールフォルダ／送信メールフォルダ内のメールをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

［自動振り分け設定］

選択中のフォルダに、メールを自動的に保存するように設定します。
→P184

［赤外線全件送信］

受信メールフォルダ／送信メールフォルダ内のメールをすべて赤外線送信します。

▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶［はい］

［microSD全件コピー］

受信メールフォルダ／送信メールフォルダ内のメールをすべてmicroSDカードにコピーします。

▶端末暗証番号を入力▶［はい］

［件数確認］

受信メールフォルダ／送信メールフォルダと未送信メールフォルダ内のメール件数を表示します。

［フォルダ内表示］

選択中のフォルダ内を表示します。

※：送信メールでは表示されません。

お知らせ

<フォルダ名編集／フォルダ並べ替え／フォルダ1件削除／自動振り分け設定>

- お買い上げ時に登録されている「受信BOX」「送信BOX」フォルダでは利用できません。

<削除>

- フォルダ内に保護されたメールが含まれている場合は、フォルダを削除できません。
- 保護されているメール、FOMAカード内に保存されているSMSは削除されません。
- 未読メールがある場合、または「フォルダ1件削除」でフォルダ内にメールがある場合、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。削除する場合は［はい］をタッチします。

受信メール一覧画面のサブメニュー

1 受信メール一覧画面(P183)▶メールにカーソルを移動▶[メニュー]▶次の操作を行う

[フォルダ移動]

1件移動：選択中のメールを他のフォルダに移動します。

選択移動：メールを選択して他のフォルダに移動します。
▶移動したいメールにチェックを付ける▶［完了］▶移動先のフォルダにカーソルを移動▶［選択］
- ［メニュー］をタッチして、「表示切替」を選択できます。

全件移動：フォルダ内のメールをすべて他のフォルダに移動します。
▶移動先のフォルダにカーソルを移動▶［選択］

[削除]

1件削除：選択中のメールを削除します。

選択削除：メールを選択して削除します。
▶削除したいメールにチェックを付ける▶［完了］▶［はい］
- ［メニュー］をタッチして、「表示切替」を選択できます。

既読全削除：フォルダ内の既読メールをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

全件削除：フォルダ内のメールをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

送達通知全削除：フォルダ内のSMS送達通知をすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

[表示設定]

表示切替：メールの表示方法を設定します。

ソート：条件を設定してメールを並べ替えます。

[フィルタ]

条件に合うメールのみを表示します。

アドレス：特定のメールアドレスからのメールのみ表示します。
▶項目を選択▶アドレスを選択／入力

題名：特定の件名のメールのみ表示します。

未読のみ：未読メールのみ表示します。

既読のみ：既読メールのみ表示します。

保護のみ：保護されているメールのみ表示します。

非保護のみ：保護されていないメールのみ表示します。

イメージあり：画像が添付されているメールのみ表示します。

ｉモーションあり：ｉモーションが添付されているメールのみ表示します。

メロディあり：メロディが添付されているメールのみ表示します。

メール：ｉモードメールのみ表示します。

SMS：SMS、SMS送達通知のみ表示します。

全て：フォルダ内のメールをすべて表示します。

[全て既読]

フォルダ内のメールをすべて既読にします。

[保護／保護解除]

1件保護／解除：選択中のメールを保護または保護を解除します。

選択保護／解除：メールを選択して保護または保護を解除します。
▶保護したいメールにチェックを付ける▶［完了］▶［はい］
- ［メニュー］をタッチして、「表示切替」を選択できます。

全件保護：フォルダ内のメールをすべて保護します。

全件保護解除：フォルダ内のメールをすべて保護解除します。

[赤外線送信]

送信：選択中のメールを赤外線送信します。

全件送信：受信メールフォルダ内のメールをすべて赤外線送信します。
▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶［はい］

次のページへ続く

[microSDへコピー]

1件コピー　：選択中のメールをmicroSDカードへコピーします。

全件コピー　：フォルダ内のメールをすべてmicroSDカードへコピーします。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

[FOMAカード（UIM）]

FOMAカードにコピー
：選択中のSMSをFOMAカードにコピーします。

FOMAカードに移動
：選択中のSMSをFOMAカードに移動します。

FOMAカードからコピー
：選択中のSMSをFOMA端末本体へコピーします。

FOMAカードから移動
：選択中のSMSをFOMA端末本体へ移動します。

[件数確認]

フォルダ内のメール件数を表示します。

お知らせ

<削除>
- 未読メールがある場合は、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。削除する場合は［はい］を選択します。

<フィルタ>
- メールアドレスは完全一致、件名は部分一致したものを表示します。

受信メール詳細画面のサブメニュー

1 受信メール詳細画面（P183）▶［メニュー］▶次の操作を行う

[返信]

表示中のメールに返信します。→P179

[転送]

表示中のメールを転送します。→P180

[フォルダ移動]

表示中のメールを他のフォルダに移動します。

[削除]

表示中のメールを削除します。

[保護／保護解除]

表示中のメールを保護または保護を解除します。

[登録]

表示中のメールに含まれるアドレスや電話番号を電話帳に登録します。
→P180

[添付ファイル操作]

表示中のｉモードメールに添付されているファイルを保存、再生／表示、削除します。→P181

[挿入画像操作]

表示中のｉモードメールに含まれている画像を保存したり、情報を確認したりできます。→P182

[文字サイズ設定]

メール表示画面の本文の文字サイズを設定します。

[コピー]

表示中のメールの内容をコピーします。

本文　：本文の内容を選択してコピーします。→P318

題名　：件名をコピーします。

アドレス：宛先をコピーします。同報先のアドレスがある場合は、メールアドレス一覧画面からコピーする宛先を選択します。

[テンプレート保存]

デコメール®をテンプレートとして保存します。

▶タイトル欄をタッチ▶タイトルを編集▶［完了］

[エクスポート]

赤外線送信：表示中のメールを赤外線送信します。

microSDへコピー

：表示中のメールをmicroSDカードへコピーします。

FOMAカード（UIM）

：表示中のSMSをFOMAカードへコピー／移動、またはFOMAカードからFOMA端末本体へコピー／移動します。

お知らせ

<保護>

- 最大1000件まで保護できます。

<削除>

- 保護されているメールは削除できません。

送信メール一覧画面のサブメニュー

1 送信メール一覧画面（P183）▶メールにカーソルを移動▶［メニュー］▶次の操作を行う

[再編集]

送信したメールを編集して送信します。→P167、P200

[フォルダ移動]

1件移動：選択中のメールを他のフォルダに移動します。

選択移動：メールを選択して他のフォルダに移動します。
▶移動したいメールにチェックを付ける▶［完了］▶移動先のフォルダにカーソルを移動▶［選択］
- ［メニュー］をタッチして、「表示切替」を選択できます。

全件移動：フォルダ内のメールをすべて他のフォルダに移動します。
▶移動先のフォルダにカーソルを移動▶［選択］

[削除]

1件削除：選択中のメールを削除します。

選択削除：メールを選択して削除します。
▶削除したいメールにチェックを付ける▶［完了］▶［はい］
- ［メニュー］をタッチして、「表示切替」を選択できます。

全件削除：フォルダ内のメールをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

[表示設定]

表示切替：メールの表示方法を設定します。

ソート　：条件を設定してメールを並べ替えます。

[フィルタ]
条件に合うメールのみを表示します。

アドレス：特定のメールアドレスへのメールのみ表示します。
▶項目を選択▶アドレスを選択／入力
題名：特定の件名のメールのみ表示します。
保護のみ：保護されているメールのみ表示します。
非保護のみ：保護されていないメールのみ表示します。
イメージあり：画像が添付されているメールのみ表示します。
ｉモーションあり：ｉモーションが添付されているメールのみ表示します。
メロディあり：メロディが添付されているメールのみ表示します。
メール：ｉモードメールのみ表示します。
SMS：SMSのみ表示します。
全て：フォルダ内のメールをすべて表示します。

[保護／保護解除]
1件保護／解除：選択中のメールを保護または保護を解除します。
選択保護／解除：メールを選択して保護または保護を解除します。
▶保護したいメールにチェックを付ける▶［完了］▶［はい］
- ［メニュー］をタッチして、「表示切替」を選択できます。

全件保護：フォルダ内のメールをすべて保護します。
全件保護解除：フォルダ内のメールをすべて保護解除します。

[赤外線送信]
送信：選択中のメールを赤外線送信します。
全件送信：送信メールフォルダ内のメールをすべて赤外線送信します。
▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶［はい］

[microSDへコピー]
1件コピー：選択中のメールをmicroSDカードへコピーします。
全件コピー：フォルダ内のメールをすべて microSD カードへコピーします。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

[FOMAカード（UIM）]
FOMAカードにコピー
：選択中のSMSをFOMAカードにコピーします。
FOMAカードに移動
：選択中のSMSをFOMAカードに移動します。
FOMAカードからコピー
：選択中のSMSをFOMA端末本体へコピーします。
FOMAカードから移動
：選択中のSMSをFOMA端末本体へ移動します。

[件数確認]
フォルダ内のメールの件数を表示します。

お知らせ

<フィルタ>
- メールアドレスは完全一致、件名は部分一致したものを表示します。

送信メール詳細画面のサブメニュー

1 送信メール詳細画面（P183）▶［メニュー］▶次の操作を行う

[再編集]
送信したメールを編集して送信します。→P167、P200

[フォルダ移動]
表示中のメールを他のフォルダに移動します。

[削除]
表示中のメールを削除します。

[保護／保護解除]
表示中のメールを保護または保護を解除します。

[登録]
表示中のメールに含まれるアドレスや電話番号を電話帳に登録します。
→P180

[添付ファイル操作]
表示中のｉモードメールに添付されているファイルを保存、再生／表示、削除します。→P181

[挿入画像操作]
表示中のｉモードメールに含まれている画像を保存したり、情報を確認したりできます。→P182

[文字サイズ設定]
メール表示画面の本文の文字サイズを設定します。

[コピー]
表示中のメールの内容をコピーします。

本文：本文の内容を選択してコピーします。→P318

題名：件名をコピーします。

アドレス：宛先をコピーします。複数の宛先がある場合は、コピーする宛先を選択します。

[テンプレート保存]
デコメール®をテンプレートとして保存します。

▶タイトル欄をタッチ▶タイトルを編集▶［完了］

[エクスポート]

赤外線送信：表示中のメールを赤外線送信します。

microSDへコピー
：表示中のメールをmicroSDカードへコピーします。

FOMAカード（UIM）
：表示中のSMSをFOMAカードへコピー／移動、またはFOMAカードからFOMA端末本体へコピー／移動します。

お知らせ

<保護>
- 最大500件まで保護できます。

<削除>
- 保護されているメールは削除できません。

未送信メール一覧画面のサブメニュー

1 未送信メール一覧画面（P184）▶メールにカーソルを移動▶［メニュー］▶次の操作を行う

[削除]

1件削除：選択中のメールを削除します。

選択削除：メールを選択して削除します。
▶削除したいメールにチェックを付ける▶［完了］▶［はい］
- ［メニュー］をタッチして、「表示切替」を選択できます。

全件削除：未送信メールをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

[表示設定]

表示切替：メールの表示方法を設定します。

ソート：条件を設定してメールを並べ替えます。

[フィルタ]
条件に合うメールのみを表示します。

アドレス	：特定のメールアドレスへのメールのみ表示します。 ▶項目を選択▶アドレスを選択／入力
題名	：特定の件名のメールのみ表示します。
イメージあり	：画像が添付されているメールのみ表示します。
ｉモーションあり	：ｉモーションが添付されているメールのみ表示します。
メロディあり	：メロディが添付されているメールのみ表示します。
メール	：ｉモードメールのみ表示します。
SMS	：SMSのみ表示します。
全て	：未送信メールをすべて表示します。

[赤外線送信]

送信	：選択中のメールを赤外線送信します。
全件送信	：未送信メールをすべて赤外線送信します。 ▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶［はい］

[microSDへコピー]

1件コピー	：選択中のメールをmicroSDカードへコピーします。
全件コピー	：未送信メールをすべてmicroSDカードへコピーします。 ▶端末暗証番号を入力▶［はい］

[件数確認]
未送信メールの件数を表示します。

受信履歴／送信履歴／送受信履歴

メールの履歴を利用する

受信履歴／送信履歴には、メールを受信／送信した履歴がそれぞれ30件まで記録されます。また、「送受信履歴」として受信／送信した履歴が合わせて60件まで記録されます。これらの履歴を利用してメールを作成したり、履歴に含まれているメールアドレスを電話帳に登録したりできます。

- 記録可能件数を超えた場合は、古い情報から順に削除されます。

1 ▶（Phonebook&Logs）▶「通話／メール履歴」▶「受信履歴」／「送信履歴」

■ **送受信履歴を表示させる場合**
待受画面▶（2秒以上）を押します。

例：受信履歴一覧画面

2 履歴にカーソルを移動▶［表示］

❶ 電話帳に登録されている名前
❷ 相手のメールアドレス
❸ 受信／送信日時

例：受信履歴詳細画面

■ 受信履歴／送信履歴／送受信履歴に表示されるアイコン

アイコン	説　明
	受信したｉモードメール
	送信したｉモードメール
	受信したSMS
	送信したSMS
R	ローミング地域で受信／送信したメール／SMS※

※：受信／送信日時は現地時間で表示されます。

受信履歴／送信履歴／送受信履歴のサブメニュー

1 利用したい履歴にカーソルを移動▶［メニュー］▶次の操作を行う

［音声通話］
選択中の履歴の電話番号へ音声電話をかけます。

［テレビ電話発信］
選択中の履歴の電話番号へテレビ電話をかけます。

［メール作成］
選択中の履歴の宛先／送信元にメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作3（P168）へ進みます。

［電話帳登録］
選択中の履歴のメールアドレスを電話帳に登録します。「着信履歴やリダイヤルなどから電話帳に登録する」の操作2（P84）へ進みます。
- 未登録のメールアドレスのみ登録できます。

［カスタマイズ発信］
選択中の履歴の電話番号を変更して電話をかけます。

［通話履歴］※
電話の着信と発信を含むすべての履歴を表示します。

［削除］
選択中の履歴を削除します。

［全件削除］※
すべての履歴を削除します。

※：受信履歴／送信履歴／送受信履歴の詳細画面では表示されません。

メール設定

FOMA端末のメール機能を設定する

通信

通信の設定を行う

1 メールメニュー画面（P167）▶「メール設定」▶「通信」▶次の操作を行う

［メール選択受信設定］
メール選択受信（P178）を有効／無効にするために、ｉモードメールの自動受信をするかどうかを設定します。

ON　：メールを自動受信しません。

OFF：メールを自動受信します。

［添付ファイル］
ｉモードメールを受信する際に、取得する添付ファイルを設定します。

▶取得したい項目にチェックを付ける▶［完了］

［ｉモード問い合わせ］
「ｉモード問い合わせ」をするときに、問い合わせる項目を設定します。

▶問い合わせたい項目にチェックを付ける▶［完了］

次のページへ続く

お知らせ

<メール選択受信設定>

- 「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管され、受信通知画面（P178）が表示されます。

<添付ファイル>

- 受信しないように設定されている添付ファイルが送信された場合は、本文中にファイル名が表示され、選択して受信できます。
→P181

編集

冒頭文／署名／引用符を編集する

1 メールメニュー画面(P167)▶「メール設定」▶「編集」▶次の操作を行う

[冒頭文編集]

ｉモードメール本文に挿入する冒頭文を設定します。

▶［編集］▶冒頭文を入力

[署名編集]

ｉモードメール本文に挿入する署名を設定します。

▶［編集］▶署名を入力

[引用符編集]

ｉモードメールを引用返信するときに、受信メールから引用したことを表す記号を設定します。

▶引用符入力欄をタッチ▶引用符を入力▶［完了］

[自動貼付]

ｉモードメール作成時に冒頭文、署名を自動で貼り付けるかどうかを設定します。

▶貼り付けたい項目にチェックを付ける▶［完了］

表示

表示の設定を行う

1 メールメニュー画面(P167)▶「メール設定」▶「表示」▶次の操作を行う

[文字サイズ]

メール詳細画面の本文の文字サイズを設定します。

[メール一覧表示]

メール一覧画面でのメールの表示方法を設定します。

[セキュリティ]

メールメニューの受信／送信メールBOX、および未送信メールにセキュリティを設定します。セキュリティを設定したメールを表示するには、端末暗証番号の入力が必要になります。

▶端末暗証番号を入力▶設定したい項目にチェックを付ける▶［完了］

[メロディ自動再生]

メール表示画面で、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します。

[受信表示]

FOMA端末操作中（待受画面以外を表示中）にｉモードメール、メッセージR/Fを受信したときに、着信音や受信結果画面を表示してお知らせするかどうかを設定します。

通知優先：着信音や受信結果画面を表示してお知らせします。
- ｉモード中やメール本文作成中など、操作中の機能によっては受信結果画面は表示されません。

操作優先：FOMA端末の操作を優先し、着信音や受信結果画面などでお知らせしません。
- ディスプレイ消灯時にｉモードメール、メッセージR/Fを受信したときは、ディスプレイも点灯しません。

その他

その他の設定を行う

1 メールメニュー画面(P167)▶「メール設定」▶「その他」▶次の操作を行う

[メール設定確認]
「メール設定」で設定した内容を確認します。

[メール設定リセット]
「メール設定」で設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

メッセージ受信

メッセージR/Fを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、メッセージR、メッセージFがｉモードセンターから自動的に送られてきます。メッセージR/Fを受信すると画面表示や着信音、バイブレータなどでお知らせします。

- メッセージR/Fは、それぞれ最大100件まで保存できます。ただし、保存可能件数はデータ量により異なります。

新着メッセージR/Fを表示する

メッセージR/Fが届くと、最新の1件が自動的に表示されます。

- メッセージR/Fを受信した後に、詳細画面を自動表示するかどうかなどを「メッセージ自動表示」設定で変更できます。→P197

1 メッセージR/Fが届くと、自動的に受信する

- 受信完了後、メッセージR/Fの受信結果が表示されます。
- 何も操作しないで約30秒経過すると、受信する前の画面に戻ります。

メッセージ自動表示

メッセージR/Fを自動的に表示する

メッセージR/Fを受信したときの自動表示のしかたを設定します。

1 ｉモードメニュー画面(P142)▶「ｉモード設定」▶「表示」▶「メッセージ自動表示」▶設定したい項目をタッチ

メッセージR優先：メッセージR/Fを同時に受信したときに、メッセージRを自動表示します。
メッセージRのみ：メッセージRのみ自動表示します。
メッセージF優先：メッセージR/Fを同時に受信したときに、メッセージFを自動表示します。
メッセージFのみ：メッセージFのみ自動表示します。
自動表示なし：自動表示しません。

2 ［完了］

メロディ自動再生

メッセージR/F表示時のメロディの自動再生を設定する

メッセージR/Fを表示したときにメロディを自動再生するかどうかを設定します。

1 ｉモードメニュー画面(P142)▶「ｉモード設定」▶「表示」▶「メロディ自動再生」▶「自動再生する」／「自動再生しない」▶［完了］

iモード問い合わせ

メッセージR/Fがあるかどうか問い合わせる

FOMA端末が圏外などで受信できなかったメッセージR/Fは、iモードセンターに保管され、画面上部に[F✉]、[R✉]、[✉]が表示されます。
iモードセンターに問い合わせると、保管されているメッセージR/Fを受信できます。

- FOMA端末が圏外のときは、問い合わせできません。
- iモードセンターに問い合わせる項目（iモードメール、メッセージR/F）は、「iモード問い合わせ」設定（P195）で設定できます。

1 iモードメニュー画面(P142)▶「iモード問い合わせ」

問い合わせが完了すると、受信結果画面が表示されます。

2 「メッセージR」／「メッセージF」

お知らせ

- 次のような場合にメッセージR/Fを受信したときは、iモードセンターに保管されます。
  - 電源OFFのとき
  - テレビ電話中
  - セルフモード設定中
  - 圏外のとき
  - FOMA端末のメッセージR/Fが満杯のとき

メッセージR／メッセージF

メッセージR/Fを表示する

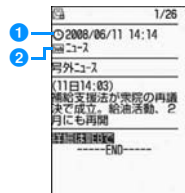
iモードセンターからメッセージR/Fが届くと、画面の上部に[R]、[F]が表示されます。

1 iモードメニュー画面(P142)▶「メッセージ」▶「メッセージR」／「メッセージF」

❶受信した日時
❷件名

例：メッセージR一覧画面

2 メッセージR/Fにカーソルを移動▶[選択]

❶受信した日時
❷件名

例：メッセージR詳細画面

■ メッセージR/F一覧画面／詳細画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
／	未読のメッセージR/F
／	既読のメッセージR/F

※ 上記以外は、受信メールと同様です。→P186

メッセージR/F一覧画面のサブメニュー

1 メッセージR/F一覧画面(P198)▶メッセージにカーソルを移動▶[メニュー]▶次の操作を行う

[削除]

1件削除　：選択中のメッセージR/Fを削除します。

選択削除　：メッセージR/Fを選択して削除します。
▶削除したいメッセージR/Fにチェックを付ける▶［完了］▶［はい］
• ［メニュー］をタッチして、「表示切替」を選択できます。

既読全削除：既読のメッセージR/Fをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

全件削除　：メッセージR/Fをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

[表示設定]

表示切替　：メッセージR/F一覧画面の表示方法を設定します。
　1行表示：件名のみを1行で表示します。
　2行表示：件名と受信日時を合わせて2行で表示します。

ソート　：条件を設定してメッセージR/Fを並べ替えます。

[フィルタ]

条件に合うメッセージR/Fのみを表示します。

題名　：特定の件名のメッセージR/Fのみ表示します。

未読のみ　：未読のメッセージR/Fのみ表示します。

既読のみ　：既読のメッセージR/Fのみ表示します。

保護のみ　：保護されているメッセージR/Fのみ表示します。

非保護のみ　：保護されていないメッセージR/Fのみ表示します。

イメージあり：画像が添付されているメッセージR/Fのみ表示します。

メロディあり：メロディが添付されているメッセージR/Fのみ表示します。

全て　：メッセージR/Fをすべて表示します。

[全て既読]

メッセージR/Fをすべて既読にします。

[保護／保護解除]

1件保護／解除　：選択中のメッセージR/Fを保護または保護を解除します。

選択保護／解除：メッセージR/Fを選択して保護または保護を解除します。
▶保護したいメッセージR/Fにチェックを付ける▶［完了］▶［はい］
• ［メニュー］をタッチして、「表示切替」を選択できます。

全件保護　：メッセージR/Fをすべて保護します。

全件保護解除　：メッセージR/Fの保護をすべて解除します。

[件数確認]

メッセージR/Fの件数を表示します。

お知らせ

<削除>
• 未読のメッセージR/Fがある場合は、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。削除する場合は［はい］をタッチします。

メッセージR/F詳細画面のサブメニュー

1 メッセージR/F詳細画面(P198)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[削除]
表示中のメッセージR/Fを削除します。

[保護／保護解除]
表示中のメッセージR/Fを保護または保護を解除します。

[電話帳登録]
表示中のメッセージR/Fの本文に記載されているメールアドレス、電話番号を電話帳に登録します。→P180

[添付ファイル操作]
表示中のメッセージR/Fの添付ファイルを保存、再生／表示します。→P181

[挿入画像操作]
表示中のメッセージR/Fに挿入されている画像を保存したり、情報を確認したりできます。→P182

[背景画像操作]
表示中のメッセージR/Fの背景画像を保存します。

▶「保存」▶［はい］
- 画像の情報を確認する場合は「情報」を選択します。

[表示設定]
利用できない項目です。

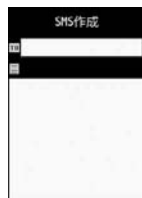
お知らせ

<保護>
- メッセージR/Fは、それぞれ最大100件まで保護できます。

<削除>
- 保護されているメッセージは削除できません。

SMS作成／送信
SMSを作成して送信する

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国、海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。

1 メールメニュー画面(P167)▶「SMS」▶「SMS作成」

SMS作成画面

2 TO(宛先)にカーソルを移動してタッチ▶「直接入力」▶[OK]▶電話番号を入力
- 21桁（「+」含む）まで入力できます。
- 電話番号の入力画面で［メニュー］をタッチして「国際ダイヤルアシスト」「プレフィックス選択」「キャンセル」を選択できます。
- 電話帳や送信履歴、受信履歴から宛先を選択できます。→P201

3 (本文)欄にカーソルを移動してタッチ▶本文を入力
- 入力できる文字数は、「SMS本文入力」の設定により異なります。

4 [送信]

お知らせ

- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「+」（0を1秒以上タッチし続ける）－「国番号」－「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる番号は「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」－「国番号」－「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください）。
- 電波状況により、相手に文字が正しく送信されない場合があります。
- 海外通信事業者を利用している相手にSMSを送信したとき、本文中に相手側が対応していない文字が含まれる場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。
- 「発信者番号通知」の「通知設定」を「通知しない」に設定していても、送信相手には発信者番号が通知されます。
- 送信元が公衆電話、通知不可能のSMSには返信できません。
- SMS送信時、以外の「絵文字」「絵文字熟語」は、受信側では半角スペースに置き換わって表示されます。

SMS作成画面のサブメニュー

1 SMS作成画面(P200)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[送信]
SMSを送信します。

[保存]
作成中や編集中のSMSを未送信メールとして保存します。

[宛先入力]

電話帳参照	：電話帳から宛先を選択します。
送信アドレス一覧	：送信履歴から宛先を選択します。
受信アドレス一覧	：受信履歴から宛先を選択します。
直接入力	：宛先を直接入力します。

[SMS送達通知]
SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかどうかを設定します。→P202

[SMS有効期間]
送信したSMSがSMSセンターに保管される期間を設定します。→P202

[本文消去]
本文を削除します。

[SMS削除]
作成中のSMSを削除します。

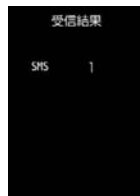
SMS受信

SMSを自動的に受信する

FOMA端末が圏内にあるときは、自動的にSMSが送られてきます。

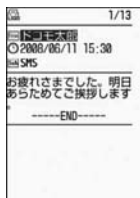
- 受信したSMSは、ｉモードメールと合わせて最大1000件保存できます。ただし、データ量により保存できる件数は異なります。

1 SMSを受信すると、画面上部に が表示される

受信が完了すると、受信結果画面が表示されます。
- 何も操作しないで約30秒経過すると、受信する前の画面に戻ります。
- 「SMS」をタッチすると、受信メールフォルダ一覧画面が表示されます。
- 受信したSMSの詳細画面を表示するまで、画面上部には、待受画面には（数字は件数）が表示されます。

受信結果画面

新着SMSを表示する

1 受信結果画面(P201)▶「SMS」▶フォルダにカーソルを移動▶[選択]

2 表示したいSMSにカーソルを移動▶[選択]

受信メール詳細画面

SMS問い合わせ

SMSがあるかどうかを問い合わせる

FOMA端末が圏外のときなど、受信できなかったSMSはSMSセンターに保管されます。SMSセンターに問い合わせると、保管されているSMSを受信できます。

- 圏外のときは、問い合わせできません。

1 メールメニュー画面(P167)▶「SMS」▶「SMS問い合わせ」

受信が完了すると、受信結果画面が表示されます。

SMS設定

SMSの設定を行う

SMS送達通知

SMSの送信時に、SMS送達通知を要求するかどうかを設定します。「要求する」に設定すると、SMSが相手に届いたことをお知らせするSMS送達通知が届きます。

1 メールメニュー画面(P167)▶「メール設定」▶「SMS」▶「SMS送達通知」▶「要求する」/「要求しない」▶[完了]

お知らせ

- SMS送達通知には、送信時間と送信相手の番号が表示されます。

SMS有効期間

送信したSMSが圏外などで届かなかった場合にSMSセンターに保管される期間を設定します。

- 「0日」を設定すると一定時間経過後に再送し、SMSセンターから削除します。

1 メールメニュー画面(P167)▶「メール設定」▶「SMS」▶「SMS有効期間」▶有効期間を選択▶[完了]

SMS本文入力

SMS本文に入力できる最大文字数を設定します。

1 メールメニュー画面(P167)▶「メール設定」▶「SMS」▶「SMS本文入力」▶設定したい項目をタッチ

日本語(70文字):最大文字数を70文字にします。
英語(160文字):最大文字数を160文字にします。日本語は入力できなくなります。

2 [完了]

SMSセンター

SMSセンターの設定をします。

通常は設定を変える必要はありません。

1 ▶ (Settings)▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶「SMSセンター」▶次の操作を行う

[SMSセンター]

DoCoMo:SMSセンターをドコモに設定します。
その他 :SMSセンターをドコモ以外に設定します。

[アドレス]

「SMSセンター」に「その他」を選択した場合、SMSセンターのアドレスを入力します。

[Type of number]

「SMSセンター」に「その他」を選択した場合に設定します。

unknown :SMS センターの電話番号が国際番号かどうか不明な場合に設定します。
international:SMSセンターの電話番号が国際番号の場合に設定します。

2 [完了]

ｉアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、さらにFOMA端末を便利にご利用いただけます。ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるｉアプリもあります。

- ｉアプリの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトからソフトをダウンロードして、FOMA端末に保存します。

- ダウンロードしたソフトは最大100件登録できます。ただし、ソフトのデータ量によって保存可能件数は少なくなる場合があります。
- ダウンロードできるｉアプリのサイズは、最大500Kバイトです。

1 サイト表示中▶ソフトにカーソルを移動▶［決定］

- ：ダウンロードを中止します。

■「ソフト情報表示設定」を「表示する」に設定している場合

ソフトの情報が表示されます。▶［はい］をタッチするとソフトがダウンロードされます。

2 ダウンロード完了後▶［はい］

ダウンロードしたソフトが起動します。

- ソフトによってはダウンロード完了後に通信設定画面が表示されることがあります。ソフト起動中に通信を行うことを許可する場合は「はい」を選択します。設定は後で「ソフト設定」から変更できます。→P211

お知らせ

- ダウンロード時に、「端末情報データ（登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号）」を利用することを通知する画面が表示される場合があります。［はい］をタッチするとダウンロードを開始します。利用する端末情報データの詳細を確認したい場合は［詳細］をタッチして確認してください。この場合、お客様の端末情報データはインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- 異なるFOMAカードでダウンロード済みのソフトを再ダウンロードする場合、上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。上書きする場合は［はい］をタッチします。
- ソフトが最大保存件数まで保存されている場合や、メモリの空き容量が不足している場合は、他のｉアプリを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。
  メモリの空き容量が不足している場合は、必要なメモリ容量を確認しながら削除するｉアプリを選択できます。
  削除する場合は［はい］▶メモリ容量を確認しながら削除するソフトにチェックを付ける▶［削除］▶［はい］をタッチすると、チェックを付けたソフトを削除してダウンロードを開始します。
- ダウンロード時に電波状況などの理由により、ダウンロードに失敗した場合は、そのソフトは未登録となります。
- ダウンロード時に、FOMA端末のメモリの空き容量が不足したため古いソフトを削除した後で、電波状況などによりダウンロードが失敗しても、古いソフトは復活できません。
- ダウンロード完了後すぐに起動するソフトによっては、保存できないソフトもあります。

ソフト情報表示設定
ダウンロード時にｉアプリの情報を見る

ダウンロード時に、ソフトの情報を表示するかどうかを設定します。

1 ▶(iαppli)▶「ｉアプリ設定」▶「ソフト情報表示設定」▶「表示する」／「表示しない」▶[完了]

ｉアプリを起動する

1 ▶(iαppli)▶「ソフト一覧」

ソフト一覧画面

■ ソフト一覧画面のアイコン

アイコン	説　明
	通常のｉアプリ
	ｉアプリDX
	自動起動が設定されているｉアプリ
	SSL対応ページからダウンロードしたｉアプリ

2 ソフトにカーソルを移動▶[選択]

- 「ソフト設定」の「通信設定」が「起動ごとに確認」に設定されている場合は、通信を許可するかどうかを確認する画面が表示されます。[はい]／[いいえ]をタッチします。

■ ｉアプリを終了する場合

▶[はい]をタッチします。

ソフトから他のソフトを起動するには

ソフトによっては、指定されたｉアプリを起動でき、ソフト一覧画面に戻ることなくソフトを楽しめます。起動させるソフトがあらかじめ指定されているものと、指定されていないものがあります。

起動するソフトが指定されている場合

ｉアプリ起動中に、指定されたソフトを起動するかどうかを確認する画面が表示されます。ｉアプリ起動中▶ソフトにカーソルを移動▶[はい]をタッチします。

起動するソフトが指定されていない場合

ｉアプリ起動中にソフト一覧を表示するかどうかを確認する画面が表示されます。[はい]▶ソフトにカーソルを移動▶[はい]をタッチします。

セキュリティエラーが起こったときは

ソフトが許可されている機能以外の動作をしようとすると、セキュリティエラーが表示され、その内容が「セキュリティエラー履歴」に記録されます。→P213

ソフトに異常があったときは

ソフトに異常があった場合は、その内容をトレース情報で確認できます。→P213

ｉアプリ作成者の方へ

ソフトを作成中、正常に動作しないときはトレース情報が参考になる場合があります。

お知らせ

- ソフトによっては、起動中に通信を行う場合があります。自動的に通信を行わないようにするには「ソフト設定」の「通信設定」で設定できます。→P211
- ソフト起動中に音声電話、テレビ電話がかかってきた場合、ソフトを中断して応答することができます。通話を終了すると元の画面に戻ります。
- ソフト起動中でもメールやメッセージR/Fを受信できます。ソフトは継続され、画面上部に、、が表示されます。受信したメールやメッセージR/Fを確認する場合はソフトを終了させてください。
- ｉアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
  ※：ｉアプリで利用する画像とは、カメラ連携（連動）アプリからカメラを起動して撮影した画像、ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像、サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像、ｉアプリがデータBOXから取得した画像などです。
- 異なるFOMAカードでダウンロードしたソフトは起動できません。
- ｉアプリによっては音の鳴らないものもあります。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのソフトの起動、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト情報の表示のみ可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信したりした場合、携帯電話は通信を行い、が点滅します。この際、通信料はかかりません。
- 操作キーの同時押しを必要とするソフトはご利用できません。

ソフト一覧画面のサブメニュー

1 ソフト一覧画面(P207)▶ソフトにカーソルを移動▶[メニュー]▶次の操作を行う

[ｉアプリTO設定]
選択中のソフトの起動条件を設定します。→P212

[自動起動時刻設定]
選択中のソフトを自動的に起動させるかどうかと、起動させる場合の日時などを設定します。→P212

[ソフト設定]
選択中のソフトの設定を行います。→P211

[ソフト情報]
ｉアプリのソフト名やバージョンなど選択中のソフトの情報を表示します。表示される項目はソフトによって異なります。

[バージョンアップ]
選択中のソフトをバージョンアップします。

[削除]
ソフトを削除します。→P213

お知らせ

<バージョンアップ>

- バージョンアップ時に、端末情報データ（登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号）を利用することを通知する画面が表示される場合があります。［はい］をタッチするとダウンロードを開始します。利用する端末情報データの詳細を確認したい場合は［詳細］をタッチして確認してください。この場合、お客様の端末情報データはインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

お買い上げ時に登録されているｉアプリ

お買い上げ時には次のｉアプリが登録されています。

ゲームソフト	脳オン
ゲーム以外のソフト	FOMA通信環境確認アプリ
	Gガイド番組表リモコン

- ｉアプリのタイトルは、画面の表示と異なる場合があります。

脳オン

さまざまなゲームで脳をトレーニングすることができます。右脳と左脳のどちらかを選択してゲームをしたり、脳力測定をしたりすることができます。

1 **ソフト一覧画面(P207)▶「脳オン」▶[選択]▶ ▲／▼／◀／▶／[OK]のいずれかをタッチ**

メニュー画面が表示されます。

2 **次の操作を行う**

- 終了する場合は［終了］をタッチします。

［ゲームスタート］

ゲームを開始します。

左脳　：左脳を鍛える4のゲームから選択できます。
▶開始したいゲームにカーソルを移動▶［OK］▶開始したいレベルにカーソルを移動▶［OK］

右脳　：右脳を鍛える5つのゲームから選択できます。
▶開始したいゲームにカーソルを移動▶［OK］▶開始したいレベルにカーソルを移動▶［OK］

試験　：左脳力測定／右脳力測定を行います。
▶開始したい脳力測定にカーソルを移動▶［OK］▶開始したいレベルにカーソルを移動▶［OK］

- 各ゲームは▲／▼／◀／▶で項目を選択します。

［環境設定］

サウンドを8段階で調整したり、保存されたデータを削除したりします。

［ヘルプ］

操作方法やゲームの内容を表示します。

- メニュー画面に戻る場合は［戻る］をタッチします。

［ゲーム成績］

記録されたゲームの成績をグラフや数値で表示します。

- メニュー画面に戻る場合は［戻る］をタッチします。

［終了］

ゲームを終了します。

次のページへ続く

■ゲームの操作について

操　作	説　明
▲／▼／◀／▶	カーソルの移動や項目を選択します。
[OK] ／ [確認]	項目を選択します。
[ポーズ]	ゲームを中断します。「ゲームを続ける」／「終了」を選択できます。
[戻る]	ポーズの画面を閉じます。
／	タッチするたびにダイヤルキーの表示／非表示を切り替えます。

FOMA通信環境確認アプリ

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

FOMA通信環境確認アプリとは、FOMA端末がFOMAハイスピードエリアを利用できるかどうかを確認するアプリです。

- FOMA通信環境確認アプリを利用する際は、「ご利用上の注意」に同意した上でご利用ください。
- 通信環境確認時の通信環境（天候や電波状況、ネットワークの混雑状況など）によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示される場合があります。
- 本アプリのご利用中に他の機能を利用すると正しく確認できない場合があります。

Gガイド番組表リモコン

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じたチャンネルが表示されます。

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利なｉアプリです。
知りたい時間の地上デジタル、地上アナログのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。
気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDレコーダーなどに録画予約をすることができます（リモート録画予約機能に対応しているDVDレコーダーなどが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です）。
さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワード、メイン画面上部のピックアップキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレイヤーのリモコン操作ができます（一部対応していない機種もあります）。

- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には、別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の「日付・時刻設定」を日本時間に合わせてください。

- Gガイド番組リモコンの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■ **リモート録画予約機能について**

リモート録画予約に対応しているDVDレコーダーなどをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。
リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

初期設定方法：

① DVDレコーダーなどにインターネット接続の設定をしてください（ご利用のDVDレコーダーなどの取扱説明書をご確認ください）。
② 本アプリを立ち上げ、メニューの「リモート録画予約」を選択するとガイダンスが表示されますので、ガイダンスに沿って初期設定を進めてください。

番組予約の方法：

初期設定が完了した後、お好きな番組を指定してメニューから「リモート録画予約」を選択すると、インターネット経由で本アプリに設定したDVDレコーダーなどと接続し、録画予約をすることができます。

- ご利用には、別途パケット通信料がかかります。

ソフト設定

iアプリの動作条件を設定する

ソフトごとに動作条件を設定します。ソフト起動中に自動的に通信するように設定したり、アイコン情報や電話帳などの参照を許可するかどうかを設定したりします。

- ソフトによって変更できない項目があります。

1 ソフト一覧画面(P207)▶ソフトにカーソルを移動▶[メニュー]▶「ソフト設定」▶次の操作を行う

[通信設定]
ソフト起動中に通信するかどうかを設定します。

[アイコン情報]
ソフトを起動したときにiモードメール、メッセージR/F、圏内／圏外、電池残量、マナーモードのアイコン情報の利用を許可するかどうかを設定します。

[電話帳／履歴参照]
ソフトを起動したときに、電話帳、着信履歴の参照を許可するかどうかを設定します。

[着信音／画像変更]
ソフトを起動したときに、着信音や待受画面などに設定されている画像やメロディを自動的に変更するかどうかを設定します。

2 [完了]

お知らせ

- 設定によっては、ソフトからのネットワーク接続（未読メール、電池残量など）の利用ができなくなります。

<通信設定>

- 「通信しない」に設定すると、ソフトが起動しない場合やタイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
- 「通信する」に設定すると、ソフトが自動的にネットワークに接続します。接続したときはパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

<アイコン情報>

- 「利用する」に設定すると、未読のメール、メッセージ、電池残量、マナーモード、圏内、圏外のアイコンの有無がお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」と同じようにインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。アイコン情報が必要なソフトの場合、「利用しない」に設定するとソフトが動作しない場合があります。

iアプリTo機能

サイトやメールからｉアプリを実行する

サイトやメール、赤外線通信、バーコードリーダーからソフトを起動するかどうかをソフトごとに設定します。

1 ソフト一覧画面（P207）▶ソフトにカーソルを移動▶［メニュー］▶「ｉアプリTO設定」▶ソフトの起動を許可する項目にチェックを付ける

サイトからｉアプリTo
：サイトからソフトを起動させます。

メールからｉアプリTo
：メールからソフトを起動させます。

赤外線からｉアプリTo
：赤外線通信からソフトを起動させます。

バーコードからｉアプリTo
：バーコードリーダーからソフトを起動させます。

2 ［完了］

自動起動設定

ｉアプリを自動起動する

- ｉアプリを自動起動するには、日付・時刻の設定が必要です。→P51

自動起動するかどうかを設定する

ソフトを自動的に起動するかどうかを設定します。

1 ▶（iαppli）▶「ｉアプリ設定」▶「自動起動設定」▶「許可する」／「許可しない」▶［完了］

起動日時を設定する

ソフトを自動的に起動する日時を設定します。最大3件のソフトに設定できます。

1 ソフト一覧画面（P207）▶ソフトにカーソルを移動▶［メニュー］▶「自動起動時刻設定」▶次の操作を行う

［時間間隔設定］
ソフトにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動します。

［起動時刻設定］
ｉアプリが自動起動する時刻を設定する場合にチェックを付けます。

［時間］※
自動起動する日付と時刻を設定します。
変更個所をタッチして、日付と時刻を入力し、［am］／［pm］を切り替えます。日付部分で をタッチするとカレンダー表示で選択できます。
- 「日付／時刻表示設定」（P105）の設定によっては、日付や時刻の表示順や表示内容が異なります。

［繰り返し］
自動起動の繰り返しパターンをタッチします。

1回：指定した日付と時刻に1回だけ自動起動します。
毎日：毎日指定した時刻に自動起動します。
曜日指定：毎週指定した曜日の指定した時刻に自動起動します。
▶自動起動させる曜日にチェックを付ける▶［OK］

※：「起動時刻設定」にチェックを付けると設定できます。

2 ［完了］

お知らせ

- 次の場合、ソフトは自動起動しません。
  - FOMA端末の電源がOFFのとき
  - 通話中、通信中
  - 他の機能を起動しているとき
  - オールロックを設定中（端末暗証番号入力画面表示中も含む）
  - 「プライバシーモード設定」の「ｉアプリ」を「ON」に設定中（端末暗証番号入力画面表示中も含む）
  - ソフトウェア更新の予約時刻、アラーム・スケジュール・To Doのアラーム時刻と同じ場合
  - 他のFOMAカードでダウンロードしたｉアプリの場合
  - 「通信設定」が「起動ごとに確認」に設定されているｉアプリの場合
  - 同じｉアプリの起動時刻の間隔が10分以内に設定されている場合
- 自動起動時刻に他のソフトを起動していた場合、ソフトは起動しません。また、他の機能を使用していた場合も起動しないことがあります。
- 自動起動に失敗すると待受画面にが表示されます。カーソルを移動してタッチすると、自動起動情報（P213）が表示されます。自動起動情報を確認すると、は表示されなくなります。

ｉアプリ情報

さまざまな情報を見る

1 ▶（iαppli）▶「ｉアプリ情報」▶次の操作を行う

［セキュリティエラー履歴］

セキュリティエラーによって終了したソフトのエラー履歴を表示します。

- ［削除］：選択中のエラー履歴を削除します。

［自動起動情報］

ソフトが自動起動できたかどうかを確認します。自動起動が設定された3件までのソフトの最新の起動日時と情報を確認できます。

起動○：正常に自動起動したソフト

起動×：自動起動に失敗したソフト

未起動：設定日時に達していない未起動のソフト

［トレース情報］

ソフトのトレース情報を表示します。

- ［削除］：トレース情報を削除します。

お知らせ

- 記録されていない履歴や情報は、表示されません。

ｉアプリを削除する

1 ソフト一覧画面（P207）▶ソフトにカーソルを移動▶［メニュー］▶「削除」▶削除方法をタッチ

1件：選択中のソフトを削除します。

選択：ソフトを選択して削除します。
▶削除したいソフトにチェックを付ける▶［削除］▶［はい］

全件：ソフトをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

お知らせ

- 「自動起動時刻設定」を設定している場合は、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。削除する場合は［はい］をタッチします。

ｉアプリのさまざまな機能を利用する

ｉアプリ起動中にサイトに接続したり、FOMA端末の機能を使ったりすることができます。

- 対応したｉアプリをあらかじめダウンロードしておく必要があります。
- ｉアプリによっては操作方法が異なったり、利用できなかったりする場合があります。

ｉアプリからカメラ機能を利用する

- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像は「データBOX」の「マイピクチャ」内には保存されず、ｉアプリの一部として保存、利用されます。

1 ｉアプリを操作してカメラ撮影を行う

ｉアプリからバーコードリーダーを利用する

- ｉアプリからカメラを利用して、QRコード、JANコードを読み取ることができます。
- 読み取った結果はソフトで利用／保存されます。

1 ｉアプリを操作してコードを読み取る

ｉアプリから赤外線通信を利用する

1 ｉアプリを操作して赤外線通信を行う

お知らせ

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。
- 赤外線通信によってｉアプリ起動データを受信し、ｉアプリを起動することもできます。
- 赤外線通信を実行するときに、サイトに接続していたりメールを送受信していたりする場合は、サイト接続やメールの送受信は中止されます。

フルブラウザ

フルブラウザ

パソコン向けのインターネットホームページを表示する

フルブラウザを利用すると、パソコン向けに作成されたインターネットホームページをFOMA端末で表示できます。

- ページによっては、正しく表示されないことがあります。
- 画像を多く含むインターネットホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

フルブラウザメニューを表示する

1 ▶ (imode)▶「フルブラウザ」▶次の操作を行う

フルブラウザメニュー画面

[ホーム]
「ホーム」として設定しているURLのインターネットホームページを表示します。

[Bookmark]
ブックマークフォルダの一覧画面を表示します。

[ラストURL]
最後に表示したインターネットホームページを表示します。

[Internet]
URL入力：URLを入力してインターネットホームページを表示します。→P216
URL履歴：URL履歴を選択してインターネットホームページを表示します。「URL履歴を使って表示する」の操作2（P149）へ進みます。

[フルブラウザ設定]
フルブラウザに関する機能を設定します。→P221

URLを入力して表示する

1 フルブラウザメニュー画面(P216)▶「Internet」

2 「URL入力」▶テキストボックスをタッチ▶URLを入力▶[OK]

- 半角で512文字まで入力できます。

3 [利用する]▶通信方法をタッチ▶[OK]

はい（今回のみ）：今回のみ通信します。
はい（以降確認しない）：以降は自動的に通信し、確認画面は表示されません。
いいえ：通信しません。

- 接続を中止する場合は、×または を押します。
- 入力したURLは、フルブラウザメニュー画面(P216)▶「Internet」▶「URL履歴」をタッチすると、URL履歴を利用してインターネットホームページを表示できます。操作方法は、ｉモードの「URL履歴を使って表示する」（P149）を参照してください。

- インターネットホームページを閉じるときは、[終話キー]▶［はい］をタッチします。

お知らせ

- フルブラウザの「アクセス設定」（P221）が、「利用しない」に設定されている場合、フルブラウザ起動時にフルブラウザを利用するかどうかを確認するアクセス設定画面が表示されます。［利用する］をタッチすると、アクセス設定が「利用する」に設定され、インターネットホームページが表示されます。フルブラウザを終了しても、この設定は有効です。ページによっては、表示に時間がかかる場合があります。
- 次の機能には対応しておりません。
  - フラッシュ画像の表示　- プラグイン　- 音の再生
  - 画面メモ保存　- Phone To（AV Phone To）
- ページによっては、自動的に通信するものがあります。通信を開始するときは、通信するかどうかの確認画面が表示されます。
- フルブラウザでは、SSL／TLS対応のページを表示できます。SSL／TLSは、証明／暗号技術を利用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式です。
- SSL／TLS通信にFOMA端末に保存されているユーザ証明書またはオリジナル証明書が必要な場合、証明書の選択画面が表示されます。

フレームページを表示する

複数のフレームで構成されたインターネットホームページを表示できます。サムネイル表示画面でフレームにカーソルを移動してタッチすると、フレーム拡大表示画面が表示されます。

- サムネイル表示画面で[▲]／[▼]を押してもカーソルを移動できます。
- フレーム拡大表示画面を表示中に、フレーム全体を表示したいときは、[キー]を押します。

マルチウィンドウで表示する

複数のウィンドウを同時に開いて、切り替えながら表示できます。

- ウィンドウは最大5つまで表示できます。フレーム数やページ内容によっては最大数まで表示できない場合があります。

1 インターネットホームページ表示中▶［メニュー］▶「ウィンドウ操作」▶「新ウィンドウで開く」▶次の操作を行う

［一覧］
ブックマークフォルダの一覧画面を表示します。

［Internet］
URL入力：URLを入力してインターネットホームページを表示します。→P216
URL履歴：URL履歴を選択してインターネットホームページを表示します。「URL履歴を使って表示する」の操作2（P149）へ進みます。

［ホーム］
「ホーム」として設定しているURLのインターネットホームページを表示します。

［リンク］
リンク先のページを表示します。

- 画面上部にタブが表示されます。ウィンドウを切り替えるには、表示したいタブをタッチします。表示中のインターネットホームページのタブが前面に表示されます。

フルブラウザ表示中の操作について

フルブラウザでの表示中の操作は、i モードのInternetメニューからのサイト表示操作（P146）と基本的な部分は共通です。ここでは、異なる部分を中心に説明します。

フルブラウザ表示画面のサブメニュー

1 インターネットホームページ表示中▶［メニュー］▶次の操作を行う

［前のページへ］
これまで表示してきたインターネットホームページをさかのぼって表示します。

［次のページへ］
インターネットホームページをさかのぼって表示したときに、表示中のインターネットホームページの次の画面を表示します。

［再読み込み］
表示中のインターネットホームページを再度読み込みます。

［Bookmark］
インターネットホームページをブックマークに登録したり、ブックマークフォルダの一覧画面を表示したりします。

［Internet］
URL入力：URLを入力してインターネットホームページを表示します。→P216
URL履歴：URL履歴を選択してインターネットホームページを表示します。「URL履歴を使って表示する」の操作2（P149）へ進みます。

［ホーム登録］
表示中のインターネットホームページを「ホーム」に登録します。

［ホーム］
「ホーム」として設定しているURLのインターネットホームページを表示します。

［画像保存］
インターネットホームページ上の画像をFOMA端末またはmicroSDカードに保存します。

▶保存したい画像にカーソルを移動▶［選択］▶［はい］

［表示］
インターネットホームページの表示関連の設定をします。

ズームイン：インターネットホームページの表示を拡大します。
ズームアウト：インターネットホームページの表示を縮小します。
画面倍率：インターネットホームページの表示倍率を設定します。
表示モード切替：インターネットホームページの表示モードを切り替えます。→P222
PagePilot：表示中のインターネットホームページの全体図を縮小表示し、表示範囲を決めることができます。
▶表示したい部分にカーソルを移動▶［選択］
フレーム全体表示：フレーム拡大表示画面を表示中に、フレーム全体を表示します。
フレーム選択：フレーム全体を表示中に、選択中のフレームを拡大表示します。

[ウィンドウ操作]

新ウィンドウで開く：新しいウィンドウで別のインターネットホームページを表示します。→P217

裏ウィンドウで開く：裏ウィンドウで別のインターネットホームページを表示します。→P217

リンクを開く：選択中のリンクを新しいウィンドウで表示します。
- リンク先が動画ファイルの場合、新ウィンドウを閉じて動画アプリケーションが起動します。

ウィンドウを閉じる：表示中のインターネットホームページを閉じます。

ウィンドウ切替：マルチウィンドウを表示中に、開いているインターネットホームページを一覧から選択します。

[テキストコピー]

インターネットホームページ上の文字をコピーします。

▶コピーしたい文字が含まれる範囲をスライドして選択▶［選択］▶始点をタッチ▶［選択］▶終点をタッチ▶［選択］

- ［全選択］をタッチすると全ての文字をコピーします。

[テキスト貼付]

コピーした文字を貼り付けます。

[ページ内検索]

表示中のインターネットホームページ内の文字を検索します。検索した文字があるときは、一致した文字が強調表示されます。

▶検索文字入力欄をタッチ▶検索文字を入力▶［選択］

- 完全に一致する語句だけを検索するには、「完全一致」にチェックを付けます。
- 大文字と小文字を区別して検索するときには、「大文字小文字の区別」にチェックを付けます。
- 一致する前／次の語句を検索するには［前］［次］をタッチします。
- 画面下部の文字入力欄をタッチすると、再度検索画面が表示されます。
- を押すと、ページ内検索を終了します。

[メール作成]

表示中のインターネットホームページのURLや、リンク先のURLを本文に入力したメール作成画面が表示されます。

- フルブラウザを終了するかどうかを確認する画面が表示されます。メールを作成する場合は、［OK］をタッチして、フルブラウザを終了します。
- 「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P167）へ進みます。
- リンクが選択されていないときは、「リンク先ページ」は選択できません。

[文字コード変換]

表示中のインターネットホームページの文字コードを変更します。

- 文字コード変換をするたびに、Shift-JIS→EUC→JIS→UTF-8の順に切り替わります。

[アニメーション再生]

表示中のGIFアニメーションを先頭のフレームから再生します。

[タイトル表示]

表示中のインターネットホームページのタイトルを表示します。

[URL表示]

表示中のインターネットホームページのURLを表示します。

- 表示したURLに接続するには、［メニュー］▶「接続」をタッチします。
- 表示したURLをコピーするには、［メニュー］▶「コピー」をタッチします。

[リンク先URL表示]

選択しているリンク先のURLを表示します。

- 表示したURLに接続するには、［メニュー］▶「接続」をタッチします。
- 表示したURLをコピーするには、［メニュー］▶「コピー」をタッチします。

[証明書表示]

インターネットホームページの証明書を表示します。

[設定]

画像表示：画像を表示するかどうかを設定します。

TLS：TLSを使用するかどうかを設定します。

次のページへ続く

[ページの先頭へ]
表示中のインターネットホームページの先頭へ移動します。

[ページの末尾へ]
表示中のインターネットホームページの末尾へ移動します。

お知らせ

- インターネットホームページによっては、文字が正しく表示されなかったり、実際のインターネットホームページ画面と同じ表示ができない場合があります。文字が正しく表示されない場合は、「文字コード変換」（P219）を行うと正しく表示できる場合があります。
- インターネットホームページ表示時に、通信エラーなどで画面に表示できるデータが何も取得できなかった場合、画面に☒が表示されることがあります。この場合はインターネットホームページの再読み込み（P218）を行うことで、正しく表示される場合があります。

<画像保存>
- 保存できる画像のサイズは、最大500Kバイトです。
- BMP形式とPNG形式の場合は、自動的にmicroSDカードの「OTHER」フォルダに保存されます。

画像をアップロードする

FOMA端末に保存しているJPEG形式、GIF形式の画像をインターネットホームページにアップロードできます。

- 画像をアップロードする方法は、インターネットホームページによって異なります。表示される画面に従って操作してください。

お知らせ

- アップロードできる画像のサイズは、最大80Kバイトです。ただし、複数の画像や文字列を含む場合は、合計で最大100Kバイトです。
- インターネットホームページによっては、アップロードできない場合があります。
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像はアップロードできません。

Bookmark
ブックマークに登録する

1 インターネットホームページ表示中▶[メニュー]▶「Bookmark」▶「登録」

2 タイトル欄をタッチ▶タイトルを編集▶[OK]▶登録したいフォルダにカーソルを移動▶[選択]

お知らせ

- ブックマークのフォルダ一覧やブックマーク一覧から行える操作は、ｉモードと同じです。→P149

ｉモードからフルブラウザに切り替える

ｉモードでインターネットホームページを表示中に、フルブラウザに切り替えて表示できます。

- ページによっては表示されない場合や、正しく表示されない場合があります。

1　ｉモードでサイト表示中▶［メニュー］▶「フルブラウザ切替」▶［OK］

フルブラウザ設定

フルブラウザの設定をする

ブラウザの機能を設定します。

通信

通信の設定を行う

1　フルブラウザメニュー画面（P216）▶「フルブラウザ設定」▶「通信」▶次の操作を行う

［アクセス設定］
フルブラウザ起動に関する注意事項を確認します。
- 設定を変更してフルブラウザ機能を利用する場合は、アクセス設定画面内の「注意事項の詳細」を必ずお読みください。

［Cookie設定］
Cookieを有効にするかどうかを設定します。Cookieとは、インターネットホームページに接続したときに、FOMA端末にユーザ名やアクセス日時、アクセス回数などのデータを一時的に保存しておき、次に同じページにアクセスしたときに送信して利用するしくみです。
- Cookieを有効にしたことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としましては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「有効（毎回確認）」を選択すると、「送信時のみ」「受信時のみ」「送受信時」を選択できます。

［Cookie削除］
Cookieを削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

［Referer設定］
リンクを選択してインターネットホームページを表示したときに、Referer（どこからリンクしてきたかを示すリンク元情報）を送信するかどうかを設定します。
- Refererを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

［TLS］
TLSは、認証や暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式です。TLSを使用するかどうかを設定します。

次のページへ続く

お知らせ

<アクセス設定>
- FOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、アクセス設定は無効になります。

<Cookie設定>
- FOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、Cookieは「無効」になります。
- 「無効」から「有効」/「有効（毎回確認）」に変更した場合、FOMAカード情報が一致しないときは、端末暗証番号の入力が必要になります。

表示

表示の設定を行う

1 **フルブラウザメニュー画面(P216)▶「フルブラウザ設定」▶「表示」▶次の操作を行う**

[画面倍率]
インターネットホームページの表示倍率を設定します。

[表示モード設定]
インターネットホームページの表示モードを切り替えます。

横スクロール有効：インターネットホームページを横スクロールモードで表示します。縮小表示をしません。上下左右にスクロールできます。
横スクロール無効：インターネットホームページを通常モードで表示します。ディスプレイの横幅に合わせて縮小表示します。上下にスクロールできます。

[画像表示設定]
画像を表示するかどうかを設定します。

[ウィンドウオープンガード設定]
インターネットホームページのJavaScriptから新規ウィンドウを開く指示があったときの動作を設定します。

有効：新規ウィンドウは開きません。
無効：新規ウィンドウが開くときに、確認画面が表示されます。

[Script設定]
JavaScriptを有効にするかどうかを設定します。JavaScriptとは、インターネットホームページで動作するプログラムです。
- ページによっては、「無効」に設定すると正しく表示できない場合があります。

ホーム設定

ホームの設定を行う

1 **フルブラウザメニュー画面(P216)▶「フルブラウザ設定」▶「ホーム設定」**

2 **テキストボックスをタッチ▶URLを入力▶[選択]**

その他

その他の設定を行う

1 **フルブラウザメニュー画面(P216)▶「フルブラウザ設定」▶「その他」▶次の操作を行う**

[フルブラウザ設定確認]
フルブラウザの各種設定を一覧表示します。

[フルブラウザ設定リセット]
フルブラウザの設定をリセットします。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

データ表示／編集／管理

データBOXについて

データBOXには次のような項目とフォルダがあります。サイトやｉモードメールから取得したデータなどが、種類に合わせて各フォルダに保存されます。

- マイピクチャ、ミュージック、ｉモーション、メロディには、それぞれ20個までフォルダを追加することができます。Music&Videoチャネルには、10個までフォルダを追加できます。
- マイピクチャ、ミュージック、ｉモーション、メロディに保存されているデータをその項目内の他のフォルダに移動できます。「Music&Video ch」に保存されているデータは「配信番組」フォルダから項目内の他のフォルダへ、または「配信番組」以外のフォルダ間でデータを移動できます。

マイピクチャ：静止画など		
ｉモード	サイトやメールから取得した静止画など	
カメラ	カメラで撮影した静止画やデータBOXに登録したスケッチメモ	
デコメピクチャ	お買い上げ時に登録されているデコメール®用画像など	
デコメ絵文字	お買い上げ時に登録されているか、またはサイトやメールから取得したデコメール®用絵文字	
プリインストール	お買い上げ時に登録されている静止画	
データ交換	赤外線通信で取得した静止画など	
アイテム	フレームやスタンプに使用できる静止画	
アニメーション	作成したアニメーション画像など	
microSD	microSDカードに保存されている静止画など	
	カメラ画像	カメラで撮影した静止画
	その他画像	静止画など
	デコメ絵文字	FOMA端末からコピーしたデコメール®用絵文字

ミュージック：着うたフル®とミュージックプレイヤーで作成したプレイリスト		
ｉモード	サイトから取得した着うたフル®	
プレイリスト	ミュージックプレイヤーで作成したプレイリスト	
microSD	移行可能コンテンツ	microSDカードに保存されている着うたフル®

Music&Video ch	
配信番組	Music&Videoチャネルで配信された音楽番組

ｉモーション：動画、ｉモーションなど	
ｉモード	サイトやメールから取得した動画／ｉモーションなど
カメラ	ビデオカメラで撮影した動画
プリインストール	お買い上げ時に登録されている動画
データ交換	赤外線通信で取得した動画など

iモーション：動画、iモーションなど		
microSD	microSDカードに保存されている動画やiモーションなど	
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のある動画やiモーション
	オーディオ	音声のみのiモーション
	動画	ビデオカメラで撮影した動画
メロディ：メロディなど		
iモード	サイトやメールから取得したメロディなど	
プリインストール	お買い上げ時に登録されているメロディ	
データ交換	赤外線通信で取得したメロディなど	
microSD	メロディ	microSDカードに保存されているメロディなど
SDオーディオ：microSDカードに保存されているSD-Audio規格対応の音楽データと、SDオーディオプレイヤーで作成したプレイリスト		

表示名／ファイル名／タイトルの違いについて

FOMA端末の静止画、Flash画像、動画／iモーション、メロディの各ファイルには、複数の名称があります。

表示名	データBOX内の一覧画面や表示／再生画面で表示される名称
ファイル名	パソコンや他の携帯電話などで表示される名称
タイトル※	FOMA L852iの管理用の名称（変更できません）

※：静止画、Flash画像のファイルにはありません。

ファイル一覧画面に表示されるアイコンについて

アイコン	説　明
（※1）	1つ上の一覧画面を表示
／	送信・microSDカードへの移動が可能なファイル／不可能なファイル
	ファイル制限あり
	FOMAカード動作制限機能が設定されているファイル
	microSDカード内のファイル
	再配布が禁止されているファイル
※2	ファイルの種類（JPEG／GIF／Flash／MP4（拡張子mp4）／MP4（拡張子3gp）／SMF／MFi／その他（未対応ファイル））

※1：リスト表示の場合に表示されます。
※2：一覧画面の種類によって、表示されるアイコンは異なります。

ピクチャビューア

画像を表示する

撮影した静止画、サイトやｉモードメールから取得した静止画などを表示します。

■ 表示可能なファイル形式について

ファイル形式※	JPEG、GIF
画素数	JPEG：1600×1200ドット以下 プログレッシブJPEG、GIF：800×600ドット以下
ファイルサイズ	2Mバイト以下
拡張子	jpg、gif

※：対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。

1 ▶ (Data box)▶「マイピクチャ」

- ／：ピクチャ表示とリスト表示を切り替えます。

マイピクチャ画面

2 フォルダにカーソルを移動▶［開く］

- 一覧画面に表示されるアイコン
→P225

❶ 選択中のファイルの表示名
❷ 選択中のファイルの種類

静止画ファイル一覧画面

3 ファイルにカーソルを移動▶［表示］

❶ 通し番号／保存件数
フォルダ内に保存されているファイルの通し番号／保存件数を表示します。
❷ ファイルの表示名

静止画表示画面

■ 静止画表示画面の操作

操　作	説　明
◀／▶	前のファイル／次のファイルを表示
［全画面］	画像を全画面で表示
＜／＞	全画面表示中に、前のファイル／次のファイルを表示

操　作	説　明
(拡大アイコン)	全画面表示中に、画像を拡大表示（拡大表示中は、以下の操作ができます） • ：拡大 • ：1つ前の倍率に戻す • 画像をスライド：表示位置を移動 • 操作時に、画面端に画像全体と表示領域を示します。

お知らせ

- 表示された静止画をタッチすることでも、画像を全画面表示することができます。
- FOMA L852iで撮影した静止画以外の画像では、静止画ファイル一覧画面に表示されない場合があります。

マイピクチャ画面のサブメニュー

1 マイピクチャ画面（P226）▶フォルダにカーソルを移動▶［メニュー］▶次の操作を行う

［名称変更］
選択中のフォルダの名前を変更します。全角／半角どちらも30文字まで入力できます。

［新規フォルダ］
フォルダを作成します。
- 作成したフォルダの中にさらにフォルダを作成することはできません。

［1件削除］
選択中のフォルダを削除します。

▶［はい］▶端末暗証番号を入力

［リスト表示・ピクチャ表示］
フォルダの表示方法を切り替えます。

［ソート］
条件を設定してフォルダ内のファイルを並べ替えます。

［メモリー情報］
本体メモリー：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。
外部メモリー：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

［フォルダ情報］
選択中のフォルダのサイズ、フォルダ内のファイル数などを表示します。

静止画ファイル一覧画面のサブメニュー

1 静止画ファイル一覧画面（P226）▶ファイルにカーソルを移動▶［メニュー］▶次の操作を行う

［ファイル］
表示：選択中のファイルを表示します。
編集：選択中のファイルを編集します。→P231
移動：選択中のファイルを他のフォルダに移動します。
▶移動先のフォルダにカーソルを移動してタッチ▶［移動］
コピー：選択中のファイルを他のフォルダにコピーします。
▶コピー先のフォルダにカーソルを移動してタッチ▶［コピー］
1件削除：選択中のファイルを削除します。
全件削除：フォルダ内のすべてのファイルを削除します。
▶［はい］▶端末暗証番号を入力
名称変更：選択中のファイルの表示名を変更します。

次のページへ続く

[複数選択]
ファイルを選択して削除します。

▶削除したいファイルにチェックを付ける▶［削除］▶［はい］
- 次の操作で複数のファイルの移動／コピーができます。
  ▶移動／コピーしたいファイルにチェックを付ける▶［メニュー］▶「移動」／「コピー」▶移動／コピー先のフォルダにカーソルを移動してタッチ▶［移動］／［コピー］
- ［メニュー］をタッチして、「削除」「選択」「全件選択」「解除」「全件解除」も選択できます。

[情報表示]
選択中のファイルのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。
→P230

[送信] ※
メール　：選択中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P167）へ進みます。
赤外線通信：赤外線通信で1件送信します。

[設定]
選択中のファイルを待受画面や着信画面などに設定します。
待受画面　：待受画面に設定します。
音声着信画面　：音声電話着信画面に設定します。
テレビ着信画面　：テレビ電話着信画面に設定します。

[リスト表示・ピクチャ表示]
ファイルの表示方法を切り替えます。

[ソート]
条件を設定してファイルを並べ替えます。

[メモリー情報]
本体メモリー：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。
外部メモリー：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

[新規フォルダ]
利用できない項目です。

※：Flashファイルでは利用できません。

静止画表示画面のサブメニュー

1 静止画表示画面(P226)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[画像編集] ※
表示中のファイルを編集します。→P231

[1件削除]
表示中のファイルを削除します。

[タイトル編集]
表示中のファイルの表示名を編集します。

[情報表示]
表示中のファイルのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。
→P230

[送信] ※
メール　：選択中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P167）へ進みます。
赤外線通信：赤外線通信で1件送信します。

[全画面表示]
画像を全画面で表示します（全画面表示中は、次の操作ができます）。
- ［戻る］／［ボタン］：全画面表示を元の表示へ戻します。
- ［<］／［>］：前の画像／次の画像を表示します。
- ［拡大］：画像を拡大表示します。

[ズーム]
画像を拡大表示します（拡大表示中は、次の操作ができます）。
- 🔍+：拡大
- 🔍-：1つ前の倍率に戻す
- 画像をスライド：表示位置を移動
- 操作時に、画面端に画像全体と表示領域を示します。

[設定]
表示中のファイルを待受画面や着信画面などに設定します。

待受画面　：待受画面に設定します。
音声着信画面　：音声電話着信画面に設定します。
テレビ着信画面　：テレビ電話着信画面に設定します。

[表示設定]
画像の表示方法やズーム、アニメーションの表示間隔などを設定します。
→P230

※：Flashファイルでは利用できません。

Flash画像を表示する

サイトなどから取得したFlash画像を表示します。

■ 表示可能なファイル形式について

ファイル形式※	Flash
ファイルサイズ	100Kバイト以下
拡張子	swf

※：対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

1 ▶ (Data box)▶「マイピクチャ」

2 フォルダにカーソルを移動▶[開く]

3 ファイルにカーソルを移動▶[表示]

Flash再生画面

❶ **通し番号／保存件数**
フォルダ内に保存されているファイルの通し番号／保存件数を表示します。
❷ **ファイルの表示名**

■ Flash再生画面の操作

操　作	説　明
[全画面]	画像を全画面で表示
◀／▶	全画面表示中に、前のファイル／次のファイルを表示
🔍	全画面表示中に、画像を拡大表示（拡大表示中は、以下の操作ができます） • 🔍+：拡大 • 🔍-：1つ前の倍率に戻す • 画像をスライド：表示位置を移動 • 操作時に、画面端に画像全体と表示領域を示します。
◀／▶	前のファイル／次のファイルを再生

Flash再生画面のサブメニュー

1 Flash再生画面(P229)▶[メニュー]▶次の操作を行う

- Flash再生画面のサブメニューは、「リトライ」以外は「静止画表示画面のサブメニュー」(P228)と同じです。ただし、「画像編集」と「送信」は利用できません。

[リトライ]
Flashを最初から再生します。

画像の情報を表示する

1 静止画ファイル一覧画面(P226)/静止画表示画面(P226)/Flash再生画面(P229)▶[メニュー]▶「情報表示」

- [編集]:情報を編集します。

■ 情報表示画面に表示される情報

項　目	情報内容
ファイル名	ファイル名を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示
ファイル種別※	ファイル形式を表示
保存日時	保存日時を表示
表示サイズ※	解像度を表示
ファイル制限	ファイル制限が設定されているかどうかを表示
取得元	取得元を表示
microSDへの移動	microSDカードへの移動が可能かどうかを表示

※:Flashファイルでは表示されません。

静止画の表示方法を設定する

画像の表示方法やズーム、アニメーションの表示間隔などを設定します。

1 静止画表示画面(P226)/Flash再生画面(P229)/アニメーション一覧画面(P234)▶[メニュー]▶「表示設定」▶次の操作を行う

[表示種類]
オリジナル表示:実際のサイズで表示します。
拡大表示:画面のサイズに拡大して表示します。

[ズーム種類]
オリジナル表示:画面のサイズに拡大して表示した画像をズームします。
等倍表示:実際のサイズで表示した画像をズームします。

[アニメーション間隔]
アニメーションの表示間隔を設定します。

2 [完了]

ファイル制限を設定する

ファイル制限を設定します。メールに添付して送信した場合、送信先のFOMA端末では送信、転送できなくなります。

1 ファイル制限を設定したいファイルにカーソルを移動▶[メニュー]▶「情報表示」

情報表示画面が表示されます。

2 「ファイル制限なし」▶［編集］▶「ファイル制限あり」▶［選択］

お知らせ

- サイトからダウンロードしたファイルなどでは、変更できません。

静止画編集

静止画を編集する

静止画を編集します。編集した静止画は、編集元のファイルが保存されているフォルダに保存されます。

- 編集できるファイルはJPEGファイルのみです。ただし、ファイルによっては編集できない場合があります。
- 静止画の編集を繰り返し行うと、画質が劣化したり、ファイルサイズが大きくなったりする場合があります。

1 静止画表示画面(P226)▶［メニュー］▶「画像編集」

静止画編集画面

2 ［メニュー］▶次の操作を行う

［保存］
編集した静止画を保存します。操作5へ進みます。

［回転］
左　：画像を左に90度回転します。
右　：画像を右に90度回転します。
180 ：画像を180度回転します。

［鏡像］
左／右 ：画像を水平方向に反転します。
上／下 ：画像を垂直方向に反転します。

［サイズ変更］
画像のサイズを変更します。→P232

［切り出し］
画像の一部を切り出します。→P233

［スケッチ］
指などで線や文字を描きます。
- ［メニュー］をタッチして、「ペン／消しゴム切替」「ペン色」を変更できます。また、「ペン／消しゴム切替」で「消しゴム幅」を選択すると、指などでなぞった箇所を消すことができます。

［挿入］
フレームやスタンプ、文字などを貼り付けます。

フレーム：画像にフレームを設定します。
▶フォルダにカーソルを移動▶［開く］▶フレームにカーソルを移動▶［選択］
- フレーム選択後、［メニュー］をタッチして、「フレーム変更」「回転」を選択できます。

スタンプ：スタンプを画像に貼り付けます。→P233

テキスト：画像に文字を貼り付けます。→P233

[補正]

画像の明るさやコントラスト、色調などを変更します。

明るさ　：画像の明るさを設定します。
▶バーをスライドして明るさを調節

コントラスト：画像のコントラストを設定します。
▶バーをスライドしてコントラストを調節

カラー変更　：画像の色を設定します。
▶Red（赤）／Green（緑）／Blue（青）の各色ごとにバーをスライドして調整

シャープネス：シャープな感じの画像に設定します。
▶バーをスライドしてシャープネスを調節

ソフトネス　：ソフトな感じの画像に設定します。
▶バーをスライドしてソフトネスを調節

[エフェクト]

画像の効果を設定します。

セピア　：セピア調に変換します。

白黒　：白黒に変換します。

ネガ　：ネガ調に変換します。

モザイク：モザイクをかけたい範囲に対角線を引くようにスライドします。
モザイクをかけたい範囲の左上に十字マークをスライド▶［選択］▶モザイクをかけたい範囲の右下までスライド▶［選択］
- ［メニュー］をタッチして、選択範囲の形を「四角」「丸」に変更できます。

[メール作成]

編集中の画像が添付されたｉモードメールを作成します。

[元に戻す]

実行した編集をキャンセルし、1つ前の状態に戻します。

3 [OK]

■ **編集を取り消す場合**
[戻る] をタッチします。

4 [保存]

■ **1つ前の状態に戻す場合**
［メニュー］▶「元に戻す」をタッチします。

5 「新規ファイル」▶[選択]

■ **元のファイルに上書き保存する場合**
「上書き」を選択します。

お知らせ

<フレーム>
- 設定可能なフレームサイズは壁紙（400×240）、CIF（352×288）、QVGA（320×240）、壁紙（240×400）、QCIF（176×144）、SQCIF（128×96）の6種類です。
- 編集元の画像サイズと同じフレームサイズのみ設定できます。

<補正>
- 編集元の画像サイズが640×480ドットより大きい場合は、補正できません。

<スケッチ／エフェクト>
- 編集元の画像サイズの縦または横が8ドット未満、または640×480ドットより大きい場合は、利用できません。

画像サイズを変更する

1 静止画編集画面（P231）▶[メニュー]▶「サイズ変更」

2 画像サイズを選択

3 [OK]▶静止画を保存する

• 「静止画を編集する」の操作4（P232）へ進みます。

お知らせ

- 編集元の画像サイズの縦または横が8ドット未満の場合は、サイズ変更できません。
- 編集元の画像と縦横比が異なるサイズを選択した場合は、元の縦横比を保ったままで拡大／縮小します。

画像の一部を切り出す

1 静止画編集画面（P231）▶[メニュー]▶「切り出し」

2 切り出しサイズを選択▶切り出したい範囲まで枠をスライド▶[選択]

■「ユーザ設定サイズ」を選択した場合

切り出したい範囲に対角線を引くようにスライドして、切り出す範囲を設定します。
切り出したい範囲の左上に十字マークをスライド▶［選択］▶切り出したい範囲の右下までスライド▶［選択］

3 [OK]▶静止画を保存する

• 「静止画を編集する」の操作4（P232）へ進みます。

お知らせ

- 編集元の画像サイズの縦または横が8ドット未満の場合は、画像を切り出しできません。

スタンプを貼り付ける

1 静止画編集画面（P231）▶[メニュー]▶「挿入」▶「スタンプ」

2 フォルダにカーソルを移動▶[開く]▶スタンプにカーソルを移動▶[選択]▶貼り付けたい位置までスライド

■ 別のスタンプを貼り付ける場合

［メニュー］▶「スタンプ変更」▶フォルダにカーソルを移動▶［開く］▶スタンプにカーソルを移動▶［選択］▶貼り付けたい位置までスライドします。

■ スタンプを回転させる場合

［メニュー］▶「回転」▶「左」／「右」／「180」から選択します。

3 [OK]▶静止画を保存する

• 「静止画を編集する」の操作4（P232）へ進みます。

お知らせ

- 編集元の画像サイズの縦または横が 24 ドット未満、または 640 × 480ドットより大きい場合は、スタンプを貼り付けできません。

文字を貼り付ける

画像に文字を貼り付けます。文字サイズやカラーの変更、回転を行ったり、吹き出しを貼り付けたりすることもできます。

1 静止画編集画面（P231）▶[メニュー]▶「挿入」▶「テキスト」

2 貼り付ける文字を入力する

3 [メニュー]▶文字の設定を行う

[テキスト編集]
貼り付けた文字を変更します。

[フォントサイズ]
文字の大きさを設定します。

[フォントカラー]
貼り付けた文字の色を設定します。

[回転]
貼り付けた文字を回転します。

[ふきだし]
吹き出しを設定します。

4 貼り付けたい位置までスライド

5 [OK]▶静止画を保存する

- 「静止画を編集する」の操作4（P232）へ進みます。

お知らせ

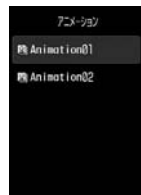
- 編集元の画像サイズの縦または横が 24 ドット未満、または 640 × 480ドットより大きい場合は、テキストを貼り付けできません。

アニメーション

アニメーションを作成する

保存されている静止画を使って20コマまでのアニメーションを作成できます。

- 30件まで作成できます。
- アニメーションに登録できる静止画の画像サイズは640×480ドットまでです。

1 ▶ (Data box)▶「マイピクチャ」▶「アニメーション」▶[開く]

アニメーション一覧画面

2 [新規]▶ファイルの表示名を入力

- すでに作成済みのアニメーションがある場合は、[メニュー]▶「新規」▶ファイルの表示名を入力してください。

3 [追加]▶フォルダにカーソルを移動▶[開く]▶登録したい画像にカーソルを移動▶[選択]

画像を選択すると、登録した画像の表示名が表示されます。

4 操作3を繰り返して画像を登録▶[完了]

- [削除]：選択中の画像を削除します。

アニメーションを表示する

1 **アニメーション一覧画面(P234)▶アニメーションにカーソルを移動▶[表示]**

アニメーション表示画面

■ アニメーション表示中の操作

操　作	説　明
◀／▶	前のアニメーション／次のアニメーションを再生
[全画面]	アニメーションを全画面で表示
＜／＞	全画面表示中に、前のアニメーション／次のアニメーションを表示

画像ファイル選択画面のサブメニュー

登録する画像選択中の画面で次の操作を行えます。

1 **登録する画像を選択中の画面(P234)▶[メニュー]▶次の操作を行う**

[選択]
選択中のファイルをアニメーションの画像に追加します。

[表示]
選択中のファイルを表示します。

[情報表示]
選択中のファイルのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。→P230

[リスト表示・ピクチャ表示]
ファイルの表示方法を切り替えます。

[ソート]
条件を設定してファイルを並べ替えます。

[メモリー情報]
本体メモリー：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。
外部メモリー：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

[新規フォルダ]
利用できない項目です。

アニメーション一覧画面のサブメニュー

1 **アニメーション一覧画面(P234)▶アニメーションにカーソルを移動▶[メニュー]▶次の操作を行う**

[新規]
アニメーションを作成します。→P234

[画像追加]
選択中のアニメーションに画像を追加します。

[1件削除]
選択中のアニメーションを削除します。

[タイトル編集]
選択中のアニメーションの表示名を変更します。全角／半角どちらも30文字まで入力できます。

[待受画面設定]
選択中のアニメーションを待受画面に設定します。

[表示設定]
画像の表示方法やズーム、アニメーションの表示間隔などを設定します。
→P230

アニメーション表示画面のサブメニュー

1 アニメーション表示画面(P235)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[1件削除]
表示中のアニメーションを削除します。

[タイトル編集]
表示中のアニメーションの表示名を変更します。全角／半角どちらも30文字まで入力できます。

[全画面表示]
アニメーションを全画面で表示します（全画面表示中は、次の操作ができます)。
- ／ ：全体表示を元の表示に戻します。
- ／ ：前のアニメーション／次のアニメーションを表示します。

[待受画面設定]
表示中のアニメーションを待受画面に設定します。

[表示設定]
画像の表示方法やズーム、アニメーションの表示間隔などを設定します。
→P230

動画／ｉモーションプレイヤー

動画／ｉモーションを再生する

撮影した動画、サイトやｉモードメールから取得したｉモーションなどを再生します。

■ 表示可能なファイル形式について

ファイル形式※	MP4（Mobile MP4）
符号方式	MP4ファイル 映像：MPEG-4、H.263 音声：AMR、AAC
拡張子	mp4、3gp

※：対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

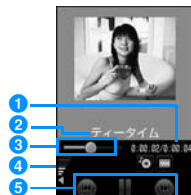
1 ▶ (Data box)▶「ｉモーション」
- ／ ：ピクチャ表示とリスト表示を切り替えます。

ｉモーション画面

2 フォルダにカーソルを移動▶[開く]

- 一覧画面に表示されるアイコン→P225

ｉモーション
ファイル一覧画面

3 ファイルにカーソルを移動▶[再生]

ｉモーション再生
画面

❶ **再生経過時間／全体の長さ**
❷ **ファイルの表示名**
❸ **再生経過バー**
再生経過をバーで表示します。
スライドして再生位置を指定できます。
❹ **音量**
タッチすると音量調節画面を表示します。
❺ **コントロールキー**
操作可能なナビゲーションキーを表示します。

■ ｉモーション再生画面の操作

操　作	説　明
❚❚／▶	一時停止／再生
[ストップ]	停止
⏮／⏭	前のファイル／次のファイルを再生
⏮（押し続ける）	押している間映像／音声を巻戻し
⏭（押し続ける）	押している間映像／音声を早送り
▴／▾	音量調節

テロップ中にリンクが設定されていた場合

ｉモーション再生が終了すると、Phone To／AV Phone To／Web To／Mail To機能を利用するかどうかを確認する画面が表示されます。利用する場合は、項目を選択し操作してください。

お知らせ

- ファイルによっては、再生中に早送りや巻戻しができない場合があります。
- 再生中の映像をタッチすると、拡大再生できます。拡大再生中に映像をタッチしたときは、ナビゲーションキーが一時的に表示されます。ナビゲーションキーの表示／非表示は、再生中の映像をタッチするたびに切り替わります。

ｉモーション画面のサブメニュー

1 ｉモーション画面(P236)▶フォルダにカーソルを移動▶[メニュー]

- ｉ モーション画面のサブメニューは、「マイピクチャ画面のサブメニュー」（P227）と同じです。

ｉモーションファイル一覧画面のサブメニュー

1 ｉモーションファイル一覧画面(P237)▶ファイルにカーソルを移動▶[メニュー]▶次の操作を行う

[ファイル]

再生　：選択中のファイルを再生します。

移動　：選択中のファイルを他のフォルダに移動します。
▶移動先のフォルダにカーソルを移動してタッチ▶［移動］

コピー　：選択中のファイルを他のフォルダにコピーします。
▶コピー先のフォルダにカーソルを移動してタッチ▶［コピー］

1件削除　：選択中のファイルを削除します。

全件削除　：フォルダ内のすべてのファイルを削除します。
▶［はい］▶端末暗証番号を入力

名称変更　：選択中のファイルの表示名を変更します。

表示名初期化：選択中のファイルの表示名をファイルに設定されている初期タイトルに戻します。

[複数選択]

ファイルを選択して削除します。

▶削除したいファイルにチェックを付ける▶［削除］▶［はい］

- 次の操作で複数のファイルの移動／コピーができます。
▶移動／コピーしたいファイルにチェックを付ける▶［メニュー］▶「移動」／「コピー」▶移動／コピー先のフォルダにカーソルを移動してタッチ▶［移動］／［コピー］
- ［メニュー］をタッチして、「削除」「選択」「全件選択」「解除」「全件解除」も選択できます。

[情報表示]

選択中のファイルのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。
→P239

[送信]

メール　：選択中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P167）へ進みます。

赤外線通信：赤外線通信で1件送信します。

[音設定]

選択中のファイルを着信音などに設定します。

音声電話着信音　：音声電話の着信音に設定します。

テレビ電話着信音：テレビ電話の着信音に設定します。

メール着信音　：メールを受信したときの着信音に設定します。

メッセージR着信音：メッセージRを受信したときの着信音に設定します。

メッセージF着信音：メッセージFを受信したときの着信音に設定します。

SMS着信音　：SMSを受信したときの着信音に設定します。

アラーム音　：アラーム音に設定します。

[画面設定]

選択中のファイルを待受画面や着信画面などに設定します。

待受画面　：待受画面に設定します。

音声電話着信画面：音声電話着信画面に設定します。

テレビ電話着信画面：テレビ電話着信画面に設定します。

[リスト表示・ピクチャ表示]

ファイルの表示方法を切り替えます。

[ソート]

条件を設定してファイルを並べ替えます。

[メモリー情報]

本体メモリー：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。

外部メモリー：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

[新規フォルダ]
利用できない項目です。

ｉモーション再生画面のサブメニュー

1 ｉモーション再生画面（P237）▶[メニュー]▶次の操作を行う

[メール作成]
選択中のファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P167）へ進みます。

[音設定]
再生中のファイルを着信音などに設定します。

音声電話着信音　：音声電話の着信音に設定します。
テレビ電話着信音　：テレビ電話の着信音に設定します。
メール着信音　：メールを受信したときの着信音に設定します。
メッセージR着信音　：メッセージRを受信したときの着信音に設定します。
メッセージF着信音　：メッセージFを受信したときの着信音に設定します。
SMS着信音　：SMSを受信したときの着信音に設定します。
アラーム音　：アラーム音に設定します。

[画面設定]
選択中のファイルを待受画面や着信画面などに設定します。

待受画面　：待受画面に設定します。
音声電話着信画面　：音声電話着信画面に設定します。
テレビ電話着信画面　：テレビ電話着信画面に設定します。

[拡大再生]
動画／ｉモーションを拡大表示します。
- ［CLR］を押すと元の表示サイズへ戻ります。

[編集]
再生中の動画／ｉモーションを編集します。→P240

[情報表示]
再生中のファイルのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。→P239

お知らせ
- サブメニュー操作中は、動画／ｉモーションの再生は一時停止します。

<音設定／画面設定>
- 次の動画／ｉモーションは、着モーションや着信画面に設定できません。
  - 赤外線通信やドコモケータイdatalinkなどを使用して、パソコンや他のFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末本体に戻した場合
  - コンテンツ移行対応のｉモーション以外でmicroSDカードから、FOMA端末本体にコピーまたは移動した場合（FOMA端末本体からmicroSDカードにコピーまたは移動してから、もう一度FOMA端末本体にコピーまたは移動した場合も含まれます）

動画／ｉモーションの情報を表示する

1 ｉモーションファイル一覧画面（P237）／ｉモーション再生画面（P237）▶[メニュー]▶「情報表示」

- ［編集］：情報を編集します。

■ 情報表示詳細画面に表示される情報

項　目	情報内容
ファイル名	ファイル名を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示
ファイル種別	ファイル形式を表示
保存日時	保存日時を表示

項　目	情報内容
再生時間	ファイルの再生時間を表示
表示サイズ	解像度を表示
オーディオ	音声形式を表示
ファイル制限	ファイル制限が設定されているかどうかを表示→P230
着信音設定	着信音に設定可能かどうかを表示
着信画面設定	待受画面や着信画面に設定可能かどうかを表示
タイトル	ファイルの初期タイトルを表示
作成者	作成者情報を表示
コピーライト	著作権情報を表示
説明	ファイルの説明を表示
取得元	取得元を表示
microSDへの移動	microSDカードへの移動が可能かどうかを表示

動画／ｉモーション編集

動画／ｉモーションを編集する

動画／ｉモーションを編集します。

- お買い上げ時に登録されているファイルは編集できません。
- ファイルによっては編集できない場合があります。
- ｉモーションに表示されるテロップ情報は編集できません。

動画の一部を静止画として切り出す(キャプチャ)

動画／ｉモーションを静止画として切り出します。
切り出した画像は「データBOX」内「マイピクチャ」の「カメラ」フォルダに保存されます。

1　ｉモーション再生画面(P237)▶静止画として切り出す画像を表示する

- ｉモーション再生中の操作方法→P237

2　[メニュー]▶「編集」▶「キャプチャ」

動画の一部を切り出す（トリミング）

動画／ｉモーションの一部を切り出します。
切り出した動画／ｉモーションは、編集元のファイルが保存されているフォルダに保存されます。

1　ｉモーション再生画面(P237)▶[メニュー]▶「編集」▶「トリミング」▶次の操作を行う

[500KB]
始点から後の映像を、500Kバイト以下に収まる範囲まで切り出して保存します。

[2MB]
始点から後の映像を、2Mバイト以下に収まる範囲まで切り出して保存します。

[範囲指定]
選択した始点から終点までの映像を切り出して保存します。

▶ ▶ をタッチして動画／ｉモーションを再生▶切り出したい箇所で［開始］▶切り出しを終了したい箇所で［完了］

メロディプレイヤー

メロディを再生する

お買い上げ時に登録されているメロディや、サイトなどから取得したメロディを再生します。

■ 再生可能なファイル形式について

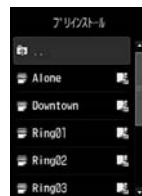
ファイル形式※	SMF、MFi
拡張子	mid、mld

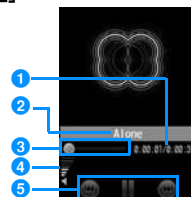
※：対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

1 ▶ (Data box)▶「メロディ」

メロディ画面

2 フォルダにカーソルを移動▶［開く］

- 一覧画面に表示されるアイコン→P225

メロディファイル一覧画面

3 ファイルにカーソルを移動▶［再生］

メロディ再生画面

❶ **再生経過時間／全体の長さ**
❷ **ファイルの表示名**
❸ **再生経過バー**
再生経過をバーで表示します。
❹ **音量**
タッチすると音量調節画面を表示します。
❺ **コントロールキー**
操作可能なナビゲーションキーを表示します。

■ メロディ再生画面の操作

操　作	説　明
❚❚／▶	一時停止／再生
⏮／⏭	前のファイル／次のファイルを再生
▲／▼	音量調節

メロディ画面のサブメニュー

1 メロディ画面(P241)▶フォルダにカーソルを移動▶[メニュー]

- メロディ画面のサブメニューは、「マイピクチャ画面のサブメニュー」（P227）と同じです。ただし、「リスト表示・ピクチャ表示」はありません。

メロディファイル一覧画面のサブメニュー

1 メロディファイル一覧画面(P241)▶ファイルにカーソルを移動▶[メニュー]▶次の操作を行う

[ファイル]

再生　：選択中のファイルを再生します。

移動　：選択中のファイルを他のフォルダに移動します。
▶移動先のフォルダにカーソルを移動してタッチ▶［移動］

コピー　：選択中のファイルを他のフォルダにコピーします。
▶コピー先のフォルダにカーソルを移動してタッチ▶［コピー］

1件削除　：選択中のファイルを削除します。

全件削除　：フォルダ内のすべてのファイルを削除します。
▶［はい］▶端末暗証番号を入力

名称変更　：選択中のファイルの表示名を変更します。

表示名初期化：選択中のファイルの表示名をファイルに設定されている初期タイトルに戻します。

[複数選択]

ファイルを選択して削除します。

▶削除したいファイルにチェックを付ける▶［削除］▶［はい］

- 次の操作で複数のファイルの移動／コピーができます。
▶移動／コピーしたいファイルにチェックを付ける▶［メニュー］▶「移動」／「コピー」▶移動／コピー先のフォルダにカーソルを移動してタッチ▶［移動］／［コピー］
- ［メニュー］をタッチして、「削除」「選択」「全件選択」「解除」「全件解除」も選択できます。

[情報表示]

選択中のメロディのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。
→P243

[送信]

メール　：選択中のメロディを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P167）へ進みます。

赤外線通信　：赤外線通信で1件送信します。

[設定]

選択中のメロディを着信音などに設定します。

音声電話着信音　：音声電話の着信音に設定します。

テレビ電話着信音　：テレビ電話の着信音に設定します。

メール着信音　：メールを受信したときの着信音に設定します。

メッセージR着信音：メッセージRを受信したときの着信音に設定します。

メッセージF着信音：メッセージFを受信したときの着信音に設定します。

SMS着信音　：SMSを受信したときの着信音に設定します。

アラーム音　：アラーム音に設定します。

[ソート]
条件を設定してファイルを並べ替えます。

[メモリー情報]
本体メモリー ：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。
外部メモリー ：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

[新規フォルダ]
利用できない項目です。

メロディ再生画面のサブメニュー

1 メロディ再生画面(P241)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[メール作成]
再生中のメロディを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P167）へ進みます。

[音設定]
再生中のメロディを着信音などに設定します。
音声電話着信音 ：音声電話の着信音に設定します。
テレビ電話着信音 ：テレビ電話の着信音に設定します。
メール着信音 ：メールを受信したときの着信音に設定します。
メッセージR着信音 ：メッセージRを受信したときの着信音に設定します。
メッセージF着信音 ：メッセージFを受信したときの着信音に設定します。
SMS着信音 ：SMSを受信したときの着信音に設定します。
アラーム音 ：アラーム音に設定します。

[情報表示]
再生中のメロディのファイル名やサイズ、種別などの情報を表示します。
→P243

お知らせ
- サブメニュー操作中は、メロディの再生は一時停止します。

メロディの情報を表示する

1 メロディファイル一覧画面(P241)／メロディ再生画面(P241)▶[メニュー]▶「情報表示」

- [編集]：情報を編集します。

■ 情報表示詳細画面に表示される情報

項　目	情報内容
ファイル名	ファイル名を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示
ファイル種別	ファイル形式を表示
保存日時	保存日時を表示
再生時間	ファイルの再生時間を表示
ファイル制限	ファイル制限が設定されているかどうかを表示 →P230
着信音設定	着信音に設定可能かどうかを表示
タイトル	ファイルの初期タイトルを表示
取得元	取得元を表示
microSDへの移動	microSDカードへの移動が可能かどうかを表示

microSDカードについて

FOMA端末内の電話帳やメール、ブックマークなどのデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータをFOMA端末内に取り込んだりすることができます。また、FOMA端末からmicroSDカード内のデータを閲覧することもできます。

- FOMA L852iでは市販の2GバイトまでのmicroSDカードに対応しています（2008年4月現在）。
  microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - ｉモードから 「ｉMenu」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「WOW LG」
  - パソコンから http://jp.lgmobile.com/

  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードおよびmicroSDカードアダプタは、家電量販店などでお買い求めいただけます。

サイトアクセス用QRコード

microSDカード使用時のご注意

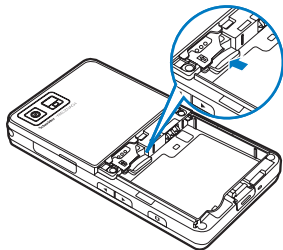
- パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDカードは、使用できない場合があります。FOMA L852iでフォーマットしたものを使用してください。→P246
- microSDカードは、事故や故障によってデータを消失または変形してしまうことがあります。大切なデータは控えを取っておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 転送するデータ量によっては通信に時間がかかる場合があります。また、データをコピーできない場合があります。
- データの読み込みや書き込み中に、FOMA端末の電源を切らないでください。
- データの読み込みや書き込み中、microSDカードのフォーマット中に、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を抜かないでください。データ消失などの原因となります。
- microSDカード内のデータを表示したり、保存容量を確認したりするときなど、microSDカード利用中は、絶対にmicroSDカードを抜かないでください。
- ラベルやシールなどを貼って使用しないでください。ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因になることがあります。
- 端子部分には手や金属などで触れたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- microSDカードを取り外した後は、乳幼児の手の届く場所には放置しないでください。誤って飲み込んでしまい、けがなどの原因となります。
- microSDカードを取り付け／取り外しを行うとき、指を急に離すとカードが飛び出すことがありますので、顔などを近づけないでください。また、特に小さなお子様には触らせないでください。けがの原因となります。
- FOMA端末⇔microSDカード間でコピー／移動できるファイルのサイズは、1件あたり以下の通りです。
  画像※：2Mバイト、動画／ｉモーション：2Mバイト、メロディ：100Kバイト、着うたフル®：5Mバイト
  ※ Flash画像は対応していません。
- サイトから取得した、FOMA端末外への出力が禁止されているｉモーション、着うたフル®をmicroSDカードに移動できます。ただし、IP（情報サービス提供者）が許可していないときは保存できません。
- パソコンなど他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。

microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

- 「電源を切る」（P50）の操作を行った後、背面を上にしてFOMAカードと電池パックを取り外してから、microSDカードの取り付け、または取り外しを行ってください。→P43、P46

取り付けかた

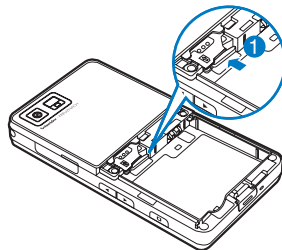
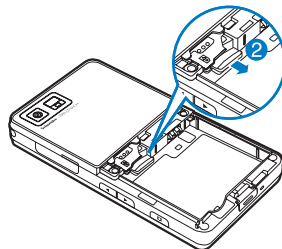
microSDカードを取り付けるときは、両手で持って行ってください。

1 microSDカードの印字面を上にして、矢印の方向へ「カチッ」と音がするまでゆっくり差し込む

お知らせ

- microSDカードは正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないとmicroSDカードを利用できません。

取り外しかた

1 microSDカードを❶の方向へ軽く押し込む

microSDカードが少し飛び出します。

2 microSDカードを❷の方向へまっすぐに取り出す

microSDカードを使う

FOMA端末に保存されている画像や動画／ｉモーションなど、データBOX内のファイルをmicroSDカードに保存したり、パソコンからmicroSDカードに保存したファイルをFOMA端末本体で表示したりすることができます。

microSDカードをフォーマットする

microSDカードをフォーマット（初期化）してFOMA端末で使用できるようにします。

1 ▶(LifeKit)▶「microSD」▶「microSDフォーマット」

すべてのデータが削除されることを知らせるメッセージが表示され、フォーマットを実行するかどうかを選択します。

2 ［はい］▶端末暗証番号を入力

お知らせ

- フォーマットは必ず本FOMA端末で行ってください。
- microSDカードをフォーマットすると、保存されているファイルはすべて削除されます。誤って大切なデータを削除することのないようにご注意ください。

microSDカード内のファイルを表示／再生する

「データBOX」で、FOMA端末内にあるファイルと同じように表示／再生ができます。

1 ▶(Data box)▶「マイピクチャ」／「ミュージック」／「ｉモーション」／「メロディ」▶「microSD」

- 「画像を表示する」→P226
- 「フォルダ・プレイリスト・音楽データの管理」→P275
- 「動画／ｉモーションを再生する」→P236
- 「メロディを再生する」→P241

お知らせ

- ファイルによっては、表示／再生ができない場合があります。
- microSDカード内のフォルダ／ファイル一覧画面のサブメニューは、FOMA端末のフォルダ／ファイル一覧画面と同様です。ただし、「設定」、赤外線での送信は利用できません。

FOMA端末⇔microSDカード間でファイルをコピー／移動する

データBOX内の「microSD」フォルダとその他のフォルダ間でファイルをコピー／移動することで、microSDカード⇔FOMA端末間でファイルをコピー／移動します。

例：FOMA端末内に保存されたカメラ画像を、microSDカードに移動する場合

1 ▶(Data box)▶「マイピクチャ」

2 フォルダにカーソルを移動▶[開く]

- 「microSD」以外のフォルダを選択します。

3 ファイルにカーソルを移動▶[メニュー]▶「ファイル」▶「移動」

4 「カメラ画像」▶[選択]

- ファイルによって移動先が変わります。が表示された移動先を選択してください。

5 移動先のフォルダにカーソルを移動してタッチ▶[移動]

お知らせ

- ファイルの種類やサイズによっては、コピー／移動できない場合があります。
- 本FOMA端末に保存されているFlashは、microSDカードにコピー／移動できません。
- FOMA端末内に保存された著作権のある移動可能なｉモーション･音楽データは、それぞれの「microSD」フォルダの「移行可能コンテンツ」フォルダ内に移動できます。

FOMA端末⇔microSDカード間で個人情報のデータをやりとりする

FOMA端末とmicroSDカード間で個人情報のデータをコピーしたり、FOMA端末のデータをmicroSDカードにバックアップしたりします。

個人情報のデータには、次のものがあります。

- 電話帳
- スケジュール
- テキストメモ
- To Doリスト
- 受信BOX（受信メール）
- 送信BOX（送信メール）
- 未送信BOX（未送信メール）
- ブックマーク

個人情報のデータをFOMA端末からmicroSDカードにコピーする

FOMA端末に登録されている個人情報のデータを、microSDカードにコピーします。

データを1件ずつコピーする

例：電話帳データを1件コピーする場合

1 ▶コピーしたい電話帳にカーソルを移動▶[メニュー]▶「コピー」▶「microSDへ」

データの種類を選択して一括でコピーする(バックアップ)

1 ▶(LifeKit)▶「microSD」▶「PIM バックアップ」

2 コピーしたいデータの種類を選択

3 端末暗証番号を入力▶[はい]

■ 電話帳の場合
「自局番号」の登録データをコピーするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

個人情報のデータをmicroSDカードからFOMA端末にコピー／上書きする

microSDカードに登録されている個人情報のデータを、FOMA端末にコピー／上書きします。

データを1件ずつコピーする

1 ▶(LifeKit)▶「microSD」▶「PIM」

2 データの種類を選択

microSDカードに保存されているデータが表示されます。

個人情報データ一覧画面
（例：電話帳）

■ 個人情報データ一覧画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
／／／／／／／／	個別データ（1件のデータ） 電話帳／スケジュール／テキストメモ／To Doリスト／受信BOX／送信BOX／未送信BOX／ブックマーク
／／／／／／／／	バックアップデータ（複数のデータ） 電話帳／スケジュール／テキストメモ／To Doリスト／受信BOX／送信BOX／未送信BOX／ブックマーク

3 データにカーソルを移動▶[メニュー]

- [選択]：データの詳細を表示します。

4 「本体へコピー」▶[はい]

■ バックアップデータの場合
「本体へコピー」▶端末暗証番号を入力▶［はい］をタッチします。

お知らせ

- 操作3でバックアップデータにカーソルを移動▶［選択］▶データにカーソルを移動▶［メニュー］をタッチすると、「本体へコピー」「本体へ上書き」を選択できます。
  「本体へコピー」を選択した場合は、「選択データ」／「全データ」のどちらかを選択できます。
- バックアップデータ内の個別データは、FOMA端末の最大保存件数分だけ表示可能です。

個人情報データ一覧画面のサブメニュー

1 個人情報データ一覧画面(P248)▶データにカーソルを移動▶[メニュー]▶次の操作を行う

［名称変更］※
選択中のデータの名前を変更します。

［microSDへコピー］
表示中のデータ種類のデータを、FOMA端末からmicroSDカードへ一括でコピー（バックアップ）します。

▶端末暗証番号を入力▶［はい］
- 電話帳の場合は、「自局番号」の登録データをコピーするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

［本体へコピー］※
選択中のデータをFOMA端末へコピーします。
- バックアップデータの場合は、「本体へコピー」▶端末暗証番号を入力▶［はい］をタッチします。

［本体へ上書き］※
選択中のデータでFOMA端末のデータを上書きします。→P249

［複数選択］※
データを選択して削除します。

▶削除したいデータにチェックを付ける▶［削除］▶［はい］
- ［メニュー］をタッチして、「本体へコピー」「削除」を選択できます。

［削除］※
選択中のデータを削除します。

［メモリー情報］
microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

※：microSDカードにデータがない場合は表示されません。

バックアップデータで上書きする

あらかじめバックアップしておいたデータで、FOMA端末のデータを上書きします。

- 「本体へ上書き」を選択すると、FOMA端末内の登録データは消去され、microSDカード内の選択したデータにまるごと入れ替わりますのでご注意ください。
  「本体へ上書き」を選択する前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。

1 個人情報データ一覧画面(P248)▶データにカーソルを移動▶[メニュー]▶「本体へ上書き」

2 端末暗証番号を入力▶[はい]

■ 電話帳の場合
「自局番号」の登録データをコピーするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

microSDカードの情報を更新する

他の機器でmicroSDカード内のデータを変更、追加、削除したことによってFOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときに、microSDカードの情報を更新します。

1 ▶(LifeKit)▶「microSD」▶「管理情報更新」

2 更新したいデータの種類にチェックを付ける▶[更新]

お知らせ

- microSDカードに保存されているデータが多い場合は、情報の更新に時間がかかります。
- 他の機器でmicroSDカードにデータを保存した場合、FOMA端末で管理情報を作成するために必要な空き容量が不足し、microSDカードに保存したデータがFOMA端末で正しく表示できなくなることがあります。

microSDカードの保存容量を確認する

microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

1 ▶(LifeKit)▶「microSD」▶「メモリー情報」

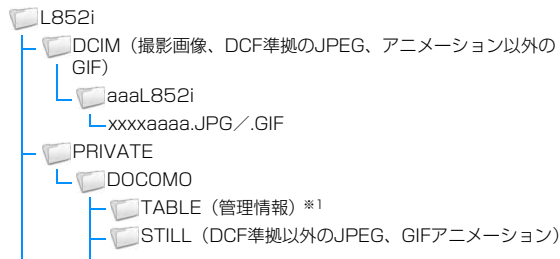
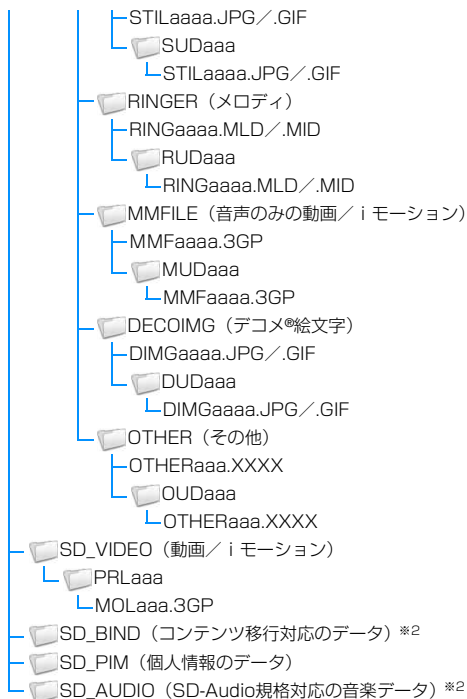
お知らせ

- データが1件も保存されていない状態でも使用済み領域が「0KB」にならない場合は、microSDカードを初期化してください。
- 実際に使用できるmicroSDカードの容量は、microSDカードに記載されている容量より少なくなります。
- microSDカードの空き容量が少ない場合、データを保存できないことがあります。不要なデータを削除するか、空き容量が十分なmicroSDカードを取り付けてからデータを保存してください。

microSDカードのフォルダ構成

FOMA端末からmicroSDカードにファイルを移動／コピーしたときや、カメラで撮影した静止画や動画を直接microSDカードに保存したときなど、そのファイルに対応したフォルダがmicroSDカードに自動的に作成されます。

- パソコンなどからmicroSDカードにファイルを書き込む場合も、次のようなフォルダ構成とファイル名にする必要があります。

├STILaaaa.JPG／.GIF
└ SUDaaa
　└STILaaaa.JPG／.GIF
├ RINGER（メロディ）
　├RINGaaaa.MLD／.MID
　└ RUDaaa
　　└RINGaaaa.MLD／.MID
├ MMFILE（音声のみの動画／ｉモーション）
　├MMFaaaa.3GP
　└ MUDaaa
　　└MMFaaaa.3GP
├ DECOIMG（デコメ®絵文字）
　├DIMGaaaa.JPG／.GIF
　└ DUDaaa
　　└DIMGaaaa.JPG／.GIF
└ OTHER（その他）
　├OTHERaaa.XXXX
　└ OUDaaa
　　└OTHERaaa.XXXX
├ SD_VIDEO（動画／ｉモーション）
　└ PRLaaa
　　└MOLaaa.3GP
├ SD_BIND（コンテンツ移行対応のデータ）※2
├ SD_PIM（個人情報のデータ）
└ SD_AUDIO（SD-Audio規格対応の音楽データ）※2

x：半角英数字が入ります。
a：0～9の半角数字が入ります。
※1：TABLE フォルダの下には「DCIM」「STILL」「RINGER」「MMFILE」「DECOIMG」「SD_VIDEO」「OTHER」それぞれについて付加情報を格納するフォルダがあります。

※2：暗号化されているため、パソコンなどで直接データを参照することはできません。また、フォルダ下のファイルを削除・変更・追加しないでください。FOMA L852iで正しく動作しなくなる場合があります。

■ microSDカードに保存できる件数

- microSDカードに保存できる件数は、ご使用になるmicroSDカードの容量によって異なります。
- microSDカードに保存できる容量は、「メモリー情報」「メモリー状況」で確認できます。→P250、P306

ファイル	フォルダ	保存可能件数
静止画（DCF準拠のJPEG、アニメーション以外のGIF）	DCIM	900フォルダ／1フォルダ最大999件
静止画（DCF準拠以外のJPEG、GIFアニメーション）	STILL	999フォルダ／1フォルダ最大999件
メロディ	RINGER	999フォルダ／1フォルダ最大999件
音声のみの動画／ｉモーション	MMFILE	999フォルダ／1フォルダ最大999件
デコメ®絵文字	DECOIMG	999フォルダ／1フォルダ最大999件
動画／ｉモーション	SD_VIDEO	999フォルダ／1フォルダ最大999件
個人情報のデータ	SD_PIM	1フォルダ／65535件
その他のファイル	OTHER	999フォルダ／1フォルダ最大999件

お知らせ

- 本FOMA端末で使用したmicroSDカードは、そのまま他のmicroSDカード対応のFOMA端末に差し込んでも、フォルダ構成が異なるためご利用できません。
- お使いのパソコンによっては、フォルダ名／ファイル名が小文字で表示される場合があります。また、拡張子や一部のフォルダ（隠しフォルダ）などが表示されない場合があります。
- microSDカード内のフォルダをパソコンで削除したり、移動したりしないでください。FOMA L852iで読み込めなくなる場合があります。

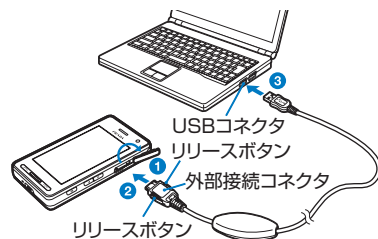
FOMA端末をmicroSDカードリーダー／ライターとして使う

microSDカードを本FOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、microSDカード内のデータを読み込み／書き込みできます。

- microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要となります。
- リーダー／ライターとして利用できる対応OSは、Windows Vista、Windows XP、Windows 2000（各日本語版）のみです。それ以外のOSでの動作は保証しておりません。
- FOMA端末をmicroSDカードリーダー／ライターとして使うには、USBモードの設定が必要です。USBモードを設定するときは、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を外した状態で設定してください。

1 ▶ (Settings)▶「その他」▶「USBモード設定」▶「microSDモード」▶［選択］

2 FOMA端末の外部接続端子キャップを開け（❶）、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01／02の外部接続コネクタを刻印やシールなどで示されたおもて面を上にしてまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む（❷）

3 FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01／02のUSBコネクタをパソコンのUSB端子に接続する（❸）

お知らせ

- パソコンからmicroSDカードやFOMA充電機能付USB接続ケーブル01／02を抜くときは、パソコンのタスクトレイから「ハードウェアの安全な取り外し」の操作を必ず行ってください。操作をしないでmicroSDカードやFOMA充電機能付USB接続ケーブル01／02を抜くと、データ消失などの原因となります。
- USBモード設定を切り替える場合は、一度FOMA充電機能付USB接続ケーブル01／02を外してから切り替えてください。FOMA充電機能付USB接続ケーブル01／02が接続されている状態では、USBモードは切り替わりません。
- FOMA充電機能付USB接続ケーブル01／02を抜くと、USBモード設定は自動的に「通信モード」に戻ります。

■ お願い

本FOMA端末とパソコンが正しく接続されているか十分確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われる場合があります。

赤外線通信

赤外線通信を利用する

赤外線通信機能を持つ機器との間で、電話帳やスケジュール、ブックマークなどを送受信できます。

■ データ転送で送受信できるデータ

データの種類	受信の可否		送信の可否		保存件数
	1件	全件	1件	全件	
電話帳（個人データ）	○	○	○	○	P80を参照
スケジュール	○	○	○	○	200件まで
To Do※1	○	○	○	○	50件まで
受信メール	○	○	○	○	1000件まで
送信メール	○	○	○	○	500件まで
未送信メール	○	○	○	○	
画像ファイル※2	○	×	○	×	1000件まで
動画ファイル※2	○	×	○	×	1000件まで
メロディ※3	○	×	○	×	1000件まで
ブックマーク※4	○	○	○	○	200件まで※5
テキストメモ	○	○	○	○	50件まで

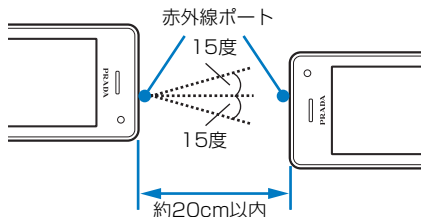
※1：設定時刻以前にアラームが設定されているTo Doを受信した場合は、正しく登録されないことがあります。
※2：送受信できるデータの容量は、ファイル1件につき最大2Mバイトまでです。
※3：送受信できるデータの容量は、ファイル1件につき最大100Kバイトまでです。
※4：ブックマークを送受信した場合、相手の機種によっては、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
※5：ｉモードで100件、フルブラウザで100件までです。

■ 赤外線通信で受信したデータの保存先

データの種類	保存先
電話帳	電話帳
スケジュール	スケジュール
To Do	スケジュール
受信メール	受信BOX
送信メール	送信BOX
未送信メール	未送信メールBOX
静止画	「データBOX」内「マイピクチャ」の「データ交換」フォルダ

データの種類	保存先
動画	「データBOX」内「ｉモーション」の「データ交換」フォルダ
メロディ	「データBOX」内「メロディ」の「データ交換」フォルダ
ブックマーク	「ｉモード」の「Bookmark」フォルダ
	「フルブラウザ」の「Bookmark」フォルダ
テキストメモ	テキストメモ

赤外線通信を行うには

- 赤外線通信距離は約20cm以内でご利用ください。
- 赤外線通信中は、データ送受信が終わるまでFOMA端末を動かさないでください。
- FOMA 端末を手に持って赤外線通信を行う場合は、ぶれないようにしっかりと固定させてください。

データ転送するときのご注意

- 赤外線通信中は、圏外と同じ状態になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。
- 送信する相手のFOMA端末の状態によっては、データ転送できない場合があります。また、相手の機種によって、受信メールやブックマークのフォルダ分けの設定や電話帳のグループ設定などが反映されなかったり、デコメール®の内容などが正常に登録できなかったりする場合があります。
- FOMA L852i以外の赤外線通信機器との通信では、データが正しく受信されないことや受信側でデータが正しく表示されない場合があります。
- 転送するデータ量によっては、通信に時間がかかる場合があります。また、受信できない場合があります。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、その影響により正常に通信できない場合があります。
- ｉモードメールにファイルが添付されている場合は、添付ファイルも転送されます。ただし、添付ファイルの種類によっては転送されない場合があります。
- メールの本文などに絵文字や記号を使用している場合、対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、受信側で絵文字や一部の記号が正しく表示されない場合があります。
- オールロック、プライバシーモード設定、セルフモードを設定中は、赤外線通信は利用できません。
- 大きなサイズのメールは、相手に正しく送信できない場合があります。
- メールを転送する場合、取得済みの添付ファイルのみ転送されます。

赤外線送信／赤外線受信

データを1件ずつ送受信する

データを1件ずつ送信する

- あらかじめ、受信側の機器を赤外線受信状態にしてから送信してください。

例：電話帳データを1件送信する場合

1 ▶送信したい電話帳にカーソルを移動▶[メニュー]▶「赤外線送信」▶「送信」▶[はい]

お知らせ

- 送信相手が見つからない場合は、メッセージが表示されます。相手との距離や角度などを再確認してください。

データを1件ずつ受信する

1 ▶(LifeKit)▶「赤外線受信」▶「受信」▶[はい]

2 送信側の機器で赤外線送信操作を行う

赤外線通信を開始します。

3 [はい]

赤外線全件送信／赤外線全件受信

データを全件送受信する

パソコンや他のFOMA端末との間でデータをまとめて転送します。

- 全件送受信では、送信側と受信側のFOMA端末を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードは、送信／受信を始める前にお好きな4桁の番号を決めておき、送信側と受信側で同じ番号を入力します。

データを全件送信する

- あらかじめ、受信側の機器を赤外線受信状態にしてから送信してください。

例：FOMA端末の電話帳データを全件送信する場合

1 ▶[メニュー]▶「赤外線送信」▶「本体全件」

- 電話帳に画像が設定されている場合は、送信に時間がかかる旨の警告画面が表示されます。送信する場合は［はい］を選択します。

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶[はい]

赤外線通信を開始します。

お知らせ

- 送信相手が見つからない場合は、メッセージが表示されます。相手との距離や角度などを再確認してください。
- 「マイピクチャ」の全件送信はできません（1件送信はできます）。

データを全件受信する

- 全件受信をすると、受信したデータによりFOMA端末のデータは上書きされ、登録されていたデータは保護メールなども含めてすべて削除されます。全データの送受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。

1 ▶(LifeKit)▶「赤外線受信」▶「全件受信」▶[はい]

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

3 送信側の機器で赤外線送信操作を行う

赤外線通信を開始します。

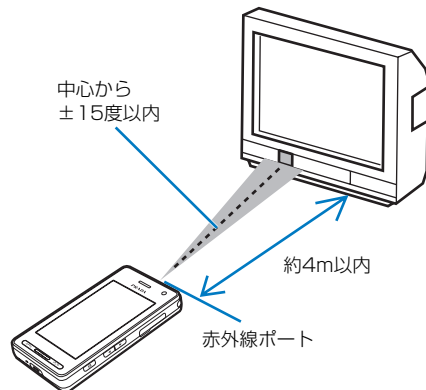
4 [はい]

赤外線リモコン機能を利用する

FOMA端末を赤外線リモコン対応機器のリモコンとして利用できます。ｉアプリが赤外線を利用してリモコン信号を送信します。

- リモコン機器を利用する場合は、機器に対応したソフトをダウンロードする必要があります。リモコンのボタン操作はソフトにより異なります。
- 機器によっては操作できない場合もあります。
- 対応機器や周囲の明るさにより、通信に影響がある可能性があります。
- セルフモード設定中は、赤外線リモコンを利用できません。

赤外線リモコン操作について

FOMA端末の赤外線ポートをテレビなどのリモコン受信部の正面に向けて、約4m以内の距離から操作してください。ただし、対応機器や周囲の明るさによって通信に影響がある場合があります。

Music&Videoチャネル／音楽再生

音楽データの取り扱いについて

- 本書では、ミュージックプレイヤーで再生する着うたフル®とSDオーディオプレイヤーで再生するSD-Audioデータ（SD-Audio規格対応の音楽データ）を合わせて「音楽データ」と記載しています。
- 本FOMA端末では、着うたフル®またはSD-Audioデータを再生できます。
- 着うたフル®はｉモードから取得し、SD-Audioデータはパソコンから「SD-Jukebox」（市販品）を使用して保存します。
- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認の上、ご利用ください。
- FOMA端末本体やmicroSDカード内に保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末本体やmicroSDカード内に保存した音楽データは、パソコンなど他の媒体にコピーまたは移動しないでください。
- CCCD（コピーコントロール CD）の取り扱いや、音楽データを SD-Audioデータに変換できない場合の対処については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- microSDカードの取り扱いや使用時の注意事項→P244

Music&Videoチャネル

ミュージックプレイヤー

FOMA L852iは動画配信未対応です。

Music&Videoチャネルとは

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスです。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Video チャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みには i モード契約およびパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル契約が必要です）。
- Music&Video チャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（i モード<FOMA>編）』をご覧ください。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいた後、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料が発生しますのでご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。詳細は、『ご利用ガイドブック（i モード<FOMA>編）』をご覧ください。
  ※：国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、i モード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

番組を設定する

番組を設定すると、夜間に番組が自動的に取得されます。

- 番組は2つまで設定できます。
- 設定するには、Music&Video チャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録が必要です。→P147

1 ▶（MUSIC）▶「Music&Video ch」

Music&Video
チャネル画面

2 「番組設定」▶［選択］▶［はい］

- お買い上げ時には番組が設定されていません。
  番組の設定が行われると、番組タイトルが表示されます。

3 画面の指示に従って番組を設定する

- 詳しくは、『ご利用ガイドブック（i モード<FOMA>編）』をご覧ください。

お知らせ

- 異なるFOMAカードに差し替えて番組の設定を行う場合は、まず番組設定から番組設定情報の確認を行ってください。番組設定情報の確認を行うと、「配信番組」フォルダから移動していない番組は削除される場合があります。
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、設定しようとするとMusic&Videoチャネル未契約をお知らせする画面が表示されます。
- Music&Videoチャネル画面で「番組リスト」を選択すると、Music&Videoチャネルに提供されているすべての番組リストを表示します。「サービスのご案内」を選択すると、サービスの利用方法や注意事項などを表示します。また、サービスへのお申し込みもできます。

番組設定を確認・解除する

1 Music&Videoチャネル画面（P258）▶「番組設定」▶[選択]▶[はい]

2 画面の指示に従って操作する

- 詳しくは、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

お知らせ

- 番組の設定を解除してもマイメニュー登録は削除されません。

番組を設定すると

- 番組配信の12時間前になると、待受画面にが表示されます。
- 番組配信時間になると自動的に取得を開始します。
- 番組の取得は夜間に自動的に行われ、取得に成功すると待受画面にが、失敗するとが表示されます。一度Music&Videoチャネル画面を表示するとアイコンは消えます。

お知らせ

- 取得の開始時間に圏外の場合や通信の切断などで取得が中断されたときは、3分後に自動的に取得を再開します。最大5回繰り返します。
- 番組配信時間になっても、FOMA端末の電源が入っていない、FOMA端末が圏外、電波状態が悪いなどの理由で取得できなかった場合は、翌日の夜間の同時間帯に再度取得を行います。
- 電池残量表示が以外の場合は、番組を取得できません（取得時に、電池残量が少ないために取得を開始できない旨のメッセージが表示されます）。
- 番組の取得には時間がかかる場合があります。電池残量が十分にあること、また電波状態が良いことを確認してください。
- 次の場合は、番組を自動的に取得できません。Music&Videoチャネル画面から再度番組を設定してください。
  - 番組を設定した後に他のFOMAカードに差し替えたとき
  - 番組を設定した後にFOMAカードを別のMusic&Videoチャネル対応FOMA端末に差し替えたとき
  - FOMA端末のメモリ一削除／設定リセットを行ったとき
- 番組取得中に電波状況などにより取得を中断した場合は、次回配信日まで自動取得を行いません。手動で番組を取得してください。
- 取得された番組は、「データBOX」内「Music&Video ch」の「配信番組」フォルダに一時的に保存されます。その番組のあるチャネルが更新されると、「配信番組」フォルダの番組は削除され、再生できなくなります。削除されたくない番組は、他のフォルダに移動してください。→P263
  ただし、番組によっては移動できない場合があります。
- 新規設定、番組解除、またはマイメニュー、Music&Videoチャネル、iモードの解約を行った場合、「配信番組」フォルダから移動した番組以外は削除されます。
- 番組の取得を開始、完了したときでも着信音、バイブレータは鳴動しません。

番組を手動で取得する

番組の取得に失敗した場合は、手動で残りを取得してください。

1 Music&Videoチャネル画面(P258)▶番組にカーソルを移動▶[選択]▶[はい]

- 取得に失敗した番組には 🈚 が表示されます。

お知らせ

- データBOXのMusic&Videoチャネル番組一覧から操作する場合は、取得に失敗した番組にカーソルを移動してタッチ▶［はい］をタッチします。
- 取得が中断されても、中断までに取得されたチャプターまでは部分的に再生できます。
- 再生回数、再生期間、再生期限が切れている番組は取得を再開できません。
- 時間帯によっては、手動での番組取得ができない場合があります。

番組を再生する

1 Music&Videoチャネル画面(P258)▶番組にカーソルを移動▶[選択]

Music&Videoチャネルプレイヤー画面

❶ **リピート設定**
　無し
　再生中番組
　全番組
　タッチすると設定を切り替えます。

❷ **番組／チャプタータイトルまたはアーティスト名**

❸ **再生経過時間／全体の長さ／再生経過バー**
　再生経過をバーで表示します。
　スライドして再生位置を指定できます。

❹ **音量**
　タッチすると音量調節画面を表示します。

❺ **イコライザー設定**
　タッチすると設定を切り替えます。

❻ **チャプター画像または番組画像**
　タッチすると次の映像を表示します。

■ Music&Videoチャネルプレイヤー画面の操作

操　作	説　明
‖／▶	一時停止／再生
‖（1秒以上）	再生されている番組の頭出しをして一時停止
▲／▼	音量調節
⏮／⏭	頭出しまたは前のチャプターを再生／次のチャプターを再生
⏮／⏭（押し続ける）	押している間巻戻し／早送り
［プレイリスト］	チャプター一覧を表示
終話	Music&Videoチャネルプレイヤーを終了

お知らせ

- 次の場合は再生が一時停止されます。動作終了後に自動的に再開されます。
  - 音声電話、テレビ電話の着信があったとき
  - ｉモードメール、SMSを受信したとき
  - アラームが鳴ったとき
- 番組に再生制限が設定されている場合は、定められた再生回数や再生期限、再生期間を過ぎると番組を再生できなくなります。番組を再生しようとすると番組を削除するかどうかの確認画面が表示されます。［はい］をタッチすると番組を削除します。
  再生回数や再生期限、再生期間は番組情報で確認できます。
- 番組によっては、決められた再生開始時間以外に再生できないものがあります。自動時刻時差補正により取得した時刻に合わせて再生され、一時停止や早送りなど再生中の操作はできません。
- 部分的に取得した番組を再生しようとすると、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。［はい］をタッチするとダウンロードを開始します。［再生］をタッチすると、ダウンロードされているチャプターまで再生します。
- 日本以外の国で使用した場合、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。

Music&Videoチャネル画面のサブメニュー

1 Music&Videoチャネル画面（P258）▶番組にカーソルを移動▶［メニュー］▶次の操作を行う

［番組移動］
選択中の番組を「配信番組」フォルダから移動します。→P263

［番組削除］
選択中の番組を削除します。

［番組情報］
選択中の番組情報を表示します。

［チャプター一覧］
選択中の番組のチャプター一覧を表示します。→P262

［サイト接続］
選択中の番組にURL情報がある場合は、サイトに接続します。

お知らせ

<番組削除>
- 番組を削除しても番組設定は解除されません。Music&Videoチャネルサイトに接続して解除するまで自動的に番組が更新されます。

Music&Videoチャネルプレイヤー画面のサブメニュー

1 Music&Videoチャネルプレイヤー画面（P260）▶［メニュー］▶次の操作を行う

［番組送り］
前の番組：前の番組を再生します。
次の番組：次の番組を再生します。

[BGM再生]
バックグラウンド再生します。→P277

[チャプター一覧]
再生中の番組のチャプター一覧を表示します。→P262

[チャプター情報]
再生中のチャプター情報を表示します。

[番組情報]
再生中の番組情報を表示します。

[リピート設定]
無し　：リピート再生しません。
再生中番組：再生中の番組をリピート再生します。
全番組　：すべての番組をリピート再生します。

[イコライザー]
番組を再生するときの音質を設定します。

[チャプター画像]
チャプター／番組画像を表示します。→P272

[サイト接続]
再生中の番組にURL情報がある場合は、サイトに接続します。

番組のチャプター一覧を表示する

チャプターを選択して再生したり、情報を表示したりします。

1 Music&Videoチャネルプレイヤー画面(P260)▶[プレイリスト]

- 再生中のチャプターにはが表示されます。
- [再生]：選択中のチャプターを再生します。
- [情報]：選択中のチャプターの情報を表示します。

Music&Videoチャネル画面の番組のアイコンについて

Music&Videoチャネル画面や番組の一覧画面には、番組の取得状況や種類などを示す次のアイコンが表示されます。

アイコン	説　明
／	再生制限のある未再生／再生済みの番組
／	再生制限のない未再生／再生済みの番組
／	「配信番組」フォルダから移動した再生制限のある／ない番組
／	部分的に取得に成功した再生制限のある／ない番組
	取得したチャプター
	取得できなかったチャプター
	更新できなかった番組
	取得設定済み（未取得）の番組
	番組取得中

保存番組フォルダへ移動する

取得した番組を上書きされないように「配信番組」フォルダから他のフォルダへ移動できます。移動した番組は「データBOX」の「Music&Video ch」から再生できます。

1 Music&Videoチャネル画面(P258)▶番組にカーソルを移動▶[メニュー]▶「番組移動」

2 フォルダにカーソルを移動してタッチ▶[移動]

- 「配信番組」フォルダ以外を選択してください。

お知らせ

- 取得した番組をコピーすることはできません。
- 部分的に取得した番組は、移動できません。
- 移動先はFOMA端末本体のみです。microSDカードには移動できません。

データBOXからMusic&Videoチャネルを操作する

「データBOX」の「Music&Video ch」から配信された番組の再生、移動や番組タイトルの変更などができます。

データBOXから再生する

1 ▶ (Data box)▶「Music&Video ch」

再生できる番組がある場合は、再生されることがあります。その場合は を押してください。

フォルダ一覧画面

2 フォルダにカーソルを移動▶[開く]

番組一覧画面が表示されます。

3 番組にカーソルを移動▶[再生]

フォルダ一覧画面のサブメニュー

1 フォルダ一覧画面(P263)▶フォルダにカーソルを移動▶[メニュー]▶次の操作を行う

[新規フォルダ]
新規フォルダを作成します。
- 作成したフォルダの中にさらにフォルダを作成することはできません。

[名称変更]
選択中のフォルダ名を編集します。

[削除]
選択中のフォルダを削除します。

お知らせ
- 「配信番組」フォルダは名称変更、削除できません。

番組一覧画面のサブメニュー

1 番組一覧画面(P263)▶番組にカーソルを移動▶[メニュー]▶次の操作を行う

[再生]
選択中の番組を再生します。

[番組移動]
選択中の番組を「配信番組」フォルダから移動します。

[名称変更]
選択中の番組タイトルを変更します。

[削除]
選択中の番組を削除します。

[全件削除]
フォルダ内の番組をすべて削除します。

[複数選択]
番組を選択して削除します。
▶削除したい番組にチェックを付ける▶［削除］▶［はい］
- ［メニュー］をタッチして、「選択」「全件選択」「解除」「全解除」を選択できます。

[番組情報]
選択中の番組情報を表示します。

[チャプター一覧]
チャプター一覧を表示します。→P262

[新規フォルダ]
新規フォルダを作成します。
- 作成したフォルダの中にさらにフォルダを作成することはできません。

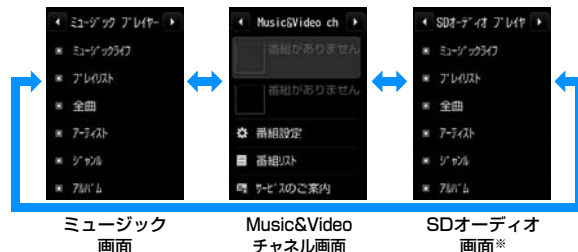
音楽の再生方法について

FOMA端末で音楽を再生する方法は次の3種類です。
- ミュージックプレイヤーで再生
  サイトから取得した着うたフル®を再生します。
- SDオーディオプレイヤーで再生
  パソコンなどを使ってmicroSDカードに保存したSD-Audioデータを再生します。
- ｉモーションとして再生
  ｉモードで取得してデータBOXに保存した音声のみのｉモーションを再生します。→P236

音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などを利用することができます（バックグラウンド再生）。→P277

Music&Videoチャネル／音楽再生のメニューについて

「ミュージック画面」「Music&Videoチャネル画面」「SDオーディオ画面」は◀／▶で切り替えることができます。

ミュージック画面　Music&Videoチャネル画面　SDオーディオ画面※

※：microSDカードにSD-Audioデータが保存されていないときは表示されません。

音楽データを保存する

着うたフル®をダウンロードする

- 着うたフル®は最大998曲、1曲あたり最大5Mバイトまで保存できます。
- ダウンロードした着うたフル®は、「データBOX」内「ミュージック」の「iモード」フォルダまたはmicroSDカードに保存されます。

1 着うたフル®があるサイトを表示▶ダウンロードする着うたフル®にカーソルを移動▶[決定]

ダウンロードが完了すると、確認画面が表示されます。

2 「保存」▶保存先のフォルダにカーソルを移動▶[選択]

再生　：ダウンロードした着うたフル®を再生します。
情報表示：ダウンロードした着うたフル®の情報を表示します。
戻る　：着うたフル®を保存せずにサイト画面に戻ります。

- microSDカードを取り付けている場合は、保存先を選択します。

microSDカードにSD-Audioデータを保存する

SD-Audioデータを FOMA端末で再生するには、次のものが必要です。

- FOMA L852i本体
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）
- パソコン（Windows Vista、Windows XP、Windows 2000（各日本語版））
- SD-Jukebox
- 保存したい音楽が収録されたCD
- microSDカード

■SD-Jukeboxについて

SD-Jukeboxは下記URLより購入できます。
http://club.panasonic.co.jp/mall/sense/open/
SD-Jukebox の 対 応OS は、Windows Vista、Windows XP、Windows 2000（各日本語版）です。
動作環境の詳細など、詳しくは下記URLをご参照ください。
http://panasonic.jp/support/software/sdjb/

1 付属のFOMA L852i用CD-ROMをパソコンにセットする

2 「エンターテイメントツール」をクリックする

「SD-Jukebox」の記載内容に従うとSD-Jukeboxを購入できます。

3 SD-Jukeboxをパソコンにインストールする

インストール方法については、SD-Jukeboxの取扱説明書などをご覧ください。

4 FOMA端末にmicroSDカードを挿入し、パソコンと接続する

- microSDカードの挿入方法→P245
- パソコンとの接続方法→P252

5 microSDカードに音楽データを保存する

パソコンにインストールしたSD-Jukeboxを起動して、音楽データをmicroSDカードに保存します。

- SD-Jukeboxの操作方法については、SD-Jukeboxのヘルプをご覧ください。
- 保存完了後、FOMA端末とパソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を取り外してください。

音楽データを再生する

着うたフル®を再生する

FOMA端末本体とmicroSDカードに保存されている着うたフル®を再生します。

■ 再生可能な着うたフル®のファイル形式について

ファイル形式	MP4
ビットレート	MPEG-4 AAC：8～128 kbps HE-AAC：8～128 kbps Enhanced aacPlus：16～48 kbps
保存可能曲数（FOMA端末本体）	最大998曲
作成可能なプレイリスト件数	最大10件

1 ▶(MUSIC)▶「ミュージックプレイヤー」▶次の操作を行う

ミュージック画面

[ミュージックライフ]
シーンに合わせて着うたフル®を再生します。→P277

[プレイリスト]
プレイリストを表示、作成、再生します。→P272

[全曲]
FOMA端末本体とmicroSDカードに保存されている着うたフル®を50曲まで表示します。→P268

[アーティスト]
「全曲」フォルダ内の着うたフル®をアーティストごとに表示します。

[ジャンル]
「全曲」フォルダ内の着うたフル®をジャンルごとに表示します。

[アルバム]
「全曲」フォルダ内の着うたフル®をアルバムごとに表示します。

お知らせ

- ▶(MUSIC)▶「最近聴いた曲／番組」※をタッチすると、最近再生した音楽データを再生できます。
  ※：再生中の音楽データがある場合は「再生中」と表示されます。選択すると再生中のプレイヤー画面を表示します。
- アーティスト、ジャンル、アルバムの振り分けは、音楽データの詳細情報に従います。
- 日本以外の国で使用した場合、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。

SD-Audioデータを再生する

microSDカードに保存されたAAC形式のSD-Audioデータを再生します。

■ 再生可能なSD-Audioデータのファイル形式について

ファイル形式	MPEG-2 AAC
ビットレート（ステレオ）	16～128kbps
保存可能曲数	最大999曲
作成可能なプレイリスト件数	最大98件

1 ▶(MUSIC)▶「SDオーディオプレイヤー」▶次の操作を行う

SDオーディオ画面

[ミュージックライフ]
シーンに合わせてSD-Audioデータを再生します。→P277

[プレイリスト]
プレイリストを表示、作成、再生します。→P272

[全曲]
microSDカードに保存されているSD-Audioデータを表示します。→P268

次のページへ続く

［アーティスト］
「全曲」フォルダ内のSD-Audioデータをアーティストごとに表示します。

［ジャンル］
SD-Audioデータでは、「ジャンル」の情報が扱えないため、本操作は無効です。

［アルバム］
「全曲」フォルダ内のSD-Audioデータをアルバムごとに表示します。

お知らせ

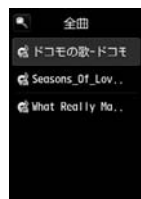
- 操作方法は、次の項目を除いてミュージックプレイヤーと同様です。
  - SDオーディオプレイヤーで利用できないサブメニュー項目は表示されません。
  - SD-Audioデータでは、「ジャンル」の情報が扱えないため、「不明」と表示されます。
  - SD-Audioデータの情報は、編集できません。

音楽データを連続再生する

FOMA端末本体とmicroSDカードに保存した全曲、またはアーティスト名、ジャンル、アルバム名を指定して連続再生できます。

例：「全曲」から再生する場合

1 ▶(MUSIC)▶「ミュージックプレイヤー」／「SDオーディオプレイヤー」▶「全曲」

- ：microSDカードに保存されている着うたフル®

音楽データ一覧画面

2 音楽データにカーソルを移動▶［再生］

選択した音楽データから、音楽データ一覧の表示順に再生します。

ミュージックプレイヤー画面

❶ リピート設定
無し
再生中楽曲
全曲
タッチすると設定を切り替えます。

❷ シャッフル
シャッフルOFF
シャッフルON
タッチすると設定を切り替えます。

❸ **アーティスト名、アルバム名、曲名**
ジャケット画像などが表示されている場合は、画面上部に表示されます。

❹ **再生経過時間／全体の長さ／再生経過バー**
再生経過をバーで表示します。
スライドして再生位置を指定できます。

❺ **音量**
タッチすると音量調節画面を表示します。

❻ **イコライザー設定**
タッチすると設定を切り替えます。

❼ **ジャケット画像／待受画像／歌詞**
タッチすると次の画像を表示します。

■ ミュージックプレイヤー画面の操作

操　作	説　明
❚❚／▶	一時停止／再生
❚❚（1秒以上）	曲の頭出しをして一時停止
▲／▼	音量調節
⏮／⏭	頭出しまたは前の曲を再生／次の曲を再生
⏮／⏭（押し続ける）	押している間巻戻し／早送り
［プレイリスト］	音楽データ一覧画面を表示 • 一覧画面表示中は再生している曲のタイトル右側に♫のアイコンが表示されます。
終話	ミュージックプレイヤーを終了

お知らせ

- 次の場合は再生が一時停止されます。動作終了後に自動的に再開されます。
  - 音声電話、テレビ電話の着信があったとき
  - ｉモードメール、SMSを受信したとき
  - アラームが鳴ったとき
- 音楽データ再生中は、タッチ操作などの効果音は出ません。

音楽データ一覧画面のサブメニュー

1 音楽データ一覧画面（P268）▶音楽データにカーソルを移動▶［メニュー］▶次の操作を行う

［再生］
選択中の音楽データから再生します。

［プレイリストに追加］
選択中の音楽データをプレイリストに追加します。→P274

［複数選択］※1
音楽データを複数選択して再生します。再生中の操作はプレイリストと同様です。→P273

▶再生したい音楽データにチェックを付ける▶［再生］

- ［メニュー］をタッチして、「再生」「プレイリストに追加」「選択／解除」を選択できます。
  「プレイリストに追加」を選択すると、チェックを付けた音楽データをプレイリストに追加できます。

［検索］※2
「タイトル」「アーティスト」「アルバム」「ジャンル」「年」※1の項目から指定して音楽データを検索します。

▶項目をタッチ▶項目を入力▶［検索］

- 指定されたすべての項目に一致する音楽データを表示します。
- 音楽データ一覧画面で🔍をタッチしても検索できます。

［ソート］※1
条件を設定して音楽データを並べ替えます。

［情報表示］
選択中の音楽データの情報を表示、編集します。

▶項目にカーソルを移動▶［編集］▶項目を編集

- 項目によっては編集できません。

※1：SDオーディオプレイヤーでは表示されません。

※2：アーティスト／ジャンル／アルバム内の音楽データ一覧画面では表示されません。

ミュージックプレイヤー／SDオーディオプレイヤー画面のサブメニュー

1 ミュージックプレイヤー／SDオーディオプレイヤー画面▶［メニュー］▶次の操作を行う

［MUSICへ］
音楽データを再生したままミュージック画面／SDオーディオ画面を表示します。→P265

［BGM再生］
バックグラウンド再生します。→P277

［リスト］
音楽データ一覧画面を表示します。→P268

［情報表示］
再生中の音楽データの情報を表示します。

［シャッフル ON・シャッフル OFF］
シャッフル再生ON／OFFを切り替えます。

［リピート設定］
無し：リピート再生しません。
再生中楽曲：再生中の音楽データをリピート再生します。
全曲：音楽データ一覧画面のすべての音楽データをリピート再生します。

［イコライザー］
楽曲を再生するときの音質を設定します。

［ジャケット画像］
ジャケット画像を表示したり、データBOXに保存したりします。→P272

［歌詞］※
歌詞を表示したり、データBOXに保存したりできます。→P272

［音設定］※
再生中の音楽データを着信音などに設定します。→P270

［サイト接続］※
再生中の音楽データにURL情報がある場合は、サイトに接続します。

※：SDオーディオプレイヤーでは表示されません。

着うたフル®を着信音に設定する

1 ミュージックプレイヤー画面（P268）▶［メニュー］▶「音設定」

2 着信音の種類をタッチ

音声電話着信音：音声電話の着信音に設定します。
テレビ電話着信音：テレビ電話の着信音に設定します。
メール着信音：iモードメールを受信したときの着信音に設定します。
メッセージR着信音：メッセージRを受信したときの着信音に設定します。
メッセージF着信音：メッセージFを受信したときの着信音に設定します。
SMS着信音：SMSを受信したときの着信音に設定します。
アラーム音：アラーム音に設定します。

3 着信音に設定する範囲を選択

［まるごと設定］
再生中の着うたフル®をそのまま着信音に設定します。

［オススメ設定］
再生中の着うたフル®にあらかじめオススメの範囲が登録されている場合に、選択できます。

［おこのみ設定］
おこのみの範囲を指定して、着信音に設定します。

▶ ⏮／⏭で開始地点を探す▶［開始］▶ ⏮／⏭で完了地点を探す▶［完了］

お知らせ

- 「アラーム音」を選択した場合は、さらに設定するアラームを選択します（アラームはあらかじめ「ON」に設定されている必要があります）。
- 着うたフル®によっては着信音に設定できません。また、microSDカード内に保存されている着うたフル®も着信音に設定できません。

音楽データの詳細情報を表示する

1 ミュージックプレイヤー画面（P268）▶［メニュー］▶「情報表示」

- ［編集］：情報を編集します。

■ 情報画面に表示される情報

項　目	情報内容
タイトル	曲名を表示
アーティスト	アーティスト名を表示
アルバム	アルバム名を表示
年	制作年を表示
ジャンル	ジャンルを表示
コメント	コメントを表示
トラック番号	アルバム内の曲番号と総曲数を表示
作曲者	作曲者を表示
作詞者	作詞者を表示
権利者	権利者を表示
販売元	販売元を表示
権利情報	権利情報を表示
レーベル	レーベルを表示
URL	関連URLを表示
まるごと着信音設定	音楽データ全体を着信音に設定できるかどうかを表示
オススメ着信音設定	音楽データにあらかじめ登録されているオススメの範囲を着信音に設定できるかどうかを表示
おこのみ着信音設定	音楽データのおこのみの範囲を着信音に設定できるかどうかを表示
保存可能ジャケット画像	保存可能なジャケット画像のあり／なしを表示
保存可能画像	保存可能な画像のあり／なしを表示
保存可能歌詞	保存可能な歌詞のあり／なしを表示
オーディオ	音声形式を表示
ビットレート	ビットレートを表示
再生時間	ファイルの再生時間を表示
ファイル名	ファイル名を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示
ファイル種別	ファイル形式を表示
保存日時	保存日時を表示

項　目	情報内容
オリジナルタイトル	ファイルの初期タイトルを表示
ファイル制限	ファイル制限が設定されているかどうかを表示→P230
取得元	取得元を表示
microSDへの移動※	microSDカードへの移動が可能かどうかを表示
再生回数／再生期限／再生期間	再生回数／再生期限／再生期間の情報を表示

※：microSDカード内のデータの場合は「本体へ移動」となり、本体への移動が可能かどうかを表示します。

音楽データに含まれた画像や歌詞を表示する

音楽データに含まれたジャケット画像、待受画像、歌詞などを表示、保存します。

1 ミュージックプレイヤー画面(P268)▶[メニュー]▶「ジャケット画像」／「歌詞」／「チャプター画像」▶次の操作を行う

[次の画像]
次の画像／歌詞を表示します。

[前の画像]
前の画像／歌詞を表示します。

[全画面表示]
画像／歌詞を全画面で表示します。

[表示ON・表示OFF]
画像／歌詞の表示／非表示を切り替えます。

[データBOXに保存]
表示中の画像／歌詞を「データBOX」内「マイピクチャ」の「iモード」フォルダに保存します。

プレイリストを利用する

プレイリストで音楽データの演奏順を指定できます。FOMA端末本体とmicroSDカードに保存した全曲からお好みの楽曲をお好みの順番で再生します。

プレイリストを作成する

プレイリストは10件まで、1件のプレイリストには50曲まで音楽データを登録できます。

1 ▶(MUSIC)▶「ミュージックプレイヤー」▶「プレイリスト」

プレイリスト一覧画面が表示されます。

2 [メニュー]▶[プレイリスト作成]▶プレイリスト名を入力

全角／半角どちらも30文字まで入力できます。

3 プレイリストに登録したい音楽データにチェックを付ける▶[完了]

■ 着うたフル®の場合
［メニュー］をタッチして、「情報表示」「全件選択」「全件解除」「ソート」を選択できます。

プレイリストを再生する

1 プレイリスト一覧画面(P272)▶再生したいプレイリストにカーソルを移動▶[選択]

プレイリスト登録済み音楽データ一覧画面が表示されます。

2 音楽データにカーソルを移動▶[再生]

選択した音楽データから、音楽データ一覧の表示順に再生します。

プレイリスト一覧画面のサブメニュー

1 プレイリスト一覧画面(P272)▶プレイリストにカーソルを移動▶[メニュー]▶次の操作を行う

[再生]
選択中のプレイリストを再生します。

[プレイリスト作成]
プレイリストを作成します。→P272

[名称変更]
プレイリスト名を変更します。

[プレイリスト複写]※
選択中のプレイリストをコピーして、新しいプレイリストを作成します。
▶［はい］▶新しいプレイリスト名を入力

[プレイリスト削除]
選択中のプレイリストを削除します。

[複数選択]
プレイリストを選択して削除します。
▶削除したいプレイリストにチェックを付ける▶［削除］▶［はい］
- ［メニュー］をタッチして、「削除」「選択／解除」を選択できます。

※：SDオーディオプレイヤーでは表示されません。

お知らせ

<名称変更／プレイリスト削除>
- 「全曲」「クイックプレイリスト」では利用できません。

<プレイリスト複写>
- 「全曲」では利用できません。

プレイリスト登録済み音楽データ一覧画面のサブメニュー

1 プレイリスト登録済み音楽データ一覧画面(P273)▶音楽データにカーソルを移動▶[メニュー]▶次の操作を行う

[再生]
選択中の音楽データから再生します。

[楽曲追加]
表示中のプレイリストに音楽データを追加します。
▶登録したい音楽データにチェックを付ける▶［完了］
- 着うたフル®の場合は、［メニュー］をタッチして、「情報表示」「全件選択」「全件解除」「ソート」を選択できます。

[移動]
選択中の音楽データの順番を移動します。
▶移動したい音楽データをタッチ▶移動先へカーソルを移動してタッチ

次のページへ続く

[リストから削除]
選択中の音楽データをプレイリストから削除します。

[複数選択]
音楽データを複数選択して再生します（SD-Audioデータの場合は削除動作になります）。再生中の操作はプレイリストと同様です。→P273

▶再生したい音楽データにチェックを付ける▶［再生］
- ［メニュー］をタッチして、「再生」※「リストから削除」「選択／解除」を選択できます。

[検索]
「タイトル」「アーティスト」「アルバム」「ジャンル」「年」※を指定して音楽データを検索します。

▶項目をタッチ▶項目を入力▶［検索］
- すべての項目に一致する音楽データを表示します。
- 検索結果画面では［メニュー］をタッチして、「再生」「プレイリストに追加」「保存」※「複数選択」※「ソート」※「情報表示」を選択できます。「保存」を選択すると、検索結果以外の音楽データをプレイリストから削除します。
- プレイリスト登録済み音楽データ一覧画面で をタッチしても検索できます。

[ソート]※
音楽データの登録情報に基づいて並べ替えます。

[情報表示]
選択中の音楽データの情報を表示、編集します。

▶項目にカーソルを移動▶［編集］▶項目を編集
- 項目によっては編集できません。

※：SDオーディオプレイヤーでは表示されません。

プレイリストに音楽データを追加する

1 ▶ (MUSIC)▶「ミュージックプレイヤー」▶「全曲」

2 登録したい音楽データにカーソルを移動▶[メニュー]▶[プレイリストに追加]▶プレイリストを選択

選択したプレイリストに音楽データが追加登録されます。
- ［作成］：選択中の音楽データを登録した新しいプレイリストを作成します。

■ 複数の音楽データを登録する場合
着うたフル®の場合は、次の操作ができます。
［メニュー］▶「複数選択」▶登録したい音楽データにチェックを付ける▶［メニュー］▶「プレイリストに追加」をタッチします。

音楽データをクイックプレイリストに登録する

音楽データ一覧画面（P268）でクイックプレイリストに登録したい曲を2秒以上タッチし続けると、選択中の音楽データを「クイックプレイリスト」に登録できます。よく聴く音楽データをまとめるときなどに便利です。
登録した音楽データを再生するときはプレイリスト一覧画面で「クイックプレイリスト」を選択します。

フォルダ・プレイリスト・音楽データの管理

着うたフル®は「データBOX」の「ミュージック」内に保存されます。また、SD-Audioデータは「データBOX」の「SDオーディオ」内に保存されます。
着うたフル®の削除、移動などはデータBOXから操作します。

- SD-AudioデータはFOMA端末では削除できません。SD-Jukeboxで操作してください。

1 ▶(Data box)▶「ミュージック」

再生できる音楽データがある場合は、再生されることがあります。その場合は を押してください。

- ／：ピクチャ表示／リスト表示を切り替えます。

■ SD-Audioデータの管理を行う場合

▶(Data box)▶「SDオーディオ」▶「全曲」「クイックプレイリスト」またはプレイリストを選択します。
サブメニューの項目については、「音楽データ一覧画面のサブメニュー」(P269)または「プレイリスト登録済み音楽データ一覧画面のサブメニュー」(P273)を参照してください。

2 フォルダにカーソルを移動▶[開く]▶音楽データにカーソルを移動▶[メニュー]▶次の操作を行う

■ プレイリストの管理を行う場合

「プレイリスト」▶［開く］▶プレイリストにカーソルを移動▶［メニュー］
サブメニューの項目については、「プレイリスト一覧画面のサブメニュー」(P273)を参照してください。

■ microSDカード内の音楽データの管理を行う場合

「microSD」▶［開く］▶音楽データにカーソルを移動▶［メニュー］▶次の操作を行います。

[ファイル]

再生	：選択中の音楽データを再生します。
移動	：選択中の音楽データを他のフォルダに移動します。▶移動先のフォルダにカーソルを移動してタッチ▶［移動］
コピー	：選択中の音楽データを他のフォルダにコピーします。▶コピー先のフォルダにカーソルを移動してタッチ▶［コピー］
1件削除	：選択中の音楽データを削除します。
全件削除	：フォルダ内の音楽データをすべて削除します。
名称変更	：選択中の音楽データの表示名を変更します。
表示名初期化	：選択中のファイルの表示名をファイルに設定されている初期タイトルに戻します。

[複数選択]

音楽データを選択して削除します。

▶削除するファイルにチェックを付ける▶［削除］▶［はい］

- 次の操作で複数の音楽データの移動／コピーができます。
▶移動／コピーしたい音楽データにチェックを付ける▶［メニュー］▶「移動」／「コピー」▶移動／コピー先のフォルダにカーソルを移動してタッチ▶［移動］／［コピー］
- ［メニュー］をタッチして、「選択」「全件選択」「解除」「全件解除」も選択できます。

[情報表示]

選択中の音楽データの情報を表示、編集します。

▶項目にカーソルを移動▶［編集］▶項目を編集

- 項目によっては編集できません。
- 編集した項目にカーソルを移動して［初期化］をタッチすると、編集前の内容に戻ります。

[送信・メール作成]

利用できない項目です。

[音設定]

選択中の音楽データを着信音に設定します。→P270

[リスト表示・ピクチャ表示]
リスト表示／ピクチャ表示を切り替えます。

[ソート]
条件を設定して音楽データを並べ替えます。

[メモリー情報]
本体メモリー：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。
外部メモリー：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

[新規フォルダ]
新規フォルダを作成します。

お知らせ

- プレイリストに登録されている音楽データを削除したり、FOMA端末とmicroSDカード間で移動したりした場合、その音楽データはプレイリストから削除されます。

<新規フォルダ>

- 作成したフォルダ内に、さらに新規フォルダを作成することはできません（「移行可能コンテンツ」フォルダ内のみ2階層まで作成できます）。

「データBOX」内の着うたフル®に表示されるアイコンについて

アイコン	説　明
／	再生回数が決められているファイル（再生可能）／再生回数を過ぎたファイル（再生不可能）
／	再生期限または再生期間内のファイル（再生可能）／再生期限を過ぎたまたは再生期間外のファイル（再生不可能）
	microSDカード内のファイル
	FOMAカード動作制限機能が設定されているファイル

フォルダ選択中のサブメニュー

1 フォルダにカーソルを移動▶[メニュー]▶次の操作を行う

[名称変更]
フォルダ名を編集します。

[新規フォルダ]
新規フォルダを作成します。

[1件削除]
選択中のフォルダを削除します。

[リスト表示・ピクチャ表示]
リスト表示／ピクチャ表示を切り替えます。

[ソート]
条件を設定してフォルダ内の音楽データを並べ替えます。

[メモリー情報]
本体メモリー：「データBOX」内の保存領域の状態などを表示します。
外部メモリー：microSDカードの保存領域の状態などを表示します。

[フォルダ情報]
フォルダサイズ、フォルダ内のファイル数、フォルダ内のフォルダ数を表示します。

- 「移行可能コンテンツ」内のフォルダ選択中は利用できません。

お知らせ

- 「プレイリスト」「microSD」フォルダは名称変更、削除できません。

<新規フォルダ>
- 作成したフォルダ内に、さらに新規フォルダを作成することはできません（「移行可能コンテンツ」フォルダ内のみ2階層まで作成できます）。

ミュージックライフ

シーンに合わせて音楽データを再生する

通勤・通学、スポーツ、就寝時など、シーンに合わせて音楽データを再生します。

1 ▶(MUSIC)▶「ミュージックプレイヤー」／「SDオーディオプレイヤー」▶「ミュージックライフ」▶次の操作を行う

［トレイン］
通勤・通学時間に音楽を楽しめるように、ボーカル部分を強調して小音量でも鮮明に聞くことができます。

プレイリスト：「全曲」「クイックプレイリスト」またはプレイリストを選択します。

ボーカル強調：ボーカル強調効果を設定します。

［スポーツタイマー］
設定した時間、音楽が再生されます。一定時間走りたい場合などにタイマー代わりに使うことができます。設定した時間に足りない場合は、選択したプレイリストを繰り返し再生します。

プレイリスト：「全曲」「クイックプレイリスト」またはプレイリストを選択します。

再生時間：再生時間を入力します。1～1200分まで入力できます。

［スリーピング］
音楽を聴きながら就寝する場合に、オフタイマーを設定して自動的に再生を停止することができます。停止約5分前から徐々に音量が小さくなり始め、約50秒前からフェードアウトして再生が停止します。設定した時間に足りない場合は、選択したプレイリストを繰り返し再生します。

プレイリスト：「全曲」「クイックプレイリスト」またはプレイリストを選択します。

オフタイマー：何分後に再生を停止するか入力します。1～1200分まで入力できます。

2 ［再生］

バックグラウンド再生

音楽を聴きながら他の機能を利用する

1 音楽再生中に［メニュー］▶「BGM再生」

再生を続けながら、待受画面を表示します。
画面上部にまたはが表示され、待受画面には、曲名やアーティスト名などの情報も表示されます。

次のページへ続く

お知らせ

- バックグラウンド再生中は、▲／▼を押して音量調節できます。
- バックグラウンド再生中にプレイヤー画面に戻るときは、◉▶🎧（ミュージックプレイヤー）をタッチします。
- バックグラウンド再生を停止するときは、終話▶［はい］をタッチします。
- バックグラウンド再生中は、待受画面にｉモーションを設定していても再生されません。
- microSDカード内のSD-Audioデータをバックグラウンド再生中には、他の機能でmicroSDカードを利用できません。バックグラウンド再生を停止してください。

その他の便利な機能

マルチアクセス

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSの3回線を同時に使用できる機能です。

通信の種類	使用できる回線
音声電話	1回線
ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール、パソコンなどをつないだパケット通信	左記の中から1回線
SMS	1回線

お知らせ

- マルチアクセスの組み合わせ→P372
- マルチアクセス中は、それぞれの通信に対して通信料金がかかります。
- テレビ電話を利用中は、SMSの受信以外はマルチアクセスを利用できません。

パケット通信中に音声電話をかける

ｉモードなどのパケット通信中に、新規タスク画面（P281）を呼び出して、音声電話をかけられます。

例：ｉモード中に音声電話をかける

1 ｉモード中の画面(P143)▶[キー](1秒以上)▶「通話」

電話番号入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力▶[キー]または[発信]

お知らせ

- ｉモード中の画面に戻るには、音声電話中画面で[キー]を押し、「ｉモード」をタッチします。

パケット通信中に音声電話を受ける

ｉモードなどのパケット通信中に、音声電話を受けられます。

例：ｉモード中に音声電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信中画面が表示されます。

2 [キー]

お知らせ

- ｉモード中の画面に戻るには、音声電話中画面で[キー]を押し、「ｉモード」をタッチします。

音声電話中に他の通信を使用する

音声電話中にメールを送受信したり、ｉモードに接続したりできます。

メールを送信する

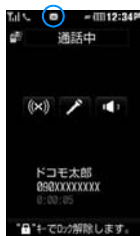
1 音声電話中画面▶[キー](1秒以上)▶「メール」

2 メールを作成して送信する

お知らせ

- メールの作成・送信→P167、P200

メールを受信する

画面上部にメールの受信をお知らせするアイコン（P33）が表示されます。

音声電話中画面

ｉモードに接続する

1 **音声電話中画面▶［ ］（1秒以上）▶「ｉモード」▶「ｉMenu」**

お知らせ

- 音声電話中画面に戻るには、［ ］▶［はい］をタッチします。

マルチタスク

マルチタスクについて

本FOMA端末では、複数の機能を同時に起動して操作できるマルチタスク機能を利用できます。

タスクマネージャ

新しい機能を呼び出す

機能使用中に別の機能を新しく呼び出す場合は、新規タスク画面を表示させます（タスクマネージャ）。

1 **各機能を利用中▶［ ］（1秒以上）**

- 起動できない機能は、機能名がグレーで表示されます。

新規タスク画面

2 **起動させる機能をタッチ**

- 起動できる項目は、利用中の機能や操作状況により異なります。

［通話］
電話番号入力画面が表示されます。→P56

［メール］
メールメニュー画面が表示されます。→P167

［ｉモード］
ｉモードメニュー画面が表示されます。→P142

［ iアプリ］
ソフト一覧画面が表示されます。→P207

［電話帳検索］
電話帳検索画面が表示されます。→P87

［ミュージック］
ミュージック画面が表示されます。→P265

［フォトモード］
静止画撮影画面が表示されます。→P129

［スケジュール］
スケジュールの月表示画面が表示されます。→P284

［To Doリスト］
To Doリスト画面が表示されます。→P289

［テキストメモ］
テキストメモ一覧画面が表示されます。→P303

［スケッチメモ］
スケッチメモ一覧画面が表示されます。→P302

［電卓］
電卓画面が表示されます。→P300

［自局番号］
自局番号画面が表示されます。→P53

お知らせ

- マルチタスクの組み合わせ→P373

機能を切り替える／確認する

実行する機能の切り替えや確認をするには、タスク一覧画面を表示させます。

1 各機能を利用中▶

- タスク一覧画面から「新規タスク」をタッチすると、新規タスク画面が表示され、別の機能を呼び出せます。また「待受画面」をタッチすると、待受画面が表示されます。

タスク一覧画面

2 実行したい機能をタッチ

選択した機能の画面に切り替わります。

機能を終了する

表示中の機能を終了させて、切り替える前の機能の画面を表示します。

1 各機能を利用中▶ ／

- 終了させる機能を表示してから操作してください。
- すべての機能を終了させるときは、この操作を繰り返します。

アラーム

指定した時刻にアラームで知らせる

FOMA端末を目覚まし時計として利用できます。アラームは10件まで登録できます。

1 ▶ (Stationery)▶「アラーム」

アラーム一覧画面

■ アラーム一覧画面で表示されるアイコン

アイコン	説 明
	「ON」に設定されたアラーム
	「繰り返し設定」が設定されたアラーム

2 編集するアラームをタッチ

3 次の操作を行う

[(ON／OFF設定)]
アラームを有効にするかどうかを設定します。

[(時刻設定)] ※
アラームが起動する時刻を設定します。

[(繰り返し設定)] ※
繰り返しの種類を選択します。
- 「日／祝／休日除く」に設定した場合は、日曜日と「休日設定」(P287)で設定した休日にはアラームを通知しません。

「曜日指定」を選択した場合は、次の操作でアラームが起動する曜日を指定します。

▶指定する曜日にチェックを付ける▶［完了］

[(アラーム音)] ※
アラーム音をタッチします。

ミュージック：「データBOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→P275
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P270）へ進みます。

ｉモーション：「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P236

メロディ：「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P241

[(テキストメモ)] ※
全角で7文字、半角で15文字まで入力できます。入力内容は、起動後のアラーム画面にも表示されます。

[(ターボアラーム)] ※
アラーム音が段階的に最大音量まで大きくなり、バイブレータが振動するターボアラームを有効にするかどうかを設定します。

[(スヌーズ)] ※
スヌーズ通知する時間の間隔を選択します。スヌーズ通知を設定しない場合は「OFF」をタッチします。

※：「 (ON／OFF設定)」を「ON」にすると設定できます。

4 [保存]

次のページへ続く

お知らせ

- 待受画面で時計表示（P101）にカーソルを移動してタッチすると、アラーム一覧画面（P283）が表示され、アラームの登録や確認ができます。

「アラーム」、および「スケジュール」「To Do」のアラームが通知時刻になると

機能ごとに次のように動作します。

アラーム

アラーム画面が表示され、アラーム音が鳴り、イルミネーションが点灯します。

- [ ]または［Off］：アラームを解除します。スヌーズを設定している場合は、スヌーズも解除されます。
- ［スヌーズ］：一旦アラーム音を止めます。スヌーズの設定時間が経過すると再びアラーム音が鳴ります。
- 何も操作しなかった場合は、アラーム音は約1分後に止まります。スヌーズを設定している場合は、約5分間隔で12回繰り返しアラームが鳴ります。（スヌーズの時間設定には関係なく5分となります。）

スケジュール

スケジュールのアラーム画面が表示され、アラーム音が鳴り、イルミネーションが点灯します。

- アラームを止めるには、［Off］をタッチし、スケジュールの詳細画面で［OFF］をタッチします。（スヌーズを設定している場合も同じです。）
- アラームを再び鳴らす場合は、［スヌーズ］▶スヌーズの通知間隔を選択します。
- 何も操作しなかった場合は、アラーム音は約1分後に止まります。その後は、約5分間隔で12回繰り返しアラームが鳴ります。

To Do

To Doのアラーム画面が表示され、アラーム音が鳴り、イルミネーションが点灯します。

- アラームを止めるには、［Off］をタッチし、To Doの詳細画面で［OFF］をタッチします。
- 何も操作しなかった場合は、アラーム音は約1分後に止まります。その後は、約5分間隔で12回繰り返しアラームが鳴ります。

アラーム、スケジュールとTo Doのアラームを同じ時刻に設定した場合

アラーム→スケジュールのアラーム→To Doのアラームの優先順で通知されます。

スケジュール

スケジュールを管理する

スケジュールを登録する

会議や約束などの予定を登録できます。スケジュールは最大200件、休日は100件まで登録できます。

1 [ ]▶[ ]（Stationery）▶「スケジュール」▶スケジュールを登録する日付にカーソルを移動▶［作成］▶次の操作を行う

新規作成画面

［[ ]（開始日）］

スケジュールを開始する日付を設定します。変更箇所をタッチして、日付を入力します。[ ]をタッチすると、カレンダー表示で選択できます。

[(終了日)]
スケジュールを終了する日付を設定します。変更箇所をタッチして、日付を入力します。をタッチすると、カレンダー表示で選択できます。
- 終了日は開始日より前に設定できません。

[(時刻設定)]
スケジュールの開始／終了時刻を設定します。

終日：特定の時刻は設定せずに、一日中のスケジュールとして登録します。

時刻設定：設定後、時刻欄をタッチして、スケジュールの開始／終了時刻を入力します。変更箇所をタッチして、時刻を入力し、［am］／［pm］を切り替えます。
- 終了時刻を開始日時より前には設定できません。
- 「日付／時刻表示設定」（P105）の設定によっては、日付や時刻の表示順や表示内容が異なります。

[(カテゴリー)]
スケジュールの種類（カテゴリー）を選択します。選択したカテゴリーによって、表示されるアイコンが変わります。

[件名]
全角で200文字、半角で400文字まで入力できます。月単位表示画面の下部に2件まで表示されます。件名を入力しないとスケジュールを登録できません。アラーム通知時の画面（アラーム画面）に表示されます。

[概要]
全角で20文字、半角で40文字まで入力できます。

[(アラーム設定)]
設定されている開始日時をアラームで通知するかどうかを設定します。
「アラームなし」以外に設定した場合は、次の操作でアラーム音を選択します。

▶欄をタッチ▶アラーム音の種類をタッチ

ミュージック：「データBOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→P275
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P270）へ進みます。

ｉモーション：「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。→P236

メロディ：「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P241

[(繰り返し設定)]
定期的に発生するスケジュールを繰り返して設定できます。繰り返さない場合は、「1回」をタッチします。「曜日指定」を選択した場合は、設定する曜日にチェックを付ける▶［完了］をタッチします。
「1回」以外に設定した場合は、次の操作で期限を設定します。

▶(期限タイプ設定）欄をタッチ▶「期限を設定」▶期限日付欄をタッチ▶期限を入力
- 「期限なし」を選択すると、際限なく繰り返しを設定します。

[(シークレット)]
「シークレットモード」（P116）が「ON」に設定されている場合に表示されます。作成するスケジュールをシークレットデータにする場合は、「設定」にします。

2 ［保存］

お知らせ

- 待受画面で日付表示（P101）またはカレンダー（P101）にカーソルを移動してタッチすると、カレンダー画面（P286）が表示され、スケジュールの登録や確認ができます。

<シークレット>

- 「シークレットモード」（P116）を「シークレット専用モード」に設定してスケジュールを登録した場合もシークレットデータになります。
- シークレットデータのスケジュールは、「シークレットモード」が「ON」または「シークレット専用モード」に設定されている場合に表示されます。
- 「シークレットモード」が「OFF」に設定されているときに、アラームが設定されているシークレットデータのスケジュールの設定時刻になった場合は、アラームは通知されますが登録内容は表示されず、通知画面には「シークレット」と表示されます。

スケジュールを確認する

スケジュールの登録内容は、カレンダー画面から確認します。

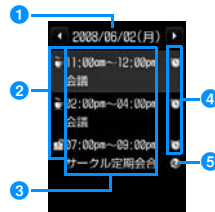
1 ▶（Stationery）▶「スケジュール」

カレンダー画面（月単位表示）

1 スケジュールが登録されている日付
2 カーソルがあたっている日付に登録されているスケジュール
2件まで表示されます。開始時刻が過ぎたスケジュールは表示されません。

- 表示を年単位で切り替えるには、年表示部分をタッチし、表示したい年をタッチします。
- 表示を月単位で切り替えるには、月表示部分をタッチし、表示したい月をタッチします。
- 月単位表示画面では、土曜日は青、日曜日や祝日、休日は赤い文字で表示されます。
- カレンダー画面は月単位表示と週単位表示に切り替えられます。
→P287

2 確認する日にカーソルを移動してタッチ

- ◀／▶：前／次の日に表示を切り替えます。

スケジュール一覧画面

1 日付
2 「カテゴリー」のアイコン
3 開始時刻～終了時刻、件名
4 アラーム設定表示
アラームが設定されている場合に表示されます。
5 日本時間以外の地域で登録されたスケジュール
「タイムゾーン設定」（P51）を日本と同じ「GMT+9：00」以外の地域に設定中に登録されたスケジュールに表示されます。

3 確認するスケジュールにカーソルを移動してタッチ

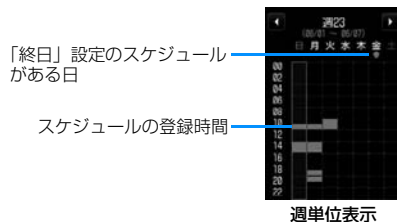
スケジュール詳細画面が表示されます。

お知らせ

- 待受画面でスケジュール（P101）にカーソルを移動してタッチすると、スケジュール一覧画面（P286）を表示できます。
- 祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号までのもの）」に基づいています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります（2008年4月現在）。

カレンダー画面の表示を切り替えるには

カレンダー画面は、1ヶ月単位で表示する月単位表示と1週間単位で表示する週単位表示の2種類があります。表示を切り替えるには、次の操作を行います。

▶カレンダー画面で［メニュー］▶「週単位表示」／「月単位表示」

週単位表示

カレンダー画面のサブメニュー

1 月単位表示（P286）／週単位表示（P287）▶［メニュー］▶次の操作を行う

［表示］

カーソルがあたっている日付のスケジュール一覧画面を表示します。

［新規作成］

新規スケジュールを登録します。→P284

［休日設定・休日設定削除］

カーソルのあたっている日付を休日に設定／設定削除します。
休日に設定する場合は、「休日」欄をタッチ▶休日名を入力▶「日付指定」欄をタッチ▶次の項目から選択▶［保存］をタッチします。

日付指定：カーソルのあたっている日付を休日に設定します。

毎週：カーソルのあたっている日付の曜日を毎週休日に設定します。

毎月：カーソルのあたっている日付を毎月休日に設定します。

毎年：カーソルのあたっている日付を毎年休日に設定します。

期間指定（2〜31）

：カーソルのあたっている日付から2〜31日の間の任意の期間を休日に設定します。設定する期間は「（期間指定）」欄に入力します。

「日付指定」または「期間指定（2〜31）」以外に設定した場合は、次の操作で期限を設定します。

▶（期限タイプ設定）欄をタッチ▶「期限を設定」▶期限日付欄をタッチ▶期限を入力

- 「期限なし」を選択すると、際限なく繰り返しを設定します。
- 休日設定を削除する場合は、「休日設定削除」▶［はい］をタッチします。「毎週」「毎月」「毎年」「期間指定（2〜31）」に設定されている休日は、繰り返し削除の確認画面でさらに［はい］をタッチします。

［週単位表示・月単位表示］

カレンダー画面の表示を週単位／月単位に切り替えます。→P287

[指定日へ移動]
指定した日のカレンダー画面を表示します。
変更箇所をタッチして日付を入力します。

[削除]

前日まで削除：当日より前の日付に設定されているスケジュールをすべて削除します。

全件削除：すべてのスケジュールを削除します。

[赤外線全件送信]
スケジュール全件を赤外線通信で送信します。→P255

[メモリー情報]
スケジュール、シークレットと休日の登録数が表示されます。

[休日リセット]
「休日設定」で設定したすべての休日を削除します。

[設定]
カレンダー画面の表示方法について設定します。

デフォルト表示
：スケジュール起動時のカレンダー画面の表示形式を設定します。

カレンダー表示設定
：週の開始の曜日を日曜日／月曜日から選択します。

スケジュール一覧／詳細画面のサブメニュー

1 スケジュール一覧画面（P286）／詳細画面（P287）▶[メニュー]▶次の操作を行う

[表示] ※1
選択中のスケジュールの詳細画面を表示します。

[新規作成]
新規スケジュールを登録します。→P284

[送信] ※2
選択中のスケジュール内容をｉモードメールの添付ファイルまたは赤外線通信で送信します。

[編集]
選択中のスケジュールを編集します。→P284

[複数選択] ※1
スケジュールを選択して削除できます。

▶削除するスケジュールにチェックを付ける▶［削除］▶［はい］

[指定日へ移動] ※1
指定した日のスケジュール一覧を表示します。「日付入力」欄の変更箇所をタッチし、日付を入力します。

[削除]
選択中のスケジュールや休日を削除します。

[microSDへコピー] ※2
選択中のスケジュールをmicroSDカードへコピーします。

※1：スケジュール詳細画面では表示されません。
※2：「休日設定」の設定内容やお買い上げ時に登録されている休日を選択している場合は利用できません。

To Doリスト

To Doを管理する

To Doを登録する

実行しなければならない用件などTo Doとして50件まで登録できます。

1 **▶ (Stationery)▶「To doリスト」▶[作成]▶次の操作を行う**

新規作成画面

[(カテゴリー)]
To Doの種類(カテゴリー)を選択します。選択したカテゴリーによって、表示されるアイコンが変わります。

[件名]
全角で200文字、半角で400文字まで入力できます。To Doリスト画面に表示されます。件名を入力しないとTo Doを登録できません。アラーム通知時の画面(アラーム画面)に表示されます。

[概要]
全角で20文字、半角で40文字まで入力できます。

[(期日)]
To Doの期日を設定します。変更箇所をタッチして、日付と時刻を入力し、[am]/[pm]を切り替えます。日付部分で をタッチすると、カレンダー表示で選択できます。
- 「日付/時刻表示設定」の設定によっては、日付や時刻の表示順や表示内容が異なります。→P105

[(優先順位)]
To Doの優先度を選択します。選択した優先度によって、表示されるアイコンが変わります。

[(状態)]
To Doの状態を選択します。選択した状態によって、表示されるアイコンが変わります。
- 「完了」を選択した場合は、次の操作で完了日時を入力します。

▶ (日付/時刻設定)欄をタッチ▶完了日時を入力
- 「完了」を選択した場合は、To Doの期日と件名の上に線が引かれ、To Doリスト画面で「完了」以外のTo Doの下に表示されます。

[(アラーム設定)]
設定されている期日をアラームで通知するかどうかを設定します。
「アラームなし」以外に設定した場合は、次の操作でアラーム音を選択します。

▶ 欄をタッチ▶アラーム音の種類をタッチ

ミュージック:「データBOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。→P275
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3(P270)へ進みます。

iモーション:「データBOX」の「iモーション」内に保存されている動画/iモーションから選択します。→P236

メロディ:「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。→P241

2 **[保存]**

To Doを確認する

登録されているTo Doを一覧表示して確認できます。

1 ▶ (Stationery)▶「To doリスト」

- 登録されているTo Doは、優先順位の高→低→指定なしの順に表示されます。優先順位が同じTo Doの場合は、期日の早いほうが上に表示されます。
  また、期日が同じ場合は、登録日時の早いほうが上に表示されます。
- 「状態」が「完了」に設定されたTo Doは、期日と件名の上に線が引かれ、「完了」以外のTo Doの下に表示されます。

To Doリスト画面

❶「状態」のアイコン
❷ 期日と件名
❸ アラームが設定されているTo Do
❹ 優先順位
　優先順位高／優先順位低／優先順位指定なし
❺ 日本時間以外の地域で登録したTo Do
　「タイムゾーン設定」(P51)を「GMT+9：00」以外の地域に設定中に登録されたTo Doに表示されます。

2 確認するTo Doにカーソルを移動してタッチ

To Do詳細画面が表示されます。

To Doリスト画面／詳細画面のサブメニュー

1 To Doリスト画面(P290)／To Do詳細画面(P290)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[表示]※
選択中のTo Doの詳細画面を表示します。

[新規作成]
新規To Doを作成します。→P289

[送信]
選択中のTo Doをｉモードメールの添付ファイルまたは赤外線通信で送信します。赤外線で全件送信もできます。

[編集]
選択中のTo Doを編集します。→P289

[状態変更]
選択中のTo Doの「状態」を変更します。→P289

[複数選択]※
To Doを選択して削除できます。
▶削除するTo Doにチェックを付ける▶［削除］▶［はい］

[削除]
選択中のTo Doを削除します。

[microSDへコピー]
選択中のTo DoをmicroSDカードへコピーします。

[カレンダーを表示]
現在の日付のカレンダーを表示します。

※：To Do詳細画面では表示されません。

記念日マネージャー

記念日を管理する

日付カウンターと日付サーチを使用して、大事な予定（イベント）までの日数を待受画面に表示させたり、簡単に調べたりできます。

日付カウンター

日付カウンターに登録する

当日までの日数を知りたい大事な予定（イベント）を30件まで登録できます。

1 ▶ (Stationery)▶「記念日マネージャー」▶「日付カウンター」▶［作成］▶次の操作を行う

日付カウンター
登録画面

［（日付）設定］
イベントがある日付を設定します。変更箇所をタッチして、日付を入力します。をタッチすると、カレンダー表示で選択できます。

［メモ］
全角で40文字、半角で80文字まで入力できます。日付カウンター一覧画面に表示されます。入力しないと日付カウンターに登録できません。

［（カテゴリー）］
イベントの種類（カテゴリー）を選択します。選択したカテゴリーによって、表示されるアイコンが変わります。

2 ［保存］

日付カウンターで確認する

登録されているイベント当日までの日数などを確認できます。

1 ▶ (Stationery)▶「記念日マネージャー」▶「日付カウンター」

日付カウンター
一覧画面

❶ **カウンター表示**
−表示：登録されている日付から現在までに経過した日数を表示します。
＋表示：現在から登録されている日付までの残りの日数を表示します。

❷ **待受画面表示アイコン**
待受画面表示に設定されているイベントです。

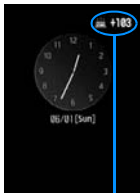
2 確認するイベントにカーソルを移動してタッチ

イベントの詳細画面が表示されます。

- ［編集］：イベントを編集します。

日付カウンターを待受画面に表示するには

登録されているイベントのうち、1件を選んで待受画面にイベントまでの日数表示ができます。表示させるには、日付カウンター一覧画面で次の操作を行います。

▶イベントにカーソルを移動▶［メニュー］▶「待受画面表示」

イベントのカテゴリーと残りの日数

日付カウンター一覧画面のサブメニュー

1 日付カウンター一覧画面（P291）▶［メニュー］▶次の操作を行う

［表示］
選択中のイベントの詳細画面を表示します。

［新規作成］
新規イベントを登録します。→P291

［編集］
選択中のイベントを編集します。→P291

［待受画面表示・待受画面表示解除］
選択中のイベントのカウンター表示を待受画面に表示するかどうかを設定します。

［複数選択］
イベントを選択して削除できます。

▶削除するイベントにチェックを付ける▶［削除］▶［はい］

［削除］
選択中のイベントを削除します。

日付サーチを利用する

ある日付から指定した日数が過ぎたときの日付（年月日）を調べることができます。例えば当日から100日後の日付を知りたい場合などに利用すると便利です。9999日後まで調べることができます。

1 ▶ (Stationery)▶「記念日マネージャー」▶「日付サーチ」▶次の操作を行う

- ［リセット］：設定値をリセットします。

［開始日］
サーチを開始する日付を設定します。変更箇所をタッチして、日付を入力します。をタッチすると、カレンダー表示で選択できます。

［日後］
調べたい日数を設定します。例えば「開始日」から100日後の日付を知りたい場合は「100」を入力します。

［結果］
指定した日数経過後の日付が表示されます。

カスタムメニュー

よく使う機能を手早く実行する

よく利用する機能などをカスタムメニューに登録しておくと、少ない操作手順で機能を呼び出せて便利です。

カスタムメニューを作成する

カスタムメニューによく利用する機能などを10件まで登録できます。お買い上げ時に登録されている機能も変更できます。

例：未登録の項目［メニュー 8］に機能を登録する場合

1 を1秒以上タッチし続ける▶[編集]▶「メニュー 8」▶[メニュー]▶「追加」

新規追加画面が表示されます。

■ 登録されている機能を変更する場合

変更する機能をタッチ▶[メニュー]▶「変更」をタッチします。

2 追加する機能をタッチ

カスタムメニューに選択した機能が登録されます。

- 既に登録されている機能は、重複して登録できません。

3 [保存]

カスタムメニューを利用する

1 を1秒以上タッチし続ける

- ▶［Custom］でも表示できます。

カスタムメニュー画面

2 呼び出したい機能にカーソルを移動してタッチ

カスタムメニュー画面のサブメニュー

1 カスタムメニュー画面(P293)▶[編集]▶[メニュー]▶次の操作を行う

[追加] ※1
機能一覧から選択した機能を追加します。→P293

[変更] ※2
登録済みの機能を変更します。

[保存]
登録した機能を保存します。

[削除] ※2
選択中の機能を削除します。

次のページへ続く

[初期リセット]
変更した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

※1：未登録のメニューを選択中に表示されます。
※2：登録済みの機能を選択中に表示されます。

自局番号

自分の名前や画像を登録する

FOMA端末にお客様の個人情報を登録できます。

1 ▶ (Own number)▶[詳細]▶端末暗証番号を入力

自局番号詳細画面が表示されます。

2 [メニュー]▶「編集」

自局番号編集画面が表示されます。

3 情報を登録▶[完了]

登録の操作については、「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」の操作2（P80）を参照してください。ただし、シークレットデータの設定はできません。

- あらかじめ登録されている自局番号の変更や削除はできません。

お知らせ

- ｉモードでメールアドレスを変更した場合、本機能に登録したメールアドレスは自動的に更新されません。

自局番号詳細画面のサブメニュー

1 自局番号詳細画面(P294)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[メール／URL接続]
登録されている宛先情報によるメールの作成、サイトへの接続などをします。

メール作成：自局番号以外のアドレスや電話番号を宛先に設定したｉモードメールを作成します。
メール添付：自局番号の登録内容を添付したｉモードメールを作成します。
SMS作成：自局番号以外の電話番号を宛先に設定したSMSを作成します。
URL接続：登録されているURLのサイトへ接続します。

[編集]
自局番号詳細画面を編集します。→P294

[赤外線送信]
自局番号詳細画面の情報を赤外線通信を利用して送信します。→P255

[コピー]
項目コピー：自局番号詳細画面の登録内容から項目を選択してコピーします。
microSDへ：自局番号詳細画面の情報をmicroSDカードへコピーします。

[カスタマイズ発信]
登録されている自局番号以外の電話番号を変更して電話をかけます。

[リセット]
個人データの登録情報をすべて削除します。

通話時間・料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間（テレビ電話通話時間）が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「0円」もしくは「＊＊＊＊＊円」が表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が表示されます。
  ※ 901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金を表示できません（FOMAカードには蓄積されています）。
- 表示される通話時間および通話料金はリセットできます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまでも目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

お知らせ

- ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

通話時間表示

通話時間を確認する

音声電話、テレビ電話などの直前および積算の通話時間を確認できます。

1 ▶ (Phonebook&Logs)▶「通話時間表示」

［直前通話時間：音声電話］
最新の通話時間を表示します。

［直前通話時間：テレビ電話］
最新のテレビ電話通話時間を表示します。

［積算通話時間：音声電話］
リセットしてから現在までの音声電話通話時間の合計を表示します。

［積算通話時間：テレビ電話］
リセットしてから現在までのテレビ電話通話時間の合計を表示します。

お知らせ

- 通話時間表示は、99時間59分59秒を超えると0秒に戻ってカウントされます。
- 着信中や発信中の時間はカウントされません。

「通話時間表示」を各項目ごとにリセットするには

▶リセットする項目にカーソルを移動▶［メニュー］▶［リセット］▶端末暗証番号を入力▶［はい］

「通話時間表示」の全項目をリセットするには

全項目を一度にリセットできます。

▶［メニュー］▶「オールリセット」▶端末暗証番号を入力▶［はい］

積算料金表示

通話料金を確認する

通話料金は、かけた場合のみカウントされます。

1 ▶ (Phonebook&Logs)▶「通話料金表示」▶「積算料金表示」

[前回通話料金]
直前の通話料金を表示します。

[前回テレビ電話料金]
直前のテレビ電話通話料金を表示します。

[積算通話料金]
前回リセットしてから現在までの通話料金の合計を表示します。

[リセット日時]
前回リセットした日時を表示します。

お知らせ

- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。

積算通話料金をリセットする

1 ▶ (Phonebook&Logs)▶「通話料金表示」▶「積算料金表示」

2 [リセット]▶PIN2コードを入力▶[OK]

通話料金上限通知

通話料金の上限を設定する

積算通話料金の上限となる数値を設定して、上限を超えたときにお知らせします。

1 ▶ (Phonebook&Logs)▶「通話料金表示」▶「通話料金上限通知」

2 端末暗証番号を入力▶次の操作を行う

[料金制限]
料金制限をするかどうかを設定します。

[上限通知] ※
通話料金の上限を設定します。

[上限通知設定] ※
通話料金が設定した上限に達した場合の通知方法をタッチします。

OFF ：通知しません。
サウンド+アイコン ：上限通知アイコンと上限通知音で通知します。
アイコン ：上限通知アイコンのみで通知します。

※：「料金制限」を「ON」にすると設定できます。

3 [保存]

上限を超えると

待受画面に（上限通知アイコン）が表示されます。「上限通知設定」が「サウンド+アイコン」に設定されている場合は、設定料金の上限を超えた通話の終了後に上限通知音が鳴ります。

上限通知アイコン表示を消すには

表示された は消すことができます。

▶ (Phonebook&Logs) ▶「通話料金表示」▶「上限通知アイコン消去」▶端末暗証番号を入力

世界時計

世界時計を使う

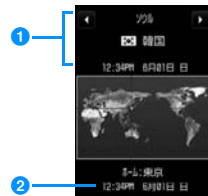
FOMA端末に登録されている世界の主要都市の日時を確認できます。

1 ▶ (Stationery)▶「世界時計」

世界時計一覧画面

❶ **ホーム設定アイコン**
ホームに設定されている都市を示します。
※ 世界時計のホーム都市は「日付／時刻設定」(P51) の「タイムゾーン設定」により設定されます。

❷ **設定されている都市と時刻**

2 [追加]

世界時計設定画面

❶ **選択中の都市名と日時**
❷ **ホーム（自国）の日時**

3 [一覧]▶追加したい都市をタッチ

世界時計一覧画面に選択した都市が追加されます。

- ／ で追加したい都市を選択できます。

世界時計一覧画面のサブメニュー

1 世界時計一覧画面(P297)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[ホーム都市変更] ※1※3
ホームに設定されている都市を変更します。

[都市変更] ※2
選択されている都市を変更します。

[サマータイム設定] ※1
サマータイムを設定します。

[アナログ時計表示・アナログ時計表示解除]
世界時計一覧画面にアナログ時計を表示するかどうかを設定します。

次のページへ続く

[削除] ※2
選択されている都市を削除します。

[全件削除] ※2
ホーム都市を除く、すべての都市を削除します。

※1：「自動時刻時差補正」が「ON」に設定されている場合は、選択できません。
※2：ホーム都市を選択中は表示されません。
※3：ホーム都市以外の都市を選択中は、表示されません。

ストップウォッチ

ストップウォッチを使う

FOMA端末をストップウォッチとして利用できます。

1 ▶(LifeKit)▶「ストップウォッチ」

- [開始]：計測を開始します。
- [停止]：計測を停止します。
- [リセット]：計測結果を消去します。
- [ラップ]：計測中に表示されます。タッチするたびにその時点の計測結果（ラップタイム）を20番まで表示します。
- [再開]：計測を再び開始します。

単位変換ツール

単位変換ツールを使う

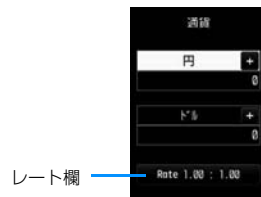
通貨、面積、長さ、重量、温度、容積、速度の単位を利用する単位に変換できます。

通貨の単位を変換する

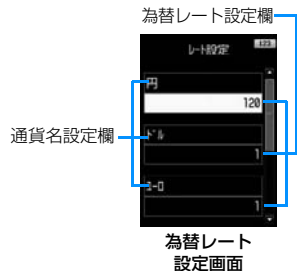
手持ちの円をドルに変換するときなどに便利な機能です。

為替レートを設定する

変換操作をする前に、為替レートを設定します。

1 ▶(Stationery)▶「単位変換ツール」▶「通貨」

通貨変換画面

2 レート欄をタッチ

- あらかじめ通貨名として「円」「ドル」「ユーロ」「通貨1～3」が登録されています。

為替レート
設定画面

3 次の操作を行う

[(通貨名設定欄)]
通貨名設定欄をタッチして通貨名を変更できます。全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
- 最上段の「円」は変更できません。

[(為替レート設定欄)]
為替レートを設定します。10桁（小数点含む）まで入力できます。小数点以下は2桁まで設定できます。例えば米ドルと円で変換する場合（例：1ドル⇔120円）は、「円」に120を設定し、「米ドル」に1を設定します。
- ／［Clear］：入力した数字を後ろから消去します。

4 [保存]

通貨を変換する

為替レートを設定した2種類の通貨の一方を他の通貨へ変換します。

1 通貨変換画面（P298）で通貨名欄（2箇所）をタッチ▶変換したい通貨名をタッチ

2 基準の通貨の数値入力欄に金額を入力する▶[OK]

もう一方の数値入力欄に変換後の金額が表示されます。どちらの数値入力欄でも入力／変換できます。
- 10桁（小数点含む）まで入力できます。また、変換後の数値が10桁（小数点含む）または2,147,483,647を超える場合は、それ以上入力できなくなります。
- 金額入力後に通貨単位欄の通貨を変更した場合は、上段の数値入力欄の金額を基準として、下段の数値入力欄に変更後の金額が表示されます。
- ／［Clear］：入力した数字を後ろから消去します。
- ［リセット］：入力した数値をすべて消去します。

面積の単位を変換する

設定した2種類の面積の単位を変換します。

1 ▶(Stationery)▶「単位変換ツール」▶「面積」

面積変換画面

2 面積単位欄（2箇所）をタッチ▶変換したい単位をタッチ

3 基準の面積の数値入力欄に数値を入力する▶[OK]

もう一方の数値入力欄に変換後の数値が表示されます。どちらの数値入力欄でも入力／変換できます。
- 数値入力の詳細は、「通貨を変換する」と同様です。→P299

温度の単位を変換する

温度の単位の摂氏（℃）と華氏（°F）を変換します。

1 ▶ (Stationery)▶「単位変換ツール」▶「温度」▶「摂氏」または「華氏」の数値入力欄に温度を入力する▶[OK]

もう一方の数値入力欄に変換後の温度が表示されます。どちらの数値入力欄でも入力／変換できます。

- −40～309まで、または10桁（−（マイナス）、小数点含む）まで入力できます。
- [(−)]：数値の前に−（マイナス）を入力します。
- ／［Clear］：入力した数字を後ろから消去します。
- ［リセット］：入力した数値をすべて消去します。

長さ、重量、容積、速度の単位を変換する

1 ▶ (Stationery)▶「単位変換ツール」▶「長さ」／「重量」／「容積」／「速度」

以降の操作は「面積の単位を変換する」（P299）と同様に操作してください。

電卓

電卓として使う

電卓機能を利用して、四則演算や関数を使った計算ができます。

1 ▶ (Stationery)▶「電卓」

電卓画面

2 計算する

- ／［CLR］：入力した数字を後ろから消去します。
- ［AC］：数字、計算をすべて消去します。

電卓画面のサブメニュー

1 電卓画面（P300）▶［機能］▶次の操作を行う

［＋／−］
入力した数字の＋／−を切り替えます。

［sin］
三角関数の計算に使用します。

［cos］
三角関数の計算に使用します。

[tan]
三角関数の計算に使用します。

[log]
対数関数の計算に使用します。

[ln]
自然対数の計算に使用します。
指定された正の数値の自然対数（底をeとする対数）を計算します。

[exp]
指数関数の計算に使用します。

[sqrt]
平方根（ルート）の計算に使用します。

[deg]
角度の単位を「度」に指定します。

[rad]
角度の単位を「ラジアン」に指定します。
ラジアンは、定数π（180°がπラジアン）で角度を表します。
1ラジアンは（360度/2π）=約57.29578度、1度は（2π/360度）=約0.01745ラジアン（π=3.141592653）になります。

スケッチメモ

スケッチメモを利用する

ディスプレイをキャンバスに見立てて、指などでイラストなどを描き、保存することができます。

スケッチメモを作成する

スケッチメモを作成して保存します。スケッチメモは10件まで登録できます。

1 ▶ (Stationery)▶「スケッチメモ」▶[作成]▶次の操作を行う

新規作成画面

[(入力)]
指などでなぞった箇所に線を描きます。

[(消しゴム)]
指などでなぞった箇所を消します。1秒以上タッチし続けると、すべての入力を消します。

次のページへ続く

[(設定)]
ペン幅やペン色などを設定します。設定後は［設定］をタッチします。

ペン幅　：ペン幅を設定します。
消しゴム幅　：消しゴム幅を設定します。
ペン色　：ペン色を設定します。
背景色　：背景色を設定します。

[(保存)]
スケッチメモを保存します。

[(取り消し)]
作成中のスケッチメモを破棄します。

スケッチメモを確認する

登録してあるスケッチメモを一覧表示して確認できます。

1 ▶(Stationery)▶「スケッチメモ」

スケッチメモ一覧画面

2 確認するスケッチメモにカーソルを移動してタッチ

スケッチメモ詳細画面が表示されます。

- ［編集］：選択中のスケッチメモを編集します。

スケッチメモ一覧画面／詳細画面のサブメニュー

1 スケッチメモ一覧画面(P302)／スケッチメモ詳細画面(P302)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[表示] ※1
選択中のスケッチメモの詳細画面を表示します。

[新規作成] ※1
新規スケッチメモを登録します。→P301

[設定]
選択中のスケッチメモを待受画面や着信画面などに設定します。設定した画面は、「データBOX」の「カメラ」フォルダに保存されます。

待受画面　：待受画面に設定します。
音声着信画面　：音声着信画面に設定します。
テレビ着信画面　：テレビ着信画面に設定します。

[データBOXへ登録]
選択中のスケッチメモをデータBOXに保存します。

[編集]
選択中のスケッチメモを編集します。→P301

[タイトル変更]
選択中のスケッチメモのタイトルを編集します。全角で15文字、半角で30文字まで入力できます。

▶名称欄をタッチ▶タイトルを入力▶［OK］

[複数選択] ※1
スケッチメモを選択して削除します。

▶削除するスケッチメモにチェックを付ける▶［削除］▶［はい］

- ［メニュー］をタッチして「削除」や、「データBOXへ登録」を選択できます。

[削除]
選択中のスケッチメモを削除します。

[タイムスタンプ表示・タイムスタンプ非表示] ※2
日付や時刻の表示／非表示を切り替えます。

※1：詳細画面では表示されません。
※2：一覧画面では表示されません。

テキストメモ
テキストメモを利用する

テキストメモを作成する

テキストメモを作成して保存します。テキストメモは50件まで登録できます。

1 ▶ (Stationery)▶「テキストメモ」▶[作成]▶次の操作を行う

新規作成画面

[? カテゴリー]
テキストメモの種類（カテゴリー）を選択します。選択したカテゴリーによって、表示されるアイコンが変わります。

[内容]
テキストメモの内容を入力します。全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。内容を入力しないと登録できません。

2 [保存]

テキストメモを確認する

登録してあるテキストメモを一覧表示して確認できます。

1 ▶ (Stationery)▶「テキストメモ」

テキストメモ一覧画面

2 確認するテキストメモにカーソルを移動してタッチ

テキストメモ詳細画面が表示されます。

- [編集]：選択中のテキストメモを編集します。

テキストメモ一覧画面／詳細画面のサブメニュー

1 テキストメモ一覧画面(P303)／テキストメモ詳細画面(P303)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[表示] ※
選択中のテキストメモの詳細画面を表示します。

[新規作成]
新規テキストメモを登録します。→P303

[送信]
選択中のテキストメモ内容をｉモードメールの添付ファイルまたは赤外線通信で送信します。赤外線で全件送信もできます。

[編集]
選択中のテキストメモを編集します。→P303

[削除]
選択中のテキストメモを削除します。

[複数選択] ※
テキストメモを選択して削除します。
▶削除するテキストメモにチェックを付ける▶［削除］▶［はい］

[microSDへコピー] ※
選択中のテキストメモ内容をmicroSDカードへコピーします。

※：詳細画面では表示されません。

平型スイッチ付イヤホンマイクで通話する

FOMA端末に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続して、電話の発着信操作ができます。

スイッチ動作を設定する

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続して電話をかけるときの相手をFOMA端末電話帳のメモリー番号で設定します。

- FOMA端末電話帳の1件目に登録された電話番号が設定されます。

1 ▶ (Settings)▶「発着信／通話機能」▶「イヤホン設定」▶次の操作を行う

イヤホン設定画面

[イヤホンスイッチ設定]
平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して電話をかけるようにするには「ON」をタッチします。

[発信メモリ番号] ※
電話帳のメモリー番号を入力します。
［検索］をタッチして、電話帳の検索画面から選択することもできます。

※：「イヤホンスイッチ設定」を「ON」にすると設定できます。

2 ［保存］

スイッチを使って電話をかける

平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して、イヤホン設定（P304）で設定した電話帳のメモリー番号に記録された電話番号に音声電話をかけられます。

1 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1回押す

2 **通話が終了したら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチ(1秒以上)を押して電話を切る**

スイッチを使って電話を受ける

1 **電話がかかってくる▶平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す**

電話に出ます。

- テレビ電話がかかってきた場合は、相手にカメラ画像が送信されます。

2 **通話が終了したら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチ(1秒以上)を押して電話を切る**

通話中にかかってきた別の電話を受ける

キャッチホンをご契約いただいて開始に設定している場合は、音声電話中に別の音声電話がかかってきたとき、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して電話に出られます。

1 **電話がかかってくる▶平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す**

通話中の音声電話が保留され、かかってきた音声電話に出ます。マルチ接続中画面が表示されます。

■ **電話に出ないで着信を拒否する場合**
平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを2秒以上押します。

2 **通話が終了したら、[終話キー]を押して電話を切る**

- マルチ接続中画面が表示されているときは、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して電話を切ることはできません。

■ **マルチ接続中に保留中の音声電話に切り替える場合**
平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを2秒以上押します。

自動通話

平型スイッチ付イヤホンマイクをつないで自動で電話を受ける

FOMA端末に平型スイッチ付イヤホンマイクを接続中に電話がかかってきたとき、設定した呼出時間が経過すると自動で電話を受けるように設定できます。

1 **[メニュー]▶[設定アイコン](Settings)▶「発着信／通話機能」▶「音声着信」▶「自動通話」▶次の操作を行う**

自動通話設定画面

[自動通話設定]
平型スイッチ付イヤホンマイクで自動的に電話を受けるには「ON」をタッチします。

[自動応答時間]※
自動着信するまでの時間を入力します。

※：「自動通話設定」を「ON」にすると設定できます。

2 **[保存]**

次のページへ続く

お知らせ

- 留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間または伝言テキストメモの応答時間より「自動応答時間」が短く設定されている場合は、本機能が優先して動作します。

時刻お知らせ

毎正時をお知らせする

毎正時（00分）に合わせてお知らせ音を鳴らすかどうかを設定します。

1 ▶ (Settings)▶「日付／時刻」▶「時刻お知らせ」▶次の操作を行う

［セットサウンド］
お知らせ音を設定します。
- 確認したいお知らせ音にカーソルを移動すると、選択したお知らせ音が確認できます。

［時刻設定］※
お知らせ音を鳴らす時間帯を設定します。
変更箇所をタッチして、時刻を入力し、［am］／［pm］を切り替えます。
- 「日付／時刻表示設定」の設定によっては、日付や時刻の表示順や表示内容が異なります。→P105

※：「セットサウンド」を「OFF」以外にすると設定できます。

2 ［完了］

お知らせ

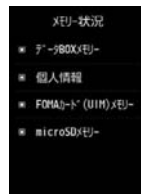
- 設定確認時のお知らせ音量は「ポップアップ表示音」に従い、毎正時のお知らせ音量は「アラーム／スケジュール音」に従います。→P97

メモリー状況

メモリの使用状況を確認する

FOMA端末のメモリの使用容量と空き容量を確認できます。microSDカードを取り付けている場合は、microSDカードのメモリの使用状況も確認できます。

- FOMA端末の使用容量には、次の機能のファイル／データがカウントされます。
  - データBOX（マイピクチャ、ｉモーション、メロディ、ミュージック、Music&Video ch）
  - 電話帳
  - スケジュール
  - 休日
  - テキストメモ
  - To Do
  - 日付カウンター

1 ▶ (Settings)▶「その他」▶「メモリー状況」

メモリー状況画面

2 確認したいメモリをタッチ

データBOXメモリー
：「データBOX」に保存されているデータの容量を表示します。

個人情報：電話帳、スケジュール、休日、テキストメモ、To Do、日付カウンターに登録されているデータの件数を表示します。

FOMAカード（UIM）メモリー
：FOMAカードに登録されているデータの容量と件数を表示します。

microSDメモリー
：microSDカードに登録されているデータの容量を表示します。

設定リセット

各種機能の設定を初期状態に戻す

各機能で変更した設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- お買い上げ時の設定に戻る機能については、「メニュー一覧」（P356）を参照してください。

1 ▶ (Settings)▶「その他」▶「リセット／削除」▶「設定リセット」▶[選択]▶[はい]▶端末暗証番号を入力

お知らせ

- 電池残量が十分な状態で「設定リセット」を実行してください。
- 「設定リセット」中は、各種機能／通信を利用できません。

メモリー削除

登録データを一括して削除する

登録してあるデータを削除します。

1 ▶ (Settings)▶「その他」▶「リセット／削除」▶「メモリー削除」▶[選択]

2 削除したい項目にチェックを付ける▶[削除]▶[はい]▶端末暗証番号を入力

プリインストールデータ
：「データBOX」のお買い上げ時のデータを削除します。

ユーザデータ
：お買い上げ時のデータ以外の「データBOX」内のすべてのデータを削除します。

PIMデータ：「電話帳」と「ステーショナリー」に登録されているデータを削除します。アラームに登録した内容は削除できません。

microSDカード内に保存されているデータを削除するには

microSDカード内に保存されているすべてのデータを削除できます。
▶ (Settings)▶「その他」▶「リセット／削除」▶「microSD削除」▶[選択]▶[はい]▶端末暗証番号を入力

お知らせ

- 積算通話時間、積算通話料金は削除されません。
- FOMAカードに保存されている各種データは削除されません。

<プリインストールデータ>
- お買い上げ時、初期設定などに使用されている一部のファイルは削除されません。
- 削除されたｉアプリ、デコメ®ピクチャ、デコメ®絵文字、壁紙（待受画面）、フレーム、スタンプ、メロディは、ｉモードサイトの「WOW LG」のサイトからダウンロードできます。ダウンロードには別途通信料がかかります。

ゲーム

ゲームを利用する

2つのゲームが登録されています。

- ゲームをする時は、FOMA端末を横にしてお使いいただくと便利です。

1 ▶(LifeKit)▶「ゲーム」

ゲーム一覧画面

2 ゲームにカーソルを移動▶[選択]

間違い探し

多種多様のジャンルを題材にした絵から間違いを探すゲームです。同じ絵でも毎回違った箇所が変わります。1人で楽しめるだけでなく、友達同士で一緒に遊べる対戦モードがあります。

1 ゲーム一覧画面(P308)▶「間違い探し」▶[選択]

2 次の操作を行う

[スタート]
ゲームを開始します。
▶「1Pモード」／「2Pモード」▶「ゴー！」

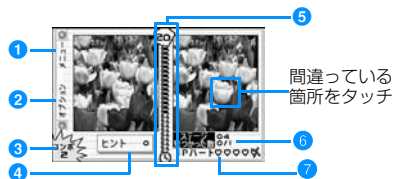
[オプション]

振動オン／振動オフ	：バイブのオン／オフを設定します。
サウンドオン/サウンドオフ	：音のオン／オフを設定します。
初期化	：設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[ヘルプ]
操作方法やゲームの内容を表示します。

[ランキング]
ランキングを表示します。

[終了]
ゲームを終了します。

■ ゲームの操作について

① **メニュー**
終了メニューを呼び出します。

② **オプション**
「振動」「サウンド」「初期化」の設定をします。

③ **コンボ表示**
連続してクリアした回数が表示され、10回連続してクリアするとヒントを獲得できます。

④ **ヒント**
ヒントの数だけヒントを表示します。

⑤ **制限時間**
残り時間を表示します。

⑥ **ステータス**
現在のステージ番号、間違いの数を表示します。

⑦ **ライフ**
現在のライフ数を表示します。間違い以外の箇所をタッチすると、ライフが1つ減ります。制限時間内に間違いを見つけられなかった場合、ライフが2つ減ります。

お知らせ

<1Pモード>
- 1人で遊びます。「名前変更」で1Pモードの名前（プロフィール）を設定することができます。◀／▶で名前を入力します。

<2Pモード>
- 2人で対戦して遊びます。対戦ルールを選択したり、1Pプロフィール／2Pプロフィールの名前（プロフィール）を設定することができます。入力方法は、<1Pモード>と同じです。

グランドゴルフ

ゴルフゲームを初めて経験する人でも、楽しめるゲームです。シーズンではコースを易しく攻略することができ、じっくりと自分の練習したいショットを気のすむまでプレーできます。
シーズンを攻略すると、新しいキャラクターが増えます。獲得したキャラクターを使って、ランキング競争（ミッション）にチャレンジもできます。簡単な操作で、スピン調節ができます。

1 **ゲーム一覧画面（P308）▶「グランドゴルフ」▶［選択］**

2 **モードを選択▶［OK］**

［シーズン］
各ショットの練習や、コースを回りながら一通りのゴルフの基本を練習します。
▶「シーズン」▶［OK］▶項目を選択▶［OK］▶「初めから」／「続きから」▶［OK］

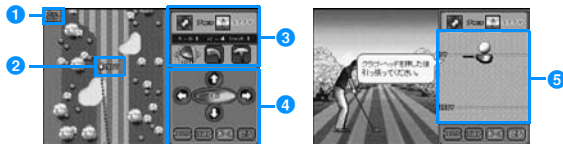
［ミッション］
決められたスコアで各項目を攻略します。一つの項目をクリアしなければ、次の項目に進むことはできません。

［オプション］

振動	：バイブのオン／オフを設定します。
サウンド	：音のオン／オフを設定します。
スピード	：ボールの動きの速さを設定します。
データ初期化	：設定をお買い上げ時の状態に戻します。

［ヘルプ］
操作方法やゲームの内容を表示します。

次のページへ続く

■ ゲームの操作について

❶ **ミニマップ**
現在のプレーをしているコース図を表示

❷ **飛距離表示**
現在選択しているクラブでショットを行うときのボールの落下地点（飛距離）や、方向を表示します。

❸ **ステータス表示**
打数やカップまでの残りの距離や、現在位置からの風向きと風速を表示します。また、現在使用中のクラブを表示します。
※：残りのコースの距離や選択するクラブによって、クラブのアイコンが変わります。

❹ **操作キー**
⬆／⬇／⬅／➡
：メニュー項目の選択や設定、クラブの選択、打撃方向の設定

[OK]　：確定

[キャラクター]
：キャラクターの選択ができます。
キャラクターを複数持っていなければ、選択できません。

[スコア]：現在のスコアの確認ができます。

[ポーズ]：ゲームを一時ストップし、メニューを表示
「ゲーム再開」「シーズン」／「ミッション」「ゲーム終了」を選択できます。

[戻る]　：前の画面に戻る

❺ **ショット領域**
クラブを下へスライド（パワー調節）し、クラブを上へスライド（スウィング）し飛ばしたい方向へ離します。
この範囲内で操作ができます。
操作方法について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

文字入力

文字入力について

電話帳の登録やメールの作成など、さまざまな状況で文字の入力が必要になりますので、あらかじめ文字の入力方法を覚えてFOMA端末をご活用ください。

文字入力画面

文字入力画面では、そのときの入力モードや入力可能文字数が表示されています。

文字入力画面

❶ **入力モード欄**
入力モードを表示します。

❷ **入力可能文字数**
入力可能な残りの文字数をバイト数で表示します。

入力モードの切り替え

入力する文字の種類に合わせて、入力モードを切り替えます。入力モードによっては、全角／半角文字の切り替えもできます。

- 入力している画面によっては切り替えができない場合があります。

1 **文字入力画面（P312）▶［文字］**

［文字］をタッチするたびに入力モードが切り替わります。［全角］／［半角］をタッチすると、全角と半角が切り替わります（かな漢字入力モードを除く）。

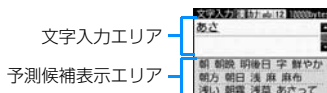
漢　　　：かな漢字入力モード
カ（ｶﾅ）：カタカナ入力モード
a／A※（ab／AB※）
　　　　：英字入力モード
1（12）：数字入力モード
※：［大文字］をタッチすると、切り替わります。

文字を入力する

かな漢字入力モードでは、入力中の文字から変換候補を予測する予測入力機能や、次に入力される文節を予測する次文節予測機能の2つの予測機能を使用して文字入力できます。

- 予測機能は「入力設定」の「予測ON／OFF」で設定できます。
- 各キーで入力できる文字については、「キーの文字割当て一覧」（P367）を参照してください。

例：かな漢字モードで文字を入力する場合

1 文字入力画面（P312）で文字を入力する

予測入力機能による変換候補（予測候補）が表示されます。

- 予測機能を「OFF」に設定している場合は、予測候補は表示されません。
- かな漢字入力モード、カタカナ入力モード、英字入力モードの場合は、文字入力後、約1.5秒経過するとカーソルが自動的に右に移動します（自動カーソル移動機能）。自動カーソル移動機能は、確定時間を変更したり、無効にしたりできます。→P316
- [→] をタッチした場合もカーソルが移動します。

■ 文字入力以外の操作

操　作	説　明
[A/a]／［大文字・小文字］	大文字／小文字を切り替えます。 ※ 切り替えできない文字、および数字入力モードでは使用できません。濁点／半濁点が付けられる文字の場合は、濁点／半濁点付加の表示後に切り替わります。
[↻]	文字の入力確定前にタッチすると、キーに割り当てられている文字が逆順に表示されます。
[↵]	変換／入力が確定した文字を改行します。
[→]	スペースを入力します（カーソルが最後尾にある場合のみ）。
[CLR キー]／[CLR]	カーソルの後の1文字を消去します。
[CLR キー]（1秒以上）／［CLR］（1秒以上）	カーソル以降の変換／入力が確定した文字をすべて消去します。カーソルが文末にある場合は、文字をすべて消去します。

2 予測候補表示エリアをタッチ

- ［確定］：入力文字を確定します。かな漢字入力モードでは、変換せずに文字を確定する場合にタッチします。
- ［カナ英数］：カタカナ、英数字の組み合わせによる変換候補を表示します。
- ［変換］：予測入力機能を使用しない場合の変換候補を表示します。予測候補に入力したい変換候補が表示されない場合にタッチします。

3 変換する文字にカーソルを移動▶［選択］

入力した文字の変換が確定します。次文節予測の候補がある場合は、表示エリアに表示されます。入力したい文字が表示された場合は、操作2～3と同様の操作で選択して入力できます。

- 予測候補表示欄をスクロールするときは、[∧]／[∨] をタッチします。
- 変換を中止して文字入力に戻る場合は [⮌] をタッチします。

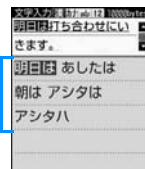
予測機能を使わずに文字を変換するには

変換したい文字が予測候補に表示されない場合や、予測入力を「OFF」に設定している場合は次の操作を行います。

① 文字入力画面（P312）で文字を入力する

② ［変換］

カーソルがあたっている部分（変換部分）の変換候補が表示されます。

- 変換部分が変換したい文字と異なる場合は、[◀]／[▶] でカーソルの範囲を変更します。

③ 変換する文字にカーソルを移動▶［選択］

入力した文字の変換が確定します。文節単位で変換されている場合は、次の文節に変換部分が移動します。

文字入力画面のサブメニュー

- 文字入力画面を表示したときの機能や、文字の入力状態などにより、表示される項目が異なります。

1 文字入力画面(P312)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[定型文]
登録されている定型文を選択して入力します。

定型文入力：登録されている定型文を選択して入力します。

定型文編集：定型文を作成して登録したり、登録した定型文を編集したりします。→P316

[文字編集]
範囲を指定して文字をコピー／切り取りして貼り付けます。→P318

[辞書編集]
単語を登録します。→P319

[引用]

電話帳：電話帳の登録内容を引用します。

自局番号：お客様の電話番号を引用します。引用には端末暗証番号の入力が必要になります。

バーコードリーダー
：バーコードリーダーが起動し、読み取った情報を引用します。

[入力設定]

予測ON／OFF：予測入力機能を設定します。→P316

自動カーソル移動：入力した文字を自動的に確定してカーソルを移動させるかどうかを設定します。→P316

[特殊入力]

スペース：カーソルの前にスペースを入力します。

改行：カーソルの前に改行を入力します。

区点コード：区点コードで文字を入力します。→P318

[入力中止]
入力した内容をすべて破棄します。

定型文を入力する

FOMA端末に登録されている定型文を利用して入力できます。

- お買い上げ時は、「ユーザ作成1」「ユーザ作成2」に定型文は登録されていません。

1 文字入力画面(P312)▶[メニュー]▶「定型文」▶「定型文入力」

定型文種別選択画面が表示されます。

2 種別を選択▶定型文にカーソルを移動▶[選択]

定型文が入力されます。

お知らせ

- 定型文は修正／登録できます。→P316
- 定型文一覧→P370

絵文字／記号／顔文字を入力する

- 入力している画面によっては入力できない場合や切り替えられない場合があります。

1 文字入力画面(P312)▶[絵／記]

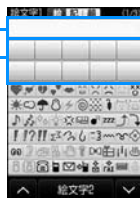
[切替] をタッチするたびに入力モードが切り替わり、一覧画面が表示されます。

絵：絵文字入力モード

記：全角／半角記号入力モード

顔：顔文字入力モード

連続入力表示欄

履歴表示欄※

絵文字一覧画面

※：顔文字一覧画面には履歴表示欄はありません。

2 入力したい絵文字／記号をタッチ

タッチした周辺が拡大表示されます。

- 履歴表示欄内の文字をタッチした場合は、タッチした文字がそのまま入力されます。

■ **顔文字の場合**

入力したいカテゴリーをタッチします。

3 入力したい絵文字／記号／顔文字をタッチ

選択した文字が入力されます。

■ **一覧画面の操作**

操　作	説　明
∨／▯	一覧画面を画面の番号順に切り替えて表示します。
∧／▯	一覧画面を画面の番号の逆順に切り替えて表示します。
[絵文字1] ／ [絵文字2] ／ [絵文字D]	絵文字一覧画面で「絵文字1」「絵文字2」「絵文字D（デコメ®絵文字）」を切り替えます。
[全角] ／ [半角]	記号一覧画面で「全角記号」「半角記号」を切り替えます。
＜／＞／ [カテゴリー]	顔文字一覧画面でカテゴリーを切り替えます。

■ **絵文字／記号／顔文字を連続入力する場合**

各入力モードの文字を連続して入力できます。

▶各入力モード画面で［連続］▶入力したい文字を続けてタッチ▶［確定］

- 絵文字／記号では拡大表示から通常表示に戻り、続けて他の文字を連続入力できます。終了するときは［確定］をタッチしてください。
- 連続入力表示欄の表示可能文字数を超えて入力はできません。

お知らせ

- 記号・特殊文字一覧→P368
- 絵文字／顔文字一覧→P369、P370

顔文字を編集するには

① ▶ (Settings) ▶「その他」▶「文字入力」▶「顔文字編集」

顔文字編集画面が表示されます。

② **顔文字の種類を選択▶編集したい顔文字にカーソルを移動▶［編集］**

選択した顔文字が入力された文字入力画面が表示されます。

③ **顔文字を変更▶［確定］**

変更した顔文字が上書きされて保存されます。

顔文字編集中のサブメニューは定型文編集時と同様です。→P317

入力設定

文字の入力設定をする

文字入力に関する設定を行います。

予測入力機能を設定する

かな漢字入力モードで入力中の文字から前文一致する変換候補を表示する予測入力機能や、次に入力される文節を予測して表示する次文節予測機能を有効にするかどうかを設定します。

1 文字入力画面(P312)▶[メニュー]▶「入力設定」▶「予測ON／OFF」▶「ON」／「OFF」▶[選択]

お知らせ

- 予測入力機能の設定は、次の操作でも可能です。
  ▶ (Settings) ▶「その他」▶「文字入力」▶「予測入力」▶「ON」／「OFF」▶ [選択]

文字を自動で確定するように設定する

文字を入力したとき、設定した時間で文字が自動的に確定されてカーソルが進むように設定できます。

1 文字入力画面(P312)▶[メニュー]▶「入力設定」▶「自動カーソル移動」▶設定時間をタッチ

OFF：自動で文字を確定しません。
遅い：入力して約2秒後に文字が確定します。
普通：入力して約1.5秒後に文字が確定します。
速い：入力して約1秒後に文字が確定します。

2 [選択]

定型文編集

定型文を修正／登録する

頻繁に使用するあいさつやフレーズなどを定型文に登録すると、文字の入力時に呼び出してすばやく入力できます。

定型文を登録する

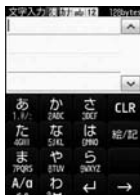
新しく登録する定型文は、「ユーザ作成1」「ユーザ作成2」に保存できます。それぞれ定型文を10件まで登録できます。

1 文字入力画面(P312)▶[メニュー]▶「定型文」▶「定型文編集」

定型文種別が一覧表示されます。

定型文編集
一覧画面

2 「ユーザ作成1」／「ユーザ作成2」▶登録する行にカーソルを移動▶[編集]

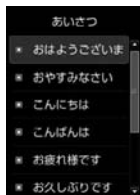
全角で64文字、半角で128文字まで入力できます。

定型文編集画面

3 登録する文字を入力▶[確定]

定型文が登録されます。

お買い上げ時の定型文を変更する

お買い上げ時に登録されている定型文を変更できます。

1 文字入力画面(P312)▶[メニュー]▶「定型文」▶「定型文編集」▶定型文種別を選択

「あいさつ」の定型文一覧画面

2 定型文にカーソルを移動▶[編集]

選択した定型文が入力された定型文編集画面が表示されます。

3 定型文を変更▶[確定]

定型文が登録されます。

お知らせ

- 自分で登録したユーザ作成フォルダの定型文も変更できます。
- 定型文の登録／変更は、次の操作でもできます。
  ▶(Settings)▶「その他」▶「文字入力」▶「定型文編集」

定型文編集一覧画面のサブメニュー

1 定型文編集一覧画面(P316)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[全件リセット]
すべての定型文をお買い上げ時の状態に戻します。

[キャンセル]
定型文の編集を終了します。

定型文一覧画面のサブメニュー

1 定型文一覧画面(P317)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[1件削除]
選択中の定型文を削除します。

[1件リセット]※
選択中の定型文をお買い上げ時の状態に戻します。

[カテゴリーリセット]
カテゴリー内のすべての定型文をお買い上げ時の状態に戻します。

次のページへ続く

[キャンセル]
定型文の編集を終了します。

※ 定型文の種別が「ユーザ作成1」「ユーザ作成2」の場合は選択できません。

文字のコピー／切り取りと貼り付け

文字をコピー／切り取りして、他の位置や画面に貼り付けられます。コピー／切り取りした文字は、電源を切るか新たに文字をコピー／切り取りするまで何度でも貼り付けができます。

1 文字入力画面(P312)▶[メニュー]▶「文字編集」▶「コピー」／「切取り」

2 始点をタッチ▶[選択]
- [全選択]：入力済みの文字をすべて選択します。

3 終点をタッチ▶[選択]

4 貼り付け先の文字入力画面を表示▶貼り付け先をタッチ

5 [メニュー]▶「文字編集」▶「貼付け」▶[はい]
- 切り取った文字や貼り付けた文字を元に戻すには、[メニュー]▶「文字編集」▶「元に戻す」をタッチします。

お知らせ

- コピーまたは切り取りした文章が、貼り付け先で入力可能な文字数を超えている場合は、入力可能な文字数以降が消去された文章が貼り付けられます。
- コピーまたは切り取った文字が、貼り付け先で入力可能な文字の場合のみ貼り付けられます。例えばメールアドレスの入力欄（半角英数字）に、ひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- 改行できない入力画面に改行を含んだ文字を貼り付けた場合は、改行部分は空白（半角スペース）に置き換えられます。
- 先に文字入力画面で始点から終点をスライドして選択し、[コピー]／[切取り]を選択することもできます。
- デコメール®本文中にコピー・切取りして貼付けた場合、デコレーションの情報も貼付けられます（一部のデコレーション情報を除く）。

区点コード入力

区点コードで入力する

4桁の区点コードを入力して文字、数字、記号などを呼び出せます。

- 「区点コード一覧」については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

1 文字入力画面(P312)▶[メニュー]▶「特殊入力」▶「区点コード」

区点コード入力画面

2 入力したい文字などの区点コード(数字4桁)を入力▶入力プレビュー欄をタッチ

対応する文字が入力されます。

- 入力したい文字などの区点コードを続けて入力すると、連続して入力できます。

3 [確定]

辞書編集

よく使う単語を登録する

文字を入力しても変換候補に出てこない単語や、特殊な読み方をする単語などを、読みがな（読み）とともに最大100件まで登録できます。文字入力時に登録した読みを入力すると変換候補に表示されます。

1 文字入力画面(P312)▶[メニュー]▶「辞書編集」

登録単語一覧画面が表示されます。

- 登録済みの単語にカーソルを移動してタッチすると、内容を確認したり編集したりできます。

2 [作成]▶次の操作を行う

[読み]

登録する単語を呼び出すための読みがなを入力します。全角ひらがなのみ20文字まで入力できます。

- 空白（スペース）は登録できません。

[単語]

登録する単語を入力します。全角で20文字、半角で40文字まで入力できます。文字入力画面で「読み」に設定した文字を入力すると、変換候補として表示されます。

- 改行は登録できません。

3 [登録]

単語が辞書に登録されます。

お知らせ

- 単語の登録は、次の操作でもできます。
  ▶(Settings）▶「その他」▶「文字入力」▶「辞書編集」
- 文字入力画面で入力済みの単語の始点から終点をスライドして選択▶［辞書登録］▶読み欄をタッチ▶読みを入力▶［登録］をタッチしても単語を登録できます。

単語を削除する

「辞書編集」で登録した単語を1件または全件削除できます。

例：1件削除する場合

1 登録単語一覧画面(P319)で削除したい単語にカーソルを移動

2 [メニュー]▶「1件削除」▶[はい]

選択した単語が削除されます。

■ 全件削除する場合

登録単語一覧画面で［メニュー］▶「全件削除」▶［はい］をタッチします。

学習情報リセット

学習データを初期状態に戻す

FOMA端末に記録されている文字入力に関する学習データをリセットして、お買い上げ時の状態に戻します。

1 ▶ (Settings)▶「その他」▶「文字入力」▶「学習情報リセット」▶[はい]

学習データとは

変換候補から選択して入力した内容や、入力した文字を変換せずに［確定］をタッチして確定した内容などの履歴を記録したデータです。次回に同じ内容の先頭文字を入力すると、変換候補の最初に表示されるようになります。

ダウンロード辞書

ダウンロードした辞書を使用する

iモードのサイトなどからダウンロードした辞書を有効にして、文字の変換時に使用するように設定できます。有効に設定できる辞書は5件までです。

- FOMA端末に保存できる辞書は最大10件です。

1 ▶ (Settings)▶「その他」▶「文字入力」▶「ダウンロード辞書」

ダウンロード辞書画面

2 有効にする辞書にチェックを付ける ▶[有効]

辞書が有効になります。

■ **辞書を無効にする場合**
有効な辞書を選択して［無効］をタッチします。

ダウンロード辞書画面のサブメニュー

1 ダウンロード辞書画面(P320)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[表示]
辞書の詳細情報を表示します。

[1件削除]
選択中の辞書を削除します。

[全件削除]
リスト中の全辞書を削除します。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料
キャッチホン	必要	有料
転送でんわサービス	必要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
発信者番号通知サービス	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
デュアルネットワークサービス	必要	有料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	必要	有料
OFFICEED	必要	有料
公共モード（ドライブモード）※	不要	無料
公共モード（電源OFF）※	不要	無料

※： 公共モード→P72

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 「OFFICEED」は申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージの録音は1件あたり最長3分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件で、最長72時間保存されます。
- 伝言メッセージが録音されると、待受画面に(数字は件数）を表示してお知らせします。ただし、テレビ電話で伝言メッセージが録音された場合は、待受画面には表示されず、着信通知（SMS）でお知らせします。
- 伝言メモ（P74）を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを開始にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、着信履歴には不在着信として記録され、(数字は件数）が表示されます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1 ：サービスを開始に設定する
ステップ2 ：電話がかかってくる※
ステップ3 ：電話をかけてきた相手が伝言メッセージを録音する
ステップ4 ：伝言メッセージを再生する

※：急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに[#]をタッチすると、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替わります。

お知らせ

- ステップ2でサービスエリア内にいるときや電源を入れているときは、設定した呼出時間が経過するまで着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間に電話に出ないと、留守番電話サービスセンターに接続されます。呼出時間は変更できます。
- ステップ3で伝言メッセージが録音されると、待受画面に(数字は件数）が表示され、着信履歴には不在着信履歴が記録されます。ただし、呼出時間が0秒に設定されている場合は、着信履歴には記録されません。
- 留守番電話サービスを停止に設定中でも、着信した音声電話をサブメニューから手動で留守番電話サービスセンターに接続できます。→P70
- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信をしてください。

留守番電話サービスを利用する

1 ▶(Service)▶「留守番電話」▶次の操作を行う

[留守番電話サービス開始]
留守番電話サービスを開始します。

[留守番呼出時間設定]
電話を着信してから留守番電話サービスセンターに接続するまでの時間を設定します。
[はい] ▶呼出時間を入力

[留守番サービス停止]
留守番電話サービスを停止します。

[留守番設定確認]
現在の留守番電話サービスの設定状況を確認します。
［メニュー］をタッチすると、留守番電話サービスの開始や停止、留守番呼出時間を設定できます。

[留守番メッセージ再生]
留守番電話サービスセンターに接続し、録音された伝言メッセージを再生します。

[留守番サービス設定]
留守番電話サービスセンターに接続し、音声ガイダンスに従って設定を変更します。

[メッセージ問合せ]
新しい伝言メッセージが録音されているかどうかを問い合わせます。

[着信通知]
FOMA端末の電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。

着信通知開始：着信通知サービスを開始します。
着信通知停止：着信通知サービスを停止します。
着信通知開始設定確認：着信通知サービスの設定状況を確認します。

[表示消去]
アイコン表示エリアに表示されているを消去します。

[件数増加鳴動設定]
新しい伝言メッセージが録音されたときにイルミネーションの点灯と着信音を鳴らすかどうかを設定します。

お知らせ
- 「SMS一括拒否」を設定している場合でも、着信通知は受信されます。
- 設定および着信通知（SMSの受信）にかかる料金は無料です。

キャッチホン

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「通話中の着信動作選択」（P328）を「通常着信」に設定してください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声電話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。
- 保留中は発信者に通話料金が加算され続けます。
- 次の場合キャッチホンは動作しません。
  - 発信中、相手を呼出中のとき
  - テレビ電話中に音声電話がかかってきたとき
  - 音声電話中にテレビ電話がかかってきたとき

キャッチホンを利用する

1 ▶ (Service)▶「キャッチホン」▶次の操作を行う

[キャッチホンサービス開始]
キャッチホンを開始します。

[キャッチホンサービス停止]
キャッチホンを停止します。

[キャッチホンサービス設定確認]
キャッチホンが設定されているか、停止されているかを確認します。

通話を保留してかかってきた電話に出る

音声電話中に別の音声電話がかかってくると、受話口から「ププププ…ププププ…」という通話中着信音が流れ、着信中画面が表示されます。

1 電話がかかってくる▶[発信キー]

通話中の音声電話が保留され、かかってきた音声電話に出ます。画面には「マルチ接続中」と表示されます(マルチ接続中画面)。

- 通話中に[サイドキー]を押すと、タッチパネルのロックを一時的に解除します。[サイドキー]を押すたびにロックを設定/解除できます。
- [発信キー]:押すたびに、現在の通話と保留中の通話を切り替えます。
- [ハンズフリーON]/[ハンズフリーOFF]:ハンズフリー通話のON/OFFを切り替えます。
- [終話キー]:現在の通話を終了します。

お知らせ

- 音声電話の通話中に「ププププ…ププププ…」という通話中着信音が聞こえても、キャッチホンサービスを停止している場合は電話に出られません。

通話を保留して電話をかける

通話中の音声電話を保留して、新たに音声電話をかけます。

1 音声電話中画面(P56)で[サイドキー]▶[メニュー]▶「新規発信」▶電話番号を入力▶[発信キー]または[発信]

新しく通話が始まり、以前の通話は自動的に保留され、マルチ接続中画面が表示されます。

- [発信キー]:押すたびに、現在の通話と保留中の通話を切り替えます。
- 保留中の電話を切る場合は、上記操作で保留中の電話に切り替え、[終話キー]を押します。

通話を終了してかかってきた電話に出る

通話中の音声電話を切り、かかってきた音声電話に出ます。キャッチホンを利用中の場合でも操作できます。

1 電話がかかってくる▶[サイドキー]▶[メニュー]▶「通話中通話終了」

音声電話の終了画面が表示され、かかってきた電話の音声電話着信中画面が表示されます。

■ **保留中の電話を終了して電話に出る場合**

[メニュー]▶「通話を終了」▶「保留中通話終了」をタッチします。

- 通話中の電話が保留され、かかってきた電話の相手と通話できます。

2 [発信キー]

通話中の着信中画面のサブメニュー

1 通話中の着信時に[サイドキー]▶[メニュー]▶次の操作を行う

[留守番サービス] ※1
着信中の電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

[着信拒否]
着信を拒否して電話を切ります。

[転送でんわ] ※2
着信中の電話を指定した電話番号へ転送します。

[通話中通話終了]
現在の通話を切って、着信中の状態になります。

[ミュート設定・ミュート解除]
現在の通話の消音／消音解除を設定します。

※1：留守番電話サービスをご契約いただいていない場合は使用できません。
※2：転送でんわサービスをご契約いただいていない場合や、転送先電話番号を指定していない場合は使用できません。

マルチ接続中画面のサブメニュー

1 マルチ接続中画面で▶[メニュー]▶次の操作を行う

[新規発信]
通話中の電話を保留して、別の相手に電話をかけます。

[通話を終了]
相手を選択して通話を終了します。

通話中通話終了：現在の通話を終了します。保留中の通話がある場合は、自動的に切り替わります。
保留中通話終了：保留中の通話を終了します。
全通話終了：すべての通話を終了します。

[通話切替]
現在の通話と保留中の通話を切り替えます。

[通話履歴]
発着信履歴一覧画面（P63）を表示します。

[ミュート設定・ミュート解除]
現在の通話の消音／消音解除を設定します。

[自局番号転送]
自分の電話番号（自局番号）が本文に入力されたｉモードメールを作成します。→P167

[電話帳検索] ※
電話帳を検索します。→P87

※：電話帳の起動中は使用できません。使用する場合は、タスク一覧画面から電話帳機能を終了させてください。→P282

転送でんわ

転送でんわサービス

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

- テレビ電話がかかってきたときは、転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話対応端末のみ転送します。
- 転送先へ転送したときの通話料金は、転送でんわサービスのご契約者にかかります。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- 伝言メモ（P74）を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを開始にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、着信履歴には不在着信として記録され、1（数字は件数）が表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1 ：転送先の電話番号を登録する
ステップ2 ：サービスを開始に設定する
ステップ3 ：電話がかかってくる
ステップ4 ：転送先へ電話を転送する

お知らせ

- ステップ3でサービスエリア内にいるときや電源を入れているときは、設定した呼出時間が経過するまで着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間に電話に出ないと、転送先に転送されます。呼出時間は変更できます。
- ステップ4で電話が転送されると、着信履歴には不在着信履歴が記録されます。ただし、呼出時間が0秒に設定されている場合は、着信履歴には記録されません。
- 転送でんわサービスを停止に設定中でも、着信した電話をサブメニューから手動で転送先に転送できます。→P70

転送でんわサービスを利用する

1 ▶ (Service)▶「転送でんわ」▶次の操作を行う

[転送サービス開始]
転送でんわサービスを開始します。

転送先変更　：転送先の電話番号を登録します。[検索]をタッチすると、電話帳から検索できます。

呼出時間設定：電話を着信してから電話を転送するまでの時間を設定します。

[転送サービス停止]
転送でんわサービスを停止します。

[転送先変更]
転送先の電話番号を変更します。[検索]をタッチすると、電話帳から検索できます。

- 確認画面が表示されます。[はい]をタッチすると、転送先の電話番号の変更と同時に転送でんわサービスを開始に設定します。

[転送先通話中時設定]※
転送先が通話中だった場合に留守番電話サービスセンターに接続するように設定します。

[転送サービス設定確認]
現在の転送でんわサービスの設定状況を確認します。

※ 留守番電話サービスをご契約いただいていない場合は使用できません。

転送ガイダンスの有無を設定する

- メニューからは操作できません。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

1 ▶「1429」を入力▶ または[発信]

以降は音声ガイダンスに従って操作してください。

迷惑電話ストップ

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 電話番号は30件まで登録できます。
- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記録されません。

1 ▶ (Service)▶「迷惑電話ストップ」▶次の操作を行う

[迷惑電話着信拒否登録]
最後に応答した相手の電話番号を登録し、着信を拒否するように設定します。

[電話番号指定拒否登録]
電話番号を指定して登録し、着信を拒否するように設定します。

[迷惑電話全登録削除]
拒否登録した電話番号をすべて削除します。

[迷惑電話1登録削除]
最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。

[拒否登録件数確認]
拒否登録した件数を確認します。

発信者番号通知

発信者番号通知サービス

電話をかけたときにお客様の電話番号を相手に通知することができるサービスです。相手の電話機がデジタル端末で発信者番号を表示できる場合は、お客様の電話番号が相手の電話機に表示されます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

1 ▶ (Service)▶「発信者番号通知」▶次の操作を行う

[通知設定]
電話をかけたときに、自分の電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。設定にはネットワーク暗証番号の入力が必要になります。

[通知設定確認]
現在の発信者番号通知サービスの設定状況を確認します。

番号通知お願いサービス

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、着信履歴に記録されず、不在着信通知画面も表示されません。

1 ▶ (Service)▶「番号通知お願いサービス」▶次の操作を行う

[番号通知開始]
番号通知お願いサービスを開始します。

[番号通知停止]
番号通知お願いサービスを停止します。

[番号通知設定確認]
現在の番号通知お願いサービスの設定状況を確認します。

お知らせ

- 本サービスは、非通知理由が「非通知設定」の電話のみ対象になります。

通話中着信設定

通話中着信設定

「通話中の着信動作選択」で設定した着信動作の使用を開始、停止します。現在の設定内容を確認することもできます。

1 ▶ (Service)▶「通話中着信設定」▶次の操作を行う

[通話中着信設定開始]
「通話中の着信動作選択」で設定した応答方法を開始します。

[通話中着信設定停止]
「通話中の着信動作選択」で設定した応答方法を停止します。

[通話中着信設定確認]
現在の通話中着信設定の設定状況を確認します。

通話中の着信動作選択

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスをご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話／テレビ電話にどのように対応するかを設定できます。

- 留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスが未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 「通話中の着信動作選択」を利用するには、「通話中着信設定」を開始に設定してください。

1 ▶ (Service)▶「通話中の着信動作選択」▶設定したい項目をタッチ

通常着信　：着信動作します。留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスが設定されている場合は、その設定に従います。

留守番電話：留守番電話サービスで応答します。キャッチホンを設定していても留守番電話サービスへ接続されます。

転送でんわ：あらかじめ登録している転送先へ転送します。キャッチホンや留守番電話サービスを設定していても転送されます。

着信拒否　：着信を拒否します。

お知らせ

- 着信動作の設定にかかわらず、かかってきた音声電話やテレビ電話は着信履歴に記録されます。

デュアルネットワーク

デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態の端末から行ってください。

1 ▶ (Service)▶「その他」▶「デュアルネットワーク」▶次の操作を行う

[デュアルネットワーク切替]
movaからFOMAに切り替えてFOMA端末を利用できるようにします。

[デュアルネットワーク状態確認]
現在の設定状態を確認します。

お知らせ

- FOMAからmovaに切り替える場合は、mova端末から操作してください。

<デュアルネットワーク切替>
- 通信中に切り替えを行うと、強制的に通信が切断されます。

英語ガイダンス

英語ガイダンス

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

■ 発信時（お客様ご自身へのガイダンス）

ガイダンス言語	説　明
日本語	日本語で音声ガイダンスが流れます。
英語	英語で音声ガイダンスが流れます。

■ 着信時（お客様に電話をかけてきた相手へのガイダンス）

ガイダンス言語	説　明
日本語	日本語で音声ガイダンスが流れます。
日本語＋英語	日本語で音声ガイダンスが流れた後に英語で音声ガイダンスが流れます。
英語＋日本語	英語で音声ガイダンスが流れた後に日本語で音声ガイダンスが流れます。

- 発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されますので、発信者側の発信時の設定と着信者側の着信時の設定を合わせておいてください。例えば、着信者側のガイダンス言語が日本語＋英語の場合、発信者側のガイダンス言語を英語に設定していないと、英語のガイダンスは流れません。

1 ▶ (Service)▶「その他」▶「英語ガイダンス」▶次の操作を行う

[ガイダンス設定]
ガイダンスを設定します。

発信時＋着信時：発信時と着信時の言語を設定します。［はい］をタッチした後に言語を選択します。

発信時：発信時の言語のみを設定します。［はい］をタッチした後に言語を選択します。

着信時：着信時の言語のみを設定します。［はい］をタッチした後に言語を選択します。

[ガイダンス設定確認]
現在のガイダンス設定の設定状況を確認します。

サービスダイヤル

サービスダイヤル

ドコモの総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 ▶ (Service)▶「その他」▶「サービスダイヤル」▶次の操作を行う

[ドコモ故障問合せ]
故障の問い合わせ先へ電話をかけます。

[ドコモ総合案内・受付]
総合案内・受付へ電話をかけます。

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を設定しておく必要があります。

1 ▶ (Service)▶「その他」▶「遠隔操作設定」▶次の操作を行う

[遠隔操作開始]
遠隔操作を開始します。

[遠隔操作停止]
遠隔操作を停止します。

[遠隔操作設定確認]
遠隔操作の設定状態を確認します。

マルチナンバー

マルチナンバー

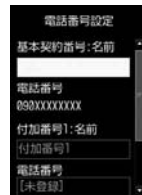
FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

- 発信中／着信中の画面には、マルチナンバー（基本契約番号／付加番号1／付加番号2）に対応した名称が表示されます。
- リダイヤルや着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

電話番号設定

付加番号を登録する

付加番号の名前や番号、着信音を登録／設定できます。

1 ▶ (Service)▶「その他」▶「マルチナンバー」▶「電話番号設定」▶次の操作を行う

電話番号設定画面

[基本契約番号：名前]
基本契約番号の名前を登録します。

[電話番号]
ご契約の電話番号（基本契約番号）を表示します。

[付加番号1：名前]
付加番号1の名前を登録します。

[電話番号]
付加番号1の電話番号を登録します。

[付加番号2：名前]
付加番号2の名前を登録します。

[電話番号]
付加番号2の電話番号を登録します。

2 ［保存］

通常発信番号を設定する

登録した付加番号を、電話をかけるときに通常使用する電話番号として設定できます。

1 ▶ (Service)▶「その他」▶「マルチナンバー」▶「通常発信番号設定」▶「基本契約番号」／「付加番号1」／「付加番号2」▶［はい］

通常発信番号の設定を確認する

1 ▶ (Service)▶「その他」▶「マルチナンバー」▶「通常発信番号設定確認」▶［はい］

1回の通話ごとに発信番号を設定する

1 ▶電話番号を入力

2 ［メニュー］▶「マルチナンバー」▶設定したい項目をタッチ

3 または［発信］

着信音や画像を設定する

1 ▶ (Service)▶「その他」▶「マルチナンバー」▶「着信音＆画像設定」▶設定する付加番号をタッチ▶次の操作を行う

付加番号設定画面

［個別設定］
着信音や画像を設定するかどうかを選択します。

［着信音］※
着信音を設定します。

ミュージック：下の欄をタッチして、「データ　BOX」の「ミュージック」内に保存されている着うたフル®から選択します。
→P275
「着うたフル®を着信音に設定する」の操作3（P270）へ進みます。

ｉモーション：下の欄をタッチして、「データBOX」の「ｉモーション」内に保存されている動画／ｉモーションから選択します。
→P236

メロディ：下の欄をタッチして、「データBOX」の「メロディ」内に保存されているメロディから選択します。
→P241

OFF：着信音を設定しません。

[着信画面] ※
着信時に表示する画像を設定します。

画像 :「データ BOX」の「マイピクチャ」内に保存されている画像から選択します。→P226

iモーション:「データBOX」の「iモーション」内に保存されている動画/iモーションから選択します。→P236

※:「個別設定」を「ON」にすると設定できます。

2 [保存]

お知らせ

- 「着信音選択」(P96)「着信画面設定」(P103)に映像/音声が含まれる動画/iモーションが設定されているときに、「着信音」「着信画面」のどちらかを「端末設定に従う」に設定した場合は、該当する音声電話/テレビ電話がかかってくると、「端末設定に従う」を設定した項目は、お買い上げ時の画像や音声が再生されます。

OFFICEED

OFFICEEDを利用する

「OFFICEED」は指定されたIMCS(屋内基地局設備)で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申し込みが必要となります。詳細はドコモの法人向けホームページ(http://www.docomo.biz/d/212/)をご確認ください。

追加サービス(USSD登録)

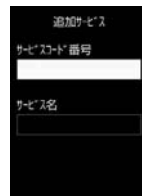
サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。新しいネットワークサービスは10件まで登録できます。

サービスを追加する

サービス名称と、ドコモから通知された「サービスコード(USSD)」を登録します。

- サービスコード(USSD)とは、サービスセンターに通知するためのコード番号です。

1 ▶(Service)▶「その他」▶「追加サービス」▶「未登録」にカーソルを移動してタッチ▶次の操作を行う

追加サービス
編集画面

[サービスコード番号]
サービスコード(USSD)を登録します。

[サービス名]
サービス名を登録します。

2 [保存]

追加サービス一覧画面のサブメニュー

1 ▶ (Service)▶「その他」▶「追加サービス」▶[メニュー]▶次の操作を行う

[編集]
選択中のサービスを修正します。

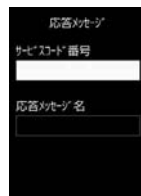
[選択] ※1
選択中のサービスを実行します。

[1件削除] ※1
選択中のサービスを削除します。

[全件削除] ※2
追加したすべてのサービスを削除します。

※1：登録済みの項目を選択中の場合のみ、表示されます。
※2：1件以上の項目が登録されている場合のみ、表示されます。

追加したサービスを実行する

1 ▶ (Service)▶「その他」▶「追加サービス」▶サービスにカーソルを移動▶[選択]

サービスセンターに接続します。

応答メッセージ

応答メッセージを登録する

追加したサービスがサービスコード（USSD）でサービスセンターに接続したとき、センターから返ってくるコード（USSD）に対応した応答メッセージを10件まで登録できます。

1 ▶ (Service)▶「その他」▶「応答メッセージ」▶「未登録」にカーソルを移動してタッチ▶次の操作を行う

応答メッセージ編集画面

[サービスコード番号]
特番／サービスコード（USSD）を登録します。

[応答メッセージ名]
応答メッセージ名を登録します。

2 [保存]

応答メッセージ一覧画面のサブメニュー

1 ▶ (Service)▶「その他」▶「応答メッセージ」▶ [メニュー]▶次の操作を行う

[編集]
選択中の応答メッセージを修正します。

[1件削除] ※1
選択中／表示中の応答メッセージを削除します。

[全件削除] ※2
すべての応答メッセージを削除します。

※1：登録済みの項目を選択中の場合のみ、表示されます。
※2：1件以上の項目が登録されている場合のみ、表示されます。

パソコン接続

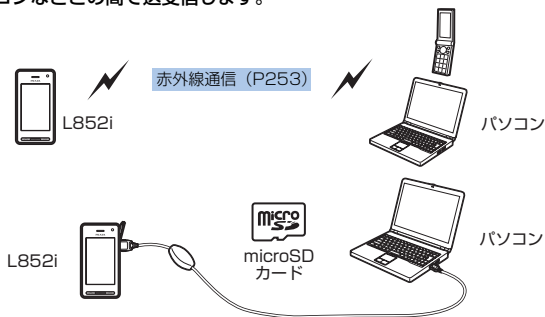
データ通信の詳細については、付属のCD-ROM内または、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」（PDF版）をご覧ください。
PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末をパソコンと接続して、パケット通信とデータ転送（OBEX™通信）によるデータ通信をご利用いただけます。

- 64Kデータ通信には対応していません。
- Remote Wakeupには対応していません。
- FAX通信はサポートしていません。
- ドコモのPDA「musea」や「sigmarion Ⅱ」「sigmarion Ⅲ」には対応していません。

データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）
- microSDカード（P244）
- ドコモケータイdatalink（P340）

お知らせ

- ドコモケータイdatalinkでは、本FOMA端末からパソコンへの画像送信は行えません。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる※1通信方式です。ネットワークに接続したままの状態で必要なときにのみデータを送受信する使いかたに適しています。通信環境やネットワークの混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用して、受信最大7.2Mbps／送信最大384kbps（ベストエフォート方式）※2の速度でデータ通信を行うことができます。

※1：多量のデータ通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

※2：・最大7.2Mbps･最大384kbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や、通信環境により異なります。

・FOMAハイスピードエリア外やmoperaなどHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するときは、送受信ともに最大384kbpsによる通信となります。

FOMA L852iは、海外でもW-CDMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、データ通信ができます。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み手続き不要、月額使用料無料です。

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細については、プロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パケット通信の条件

FOMA端末とパソコンなどを接続して通信を行うには、次の条件※が必要になります。ただし、条件が整っていても基地局の混雑状況や電波状態によって通信できないことがあります。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）が利用できるパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること

※：日本国内の場合です。

お使いになる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠） • ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1	• Windows Vista、Windows XP、Windows 2000（各日本語版）
必要メモリ	• Windows Vista：512Mバイト以上 • Windows XP：128Mバイト以上※2 • Windows 2000：64Mバイト以上※2
ハードディスク容量	• 5Mバイト以上の空き容量※2

※1：OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
※2：必要メモリ、ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

次のページへ続く

付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
［はい］をクリックしてください。
- 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

必要な機器について

データ通信を利用するには、FOMA端末とパソコン以外に次の機器、およびソフトウェアが必要です。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- FOMA L852i用CD-ROM（付属品）

お知らせ

- USBケーブルは、専用のFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02、またはFOMA USB接続ケーブルをお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- 本章は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を使用した場合の説明となっています。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）をご利用になる場合には、L852i通信設定ファイルをインストールしてください。

L852i通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール

または

- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

データ転送

データ通信の準備の流れ

FOMA端末とパソコンを接続してパケット通信を利用する場合の準備の流れは次のとおりです。詳細については「パソコン接続マニュアル」（PDF版）をご覧ください。

FOMA端末の「USBモード設定」が「通信モード」に設定されていることを確認する

FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02で接続する

L852i通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール

または

- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

インストール後の確認をする

FOMA PC設定ソフトをインストールして設定する	FOMA PC設定ソフトを使わずに設定する

接続する

お知らせ

- 「FOMA L852i用CD-ROM」に収録されているデータ通信用ソフトの「L852i通信設定ファイル（ドライバ）」や「FOMA PC設定ソフト」は、ドコモのホームページからもダウンロードできます。
http://www.nttdocomo.co.jp/support/download/

「FOMA L852i用CD-ROM」に収録されているデータ通信用ソフト

L852i通信設定ファイル（ドライバ）
FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続して、通信やファイル転送をするためにパソコンにインストールするファイルです。

FOMA PC設定ソフト
データ通信に必要なダイヤルアップなどの設定を簡単に行うために、パソコンにインストールするソフトウェアです。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンからFOMA端末の機能設定や状態確認などを行うためのコマンド（命令）です。詳細については、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」（PDF版）をご覧ください。

CD-ROMについて

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「パソコン接続マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書（PDF）が収録されております。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

<収録ソフト／PDF>

- L852i通信設定ファイル
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ
- ドコモケータイdatalinkのご案内
- mopera Uのご案内（mopera Uかんたんスタート／U かんたん接続設定ソフト／FOMAバイトカウンタ／U オリジナルデータ取得ソフト）
- PDF版「取扱説明書（詳細版）」
- PDF版「パソコン接続マニュアル」／「Manual for PC Connection」
- PDF版「区点コード一覧」／「Kuten Code List」
- Adobe® Reader®

ドコモケータイdatalinkのご紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのWEBサイトで提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

お知らせ

- ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USB接続ケーブル（別売）が必要になります。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、提携する海外の通信事業者のネットワークを利用して、国内で使用している電話番号のまま海外でも通話や通信ができるサービスです。
国際ローミング中に利用できるサービスについて詳しくは『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。また、ドコモの『国際サービスホームページ』では、国際サービスに関する最新の情報が見られるほか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』の最新版をダウンロードできます。

ドコモの『国際サービスホームページ』URL http://www.nttdocomo.co.jp/service/world/

WORLD WINGのお申し込み

2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約の方は、お申し込み手続きなしでご利用いただけます。

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。

海外で利用できるサービスについて

接続している海外の通信事業者やネットワークによって、利用できる通信サービスが異なります。国際ローミング中に利用できる通信サービスについて詳しくは『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』または、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
→P342

利用できる通信サービス

サービス	説　明
音声電話	日本国内で利用している電話番号のまま、滞在国内での発着信や、滞在国以外への国際電話の発着信ができます。
テレビ電話	海外の特定3Gの通信事業者の利用者または日本のFOMA端末利用者と国際テレビ電話ができます。
ｉモード	ｉモードを利用して、日本や滞在国の情報などを入手できます。
ｉモードメール	日本国内で利用しているメールアドレスのまま、ｉモードメールの送受信ができます。
ｉチャネル※1	日本国内と同様に定期的に情報が受信できます。※2 ｉチャネル対応ボタンを押してチャネル一覧を表示し、詳細情報の取得もできます。※3
SMS	日本国内のFOMA端末利用者やドコモ以外の海外通信事業者の利用者とSMSの送受信ができます。
データ通信	パソコンなどと接続して、海外でもデータ通信（パケット通信）が利用できます。

※1：通信事業者や地域によっては利用できない場合があります。

※2：自動更新は海外の通信事業者に接続されたとき、自動的に一時停止されます。海外でｉチャネルの自動更新を再開するには、再度ｉチャネル設定を行う必要があります。ただし、月額料金のほかにパケット通信料が課金されます。
※3：「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新についてもパケット通信料が課金されます。

海外でご利用になる前の確認

ステップ1：出発前の準備について
ステップ2：滞在先での利用について
ステップ3：帰国後の設定について

出発前の準備について

■ ご契約について

WORLD WING（P342）をお申し込みいただいていない場合は、お申し込みが必要です。
- WORLD WINGを契約したFOMAカードをFOMA端末に取り付けてください。

■ 滞在先の国・地域の通信サービスなどについて

利用が可能な国・地域および通信事業者などの情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。→P342

■ 充電について

- ACアダプタの取り扱い上のご注意について→P23
- ACアダプタでの充電方法について→P46、P48

■ ｉモードの利用について

あらかじめ「海外利用設定」を設定する必要があります。海外利用設定は、「i Menu」から「料金＆お申込・設定」▶「オプション設定」▶「海外利用設定」の順でタッチすると設定画面を表示できます。

■ ネットワークサービスの設定について

ご契約いただいているネットワークサービスの設定／解除などの操作を海外から行うことができます。次のネットワークサービスの操作が可能です。
- 発信者番号通知サービス※1※2
- 留守番電話サービス※1※3
- 転送でんわサービス※1※3
- 番号通知お願いサービス※1
- キャッチホン※1
- 英語ガイダンス※1
- 迷惑電話ストップサービス※1
- ローミングガイダンス設定※1
- ローミング時着信規制

※1：一部のサービスエリアでは設定できない場合があります。
※2：発信者番号が正しく通知できなかったり、されなかったりする場合があります。
※3：海外から操作を行う場合は、あらかじめ「遠隔操作設定」（P330、P354）を開始に設定してください。

■ 海外で便利な機能やサービスについて

機能／サービス	説　明
ローミングガイダンス（海外）	国際ローミング中であることを相手に音声ガイダンスでお知らせします。
ローミング時着信規制	国際ローミング中の着信を拒否します。
デュアルクロック表示	2つの国や地域、および都市の日付と時刻を同時に確認できます。
単位変換ツール	為替レートを設定して通貨換算ができます。

■ 本書と合わせて読んでいただきたい冊子について

冊子名	説　明
ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）	ｉモードやｉモードメールの海外での操作方法、利用料金などを説明しています。
ご利用ガイドブック（国際サービス編）	サービス内容や利用料金、注意事項など、国際ローミングサービスの詳細を説明しています。
ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）	各ネットワークサービスのサービス内容や設定方法、注意事項などを説明しています。

■ ご利用料金の請求について

海外でのご利用料金は毎月の利用料金と合わせて請求させていただきます。ただし、渡航先通信事業者などの事情により、翌月以降の請求書にてお支払いいただく場合があります。また、同一課金対象の期間の利用であっても、同一月に請求されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

- 海外でFOMA端末をご利用いただく際には、操作の参照に便利な巻末のクイックマニュアル（海外利用編）をご活用ください。

滞在先での利用について

本FOMA端末は3Gサービスエリアのみ対応しています。GSM／GPRSサービスエリアでは利用できません。

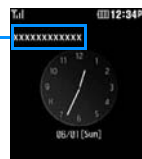
■ ネットワークの切り替えについて

お買い上げ時の設定では、「ネットワークサーチ設定」が「オート」に設定されております。海外に到着後、利用可能なネットワークが自動的に設定されます。

- ネットワークを手動で切り替えるには→P350

■ ディスプレイの表示について

※ 国内のFOMAネットワークに接続中は、ネットワーク名は表示されません。

接続中のネットワーク名が表示されます。

海外での紛失、盗難、精算などについて

〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

■ ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1）

－81－3－5366－3114*（無料）

＊ 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ FOMA L852iから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります（「+」は 0 を1秒以上タッチし続けて表示します）。

■ 一般電話などからの場合<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

－800－0120－0151*

＊ 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

海外での紛失や盗難、精算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

海外での故障に関して

〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24時間受付）

■ ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1）

－81－3－6718－1414*（無料）

＊ 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ FOMA L852iから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります（「+」は 0 を1秒以上タッチし続けて表示します）。

■ 一般電話などからの場合<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

－800－5931－8600*

＊ 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

主要国の国番号

（2008年4月現在）

ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1
イギリス	44
イタリア	39
インド	91
インドネシア	62
エジプト	20
オーストラリア	61
オーストリア	43
オランダ	31
カナダ	1
韓国	82
ギリシャ	30
シンガポール	65
スイス	41
スウェーデン	46
スペイン	34
タイ	66
台湾	886
タヒチ	689
チェコ	420
中国	86
ドイツ	49
トルコ	90
日本	81
ニューカレドニア	687
ニュージーランド	64
ノルウェー	47
ハンガリー	36
フィジー	679
フィリピン	63
フィンランド	358
フランス	33
ブラジル	55
ベトナム	84
ペルー	51
ベルギー	32
香港	852
マカオ	853
マレーシア	60
モルディブ	960
ロシア	7

次のページへ続く

※ 番号は変更になる場合があります。
※ この他の国の番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。→P342
※ 日本向け通話料がかかります。

主要国の国際電話アクセス番号（表1）

主要国の国際電話アクセス番号は次のとおりです（2008年3月現在）。

ご利用地域	番号
アイルランド	00
アメリカ合衆国	011
アラブ首長国連邦	00
イギリス	00
イタリア	00
インド	00
インドネシア	001
オーストラリア	0011
オランダ	00
カナダ	011
韓国	001
ギリシャ	00
シンガポール	001
スイス	00
スウェーデン	00
スペイン	00
タイ	001
台湾	002
チェコ	00
中国	00
デンマーク	00
ドイツ	00
トルコ	00
ニュージーランド	00
ノルウェー	00
ハンガリー	00
フィリピン	00
フィンランド	00
フランス	00
ブラジル	0021／0014
ベトナム	00
ベルギー	00
ポーランド	00
ポルトガル	00
香港	001
マカオ	00
マレーシア	00
モナコ	00
ルクセンブルク	00
ロシア	810

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は次のとおりです（2008年3月現在）。

ご利用地域	番号
アイルランド	00
アメリカ合衆国	011
アルゼンチン	00
イギリス	00
イスラエル	014
イタリア	00
オーストラリア	0011
オーストリア	00
オランダ	00
カナダ	011
韓国	001
コロンビア	009
シンガポール	001
スイス	00
スウェーデン	00
スペイン	00
タイ	001
台湾	00
中国	00
デンマーク	00
ドイツ	00
ニュージーランド	00
ノルウェー	00
ハンガリー	00
フィリピン	00
フィンランド	990
フランス	00
ブラジル	0021
ブルガリア	00
ペルー	00
ベルギー	00
ポルトガル	00
香港	001
マレーシア	00
南アフリカ	09
ルクセンブルク	00

※ 番号は変更になる場合があります。
※ この他の国の番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。→P342
※ 滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※ ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります。その場合、お客様のご負担となります。
※ 携帯電話からの場合、滞在国内通話料がかかります。
※ ユニバーサルナンバーは「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」に記載のある国のみご利用可能です。

帰国後の設定について

お買い上げ時の設定では、帰国後に自動的にFOMAネットワークに接続され、画面上部に が表示されます。

- FOMA ネットワークに切り替わらない場合は、「ネットワークサーチ設定」が「オート」に設定されているか確認してください。→P350

滞在先で電話をかける

テレビ電話をかける相手とお客様が、FOMAのテレビ電話に対応した通信事業者を利用している場合は国際テレビ電話も利用できます。

- 接続可能な国・地域および通信事業者などの詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。→P342
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA 端末に表示される相手側の画像が乱れる場合や、接続できない場合がございます。

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

相手の電話番号の先頭に「＋」と国番号を入力して電話をかけます。

- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号に「81」を入力して電話をかけてください。

1 ▶ 0 を1秒以上タッチし続けて「+」を入力▶「国番号−地域番号（市外局番）−相手の電話番号」を入力

- 海外から日本に電話をかける場合は、国番号に「81」を入力してください。
- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります）。
- 日本の携帯電話・PHSにかける場合も、同様に先頭の「0」を除いて入力してください。
- 国番号→P345

2 または［発信］

■ **テレビ電話をかける場合**

［メニュー］▶「テレビ電話発信」をタッチします。

滞在国から日本へ簡単に電話をかける

「0」から始まる電話番号が記録／登録されたリダイヤル／着信履歴や電話帳を利用して電話をかけると「0」の代わりに「＋国番号（＋81）」が自動的に付加されて簡単に日本へ電話をかけられます。

- お買い上げ時は、「＋81」（日本の国番号）が自動的に付加されるように設定されています。→P66

1 利用する履歴／電話帳を表示

■ **リダイヤルを利用する場合**
リダイヤル一覧画面（P60）／リダイヤル詳細画面（P60）を表示します。

■ **着信履歴を利用する場合**
着信履歴一覧画面（P61）／着信履歴詳細画面（P62）を表示します。

■ **電話帳を利用する場合**
電話帳一覧画面（P88）／電話帳詳細画面（P89）を表示します。

2 履歴／電話帳をタッチ

■ **電話帳一覧画面の電話帳に複数の電話番号が登録されている場合**
▶電話をかける電話番号をタッチして、操作4に進みます。

■ **電話帳詳細画面の電話帳に複数の電話番号が登録されている場合**
電話をかける電話番号にカーソルを移動してタッチし、操作4に進みます。

3

- 発信確認画面には、「＋国番号」の付加された電話番号が表示されます。

■ **テレビ電話をかける場合**
［メニュー］▶「テレビ電話発信」をタッチします。

4 「発信」▶［選択］

元の番号で発信：「0」を「＋国番号」に変換しないで電話をかけます。
中止　：電話をかけるのを中止します。

お知らせ

- FOMAネットワークのサービスエリア外（国際ローミング中）でのみ利用できます。

登録されている国番号を選択して滞在国外（日本を含む）に電話をかける

よくかける相手先の国名と国番号を「国際ダイヤルアシスト設定」の「国番号一覧」に登録しておけば、ダイヤル操作が簡単にできます。

1 ▶「地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力

2 ［メニュー］▶「国際ダイヤルアシスト」

国番号選択画面が表示されます。

3 国名にカーソルを移動▶［選択］

入力した電話番号の先頭に「＋国番号」が追加されます。

- 入力した電話番号の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて「＋国番号」が追加されます。

4 または［発信］

■ **テレビ電話をかける場合**
［メニュー］▶「テレビ電話発信」をタッチします。

お知らせ

- お買い上げ時の国番号選択画面には、22ヶ国の国番号が登録されています。国番号は追加できます。→P66
- 国番号選択画面でできる操作は、国番号一覧画面（P66）と同様です。

滞在国内に電話をかける

相手の電話番号を地域番号（市外局番）から入力して電話をかけます。

- 電話をかける相手も海外での「WORLD WING」利用者の場合は、同じ国・地域でも「滞在国外（日本を含む）に電話をかける」（P347）と同じ方法で日本への国際電話として電話をかけてください。
- 「自動国番号変換設定」（P66）を「ON」に設定している場合、地域番号（市外局番）の先頭が「0」から始まる電話番号に電話帳またはリダイヤルから電話をかけると発信確認画面が表示されます。その場合は「通常発信」をタッチして電話をかけてください。

テレビ電話をかける相手とお客様が、FOMAのテレビ電話に対応した通信事業者を利用している場合は、国際電話のダイヤル方法の後に［メニュー］▶「テレビ電話発信」をタッチして発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。

- **接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。**
- **国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できなかったり場合がございます。**

滞在先で電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信音が鳴ります。

- [終話キー]：応答を保留します。→P71

2 [通話キー]

電話に出ます。

■ カメラ画像でテレビ電話を受ける場合

[通話キー]を押します。

■ 代替画像でテレビ電話を受ける場合

［代替画像］をタッチします。

3 通話が終了したら[終話キー]

お知らせ

- 国・地域により、着信でも通話料がかかる場合があります。その場合の着信料は、国際転送料と着信料の合算になります。
- 利用する通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合や、異なる発信者番号が通知される場合があります。
- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、日本から国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には国際転送料がかかります。

日本からお客様のFOMA端末に電話をかけてもらうには

日本国内と同様に、お客様の電話番号に電話をかけてもらいます。

日本以外の国からお客様のFOMA端末に電話をかけてもらうには

お客様の滞在先に関わらず、日本経由で電話がかかってきます。海外から日本に国際電話をかけるのと同様で、次のように番号を入力してかけてもらいます。

「発信国の国際アクセス番号※1 - 81※2 - 先頭の「0」を除いたお客様の電話番号※3」を入力して電話をかける

※1：発信相手が携帯電話のときは、国際アクセス番号の代わりに「+」を入力して発信できる場合もあります。

※2：日本の国番号を入力します。

※3：「090」で始まる場合は「90-XXXX-XXXX」、「080」で始まる場合は「80-XXXX-XXXX」を入力します。

ネットワークサーチ設定

ネットワークの検索方法を設定する

海外で利用するときに、接続先のネットワークが切り替わった場合のネットワークの検索方法を選択します。

1 ▶(Settings)▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶次の操作を行う

[ネットワークサーチ設定]

オート　：ネットワークを自動的に検索して設定します。

マニュアル：ネットワークの検索画面が表示され、検索後に一覧表示されるネットワークから選択して設定します。
▶［選択］▶［はい］▶ネットワークにカーソルを移動▶［選択］
- ネットワーク名の後に「○」印のあるものが利用できます。

ネットワーク再検索
：前回と同じ方法（オート／マニュアル）で再検索します。

[優先ネットワーク設定]
優先して検索・設定するネットワークを設定します。→P350

[オペレータ名表示設定]
接続中のネットワーク名を待受画面に表示するかどうかを設定します。→P351

[接続先選択]
ｉモード以外の接続先を設定します。→P159

[SMSセンター]
SMSセンターの接続先を設定します。→P203

お知らせ

- 帰国後にネットワークの状態を示すアイコンが圏外のままの場合は、「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定してください。

<ネットワークサーチ設定>
- ネットワークの検索には時間がかかる場合があります。
- 「オート」に設定した場合は、電源をONにしたとき、圏外になったときにも自動でネットワークを検索します。

優先ネットワーク設定

優先的に接続するネットワークを設定する

FOMA端末がネットワークを検索するとき、優先して検索・設定するネットワークを20件まで登録できます。

1 ▶(Settings)▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶「優先ネットワーク設定」

優先ネットワーク一覧画面が表示されます。
- 登録されている場合は、優先度の高い順にネットワーク名が表示されます。

2 登録したい位置にカーソルを移動▶[追加]▶次の操作を行う

[マニュアル登録]
「国番号（MCC）」と「ネットワーク番号（MNC）」を入力して、ネットワークを登録します。

▶国番号とネットワーク番号を入力▶［完了］▶［はい］

[リストから登録]
FOMA端末にあらかじめ登録されているネットワーク一覧から選択して登録します。

▶ネットワークにカーソルを移動▶［選択］▶［はい］
- ［国名］：国名をタッチすると、その国で利用できるネットワークがあるページへ移動します。

[在圏ネットワーク登録]
現在接続中のネットワークを登録します。

お知らせ

- 電波状況によっては、登録したネットワーク以外に接続される場合があります。
- 本機能の設定は、FOMAカードに記録されます。

優先ネットワーク一覧画面のサブメニュー

1 優先ネットワーク一覧画面(P350)▶[メニュー]▶次の操作を行う

[新規追加]
選択中のネットワークの上に、ネットワークを検索して登録します。「優先的に接続するネットワークを設定する」の操作2(P350)へ進みます。

[変更]
選択中のネットワークの設定を他のネットワークに変更します。「優先的に接続するネットワークを設定する」の操作2(P350)へ進みます。

[削除]
選択中のネットワークを削除します。

[上へ移動] ※
選択中のネットワークをリストの1つ上に移動します。

[下へ移動] ※
選択中のネットワークをリストの1つ下に移動します。

※: 選択中のネットワークの位置によっては表示されません。

オペレータ名表示設定

ローミング中のネットワーク名の表示について

接続中のネットワーク名を待受画面に表示するかどうかを設定します。

1 ▶ (Settings)▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶「オペレータ名表示設定」▶「表示あり」/「表示なし」▶[選択]▶[はい]

ローミングガイダンス設定

ローミングガイダンスを開始する

海外へ出発する前に、国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせする音声ガイダンスを流すように設定できます。

- 日本国内で設定してください。
- 「圏外」が表示されている場合、ローミングガイダンス設定の操作はできません。

1 ▶ (Service)▶「その他」▶「ローミングガイダンス設定」▶次の操作を行う

[ローミングガイダンス開始]
ローミングガイダンスを開始に設定します。

[ローミングガイダンス停止]
ローミングガイダンスを停止に設定します。

次のページへ続く

[ローミングガイダンス設定確認]
現在の設定状態を確認します。

2 [はい]

お知らせ

- 停止に設定中の場合は、海外事業者で設定している呼び出し音が流れます。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。
- 開始に設定した場合でも、海外通信事業者の事情により、外国語の音声ガイダンスが流れる場合があります。

ローミング時着信規制

ローミング中は着信を受け付けないように設定する

ローミング中に電話の着信やメールの受信など、すべての着信を規制するように設定できます。テレビ電話の着信のみ規制するように設定することもできます。

1 ▶ (Settings)▶「国際ローミング設定」▶「ローミング時着信規制」▶次の操作を行う

[着信規制開始]
着信規制を開始します。
▶次の項目から選択▶ネットワーク暗証番号を入力▶［はい］

全着信規制：すべての着信を規制します。
テレビ電話着信規制：テレビ電話の着信のみを規制します。

[着信規制停止]
着信規制を停止します。
▶ネットワーク暗証番号を入力▶［はい］

[着信規制確認]
現在の設定状態を確認します。

お知らせ

- 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

ローミング中にネットワークサービスを利用する

海外から留守番電話サービス、転送でんわサービス、ローミングガイダンス設定のネットワークサービスを利用できます。

- 留守番電話（海外）や転送でんわ（海外）をご利用になるには、留守番電話サービスや転送でんわサービスのご契約が必要です。
- 海外でネットワークサービスを利用するときは、あらかじめ遠隔操作設定を開始に設定してください。→P330
- 海外からの操作には、ご利用いただいた国から日本への国際通話料がかかります。
- ご利用いただく国によっては、操作できない場合があります。

留守番電話（海外）

滞在先で留守番電話サービスの操作をする

海外から留守番電話サービスの開始／停止を設定できます。録音された伝言メッセージを再生したり、音声ガイダンスで設定を変更したりもできます。

- 「圏外」が表示されている場合、留守番電話（海外）の操作はできません。

1 ▶ (Settings)▶「国際ローミング設定」▶「留守番電話(海外)」▶次の操作を行う

[留守番サービス開始]
留守番電話サービスを開始に設定します。

[留守番サービス停止]
留守番電話サービスを停止に設定します。

[留守番メッセージ再生]
伝言メッセージを再生します。

[留守番サービス設定]
音声ガイダンスに従って設定を変更します。

[留守番呼出時間設定]
電話を着信してから、留守番電話サービスセンターに接続するまでの時間を設定します。

2 [はい]

3 音声ガイダンスの指示に従って操作する

お知らせ

- 渡航先のサービスエリア外で本サービスをご利用になるには、電波の届くところで事前に電源を切っていただく必要があります。

転送でんわ（海外）

滞在先で転送でんわサービスの操作をする

海外から転送でんわサービスの開始／停止を設定できます。

- 「圏外」が表示されている場合、転送でんわ（海外）の操作はできません。

1 ▶ (Settings)▶「国際ローミング設定」▶「転送でんわ(海外)」▶次の操作を行う

[転送サービス開始]
転送でんわサービスを開始に設定します。

[転送サービス停止]
転送でんわを停止に設定します。

[転送サービス設定]
現在の設定状態を確認します。

2 [はい]

3 音声ガイダンスの指示に従って操作する

お知らせ

- 渡航先のサービスエリア外で本サービスをご利用になるには、電波の届くところで事前に電源を切っていただく必要があります。

ローミングガイダンス設定（海外）

滞在先でローミングガイダンスの操作をする

海外からローミングガイダンスの開始／停止を設定できます。

- 「圏外」が表示されている場合、ローミングガイダンス（海外）の操作はできません。

1 ▶ (Settings)▶「国際ローミング設定」▶「ローミングガイダンス設定(海外)」

2 [はい]

3 音声ガイダンスの指示に従って操作する

遠隔操作設定（海外）

滞在先で遠隔操作を設定する

海外から遠隔操作設定の開始／停止を設定できます。

- 「圏外」が表示されている場合、遠隔操作設定（海外）の操作はできません。

1 ▶ (Settings)▶「国際ローミング設定」▶「遠隔操作設定（海外）」

2 [はい]

3 音声ガイダンスの指示に従って操作する

番号通知お願いサービス（海外）

滞在先で番号通知お願いサービスの操作をする

海外から番号通知お願いサービスの開始／停止を設定できます。

- 「圏外」が表示されている場合、番号通知お願いサービス（海外）の操作はできません。
- 渡航先では、お客様が「番号通知お願いサービス」をご利用の場合でも「通知不可能」と表示され着信する場合があります。

1 ▶ (Settings)▶「国際ローミング設定」▶「番号通知お願いサービス（海外）」

2 [はい]

3 音声ガイダンスの指示に従って操作する

付録／外部機器連携／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

メニュー一覧

「お買い上げ時」欄が の設定は、「設定リセット」でお買い上げ時の状態に戻る機能です。→P307

	機能名		お買い上げ時	参照先
Mail	受信メール		未登録	P182
	送信メール		未登録	P183
	未送信メール		未登録	P184
	新規メール作成		－	P167
	ｉモード問い合わせ		－	P179
	メール選択受信		－	P178
	SMS	SMS作成	－	P200
		SMS問い合わせ	－	P202
	テンプレート		プリインストールデータのみ	P174
	メール設定	通信	メール選択受信設定：OFF 添付ファイル：すべてチェックあり ｉモード問い合わせ：すべてチェックあり	P195
		編集	冒頭文編集：なし 署名編集：なし 引用符編集：> 自動貼付：「署名自動貼付」にチェックあり	P196
		表示	文字サイズ：標準 メール一覧表示：2行名前＋題名 セキュリティ：すべてチェックなし メロディ自動再生：自動再生する 受信表示：通知優先	P196
		SMS	SMS送達通知：要求しない SMS有効期間：3日 SMS本文入力：日本語（70文字）	P202
		その他	メール設定確認：－ メール設定リセット：－	P197
imode	ｉMenu		－	P143
	Bookmark		未登録	P149
	画面メモ		未登録	P152
	ラストURL		－	P145
	Internet	URL入力	－	P148
		URL履歴	履歴なし	P149
	メッセージ	メッセージR	メッセージなし	P198
		メッセージF	メッセージなし	P198
	ｉチャネル	ｉチャネルリスト	ベーシックチャネル	P163

	機能名		お買い上げ時	参照先
imode	ｉチャネル	テロップ設定	テロップ表示：ON テロップ速度：普通 テロップ文字サイズ：標準 テロップ文字色：グレー	P164
		ｉチャネル初期化	－	P164
	ｉモード問い合わせ		－	P198
	ｉモード設定	通信	接続待ち時間：60秒間 ｉモード問い合わせ：すべてチェックあり	P157
		表示	画像：表示する 効果音：効果音ON 端末情報データ利用：利用する 文字サイズ：標準 メッセージ一覧表示：2行 メッセージ自動表示：メッセージR優先 メロディ自動再生：自動再生する	P157
		ｉモーション	ｉモーション自動再生：自動再生する ｉモーションタイプ：標準タイプ	P162 P162
		ホーム	無効、URLなし	P158
		証明書	すべて有効	P160
		その他	ｉモード設定確認：－ ｉモード設定リセット：－	P158

	機能名		お買い上げ時	参照先
imode	フルブラウザ	ホーム	－	P216
		Bookmark	未登録	P216
		ラストURL	－	P216
		Internet	URL入力：－	P216
			URL履歴：履歴なし	P216
		フルブラウザ設定	通信： -アクセス設定：利用しない -Cookie設定：有効 -Cookie削除：－ -Referer設定：送信する -TLS：使用する	P221
			表示： -画面倍率：100% -表示モード設定：横スクロール無効 -画面表示設定：表示する -ウィンドウオープンガード設定：無効 -Script設定：有効（毎回確認）	P222
			ホーム設定：http://www.google.co.jp/	P222
			その他： -フルブラウザ設定確認：－ -フルブラウザ設定リセット：－	P222

次のページへ続く

	機能名		お買い上げ時	参照先
iαppli	ソフト一覧		プリインストール iアプリのみ	P207
	iアプリ情報	セキュリティエラー履歴	履歴なし	P213
		自動起動情報	情報なし	P213
		トレース情報	情報なし	P213
	iアプリ設定	ソフト情報表示設定	表示しない	P207
		自動起動設定	許可する	P212
Phonebook &Logs	電話帳登録		未登録	P80
	電話帳検索		全件検索	P87
	電話帳登録件数		－	P93
	電話帳設定	通常検索モード設定	全件検索	P93
		ドメインリスト作成	@docomo.ne.jp	P93
		画像表示	表示	P93
	グループ設定		－	P85
	通話／メール履歴	着信履歴	未登録	P61
		リダイヤル	未登録	P60
		受信履歴	未登録	P194
		送信履歴	未登録	P194
	通話時間表示		－	P295

	機能名		お買い上げ時	参照先
Phonebook &Logs	通話料金表示	積算料金表示	－	P296
		通話料金上限通知	料金制限：OFF	P296
		上限通知アイコン消去	－	P297
Data box	マイピクチャ	iモード	なし	P226
		カメラ	なし	P226
		デコメピクチャ	プリインストールファイルのみ	P226
		デコメ絵文字	プリインストールファイルのみ	P226
		プリインストール	プリインストールファイルのみ	P226
		データ交換	なし	P226
		アイテム	プリインストールファイルのみ	P226
		アニメーション	なし	P226
		microSD	－	P226
	ミュージック	iモード	なし	P275
		プレイリスト	なし	P275
		microSD	－	P275
	Music&Video ch	配信番組	なし	P263

	機能名		お買い上げ時	参照先
Data box	ｉモーション	ｉモード	なし	P236
		カメラ	なし	P236
		プリインストール	プリインストールファイルのみ	P236
		データ交換	なし	P236
		microSD	－	P236
	メロディ	ｉモード	なし	P241
		プリインストール	プリインストールファイルのみ	P241
		データ交換	なし	P241
		microSD	－	P241
	SDオーディオ		－	P275
MUSIC	最近聴いた曲／番組※		－	P267
	ミュージックプレイヤー	ミュージックライフ	トレイン：全曲、レベル2 スポーツタイマー：全曲、30分 スリーピング：全曲、30分	P277
		プレイリスト	登録なし	P272
		全曲	登録なし	P268
		アーティスト	登録なし	P268
		ジャンル	登録なし	P268
		アルバム	登録なし	P268

※：再生中の曲がある場合は「再生中」と表示されます。選択すると再生中のプレイヤー画面を表示します。

	機能名		お買い上げ時	参照先
MUSIC	Music&Video ch	番組1	登録なし	P258
		番組2	登録なし	P258
		番組設定	－	P258
		番組リスト	－	P258
		サービスのご案内	－	P258
	SDオーディオプレイヤー	ミュージックライフ	トレイン：全曲、レベル2 スポーツタイマー：全曲、30分 スリーピング：全曲、30分	P277
		プレイリスト	－	P267
		全曲	－	P267
		アーティスト	－	P267
		ジャンル	－	P267
		アルバム	－	P267

	機能名		お買い上げ時	参照先
LifeKit	バーコードリーダー		－	P137
	赤外線受信	受信	－	P255
		全件受信	－	P256
	microSD	PIM	－	P248
		PIMバックアップ	－	P248
		管理情報更新	－	P250
		メモリー情報	－	P250
		microSDフォーマット	－	P246
	カスタムメニュー		スケッチメモ、タッチパネル設定、受信メール、アラーム、スケジュール、電卓	P293
	伝言メモ	伝言メモ設定	設定：OFF	P74
		伝言メモ一覧	未登録	P75
	ストップウォッチ		－	P298
	ゲーム		間違い探し、グランドゴルフ	P308
Camera	フォトモード		－	P129
	ビデオモード		－	P132
	バーコードリーダー		－	P137
	カメラ設定	自動保存設定	保存先選択：本体 自動保存：OFF	P136
		シャッター音	シャッター音1	P136
		ちらつき調整	自動	P136

	機能名		お買い上げ時	参照先
Stationery	スケジュール		未登録	P284
	アラーム		未登録	P283
	スケッチメモ		未登録	P301
	テキストメモ		未登録	P303
	To Doリスト		未登録	P289
	世界時計		東京（日本）	P297
	電卓		－	P300
	単位変換ツール	通貨	円、ドル、Rate 1.00：1.00	P298
		面積	エーカー、ヘクタール	P299
		長さ	ミリメートル、センチメートル	P300
		重量	ミリグラム、グラム	P300
		温度	摂氏、華氏	P300
		容積	ミリリットル、リットル	P300
		速度	キロメートル／時、メートル／秒	P300
	記念日マネージャー	日付カウンター	未登録	P291
		日付サーチ	－	P292

	機能名		お買い上げ時	参照先
Settings	音／バイブレータ	着信音選択	着信音：Insist テレビ電話着信音：Soft Ring01 メール／メッセージ着信音：Message01 メッセージR着信音：Message02 メッセージF着信音：Message03 SMS着信音：Message04	P96
		効果音選択	ダイヤル音：デジタル音 バッテリー警告音：ON	P98
		タッチパネル設定	タッチ連動：音+バイブ 音選択：サウンド1 バイブ選択：バイブ1 音量設定：レベル4 バイブ設定：レベル4	P99
		音量設定	（すべて）レベル3	P97
		バイブレータ設定	（すべて）OFF	P98

	機能名		お買い上げ時	参照先
Settings	音／バイブレータ	オリジナルマナーモード	着信バイブ：パターン1 メールバイブ：パターン1 アラームバイブ：パターン1 電話着信音量：レベル0 メール着信音量：レベル0 アラーム音量：レベル0 効果音／タッチ音：レベル0 バッテリー警告音：OFF	P100
		メール鳴動設定	1回のみ	P99
		呼出動作開始時間設定	OFF	P120

次のページへ続く

	機能名		お買い上げ時	参照先
Settings	表示	待受画面設定	壁紙：画像、prada 画面表示：時計 時計表示設定：アナログ1	P101
		着信画面設定	音声着信：画像、incoming_call_black テレビ電話着信：画像、incoming_call_black	P103
		テーマ設定	PRADA	P104
		照明設定	照明時間：20秒 明るさ設定：100% 充電器接続時：端末設定に従う	P104
		メニューカスタマイズ	OFF	P105
		メニュー言語設定	英語	P51

	機能名		お買い上げ時	参照先
Settings	発着信／通話機能	音声着信	自動通話： - 自動通話設定：OFF 着信許可／拒否： - 着信許可／拒否設定：許可 - メモリ登録外着信拒否：OFF 非通知着信：（すべて）設定解除 応答保留音：保留音1 電話帳画像表示：ON	P305 P116、P118 P121 P118 P71 P103
		テレビ電話	テレビ電話設定： - テレビ電話画面設定：両方（相手画像） - 発信時自画像送信：ON - 画面サイズ設定：拡大 - 送信画質設定：標準 - 照明設定：常時点灯 - 音声自動再発信：OFF - ハンズフリー設定：ON 代替画像：デフォルト 応答保留画像：デフォルト 通話中保留画像：デフォルト	P77 P77 P77 P77 P77 P77 P77 P76 P76 P77

	機能名		お買い上げ時	参照先
Settings	発着信／通話機能	通話機能	再接続アラーム：アラームなし 通話品質アラーム：アラームなし 通話中保留音：保留音1 ノイズキャンセラ：ON	P68 P99 P71 P68
		セルフモード	OFF	P113
		プレフィックス設定	プレフィックス1：009130010 プレフィックス2：登録なし プレフィックス3：登録なし	P67
		サブアドレス設定	ON	P67
		イヤホン設定	イヤホンスイッチ設定：OFF	P304
	ロック／セキュリティ	ロック	オールロック：設定なし 発着信／メールロック設定：OFF プライバシーモード設定：OFF	P111 P112 P113
		シークレットモード	OFF	P116
		履歴表示設定	（すべて）ON	P115
		タッチパネルロック時間	LCDオフ時	P115
		端末暗証番号変更	端末暗証番号（4桁）：0000	P110
		PINコード	－	P110
		スキャン機能	パターンデータ更新：－ 自動更新設定：－	P392 P392
			スキャン機能設定： - スキャン機能：ON - メッセージスキャン：ON	 P392 P392
			バージョン表示：1.1	P393
		タッチアンロック	OFF	P115
	国際ローミング設定	ネットワーク	ネットワークサーチ設定：オート	P350
			優先ネットワーク設定：（FOMAカードの登録内容を表示）	P350
			オペレータ名表示設定：表示あり 接続先選択：ｉモード SMSセンター：DoCoMo	P351 P159 P203
		留守番電話（海外）	－	P352
		転送でんわ（海外）	－	P353
		遠隔操作設定（海外）	－	P354
		番号通知お願いサービス（海外）	－	P354

次のページへ続く

	機能名		お買い上げ時	参照先
Settings	国際ローミング設定	ローミングガイダンス設定（海外）	－	P353
		ローミング時着信規制	－	P352
	国際ダイヤルアシスト設定	自動国際プレフィックス変換設定	自動	P66
		国際プレフィックス設定	名称：WORLD CALL 番号：009130010	P66
		国番号設定	自動国番号変換設定：ON 国設定：日本 +81	P66
		国番号一覧	中国　86、台湾　886、日本　81、韓国　82、香港　852、アメリカ　1、イギリス　44、イタリア　39、インド　91、インドネシア　62、オーストラリア　61、オランダ　31、カナダ　1、シンガポール　65、スペイン　34、タイ　66、ドイツ　49、フィリピン　63、フランス　33、ブラジル　55、ベトナム　84、マレーシア　60	P66

	機能名		お買い上げ時	参照先
Settings	日付／時刻	日付／時刻設定	自動時刻時差補正：ON	P51
		日付／時刻表示設定	日付表示形式：YYYY/MM/DD 時刻表示形式：12時間表示	P105
		デュアルクロック自動表示	ON	P106
		時刻お知らせ	セットサウンド：OFF	P306
	その他	文字入力	－	P316 P317 P319
		メモリー状況	－	P306
		Select language	日本語	P106
		省電力モード	OFF	P104
		リセット／削除	－	P307
		ソフトウェア更新	－	P390
		USBモード設定	通信モード※	P252
		電池残量	－	P49
		タッチパネル調整	－	P51

※：設定を変更してもFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を抜くと、USBモード設定は自動的に「通信モード」に戻ります。

	機能名		お買い上げ時	参照先
Own number			未登録	P294
Service	留守番電話	留守番電話サービス開始	−	P322
		留守番呼出時間設定	−	P322
		留守番サービス停止	−	P322
		留守番設定確認	−	P322
		留守番メッセージ再生	−	P322
		留守番サービス設定	−	P322
		メッセージ問合せ	−	P322
		着信通知	−	P322
		表示消去	−	P322
		件数増加鳴動設定	−	P322

	機能名		お買い上げ時	参照先
Service	キャッチホン	キャッチホンサービス開始	−	P323
		キャッチホンサービス停止	−	P323
		キャッチホンサービス設定確認	−	P323
	転送でんわ	転送サービス開始	−	P326
		転送サービス停止	−	P326
		転送先変更	−	P326
		転送先通話中時設定	−	P326
		転送サービス設定確認	−	P326
	迷惑電話ストップ	迷惑電話着信拒否登録	−	P326
		電話番号指定拒否登録	−	P326
		迷惑電話全登録削除	−	P326
		迷惑電話1登録削除	−	P326
		拒否登録件数確認	−	P326

次のページへ続く

	機能名		お買い上げ時	参照先
Service	発信者番号通知	通知設定	―	P327
		通知設定確認	―	P327
	番号通知お願いサービス	番号通知開始	―	P327
		番号通知停止	―	P327
		番号通知設定確認	―	P327
	通話中着信設定	通話中着信設定開始	―	P328
		通話中着信設定停止	―	P328
		通話中着信設定確認	―	P328
	通話中の着信動作選択		通常着信	P328

	機能名		お買い上げ時	参照先
Service	その他	追加サービス	未登録	P332
		応答メッセージ	未登録	P333
		英語ガイダンス	―	P329
		サービスダイヤル	―	P329
		ローミングガイダンス設定	―	P351
		マルチナンバー	―	P330
		デュアルネットワーク	―	P328
		遠隔操作設定	―	P330

キーの文字割当て一覧

かな漢字	
キー	割当文字
[あ]	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ
[か]	か き く け こ
[さ]	さ し す せ そ
[た]	た ち つ て と っ
[な]	な に ぬ ね の
[は]	は ひ ふ へ ほ
[ま]	ま み む め も
[や]	や ゆ よ ゃ ゅ ょ
[ら]	ら り る れ ろ
[わ]	わ を ん ゎ □（スペース）
A/a	゛ ゜※3 、。ー・！？

カタカナ	
キー	割当文字
[ア]	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ
[カ]	カ キ ク ケ コ ヵ ヶ※2
[サ]	サ シ ス セ ソ
[タ]	タ チ ツ テ ト ッ
[ナ]	ナ ニ ヌ ネ ノ
[ハ]	ハ ヒ フ ヘ ホ
[マ]	マ ミ ム メ モ
[ヤ]	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ
[ラ]	ラ リ ル レ ロ
[ワ]	ワ ヲ ン ヮ※2 □（スペース）
A/a	゛ ゜※3 、。ー・！？

英　字	
キー	割当文字
[. @ / :]	. @ / : - ~※1
[a b c]	a b c A B C
[d e f]	d e f D E F
[g h i]	g h i G H I
[j k l]	j k l J K L
[m n o]	m n o M N O
[p q r s]	p q r s P Q R S
[t u v]	t u v T U V
[w x y z]	w x y z W X Y Z
A/a	□（スペース）! ? - , ' ; ( ) " _ ~※1 & ¥

数　字	
キー	割当文字
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
0	0
*	＊*+P※4
#	#※4

※1：全角文字入力の場合は、「～」が入力されます。
※2：全角文字入力の場合に入力できます。
※3：文字が確定待ちの状態で付加／入力できます。濁点のみ付加できる文字の場合は「゛」が付加され、濁点／半濁点の両方が付加できる文字の場合は「゛」「゜」が入力されます。
※4：これらの文字が有効な入力欄のみ、入力できます。

お知らせ

- かな漢字、カタカナ、英字を入力後に文字確定待ちの状態で A/a ／ A/a をタッチすると、大文字／小文字が切り替わります。

記号・特殊文字一覧

■ 全角記号

特殊文字

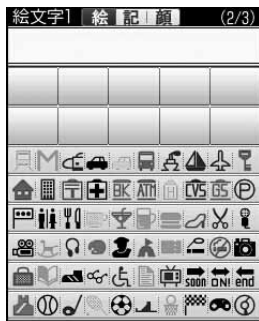
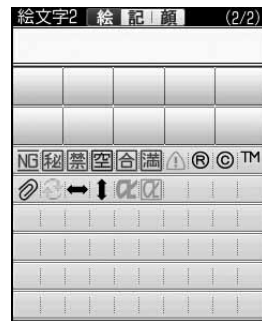
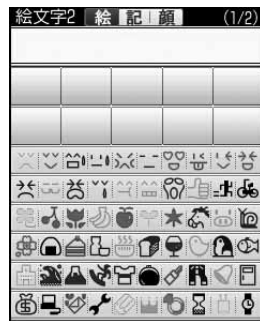
■ 半角記号

特殊文字

お知らせ

- 特殊文字は、ｉモードメール対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

絵文字一覧

■ 絵文字1

■ 絵文字2

お知らせ

- 絵文字を入力したメールをｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。また、ｉモード端末に送信した場合でも、相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。
- 絵文字2に対応していないｉモード端末に絵文字2を入力したメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。

顔文字一覧

カテゴリー	顔文字
喜び	(^_^) o(^o^)c (^▽^;) ＼(^_^)／ ~(^ Д ^ ~;)
泣き	(;_;) q(>_<、)c (ToT) (T^T) . ･ﾟ (>_<) ﾟ ･.
しらけ	(-_-) (-.-)y-~ ヽ(￣д￣;)ノ ┐(-。-;)┌ (¬_¬;)
怒り	(-_-X;) (｀□´;) (￣^￣;) (▼、▼X;) (ノ-0-)ノ ┤∵:.
汗	(￣▽￣;;) (-_-;;) (^0^;;) (ﾟ ◇ﾟ ;;) (; ´Д｀;)

カテゴリー	顔文字
驚き	(ﾟ □ﾟ ; (*_*) (ﾟ ▽ ﾟ ;;) Σ(ﾟ Δﾟ *;) (￣□￣|||;)
照れ	(^^;)ゞ f(^_^; (〃_〃)ゞ ヘ (*￣-￣)> (〃⌒▽⌒)ゞ
あいさつ	m(_ _)m (^▽^) ∠※☆ ＼(^_^) (^_^)／ (^o^)/ (;_;)/~~~
その他	φ(. . ;) (^з^)-☆ Chu！ (?_?) (￣-+￣;) ヘ(ﾟ ◇、ﾟ)ノ~

定型文一覧

カテゴリー	定型文
インターネット	@docomo.ne.jp
	.ne.jp
	.co.jp
	.com
	.or.jp
	.go.jp
	.ac.jp
	http://
	www.
	.html
あいさつ	おはようございます
	おやすみなさい
	こんにちは
	こんばんは
	お疲れ様です
	お久しぶりです
	昨日は、どうもありがとうございました
	行ってきます
	いってらっしゃい
	お誕生日おめでとう！

カテゴリー	定型文
ビジネス	いつもお世話になっております
	よろしくお願い致します
	申し訳ございません
	大変失礼致しました
	至急TEL下さい
	少々お待ち頂けますか
	後ほどご連絡いたします
	メールでご連絡いたします
	FAX確認をお願いします
	電車遅延のため、遅れます
プライベート	遊びに行こう
	飲みに行きませんか？
	遅れます
	変更します
	中止です
	先に行きます
	先に帰ります
	時間です
	何してるの？
	どこにいるの？

カテゴリー	定型文
返事	Thank you!
	bye-bye!
	ＯＫです
	ＮＧです
	ありがとう
	ごめんなさい
	もう少し待ってて
	後で連絡入れます
	今TELできない
	了解！！
絵文字熟語	（うれしい）
	（OK）
	（ラブラブ）
	（帰る）
	（は？）
	（こんにちは）
	（電話待ってます）
	（うれしい）
	（怒る）
	（クリスマス）
ユーザ作成1／2	お買い上げ時は未登録

マルチアクセスの組み合わせについて

新しく行う通信＼通信中の機能	音声電話		テレビ電話		iモード	iモードメール		SMS		パソコンなどと接続したパケット通信	
	発信	着信	発信	着信	接続	送信	受信	送信	受信	送信	受信
音声電話	△※1	△※2	×	×※3	○※4	○	○	○	○	○	×
テレビ電話	×	×※3	×	×※3	×	×	×	×	○	×	×
iモード	○	○	△※5	×※3	×	×	○※6	×	○	×	×
iモードメール	○	○	×	×※3	×	×	×※7	×	○	×	×
パソコンなどと接続したパケット通信	○	○	×	×※3	×	×	×	×	○	×	×

○：起動できます。
△：条件によっては起動できます。
×：起動できません。

※1：キャッチホンを契約されていれば、現在の音声電話を保留にして発信できます。
※2：キャッチホンを契約されていれば、現在の音声電話を保留にして応答できます。また、留守番電話、転送でんわを契約されていれば、起動できます。
※3：不在着信として、着信履歴に記録されます。
※4：iアプリによる発信はできません。
※5：Phone to機能を利用した発信のみできます。その場合、iモードの接続は切断されます。
※6：iモード中にメールを受信した場合は、「受信表示」で「通知優先」に設定していても、受信結果画面を表示せずに受信します。
※7：iモードメールの送信後、メールを受信します。

マルチタスクの組み合わせについて

使用中の機能＼利用する機能	音声電話	テレビ電話	メール機能	iモード	iアプリ	電話帳	データBOX※1	MUSIC機能	LifeKit※2	カメラ	ステーショナリー	サービス／設定
音声電話	○	×	○	○	×	○	○※3	×	×	×	○※4	×
テレビ電話	×	×	×	×	×	○※5	×	×	×	×	×	×
メール機能	○	○	×	×	×	○	○※3	○※11	×	○	○※4	×
iモード	○	×	×	×	×	○	○※3	○※11	×	○	○※4	×
iアプリ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
電話帳	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○※10	×	×
データBOX※1	○	○	○	○	×	○	×	○※11	×	○	○※4	×
iモーション	○	○	○	○	×	○	×	○※11	×	○	○※4	×
MUSIC機能（バックグラウンド再生）	○※6	○※6	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×
LifeKit※2	○	○	○	○	×	○	○※3	○※11	×	×	×	×
カメラ	○	○	○	○	×	○	○※3	○※11	×	×	×	×
ステーショナリー	○	○	○	○	×	○	○※3	○※11	×	×	×	×
サービス／設定	○※7	×	×	×	×	○※9	○※8	×	×	×	×	×

○：同時に起動できます。
×：同時に起動できません。

※1：microSDカードに保存されているデータは除きます。
※2：「赤外線受信」「microSD」は除きます。
※3：スケジュールやTo Doなどにメロディや着うたフル®、画像などを設定する場合に起動できます。
※4：「スケジュール」「To Doリスト」「テキストメモ」「スケッチメモ」が新規タスク画面から起動できます。
※5：サブメニューから起動できます。

※6：再生を一時停止して起動します。通話終了後、一時停止位置から再生できます。
※7：「サービスダイヤル」から起動できます。
※8：「着信音選択」「待受画面設定」「着信画面設定」で起動できます。
※9：「リスト指定着信拒否」「転送でんわ」の各設定で起動できます。
※10：電話帳登録時の画像設定で起動できます。
※11：新規タスク画面から起動できます。

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末からご利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） （電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

お知らせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2008年4月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2008年4月現在）。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）。
- FOMAカードを取り付けていない場合でも、海外で緊急番号（911、999、112、000、08）をダイヤルして緊急通報ができます。ただし、セルフモードを「ON」に設定中の場合は緊急通報ができません。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの理由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署などに接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック L04
- リアカバー L07
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- スイッチ付イヤホンマイク P001／P002※1
- FOMA乾電池アダプタ 01
- 骨伝導レシーバマイク 01
- FOMA室内用補助アンテナ※2
- FOMA 補助充電アダプタ 01
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02※3
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※2
- FOMA USB接続ケーブル※3
- FOMA ACアダプタ 01／02※4
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※4
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- ステレオイヤホンセット P001※1
- FOMA DCアダプタ 01／02

※1：FOMA L852iに接続するには、イヤホンジャック変換アダプタ P001が必要です。

※2：日本国内で使用してください。

※3：USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

※4：ACアダプタの充電方法について→P46～48

動画再生ソフトのご紹介

FOMA端末で撮影した動画（MP4形式のファイル）をパソコンで再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTime Player（無料）Ver.6.4以上（またはver.6.3+3GPP）が必要です。
QuickTime Playerは次のホームページよりダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

お知らせ

- ダウンロードするには、インターネットに接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロード時には別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

症　状	チェック
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P45 • 電池切れになっていませんか。→P48 • デュアルネットワークサービスでmovaが有効になっている場合、FOMAのサービスで利用できないものがあります。FOMAが有効になっているかご確認ください。詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。→P328
ダイヤルキーをタッチしても発信できない	• ダイヤル発信制限を設定していませんか。→P112 • オールロックを設定していませんか。→P111 • セルフモードを設定していませんか。→P113
電話をかけたら話中音（プー…）が出てつながらない	• 市外局番を忘れていませんか。→P56 • 圏外になっていませんか。→P50
ネットワークの状態を示すアイコンが圏外のままで「圏外です」と表示される	• サービスエリア外か、電波の弱い／届かない場所にいませんか。→P50
待受画面に端末暗証番号の入力画面が表示されている	• オールロックを設定していませんか。→P111
キーやボタンを押しても動作しない	• タッチパネルのロックがかかっていませんか。→P114、P115
充電ができない（FOMA端末の充電ランプが点灯しない、イルミネーションが赤く点滅する、ディスプレイが点滅する）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P45 • アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライタソケットに正しく差し込まれていますか。 • アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。→P48
ディスプレイが暗い	•「省電力モード」を「ON」に設定していませんか。→P104 • 電池残量が少なくなっていませんか。充電してください。→P48
メールを受信したときに、異なる着信音が鳴る	• メールの送信者を電話帳に登録し、着信音を登録していませんか。→P81 • メールの送信者を電話帳に登録し、登録したグループに着信音を設定していませんか。→P85
各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する	• 画像やメロディなどの取得時に取り付けていたFOMAカードが取り付けられていますか。→P43

次のページへ続く

症　状	チェック
積算通話料金がカウントされない	• 上限を超えていませんか。積算通話料金をリセットするとカウントされます。→P296
「しばらくお待ちください」または「利用できる回線／チャネルがありません」と表示される	• 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから操作し直してください。
「設定時間内に接続できませんでした」と表示され、ｉモードメールやSMSを送信できない	
データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■ 海外利用時の場合

症　状	チェック
ネットワークの状態を示すアイコンが圏外のままで国際ローミングサービスを利用できない	• 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか。 • 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』やドコモの『国際サービスホームページ』で確認してください。 • 対応しているネットワークに切り替えてください。→P350
テレビ電話やｉモードメール、SMS、パケット通信が利用できない	• 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』やドコモの『国際サービスホームページ』で確認してください。 • 対応しているネットワークに切り替えてください。→P350
電話の着信やメールの受信ができない	• 「ローミング時着信規制」を開始に設定していませんか。→P352
海外から帰国後、ネットワークの状態を示すアイコンが圏外のままである	• 「ネットワークサーチ設定」を「マニュアル」に設定していませんか。→P350

こんな表示が出たら

エラーメッセージ	説　明
空きメモリが無いため取得できません	選択受信添付ファイル取得時に、受信メールの保存領域が不足しています。不要な受信メールを削除してください。
以下の宛先にはメール送信できませんでした（561）	表示された宛先にメールが正しく送信できませんでした。
一部保存できなかったデータがあります	保存先の保存領域が不足しているため、保存できなかったデータがあります。不要なファイルを削除してください。
応答がありませんでした（408）	サイトやホームページからの応答がないため、接続できませんでした。再度操作してください。
同じ時間が登録されています	他のｉアプリが同じ時間に自動起動するよう設定されています。同時に2つ以上のｉアプリを自動起動できません。
海外ではメッセージFを受信できません。ｉモード問合せ設定よりメッセージFの設定を解除してください（566）	海外ではメッセージFを受信できません。「ｉモード問い合わせ」設定で「メッセージF」のチェックを外してください。
楽曲を追加できません	1件のプレイリストには50曲までしか登録できません。不要な音楽データをプレイリストから削除してください。
画像を保存できません	保存不可能なFlashファイルのため、または取得不完全な画像のため、保存できません。

エラーメッセージ	説　明
圏外のためダウンロードできません	圏外のため、番組をダウンロードできません。電波状態の良い場所に移動し、手動でダウンロードしてください。
このカードは認識できません	FOMAカードが認識できない、または正しくないカードが挿入されています。FOMAカードを取り付け直すか、正しいFOMAカードに取り付け直してから操作してください。
この画像サイズではズームできません	「サイズ選択」が「2M（1600×1200）」「1600×960」「1M（1280×960）」に設定されています。ズームを利用する場合は、このサイズ以外に設定してください。
このサイトとのSSL通信は無効です	SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。
	改ざんされたSSL証明書を受信したため接続できませんでした。
このデータはダウンロードできません	不正なファイル、またはエラーが発生したため、ダウンロードできません。
このデータはダウンロードできません 番組を削除しました	マイメニューに登録していないため、番組をダウンロードできません。Music&Videoチャネル番組提供サイトをマイメニューに登録してください。
このデータは取得できません	データが不正またはエラーが発生したため、取得できません。
このデータは保存できません	ｉモーションや音楽データに設定されている再生期限を過ぎたため、または残りの再生回数が0回になったため保存できません。
このファイルは設定できません	ファイルが対応できないフォーマットのため、設定できません。

エラーメッセージ	説　明
このFOMAカード（UIM）は機能が制限されています	サイトなどからデータをダウンロードしたときや、メールの添付ファイル、メッセージR/Fを保存したときとは異なるFOMAカードを挿入しているため、機能が制限されます。
このｉモーションを再生するためには、ｉモーションタイプ設定を変更してください	ストリーミングタイプのｉモーションを取得しない設定になっています。設定を変更してください。
再生可能日前です 再生できません	ｉモーションや音楽データ、Music&Videoチャネルの番組に設定されている再生期間より前のため再生できません。再生可能日以降に再生してください。
再生期間制限があります（XXXX/XX/XX、XX:XX）～（XXXX/XX/XX、XX:XX）	ｉモーションや音楽データ、Music&Videoチャネルの番組に設定されている再生期間外のため再生できません。再生期間中に再生してください。 ※Xの部分には、年月日と時間が表示されます。
再生期限制限があります（XXXX/XX/XX、XX:XX）	ｉモーションや音楽データ、Music&Videoチャネルの番組に設定されている再生期限外のため再生できません。再生期限内に再生してください。 ※Xの部分には、年月日と時間が表示されます。
再生制限データに誤りがあるため取得できません	データが不正なため、または再生期間外のため、取得できません。
最大サイズを超えたので中断しました	サイトやホームページのサイズが大きいため受信を中断し、取得できた分のみ表示します。
	ダウンロード／取得可能な最大データサイズを超えたので、ダウンロード／取得を中断しました。
削除される添付ファイルがあります	著作権のある添付ファイルは転送できないため、削除して転送します。

エラーメッセージ	説　明
削除できるメッセージはありません	全件保護されているため、削除できるメッセージがありません。
削除できるメールはありません	メールが1件もない、またはすべて保護されているため、削除できるメールがありません。
サポートされない形式です	非対応データのため、再生できません。
指定サイトがみつかりません（404）	サイトやホームページが存在しないか、URLが間違っている可能性があります。URLを確認してから再度操作してください。
指定したサイトへは接続できませんでした（504）	サイトやホームページが存在しないか、URLが間違っている可能性があります。URLを確認してから再度操作してください。
指定できません	無効な数値が入力されているか、数値が入力されていません。有効な数値を入力してください。
指定の宛先には送信できません	メールアドレスが不正なため、送信できません。
自動起動が既に3件が設定されています	自動起動を設定できるｉアプリは3件までです。
しばらくお待ち下さい	SMSの送信に失敗しました。しばらくしてから再度操作してください。
終了日が不正です	終了日が開始日より早く設定されています。終了日は開始日より遅い日程で設定してください。
受信できませんでした	「接続先選択」で設定した接続先アドレスが間違っているため、選択受信できません。設定を確認してから再度操作してください。

エラーメッセージ	説　明
受信メールがいっぱいです	受信メールの保存領域が不足しているため、ｉモードメールを受信できません。不要な受信メールを削除してください。
	受信メールの保存領域が不足しているため、FOMAカードからSMSを移動／コピーできません。不要な受信メールを削除してください。
既に存在しています	既に登録済みのネットワークのため、登録できません。
既に存在する接続先名称です	既に登録済みの接続先名称のため、登録できません。
既に登録されています	既に登録済みのネットワークのため、登録できません。
既に登録されているURLです	既にFOMA端末に登録済みのURLのため、保存できません。
既にメッセージをお預かりしています	既にメッセージをお預かりしているため、送信できませんでした。
すべてのパラメータが有効ではありません	パラメータのいずれかが制限値を超えています。
正常に接続できませんでした（400）	接続先にエラーがあるため、正常に接続できませんでした。
セキュリティエラーのため、終了しました	ｉアプリが許可されていない動作をしようとしたため、終了しました。
接続できません	「接続先選択」で設定した接続先アドレスが間違っているため、接続できません。設定を確認してから再度操作してください。
接続できません 通信モードに設定してください	「USBモード設定」を「microSDモード」に設定中は、FOMA端末を操作してmicroSDカードにアクセスすることはできません。「通信モード」に設定してください。

エラーメッセージ	説　明
接続できませんでした（562）	ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。
設定時間内に接続できませんでした	ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
設定時間内に接続できませんでした 再開しますか？	設定時間内にｉモードメールにリンクされている添付ファイルをダウンロードできませんでした。再度ダウンロードしますか。
セルフモード設定中です	セルフモード設定中のため、操作できません。セルフモードを「OFF」にしてください。
選択された画像を挿入出来ませんでした	規定値を超えるため、選択した画像を挿入できませんでした。
操作できませんでした	圏外または電波の届かない場所にいるためネットワークに接続できません。電波状態の良い場所へ移動してネットワークの設定を行ってください。
	FOMAカードが挿入されていないため、ネットワーク一覧を表示できません。FOMAカードを挿入して利用してください。
	「優先ネットワーク設定」の「リストから登録」で、ネットワーク一覧を保存できませんでした。
送信準備中	ｉモードメールの送信準備中です。しばらくお待ちください。
送信できませんでした（XXX）	メールが正しく送信できませんでした。 ※Xには、エラーの種類を示す数字が表示されます。
送信メールがいっぱいです	送信メールの保存領域が不足しているため、FOMAカードからSMSをコピー／移動できません。不要な送信メールまたは未送信メールを削除してください。

次のページへ続く

エラーメッセージ	説　明
ソフトに誤りがあります	ｉアプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。
対応していないカードフォーマットです フォーマットしてください	microSDカードのフォーマットが非対応のものです。FOMA L852iでmicroSDカードのフォーマットを行ってください。
タイトル名が不正です	タイトル名に無効な文字が入力されているか、1文字も入力されていません。有効なタイトル名を入力してください。
タイムアウト	一定時間検索しましたが、ネットワークが検索できませんでした。
ダイヤル発信制限中です	ダイヤル発信制限中のため、操作できません。「発着信／メールロック設定」の「ダイヤル発信制限」のチェックを外してください。
ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用ください	ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。
着信拒否しました	電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたため、着信を拒否しました。電話を受けられるようにするには、「メモリ登録外着信拒否」を「OFF」に設定してください。
	「リスト指定着信拒否」に登録されている相手から電話がかかってきたため、着信を拒否しました。
	「全着信拒否」が「非接続」に設定されているため、着信を拒否しました。

エラーメッセージ	説　明
チャネル情報取得失敗	ｉチャネルで情報を取得する際に、チャネル情報が一部またはすべて取得できなかったため、取得に失敗しました。電波状態の良い所に移動し、待受画面でを押すと情報を受信します。
中断しました	一定時間経過しても通信相手が見つからないため、中断しました。通信相手の距離や角度や操作手順を確認してください。
通信できませんでした	操作が中断されるなどして、通信できませんでした。
低電圧	低電圧です。充電してください。
データを入力してください	国名・国番号が入力されていません。国名・国番号を入力してください。
データ取得を中止しました	圏外などのためダウンロードを中止しました。電波状態の良い場所に移動してください。
添付ファイルが削除されます	ｉモードメールの添付ファイルを受信したときとは異なるFOMAカードを挿入しているため、添付ファイルを削除して転送します。
テンプレートサイズオーバーです	テンプレートのサイズが規定値を超えています。本文または挿入画像を削除してください。
途中までダウンロードしたデータを保存しました	途中まで取得したデータを保存しました。残りを取得する場合は、手動で行ってください。
入力データまたはURLが長すぎます	サイトやホームページの入力欄に入力した文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。
	URLが長すぎて表示できません。
入力データをご確認ください（205）	入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。

エラーメッセージ	説　明
認証できません	誤った端末暗証番号を入力しています。正しい端末暗証番号を入力してください。
認証を中止しました（401）	認証に失敗したため、接続を中止しました。
残りのデータを取得できません データを削除しました	部分的に保存したファイルの残りのデータをダウンロードする際に、エラーが発生してダウンロードできないため、データが削除されました。
残りのデータをダウンロードできません データを削除しました	
パスワードをご確認ください（401）	サイトやホームページの認証画面に入力したユーザ名またはパスワードに誤りがあります。もう一度入力し直してください。
ファイルがサポートされていません	非対応データまたは破損したデータのため、再生できません。
ファイルは削除されました	貼り付けファイルは転送できないため、削除して転送します。
ファイルを添付することができません	添付可能なサイズを超えています。
フォルダ名が不正です	フォルダ名に無効な文字が入力されているか、1文字も入力されていません。有効なフォルダ名を入力してください。
不正なデータです	誤ったファイルを選択しているため、操作できません。
	データが不正なため、操作できません。
不正な名称が含まれています	フォルダ名に無効な文字が入力されているか、1文字も入力されていません。有効なフォルダ名を入力してください。

エラーメッセージ	説　明
プレイリストに楽曲を追加できません	プレイリスト／各プレイリスト内の楽曲が保存件数いっぱいまで登録されているため、楽曲を登録できません。不要なプレイリスト／楽曲を削除してください。
プレイリストを作成できません	プレイリストは10件までしか登録できません。不要なプレイリストを削除してください。
保存期限が過ぎたためファイルを受信できません（492）	未取得の添付ファイルがｉモードセンターの保存期間を過ぎているため取得できませんでした。
保存領域がありません	保存先の保存領域が不足しているため、操作できません。不要なファイルを削除してください。
ホームは無効です	「ホーム」が「無効」に設定されています。「有効」に設定してください。
未再生なので保存できません	Flashファイルのため、保存できません。
	未再生のFlashアニメーションのため、保存できません。
未送信メッセージがいっぱいです	未送信メールの保存領域が不足しています。不要な未送信メールまたは送信メールを削除してください。
ミュージックプレイヤー起動中です	ミュージックプレイヤーまたはSDオーディオプレイヤーが起動しているため、操作できません。を押して、ミュージックプレイヤーまたはSDオーディオプレイヤーを終了させてください。
無効な時刻です	日程の開始日と終了日が同じ場合、終了時間が開始時間より早く設定されています。終了時間は開始時間より遅い時間で設定してください。
無効なデータを受信しました	受信したデータにエラーがあるため、操作できません。

次のページへ続く

エラーメッセージ	説　明
無効なデータを受信しました（XXX）	指定のサイトやホームページに対応していません。 ※Xには、エラーの種類を示す数字が表示されます。
	URLが正しいかどうかを確認してください。 ※Xには、エラーの種類を示す数字が表示されます。
	受信データにエラーがあるため、表示できません。 ※Xには、エラーの種類を示す数字が表示されます。
無効な日付です	日付サーチの設定範囲外の数値です。
無効なファイル名が含まれています	ファイル名／フォルダ名に無効な文字が入力されているため、ファイル／フォルダの保存や作成ができません。
メモリ不足です	メモリが不足したため、処理を中断します。頻繁に表示される場合には、一度電源を入れ直してください。
メモリ不足です メインメニューに戻ります	メモリが不足したため、処理を中断します。
メール・メッセージがいっぱいです	受信メールとメッセージR/F両方の保存領域が不足しています。不要な受信メールとメッセージR/Fを削除してください。
ローミングサービス未契約のため操作できません	WORLD WING未契約のため、操作できません。
50曲以上保存できません	クイックプレイリストには50曲までしか登録できません。不要な音楽データをクイックプレイリストから削除してください。
FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できませんでした	FOMAカード動作制限機能により操作できません。ファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから操作してください。
FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません	サイトなどからデータをダウンロードしたときや、メールの添付ファイル、メッセージR/Fを保存したときとは異なるFOMAカードを挿入しています。ダウンロードまたは保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
FOMAカード（UIM）が異なるため送信できません	FOMAカード動作制限機能によりメールを送信できません。メール作成時に挿入していたFOMAカードを挿入してから操作してください。
FOMAカード（UIM）が異なるため起動できませんでした	FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを自動起動できませんでした。ファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから操作してください。
FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした	サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと連携して利用するｉアプリを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
FOMAカード（UIM）が異なるため正しく表示できません	サイトなどからデータをダウンロードしたときや、メールの添付ファイル、メッセージR/Fを保存したときとは異なるFOMAカードを挿入しているため、画像など一部の制限対象データが表示されません。ダウンロードまたは保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
	画面メモを保存したときとは異なるFOMAカードを挿入しています。保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
FOMAカード（UIM）読み込み中	FOMAカードを読み込み中です。しばらくしてから操作してください。

エラーメッセージ	説　明
FOMAカードが異なるため指定されたソフトが起動できませんでした	サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと異なるため、指定されたソフトを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
FOMAカード情報が一致しないため起動できません	サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと連携して利用するｉアプリを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
ｉアプリの通信回数が多くなっています。 通信を継続しますか？ はい／いいえ／終了	ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合、表示されます。 「はい」を選択：ｉアプリを継続して利用します。 「いいえ」を選択：ｉアプリが通信を行わない場合、継続して利用できます。 「終了」を選択：ｉアプリを終了します。
ｉアプリTo設定されていません	「サイトからｉアプリTo」設定にチェックが付いていないため、ｉアプリを起動できません。チェックを付けてから、再度操作してください。
ｉチャネル情報を受信できません	FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があるため、ｉチャネルの情報を受信できません。FOMAカードを確認してください。
ｉモードセンターが混みあっています しばらくお待ち下さい (555)	回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。
ｉモード問い合わせがすべて無効に設定されています	「ｉモード問い合わせ」設定の項目すべてにチェックが付いていません。問い合わせる項目にチェックを付けてから再度操作してください。

エラーメッセージ	説　明
microSDが挿入されていないため自動保存できません	microSDカードがFOMA端末に取り付けられていません。撮影時にmicroSDカードが取り付けられていない場合は、FOMA端末に保存されます。
PIN1（PIN2）がロックされています	PIN1／PIN2コードを3回連続して間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。
PIN1（PIN2）コードが認識できませんでした	PIN1／PIN2コードを3回連続して間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。
PINロック解除コードエラー	入力したPINロック解除コードが間違っています。正しいPINロック解除コードを入力してください。
PINロック解除コードが認識できませんでした	PINロック解除コードを10回連続して間違えるとPINロック解除コードがロックされます。ドコモショップ窓口へお問い合わせください。
PINロック解除コードがロックされました	PINロック解除コードを10回連続して間違えるとPINロック解除コードがロックされます。ドコモショップ窓口へお問い合わせください。
PLMNが見つかりませんでした	選択可能なネットワークがありませんでした。
SDオーディオファイルがありません	SD-Audio規格対応の音楽データがないため、操作できません。
SMSセンター設定を確認してください	SMSの送信に失敗しました。「SMSセンター」設定を確認してください。
SSL通信が切断されました	改ざんされたSSL証明書を受信した、またはSSLエラーが発生したため接続できませんでした。

次のページへ続く

エラーメッセージ	説　明
SSL通信が無効です	SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。
	サーバの認証エラーのため接続できません。
SSL通信が無効に設定されています	FOMA端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。
SSL通信を切断しました	中断操作を行ったため、SSL通信を切断しました。
Toの宛先を設定してください	Toの宛先が設定されていません。Toの宛先を最低1件設定してください。
αエラーが発生しました	ｉアプリ起動中にエラーが発生しました。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA 端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA 端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  ※ 本 FOMA 端末は、電話帳などのデータやｉモーションを microSD カードに保存していただくことができます。
  ※ パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P340）と FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。それでも調子が良くないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります

- 故障受付窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・イヤホンマイク端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    ・液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    ・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA 端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

  使用箇所：スピーカー、受話口部

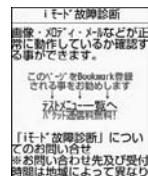
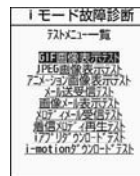
次のページへ続く

- FOMA 端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。
  ※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合がございます。

iモード故障診断サイトについて

ご利用のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

TOP画面

テストメニュー一覧画面

- 「iモード故障診断サイト」への接続方法
  iモードサイト：iMenu▶お知らせ▶サービス・機能▶iモード▶iモード故障診断

サイト接続用QRコード

お知らせ

- ｉモード故障診断のパケット通信料は無料（海外からのアクセスの場合は有料）となります。
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作をご確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
- ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアをダウンロードして更新します。ソフトウェアの更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ」にてご案内させていただきます。

ソフトウェアを更新するには、「即時更新」と「予約更新」の2つの方法があります。

- 即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
- 予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

※：ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

- ｉモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- 「PIN1コードリクエスト」を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他機能を利用することはできません（ダウンロード中は音声着信が可能です）。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新の必要はありません」と表示されます。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。また、「メール選択受信設定」を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。

次のページへ続く

- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - オールロック中
  - 他の機能を実行しているとき
  - 日付・時刻を設定していないとき
  - FOMAカードが未挿入のとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - 「圏外」が表示されているとき
  - セルフモード中
  - 電源が入っていないとき
  - 海外で利用しているとき

お知らせ

- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、携帯電話に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。
  必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います）。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

ソフトウェア更新を起動する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックします。

1 ▶ (Settings)▶「その他」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力

- 既にソフトウェア更新の予約がされている場合は、予約通知画面が表示されます。

2 各種確認画面の内容を確認して[OK]

- 通信を開始して問い合わせます。更新が必要な場合は、ソフトウェア更新確認画面が表示されます。

すぐにソフトウェアを更新する

1 ソフトウェア更新確認画面で「今すぐ更新」▶ダウンロード開始画面で「OK」

- ダウンロードが開始され、完了するとソフトウェア書き換えの確認画面が表示されます。

2 「OK」

- ソフトの書き換えが開始され、完了すると自動的に再起動してソフトウェア更新完了画面が表示されます。
- 書き換え中はすべての操作が無効になります。

3 「OK」

日時を予約してソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを、日時を予約して更新します。

1 ソフトウェア更新確認画面で「予約」
- 希望日時選択画面が表示されます。

2 日時を選択
- 設定された日時になると、自動的にソフトウェアの更新が行われます。
- 希望日時選択画面で「その他」を選択すると、希望日と更新可能な時間帯を個別に設定することができます。

お知らせ
- ソフトウェア更新の予約では、サーバの時刻が表示されます。
- 他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。
- アラームなどが起動している場合には、ソフトウェア更新が起動されない場合があります。
- 予約が完了した後に「メモリー削除」（P307）を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

スキャン機能

障害を引き起こすデータから携帯電話を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。
- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。→P392
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後３年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

スキャン機能を設定する

「ON」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

1 ▶ (Settings)▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」▶「スキャン機能設定」

2 「スキャン機能」／「メッセージスキャン」▶「ON」／「OFF」▶[選択]▶[はい]

スキャン機能：「ON」に設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。→P393

メッセージスキャン：「ON」に設定すると、SMSに電話番号やURLが記載されている場合、そのSMSを最初に表示するとき、電話番号やURLが記述されている旨をお知らせする画面が表示されます。

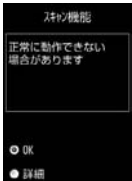
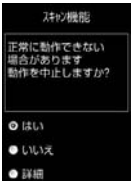
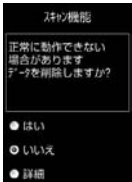
パターンデータを更新する

1 ▶ (Settings)▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」▶「パターンデータ更新」▶[はい]▶[はい]

更新が開始されます。更新が終了すると完了をお知らせする画面が表示されます。

- パターンデータが最新の場合は、最新をお知らせする画面が表示されます。

2 [OK]

お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末の時計を正しく設定しておいてください。
- 次の場合はパターンデータを更新できません。
  - 日付／時刻を設定していないとき
  - FOMAカードが未挿入のとき
  - 通話中
  - セルフモード中
  - プライバシーモード設定中
  - パソコンなどの外部機器と接続中
  - 電池残量が少ないとき
  - 圏外にいるとき
  - 他の機能が動作中
  - オールロック中

パターンデータを自動的に更新するには

パターンデータを最新の状態に保つように自動的に更新するようにできます。▶ (Settings) ▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」▶「自動更新設定」▶ [有効] ▶ [はい] ▶ [はい] を選択します。

スキャン結果の表示について

障害を引き起こす可能性があるデータを検出した場合は、警告レベルを示す画面が表示されます。

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2
「OK」：動作を継続します。	「はい」：動作を中止して、終了します。 「いいえ」：動作を継続します。	「OK」：動作を中止して、終了します。
警告レベル3	**警告レベル4**	
「はい」：データを削除して、終了します。 「いいえ」：動作を中止して、終了します。	「OK」：データを削除して、終了します。	

お知らせ

- スキャン結果によっては、上記画面と表示が異なる場合があります。

■ スキャンされた問題要素の表示について

警告レベルを示す画面で「詳細」を選択すると、右のような問題要素の一覧画面が表示されます。

画面はイメージです。実際の画面では、「XXXXXXXX」の部分に検出されたデータ名が表示されます。

- 検出されたデータの種類によっては、「詳細」が表示されない場合があります。
- 問題要素が6件以上検出された場合は、6件目以降の問題要素の表示は省略され、合計件数のみ表示されます。

パターンデータのバージョンを確認する

1 ▶ (Settings)▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」▶「バージョン表示」

主な仕様

■ 本体

品　名		FOMA L852i
サイズ（H×W×D）		101×54×12.7 mm
質　量		約92g （電池パック装着時）
FOMA／3G	連続待受時間	静止時：約350時間 移動時：約270時間
	連続通話時間	音声電話時：約140分 テレビ電話時：約90分
充電時間		ACアダプタ：約180分 DCアダプタ：約180分
液晶部	方式	TFT 65,536色
	サイズ	約3.0inch
	画素数	96,000画素 （240×400）
撮像素子	種類	インカメラ：CMOS アウトカメラ：CMOS
	サイズ	インカメラ：1/11inch アウトカメラ：1/4inch
	有効画素数	インカメラ：約30万画素 アウトカメラ：約200万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	インカメラ：約30万画素 アウトカメラ：約190万画素
	ズーム（デジタル）	インカメラ：最大約3.4倍 アウトカメラ：最大約3.4倍
記録部	静止画保存枚数	購入時：約517枚（本体保存時）※1 削除可能プリインストールデータ削除時：約1000枚（本体保存時）※1
	静止画連続撮影	CIF（352×288）：4枚 QVGA（320×240）：6枚 壁紙（240×400）：6枚 壁紙（400×240）：6枚 QCIF（176×144）：6枚 SQCIF（128×96）：6枚 電話帳（120×160）：6枚 メニューアイコン（80×80）：6枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間	約60分※2
	動画ファイル形式	MP4
音楽再生	連続再生時間	SDオーディオ（バックグラウンド再生対応）：約1800分※3 着うたフル®（バックグラウンド再生対応）：約900分※3 ｉモーション：約200分※3 Music＆Videoチャネル（バックグラウンド再生対応）：約900分※3
保存容量	着うた®／着うたフル®	約83MB※4

※1：画像サイズ：128×96　画質：標準　ファイルサイズ：10K
※2：以下の条件で保存できる1件あたりの最大録画時間です。
　画像サイズ：SQCIF　ファイルサイズ制限：なし　画質：標準
　種別：画像＋音声
※3：ファイル形式：AAC形式
※4：Music&Videoチャネルと共有

■ 電池パック

品　名	電池パック L04
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	900mAh

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場所など）などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）･待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールを作成、ダウンロードしたｉアプリやｉアプリ待受画面を起動、データ通信、マルチアクセスの実行、カメラの使用、動画やメロディの再生などを行うと、通話（通信）･待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

FOMA端末に保存／保護できる件数

各データの最大保存件数／最大保護件数は、FOMA端末に保存されているデータ量や、メモリ使用量により異なります。

種　別		最大保存件数	最大保護件数
電話帳		1000件※1	－
スケジュール	スケジュール	200件	－
	休日	100件	－
To Do		50件	－
メモ	スケッチメモ	10件	－
	テキストメモ	50件	
メール	受信メール	1000件	1000件
	送信メール	500件	500件
	未送信メール		－
メッセージ	メッセージR	100件	100件
	メッセージF	100件	100件
ブックマーク	ｉモード	100件	－
	フルブラウザ	100件	－
画面メモ		50件	10件
ｉアプリ		100件※2	－
データBOX	画像※3	1000件※2	－
	動画／ｉモーション	1000件※2	－
	メロディ	1000件※2	－

※1：50件までFOMAカードに保存できます。

次のページへ続く

※2：お買い上げ時に登録されているデータを含みます。
※3：アニメーションは最大30件（画像の最大保存件数1000件に含む）保存できます。

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA L852iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA L852iのSARの値は0.844W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。なお、本機のSARの値は、ご利用いただけます各国の許容値も満足しております。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
：http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
：http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ
：http://www.nttdocomo.co.jp/product/
LG Mobileホームページ
：http://jp.lgmobile.com/

※：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

Declaration of Conformity

The product "FOMA L852i" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.
This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 1.08W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

*	The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
**	The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
***	Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制について

本製品及び付属品は、日本輸出国管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問合せください。

索引／クイックマニュアル

索引

索引の引きかた

● 本索引は、「五十音目次」としての機能もございます。本書に記載されている用語だけでなく、記載内容を要約した用語も収録しています。知りたい事項が収録されていない場合は、別のキーワードで探してください。

例：デコメール®を作成したいとき

デコメール®	170
作成	170
パレットの操作	171
パレット表示	171

メール作成	167
宛先追加	168
送信	168
デコメール®作成	170
テンプレート選択	174
ファイルを添付	175

● メールアドレス設定、メール受信／拒否設定、メールサイズ制限、メール機能停止／再開など、i モードセンター内の設定については、『ご利用ガイドブック（i モード<FOMA>編）』をご覧ください。
● データ通信については付属のCD-ROMに収録されている「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

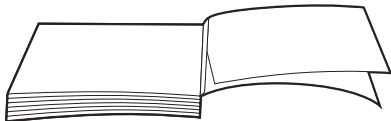
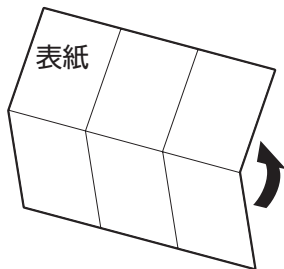
ラ

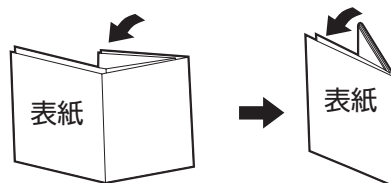
英数字

クイックマニュアルの使いかた

本書に綴じ込みされているクイックマニュアルはキリトリ線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。
クイックマニュアル（海外利用編）は、海外で国際ローミング（WORLD WING）をご利用いただく際に携帯してください。

- はさみなどを使用して切り離す場合は、けがなどに気を付けてください。

1 キリトリ線に沿ってクイックマニュアルを切り離す

2 縦半分に折り畳む

3 ページの線に合わせて横に2回折り畳む

キリトリ線

NTT DoCoMo FOMA® L852i
クイックマニュアル

総合お問い合わせ先〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用できません。
■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用できません。
■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。
・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

電話帳の登録

電話帳の登録

を2秒以上タッチし続ける ▶ 項目をそれぞれ入力 ▶［完了］

■ 登録先の設定
「（登録先選択）」▶「本体」／「FOMA カード」

■ メモリー番号の設定
「（メモリー番号入力）」▶ メモリー番号を入力※
※ FOMA 端末（本体）電話帳のみ表示されます。

■ 名前の設定
「名前」▶ 名前を入力

■ フリガナの設定
「フリガナ」▶ フリガナを入力

■ 電話番号の設定
「電話番号」▶ 電話番号を入力 ▶ 登録したいアイコンをタッチ ▶［OK］

■ メールアドレスの設定
「メールアドレス」▶ メールアドレスを入力 ▶ 登録したいアイコンをタッチ ▶［OK］

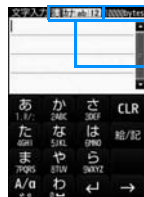
■ グループの設定
「（グループ選択）」▶ グループを選択

リダイヤル／着信履歴から登録

待受画面 ▶ ▶「着信履歴」／「リダイヤル」▶［メニュー］▶「電話帳登録」▶「新規登録」／「追加登録」▶ 登録する電話帳を選択※ ▶ 電話帳を登録 ▶［完了］
※「追加登録」の場合のみ、この操作を行います。

電話帳の修正

電話帳を選択 ▶［メニュー］▶「編集」▶ 電話帳を修正 ▶［完了］▶［はい］

文字の入力

文字入力画面での主な操作

■ 入力モードを切り替える
［文字］を数回タッチ

■ 全角／半角を切り替える
［全角・半角］をタッチ

■ 絵文字／記号／顔文字入力モードに切り替える
［絵／記］▶「切替」を数回タッチ

■ 大文字／小文字を切り替える
／［大文字・小文字］をタッチ

■ 濁点、半濁点、句読点入力
を数回タッチ

■ 改行を入力

■ スペースを入力

文字入力の例

■「ドコモ」を入力する
「どこも」を入力
「ど」：［た］を５回タッチ ▶
「こ」：［か］を５回タッチ
「も」：［ま］を５回タッチ
▶ 予測候補表示エリアをタッチ ▶「ドコモ」にカーソルを移動 ▶［選択］

カメラ機能

静止画撮影

待受画面 ▶ ▶ 被写体を確認し、 ▶

動画撮影

待受画面 ▶ （1 秒以上）▶ 被写体を確認し、
▶ □ ／ ▶

音楽データの再生

▶ (MUSIC) ▶「ミュージックプレイヤー」
▶「全曲」▶ 音楽データにカーソルを移動 ▶［再生］

テレビ電話をかける／受ける

テレビ電話をかける

▶ 電話番号を入力 ▶［メニュー］▶「テレビ電話発信」▶ 通話が終了したら

テレビ電話を受ける

テレビ電話を着信 ▶ ▶ 通話が終了したら

- ／ ：受話音量を調節する
- ：応答を保留する
- ［代替画像］：代替画像を送信する

テレビ電話中の主な操作

■ **通話の保留／保留解除**

［メニュー］▶［保留・解除］

■ **ハンズフリー通話の設定／解除**

［Spk on・Spk off］

■ **カメラ画像／代替画像の切り替え**

［カメラ・代替画像］

■ **インカメラ／アウトカメラの切り替え**

キリトリ線

ｉ モードメール

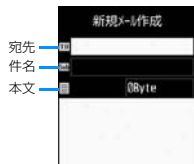
ｉ モードメールの作成／送信

新規ﾒｰﾙ作成

宛先

件名

本文

0Byte

■ **新規メール画面表示**

▶「新規メール作成」

■ **宛先を入力**

（宛先）欄にカーソルを移動してタッチ ▶「直接入力」▶［OK］▶ 宛先を入力

■ **件名を入力**

（件名）欄にカーソルを移動してタッチ ▶ 件名を入力

■ **本文を入力**

（本文）欄にカーソルを移動してタッチ ▶ 本文を入力

■ **メールを送信**

［送信］

ファイルの添付

■ **画像／ｉモーション／メロディ／電話帳／カレンダー／ To Do ／ Bookmark の添付**

ｉ モードメール作成画面（P9）▶［メニュー］▶「添付ファイル操作」▶「添付ファイル追加」▶ 添付したいファイルの種類にカーソルを移動 ▶［OK］▶ フォルダにカーソルを移動 ▶［開く］▶ ファイルにカーソルを移動 ▶［選択］

※ファイルによっては、選択方法が異なります。

■ **静止画／動画を撮影して添付**

ｉ モードメール作成画面（P9）▶［メニュー］▶「カメラ起動」▶「フォトモード」／「ビデオモード」▶ 静止画／動画を撮影 ▶

キリトリ線

ｉモードメールの受信

ｉモードメールを受信▶「メール」▶フォルダにカーソルを移動▶［選択］▶表示したいｉモードメールにカーソルを移動▶［選択］

ｉモード問い合わせ

を 2 秒以上タッチし続ける

その他のメール機能

■ メールの返信

返信したいメールを表示▶［メニュー］▶「返信」▶「返信」／「引用返信」▶件名、本文を入力▶［送信］

■ メールの転送

転送したいメールを表示▶［メニュー］▶「転送」▶宛先を入力▶［送信］

メニュー一覧

アイコン	機能名
Mail	受信メール
	送信メール
	未送信メール
	新規メール作成
	ｉモード問い合わせ
	メール選択受信
	SMS
	テンプレート
	メール設定

アイコン	機能名
imode	ｉMenu
	Bookmark
	画面メモ
	ラスト URL
	Internet
	メッセージ
	ｉチャネル
	ｉモード問い合わせ
	ｉモード設定
	フルブラウザ
iαppli	ソフト一覧
	ｉアプリ情報
	ｉアプリ設定

アイコン	機能名
Phonebook &Logs	電話帳登録
	電話帳検索
	電話帳登録件数
	電話帳設定
	グループ設定
	通話／メール履歴
	通話時間表示
	通話料金表示
Data box	マイピクチャ
	ミュージック
	Music&Video ch
	ｉモーション
	メロディ
	SDオーディオ

アイコン	機能名
MUSIC	最近聴いた曲／番組※
	ミュージックプレイヤー
	Music&Video ch
	SDオーディオプレイヤー
LifeKit	バーコードリーダー
	赤外線受信
	microSD
	カスタムメニュー
	伝言メモ
	ストップウォッチ
	ゲーム
Camera	フォトモード
	ビデオモード
	バーコードリーダー
	カメラ設定

※：再生中の曲がある場合は「再生中」と表示されます。

アイコン	機能名
Stationery	スケジュール
	アラーム
	スケッチメモ
	テキストメモ
	To Doリスト
	世界時計
	電卓
	単位変換ツール
	記念日マネージャー

アイコン	機能名	
Settings	音／バイブレータ	
		着信音選択
		効果音選択
		タッチパネル設定
		音量設定
		バイブレータ設定
		オリジナルマナーモード
		メール鳴動時間
		呼出動作開始時間設定

アイコン	機能名	
Settings	表示	
		待受画面設定
		着信画面設定
		テーマ設定
		照明設定
		メニューカスタマイズ
		メニュー言語設定
	発着信／通話機能	
		音声着信
		テレビ電話
		通話機能
		セルフモード
		プレフィックス設定
		サブアドレス設定
		イヤホン設定

アイコン	機能名	
Settings	ロック／セキュリティ	
		ロック
		シークレットモード
		履歴表示設定
		タッチパネルロック時間
		端末暗証番号変更
		PIN コード
		スキャン機能
		タッチアンロック

キリトリ線

アイコン	機能名	
Settings	国際ローミング設定	
		ネットワーク
		留守番電話（海外）
		転送でんわ（海外）
		遠隔操作設定（海外）
		番号通知お願いサービス（海外）
		ローミングガイダンス設定（海外）
		ローミング時着信規制
	国際ダイヤルアシスト設定	
		自動国際プレフィックス変換設定
		国際プレフィックス設定
		国番号設定
		国番号一覧

アイコン	機能名	
Settings	日付／時刻	
		日付／時刻設定
		日付／時刻表示設定
		デュアルクロック自動表示
		時刻お知らせ
	その他	
		文字入力
		メモリー状況
		Select language
		省電力モード
		リセット／削除
		ソフトウェア更新
		USB モード設定
		電池残量
		タッチパネル調整

アイコン	機能名
Own number	
Service	留守番電話
	キャッチホン
	転送でんわ
	迷惑電話ストップ
	発信者番号通知
	番号通知お願いサービス
	通話中着信設定
	通話中の着信動作選択

キリトリ線

アイコン	機能名	
Service	その他	
		追加サービス
		応答メッセージ
		英語ガイダンス
		サービスダイヤル
		ローミングガイダンス設定
		マルチナンバー
		デュアルネットワーク
		遠隔操作設定

マナーモード

待受画面▶（1秒以上）▶「マナーモード設定」／「オリジナルマナーモード設定」

公共モード（ドライブモード）

待受画面▶（1秒以上）▶「公共（ドライブ）モード設定」

ネットワークサービス

留守番電話サービス

留守番メッセージ再生

▶(Service)▶「留守番電話」▶「留守番メッセージ再生」▶[はい]▶音声ガイダンスに従って操作する

留守番電話サービス開始

▶(Service)▶「留守番電話」▶「留守番電話サービス開始」▶[はい]▶[はい]▶呼出時間を入力

留守番サービス停止

▶(Service)▶「留守番電話」▶「留守番サービス停止」▶[はい]

キャッチホン

キャッチホンサービス開始

▶(Service)▶「キャッチホン」▶「キャッチホンサービス開始」▶[はい]

キャッチホンサービス停止

▶(Service)▶「キャッチホン」▶「キャッチホンサービス停止」▶[はい]

通話を保留してかかってきた電話に出る

電話がかかってくる▶

■ **通話の切り替え**

■ **通話中の電話を切る**

■ **保留中の電話を切る**

▶

通話を終了してかかってきた電話に出る

電話がかかってくる▶▶[メニュー]▶「通話中通話終了」▶

転送でんわサービス

転送サービス開始

▶(Service)▶「転送でんわ」▶「転送サービス開始」▶[はい]▶「転送先変更」▶[編集]▶転送先の電話番号を入力▶[設定]▶[OK]▶「呼出時間設定」▶呼出時間を入力▶[保存]

転送サービス停止

▶(Service)▶「転送でんわ」▶「転送サービス停止」▶[はい]

FOMA 端末から利用できるサービス

FOMA 端末からご利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料）（電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

主なアイコン

❶ 電波の受信レベル
強 ⟷ 弱

self　セルフモードを設定中

❷（点滅）　i モード接続中

❸（白）　i モードセンターに i モードメールあり

（白）　i モードセンターにメッセージRあり

（白）　i モードセンターにメッセージFあり

（白）　i モードセンターに i モードメールとメッセージR/Fあり

❹（白）　未読の i モードメールとSMSあり

❺　未読のメッセージRあり

キリトリ線

❻　未読のメッセージFあり

❼ ～　電池残量表示

❽ ALL　オールロック設定中

❾（グレー）マナーモードを設定中

❿　音声電話／テレビ電話の着信音が鳴らず、バイブレータが動作する状態に設定中

　音声電話／テレビ電話の着信音が鳴らず、バイブレータが動作しない状態に設定中

⓫　メール／メッセージR/Fの着信音が鳴らず、バイブレータが動作する状態に設定中

　メール／メッセージR/Fの着信音が鳴らず、バイブレータが動作しない状態に設定中

⓬　公共モード（ドライブモード）を設定中

⓭　伝言メモ設定中

⓮　音声電話／テレビ電話の発信制限を設定中

⓯　「プライバシーモード設定」を「ON」に設定中

　「シークレットモード」を「ON」に設定中

　「シークレットモード」を「シークレット専用モード」に設定中

⓰　留守番電話の伝言メッセージあり（数字は件数）

⓱　伝言メモあり（数字は件数）

＜紛失時などの緊急連絡先＞

＜連絡先：　　　　　　　　　　　　＞

＜連絡先：　　　　　　　　　　　　＞

＜連絡先：　　　　　　　　　　　　＞

※ ダイヤル番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

キリトリ線

FOMA® L852i クイックマニュアル（海外利用編）

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-5366-3114***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※FOMA L852iから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります（「+」は 0 を1秒以上タッチし続けて表示します）。

一般電話などからの場合
<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-0120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）はP.9を、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）はP.10をご覧ください。

海外での故障に関して〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-6718-1414***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※FOMA L852iから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります（「+」は 0 を1秒以上タッチし続けて表示します）。

一般電話などからの場合
<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-5931-8600***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）はP.9を、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）はP.10をご覧ください。

- **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**
- **お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。**

海外で利用するための準備

i モードの設定

■ 日本で設定

▶ (imode) ▶「i Menu」▶「料金&お申込・設定」▶「オプション設定」▶「海外利用設定」▶「i モード利用設定」▶「利用する」▶ i モードパスワード入力欄を選択 ▶ i モードパスワードを入力 ▶「決定」

■ 海外で設定

▶ (imode) ▶「i Menu」▶「海外利用設定」▶「i モード利用設定」▶「利用する」▶ i モードパスワード入力欄を選択 ▶ i モードパスワードを入力 ▶「決定」

遠隔操作の設定

■ 日本で設定

▶ (Service) ▶「その他」▶「遠隔操作設定」▶「遠隔操作開始」▶［はい］

■ 海外で設定

▶ (Settings) ▶「国際ローミング設定」▶「遠隔操作設定（海外）」▶［はい］▶ 音声ガイダンスの指示に従って操作する

デュアルクロックの設定

▶ (Settings) ▶「表示」▶「待受画面設定」▶「時計表示設定」▶「デュアルクロック」▶「サブ時計」▶［一覧］▶ 都市をタッチ ▶［保存］

利用できる通信サービス

本 FOMA 端末は 3G サービスエリアでご利用になれます。

- 音声電話
- テレビ電話
- i モード
- i モードメール
- SMS
- i チャネル
- データ通信

ネットワークの切り替え

お買い上げ時の設定では、「ネットワークサーチ設定」が「オート」に設定されております。海外に到着後、利用可能なネットワークが自動的に設定されます。

手動でのネットワーク設定

▶ (Settings) ▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶「ネットワークサーチ設定」▶「マニュアル」▶［選択］▶［はい］▶ ネットワークにカーソルを移動 ▶［選択］

優先的に利用するネットワークの設定

▶ (Settings) ▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶「優先ネットワーク設定」▶［追加］▶「マニュアル登録」▶ 国番号とネットワーク番号を入力 ▶［完了］▶［はい］

ディスプレイの表示

ディスプレイには接続中のネットワーク名が表示されます。

帰国後の設定

お買い上げ時の設定では、帰国後に自動的に FOMA ネットワークに接続され、 が表示されます。

■ FOMA ネットワークに切り替わらない場合

▶ (Settings) ▶「国際ローミング設定」▶「ネットワーク」▶「ネットワークサーチ設定」▶「オート」▶［選択］▶［はい］

電話をかける

日本や滞在国以外に電話をかける

▶ 0 を 1 秒以上タッチし続ける ▶「国番号 - 地域番号（市外局番）- 相手の電話番号」を入力 ▶ または［発信］

- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合や日本の携帯電話・PHS の場合は、「0」を除いて入力します（相手がイタリアなど一部の国・地域の場合は「0」が必要な場合があります）。
- 国番号→ P7
- ［メニュー］▶「テレビ電話発信」: テレビ電話を発信する

滞在国内に電話をかける

日本国内と同様に相手の電話番号を地域番号（市外局番）から入力 ▶ または［発信］

- ［メニュー］▶「テレビ電話発信」: テレビ電話を発信する

電話を受ける

音声電話／テレビ電話を着信 ▶

ネットワークサービス

海外でネットワークサービスを利用する場合はあらかじめ遠隔操作の設定が必要になります。

ローミングガイダンス設定

・日本国内で設定してください。

▶ (Service) ▶「その他」▶「ローミングガイダンス設定」▶「ローミングガイダンス開始」／「ローミングガイダンス停止」▶［はい］

ローミング時着信規制

・海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

▶ (Settings) ▶「国際ローミング設定」▶「ローミング時着信規制」▶「着信規制開始」▶「全着信規制」／「テレビ電話着信規制」▶ネットワーク暗証番号を入力▶［はい］

留守番電話（海外）

▶ (Settings) ▶「国際ローミング設定」▶「留守番電話（海外）」▶「留守番サービス開始」／「留守番サービス停止」／「留守番メッセージ再生」▶［はい］▶音声ガイダンスに従って操作する

転送でんわ（海外）

▶ (Settings) ▶「国際ローミング設定」▶「転送でんわ（海外）」▶「転送サービス開始」／「転送サービス停止」▶［はい］▶音声ガイダンスに従って操作する

ローミングガイダンス（海外）

▶ (Settings) ▶「国際ローミング設定」▶「ローミングガイダンス設定（海外）」▶［はい］▶音声ガイダンスに従って操作する

主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国番号は、以下の番号を使用してください。

2008 年 4 月現在

ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1
イギリス	44
イタリア	39
インド	91
インドネシア	62
エジプト	20
オーストラリア	61
オーストリア	43
オランダ	31
カナダ	1
韓国	82
ギリシャ	30
シンガポール	65
スイス	41

ご利用地域	番号
スウェーデン	46
スペイン	34
タイ	66
台湾	886
タヒチ	689
チェコ	420
中国	86
ドイツ	49
トルコ	90
日本	81
ニューカレドニア	687
ニュージーランド	64
ノルウェー	47
ハンガリー	36
フィジー	679
フィリピン	63
フィンランド	358
フランス	33
ブラジル	55
ベトナム	84
ペルー	51
ベルギー	32
香港	852
マカオ	853
マレーシア	60
モルディブ	960
ロシア	7

※この他の国の番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』を確認してください。

キリトリ線

主要国の国際電話アクセス番号（表 1）

2008 年 3 月現在

ご利用地域	番号
アイルランド	00
アメリカ合衆国	011
アラブ首長国連邦	00
イギリス	00
イタリア	00
インド	00
インドネシア	001
オーストラリア	0011
オランダ	00
カナダ	011
韓国	001
ギリシャ	00
シンガポール	001
スイス	00
スウェーデン	00
スペイン	00
タイ	001
台湾	002
チェコ	00
中国	00
デンマーク	00
ドイツ	00
トルコ	00
ニュージーランド	00
ノルウェー	00
ハンガリー	00
フィリピン	00
フィンランド	00
フランス	00
ブラジル	0021／0014
ベトナム	00
ベルギー	00
ポーランド	00
ポルトガル	00
香港	001

ご利用地域	番号
マカオ	00
マレーシア	00
モナコ	00
ルクセンブルク	00
ロシア	810

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 2）

2008 年 3 月現在

ご利用地域	番号
アイルランド	00
アメリカ合衆国	011
アルゼンチン	00
イギリス	00
イスラエル	014
イタリア	00
オーストラリア	0011
オーストリア	00
オランダ	00
カナダ	011
韓国	001
コロンビア	009
シンガポール	001
スイス	00
スウェーデン	00
スペイン	00
タイ	001
台湾	00
中国	00
デンマーク	00
ドイツ	00
ニュージーランド	00
ノルウェー	00
ハンガリー	00
フィリピン	00
フィンランド	990
フランス	00
ブラジル	0021

ご利用地域	番号
ブルガリア	00
ペルー	00
ベルギー	00
ポルトガル	00
香港	001
マレーシア	00
南アフリカ	09
ルクセンブルク	00

お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、クイックマニュアル（海外利用編）表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」、またはP1 の「海外での故障に関して」までお問い合わせください。

・各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「主要国の国際電話アクセス番号（表 1）」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号（表 2）」が必要になります。

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから　iMenu ⇒ 料金＆お申込・設定⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）パケット通信料無料

パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※　医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※　やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（ドライブモード／電源OFF）
電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスを流し、通話を切ります。→P72

●伝言メモ
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。→P74

●バイブレータ
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。→P98

●マナーモード／オリジナルマナーモード
ボタン確認音や着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します（マナーモード）。→P100
マナーモードの動作を変更することもできます（オリジナルマナーモード）。→P100

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用できません。
■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用できません。
■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/
iモードサイト iMenu⇒お知らせ⇒ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号（表1） -81-3-5366-3114*（無料）
*一般電話などからかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※FOMA L852iからご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します）。
一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） -800-0120-0151*
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P346をご覧ください。

海外での故障に関して
〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号（表1） -81-3-6718-1414*（無料）
*一般電話などからかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※FOMA L852iからご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します）。
一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） -800-5931-8600*
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P346をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客さまが購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　LG Electronics Japan 株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

'08.8 (2.2版)

FOMA® L852i パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて

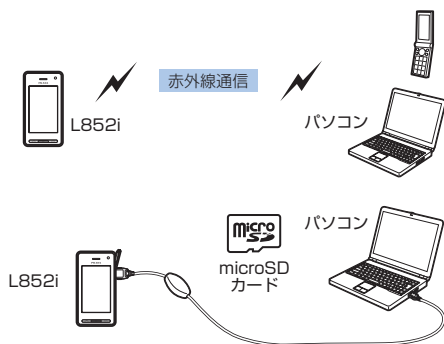
本マニュアルでは、FOMA L852iでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「L852i通信設定ファイル（ドライバ）」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末をパソコンと接続して、パケット通信とデータ転送（OBEX™通信）によるデータ通信をご利用いただけます。

- 64Kデータ通信には対応していません。
- Remote Wakeupには対応していません。
- FAX通信はサポートしていません。
- ドコモのPDA「musea」や「sigmarionⅡ」「sigmarion Ⅲ」には対応していません。

データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）
- microSDカード
- ドコモケータイdatalink

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる※1通信方式です。ネットワークに接続したままの状態で必要なときにのみデータを送受信する使いかたに適しています。通信環境やネットワークの混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用して、受信最大7.2Mbps／送信最大384kbps（ベストエフォート方式）※2の速度でデータ通信を行うことができます。

※1：多量のデータ通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。
※2：・最大7.2Mbps・最大384kbpsとは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や、通信環境により異なります。
・FOMAハイスピードエリア外やmoperaなどHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するときは、送受信ともに最大384kbpsによる通信となります。

FOMA L852iは、海外でもW-CDMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、データ通信ができます。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み手続き不要、月額使用料無料です。

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細については、プロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パケット通信の条件

FOMA端末とパソコンなどを接続して通信を行うには、次の条件※が必要になります。ただし、条件が整っていても基地局の混雑状況や電波状態によって通信できないことがあります。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）が利用できるパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- アクセスポイントが FOMA のパケット通信に対応していること

※： 日本国内の場合です。

お使いになる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠) • ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1	• Windows Vista、Windows XP、Windows 2000（各日本語版）
必要メモリ	• Windows Vista：512Mバイト以上 • Windows XP：128Mバイト以上※2 • Windows 2000：64Mバイト以上※2
ハードディスク容量	• 5Mバイト以上の空き容量※2

※1：OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
※2：必要メモリ、ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer6.0以降です。
  CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ①「スタート」▶「マイコンピュータ」を順にクリックする
  ② CD-ROMのアイコンを右クリック▶「開く」を選択
  ③「index.html」をダブルクリックする
  ※：Windows Vistaの場合、推奨環境はMicrosoft Internet Explorer7.0以降です。

付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
［はい］をクリックしてください。

- 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

必要な機器について

データ通信を利用するには、FOMA端末とパソコン以外に次の機器、およびソフトウェアが必要です。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- FOMA L852i用CD-ROM（付属品）

お知らせ

- USBケーブルは、専用のFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02、またはFOMA USB接続ケーブルをお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- 本書は、FOMA充電機能付USBケーブル01／02を使用した場合の説明となっています。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）をご利用になる場合には、L852i通信設定ファイルをインストールしてください。

L852i通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール

または

- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

データ転送

データ通信の準備の流れ

FOMA 端末とパソコンを接続してパケット通信を利用する場合の準備の流れは次のとおりです。

FOMA端末の「USBモード設定」が「通信モード」に設定されていることを確認する。→P3

FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB 接続ケーブル 01／02（別売）で接続する→P3

L852i通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール

または

- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

インストール後の確認をする→P8

FOMA PC設定ソフトを使用して接続先を設定する→P10	FOMA PC設定ソフトを使用しないで接続先とダイヤルアップネットワークを設定する→P19

接続する→P15、P26

L852i通信設定ファイルとFOMA PC設定ソフトについて

L852i通信設定ファイル（ドライバ）

FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02で接続して、パケット通信やファイル転送をするために必要なソフトウェア（ドライバ）です。

FOMA PC設定ソフト

パケット通信の接続先（APN）やダイヤルアップなどの設定を簡単に行うためのソフトウェアです。

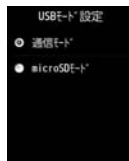
FOMA端末とパソコンを接続する

FOMA 端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続する方法について説明します。

USBモード設定

USBモードを設定する

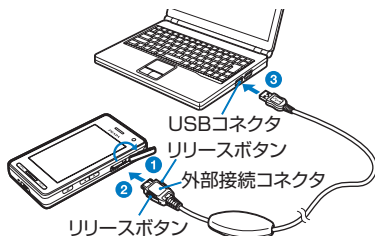
FOMA端末の「USBモード設定」を「通信モード」にします。

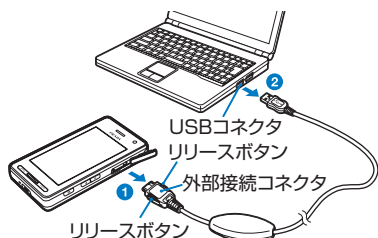
1 [メニュー]▶(Settings)▶「その他」▶「USBモード設定」

2 「通信モード」▶[選択]

FOMA 端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02(別売)で接続する

1 FOMA端末の外部接続端子キャップを開け（❶）、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02の外部接続コネクタをラベル面を上にしてまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む（❷）

2 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02のUSBコネクタをパソコンのUSB端子に接続する（❸）

次のページへ続く

取り外しかた

① FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02(別売) の外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く（❶）

② パソコンのUSB端子からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を引き抜く（❷）

お知らせ

- 通信の切断、誤動作、データ消失の原因となるため、データ通信中にFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を取り外さないでください。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02のコネクタは無理に接続しないでください。故障の原因となります。各コネクタの向きや角度が正しくないと、接続できません。各コネクタの向きや角度が正しいときは、強い力を入れなくてもスムーズに接続できるようになっています。うまく接続できないときは、無理に行わずに、もう一度コネクタの向きや角度、形状などを確認してください。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02は無理に取り外さないでください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

インストール／アンインストール時の注意点

L852i通信設定ファイル（ドライバ）やFOMA PC設定ソフトのインストール／アンインストール時は、次の点にご注意ください。

- インストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストール／アンインストールを行うとエラーになります。パソコンの管理者権限に関する設定や操作については、各パソコンメーカまたはマイクロソフト社にお問い合わせください。
- インストール／アンインストールを行う前に、他のソフトウェアが稼動していないことを確認してください。稼動している場合は、ソフトウェアを終了させてから行ってください。

■ Windows Vistaの場合

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「許可」または「続行」をクリックするか、パスワードを入力して［OK］をクリックしてください。パソコンの管理者権限に関する設定や操作については、各パソコンメーカまたはマイクロソフト社にお問い合わせください。

L852i通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末とパソコンをはじめてFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続する場合は、L852i通信設定ファイルをインストールしておく必要があります。

- L852i通信設定ファイルのインストールは、必ずFOMA端末とパソコンが接続されていない状態で開始してください。
- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール時の注意点」（P4）を参照してください。

Windows Vistaにインストールする場合

1 FOMA L852i用CD-ROMをパソコンにセットする

「FOMA L852i CD-ROM」画面が表示されます。

- パソコンの設定によっては、表示されない場合があります。その場合は、操作3に進みます。

2 画面右上の[×]をクリックする

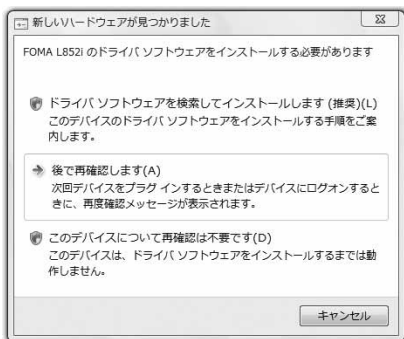
「FOMA L852i CD-ROM」画面が消えます。

3 パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンの画面のタスクバーから「新しいハードウェアが見つかりました」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。

- 接続方法→P3
- FOMA 端末の電源が入っている状態で接続してください。

4 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします(推奨)」をクリックする

- クリック後、パソコンの画面のタスクバーから「デバイス　ドライバソフトウェアをインストールしています」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。
- L852i通信設定ファイルを同じパソコンに2回以上インストールした場合は、次の画面が表示されず、パソコンの画面のタスクバーから「デバイスドライバソフトウェアが正しくインストールされました」というポップアップメッセージが数秒間表示され、自動的にインストールが完了することがあります。その場合は、続いてL852i通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認してください。→P8

5 「ディスクはありません。他の方法を試します」をクリックする

6 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します(上級)」をクリックする

7 L852i通信設定ファイル(ドライバ)の検索先を入力 ▶[次へ]をクリックする

検索先として、「次の場所でドライバソフトウェアを検索します」欄に「<CD-ROMドライブ名>：￥guide￥L852i_USB_Driver￥Drivers￥WinVista32」と入力します。

次のページへ続く

8 インストールの終了画面で[閉じる]をクリックする

この後、操作6～8を2回行い、L852i通信設定ファイルをすべてインストールします。

すべてのL852i通信設定ファイルのインストールが完了すると、パソコンの画面のタスクバーから「デバイス　ドライバソフトウェアが正しくインストールされました」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。
続いて、L852i通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認してください。→P8

Windows XPにインストールする場合

1 FOMA L852i用CD-ROMをパソコンにセットする

「FOMA L852i CD-ROM」画面が表示されます。

- パソコンの設定によっては、表示されない場合があります。その場合は、操作3に進みます。

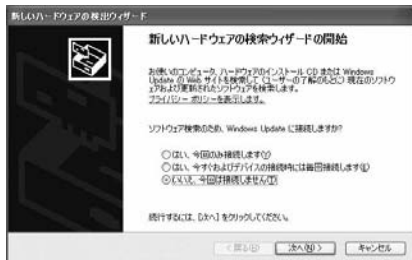
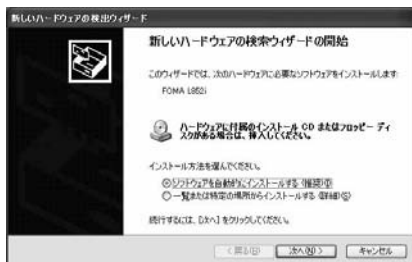
2 画面右上の☒をクリックする

「FOMA L852i CD-ROM」画面が消えます。

3 パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンの画面のタスクバーから「新しいハードウェアが見つかりました」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。

- 接続方法→P3
- FOMA 端末の電源が入っている状態で接続してください。

4 「いいえ、今回は接続しません」を選択▶[次へ]をクリックする

5 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択▶[次へ]をクリックする

6 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択▶「リムーバブル メディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索」のチェックを外す▶「次の場所を含める」にチェックを入れる▶L852i通信設定ファイル（ドライバ）の検索先を入力▶[次へ]をクリックする

検索先として、「次の場所を含める」欄に「<CD-ROMドライブ名>：￥guide￥L852i_USB_Driver￥Drivers￥Win2k_XP」と入力します。

次のページへ続く

■最適なソフトウェアの選択画面が表示された場合
パソコンの状況によっては、次のような画面が表示される場合があります。
その場合は「<CD-ROMドライブ名>：￥guide￥L852i_USB_Driver￥Drivers￥Win2k_XP」を選択▶［次へ］をクリックして、インストールを続けてください。

7 新しいハードウェアの検索ウィザードの完了画面で[完了]をクリックする

この後、操作4～7を2回行い、L852i通信設定ファイルをすべてインストールします。

すべてのL852i通信設定ファイルのインストールが完了すると、パソコンの画面のタスクバーから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。
続いて、L852i通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認してください。→P8

Windows 2000にインストールする場合

1 FOMA L852i用CD-ROMをパソコンにセットする

「FOMA L852i CD-ROM」画面が表示されます。

- パソコンの設定によっては、表示されない場合があります。その場合は、操作3に進みます。

2 画面右上の☒をクリックする

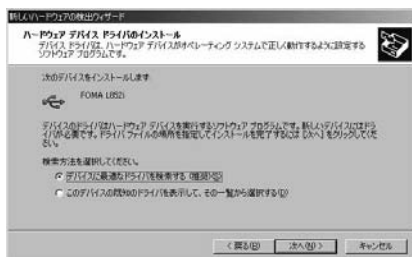
「FOMA L852i CD-ROM」画面が消えます。

3 パソコンとFOMA端末を接続する

「新しいハードウェアが見つかりました」画面が数秒間表示されます。

- 接続方法→P3
- FOMA 端末の電源が入っている状態で接続してください。

4 [次へ]をクリックする

5 「デバイスに最適なドライバを選択する（推奨）」を選択▶[次へ]をクリックする

6 「場所を指定」を選択▶[次へ]をクリックする

次のページへ続く

7 L852i通信設定ファイル(ドライバ)の検索先を入力▶[OK]をクリックする

検索先として、「製造元のファイルのコピー元」欄に「<CD-ROMドライブ名>：¥guide¥L852i_USB_Driver¥Drivers¥Win2k_XP」と入力します。

8 ドライバ名を確認▶[次へ]をクリックする

9 新しいハードウェアの検索ウィザードの完了画面で[完了]をクリックする

この後、操作4～9を2回行い、L852i通信設定ファイルをすべてインストールします。

接続後、L852i通信設定ファイルが自動的にインストールされます。
すべてのL852i通信設定ファイルのインストールが完了すると、パソコンの画面のタスクバーから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。
続いて、L852i通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認してください。→P8

インストールしたL852i通信設定ファイル(ドライバ)を確認する

L852i通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。

例：Windows XPの場合

1 「スタート」▶「コントロールパネル」▶「パフォーマンスとメンテナンス」▶「システム」を順にクリックする

■ Windows Vistaの場合
「(スタート)」▶「コントロールパネル」▶「システムとメンテナンス」を順にクリックします。

■ Windows 2000の場合
「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」▶「システム」を順にクリックします。

2 「ハードウェア」タブをクリック▶[デバイスマネージャ]をクリックする

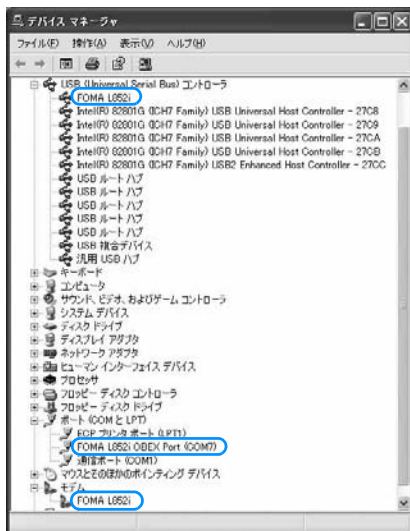
■ Windows Vistaの場合
「デバイスマネージャ」▶［続行］を順にクリックします。

■ Windows 2000の場合
「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

3 各デバイス表示をクリックして、インストールされたドライバ名を確認する

「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」「ポート（COMとLPT）」「モデム」の各デバイスにすべてのドライバが表示されていることを確認します。

Windows XPの場合

次のページへ続く

デバイス表示	ドライバ名
USB（Universal Serial Bus）コントローラ	FOMA L852i
ポート（COMとLPT）	FOMA L852i OBEX Port
モデム	FOMA L852i

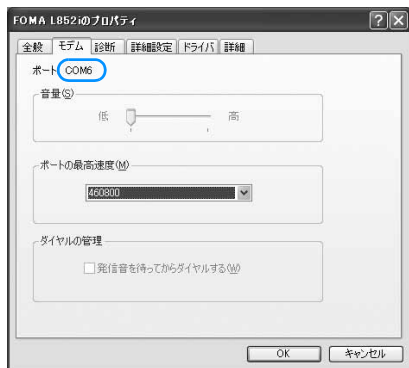
FOMA端末の通信ポート番号を確認するには

FOMA PC設定ソフトを使わずに通信の設定を行うときなどに、FOMA端末のモデム名や通信ポート（COMポート）の番号が必要になる場合があります。デバイスマネージャ画面から確認する方法を説明します。

① **FOMA端末とパソコンを接続する**
- 接続方法→P3

② **「L852i通信設定ファイル（ドライバ）を確認する」の操作1～2を行う**

③ **「モデム」をクリック▶「FOMA L852i」を選択▶メニューバーから［操作］▶［プロパティ］を順にクリック▶「モデム」タブをクリックする**

「ポート:」の右側にFOMA端末のCOMポート番号が表示されます。

L852i通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

L852i通信設定ファイルのアンインストールが必要な場合は、次の手順で行います。

- L852i 通信設定ファイルのアンインストールは、必ずFOMA端末とパソコンが接続されていない状態で開始してください。
- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール時の注意点」（P4）を参照してください。

例：Windows XPの場合

1 「スタート」▶「コントロールパネル」▶「プログラムの追加と削除」を順にクリックする

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

■ **Windows Vistaの場合**

「（スタート）」▶「コントロールパネル」▶「プログラムのアンインストール」を順にクリックします。

■ **Windows 2000の場合**

「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を順にクリック▶「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。

2 「FOMA L852i USB」を選択▶「変更と削除」をクリックする

■ **Windows Vistaの場合**

「アンインストールと変更」▶「続行」をクリックします。

3 ［OK］をクリックする

4 アンインストールの確認画面で［OK］をクリックする

アンインストールが終了します。

お知らせ

- L852i 通信設定ファイルをインストールするときに、FOMA充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）が外れたり、パソコンで［キャンセル］を押してインストールを中止したりすると、正常にインストールされない場合があります。このような場合は、アンインストールの操作を行ってL852i通信設定ファイルを一度削除してから、再度インストールしてください。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使用すると、次の設定を簡単に行うことができます。

■ かんたん設定

ガイドに従い操作することで「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」や「通信設定の最適化」などを簡単に行います。

■ 通信設定の最適化

「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、通信設定の最適化が必要になります。

■ 接続先（APN）の設定

パケット通信に必要な接続先（APN）の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、電話番号は使用しません。
あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先番号欄に指定して接続します。
お買い上げ時、cid1には「mopera」の接続先（APN）「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera U」の接続先（APN）「mopera.net」が登録されています。

お知らせ

- FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信の設定を行う方法もあります。→P19
- FOMA PC設定ソフト（バージョン4.0.0）以前の古いバージョン（以後旧FOMA PC設定ソフトと呼びます）がインストールされている場合は、あらかじめ旧FOMA PC設定ソフトをアンインストールしてください。バージョンの確認方法→P12

FOMA PC設定ソフトを使用した通信設定の順序

ステップ1　FOMA PC設定ソフトをインストールする

FOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールします。

- インストール方法→P11
- 旧FOMA PC設定ソフトがインストールされている場合は、FOMA PC設定ソフトをインストールする前にアンインストールしてください。旧FOMA PC設定ソフトがインストールされている場合は、FOMA PC設定ソフトはインストールできません。

ステップ2　設定前の準備をする

設定の前にFOMA端末がパソコンに接続されていること、L852i通信設定ファイルが正しくインストールされ、FOMA端末がパソコンに認識されていることを確認してください。

- FOMA端末とパソコンの接続方法→P3
- L852i通信設定ファイルの確認方法→P8
- FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合は、L852i通信設定ファイルをインストールしてください。→P4

ステップ3　かんたん設定を使用して各種設定をする

FOMA PC設定ソフトのかんたん設定を使用して、通信の各種設定をします。

- mopera Uを利用したパケット通信の設定方法→P13
- その他のプロバイダを利用したパケット通信の設定方法→P14
- 通信設定の最適化→P17
- 接続先（APN）の設定→P18

ステップ4　インターネットに接続する

設定後、インターネットに接続します。

- 接続方法→P15

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール時の注意点」（P4）を参照してください。

例：Windows XPの場合

1 付属のFOMA L852i用CD-ROMをパソコンにセットする

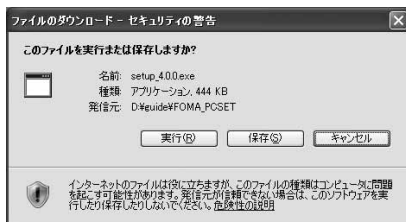
「FOMA L852i CD-ROM」画面が表示されます。

2「データリンクソフト･各種設定ソフト」をクリックする

3「FOMA PC設定ソフト」の［インストール］をクリックする

［インストール］をクリックすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Microsoft Internet Explorer のセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

■「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」画面が表示された場合

［実行］をクリックします。

■「Internet Explorerーセキュリティの警告」画面が表示された場合

［実行する］をクリックします。

4 インストール画面で［次へ］をクリックする

旧W-TCP設定ソフトおよび旧FOMAデータ通信設定ソフトなどがインストールされているという画面が表示された場合は、P12を参照してください。

5 FOMA PC設定ソフトの使用許諾契約書の内容を確認し、契約内容に同意する場合は［はい］をクリックする

［いいえ］をクリックすると、インストールは中止されます。

6 セットアップタイプを選択▶［次へ］をクリックする

「タスクトレイに常駐する」にチェックを付けると、インストール後、（通信設定最適化→P17）がパソコンの画面右下（通常）のタスクトレイに常駐します。通信設定最適化を簡単に起動できるため、常駐させることをおすすめします。

- チェックを外してもFOMA PC設定ソフトはインストールできます。インストール後に常駐させる場合は、FOMA PC設定ソフトの起動画面で「メニュー」をクリックし、「通信設定最適化をタスクトレイに常駐させる」を選択してください（常駐に設定されている場合は選択できません）。

■ Windows Vistaの場合

操作7へ進みます。

7 インストール先を確認▶［次へ］をクリックする

変更がある場合は［参照］をクリックし、任意のインストール先を指定して［次へ］をクリックしてください。

ハードディスク容量が不足する場合などには、違うドライブにインストールすることもできますが、通常はそのまま次の操作へお進みください。

次のページへ続く

8 プログラムフォルダのフォルダ名を確認▶[次へ]をクリックする

変更がある場合は新規フォルダ名を入力し、[次へ]をクリックしてください。

9 [完了]をクリックする

セットアップを完了すると、「FOMA PC設定ソフト」が起動します。このまま各種設定を開始できます。

FOMA PC設定ソフトのインストール時に表示される警告画面や確認画面について

旧W-TCP設定ソフトがインストールされている場合

警告画面が表示されます。
Windows Vistaの場合は「プログラムのアンインストール」、Windows XPの場合は「プログラムの追加と削除」、Windows 2000の場合は「アプリケーションの追加と削除」から旧バージョンの「W-TCP設定ソフト」を削除してください。

旧FOMAデータ通信設定ソフトがインストールされている場合

警告画面が表示されます。
Windows Vistaの場合は「プログラムのアンインストール」、Windows XPの場合は「プログラムの追加と削除」、Windows 2000の場合は「アプリケーションの追加と削除」から旧バージョンの「FOMAデータ通信設定ソフト」を削除してください。

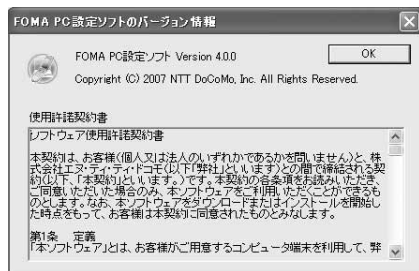
旧FOMA PC設定ソフトがインストールされている場合

警告画面が表示されます。
Windows Vistaの場合は「プログラムのアンインストール」、Windows XPの場合は「プログラムの追加と削除」、Windows 2000の場合は「アプリケーションの追加と削除」から旧バージョンの「FOMA PC設定ソフト」を削除してください。

インストールの途中で[キャンセル]や[いいえ]をクリックした場合

セットアップの中止画面が表示されます。
インストールを継続する場合は[いいえ]をクリックしてください。中止する場合は[はい]をクリックして、確認画面で[完了]をクリックしてください。

FOMA PC設定ソフトのバージョン情報を確認するには

FOMA PC設定ソフトを起動後、「メニュー」▶「バージョン情報」を順にクリックすると、バージョン情報画面が表示されます。

通信の設定を行う

FOMA PC設定ソフトを使用したパケット通信の各種設定について説明します。

※ FOMA PC設定ソフト上の表記は「最大3.6Mbps」となっていますが、本設定で「最大7.2Mbps」の設定も行えます。

- 設定前にFOMA端末がパソコンに正しく接続されていることを確認してください。→P3
- 本FOMA端末は、64Kデータ通信に対応していません。

FOMA PC設定ソフトを起動する

パソコンからFOMA PC設定ソフトを起動します。

例:Windows Vista、XPの場合

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「FOMA PC設定ソフト」▶「FOMA PC設定ソフト」を順にクリックする

FOMA PC設定ソフトの起動画面が表示されます。

■ Windows 2000の場合

「スタート」▶「プログラム」▶「FOMA PC設定ソフト」▶「FOMA PC設定ソフト」を順にクリックします。

FOMA PC設定ソフトを使って、次の通信設定ができます。

- mopera Uを利用したパケット通信の設定→P13
- mopera U以外のプロバイダを利用したパケット通信の設定→P14

通信ポートを指定する

「通信設定」でパソコンの通信ポート（COMポート）の番号を指定できます。

- 通常、この設定を行う必要はありません。COMポートを任意に設定する必要がある場合に行ってください。

1 FOMA PC設定ソフトの起動画面から「メニュー」▶「通信設定」を順にクリックする

自動設定（推奨）：自動的に接続されている FOMA 端末を指定します。通常はこちらを選択してください。

COMポート指定：任意のCOMポート番号を指定したい場合に、ご利用のFOMA端末が接続されているCOMポートの番号をCOM1～COM99までで指定します。

- COMポート番号の確認方法→P9

2 [OK]をクリックする

設定が完了します。

かんたん設定によるパケット通信の設定

かんたん設定によるパケット通信の設定を行います。

- FOMAハイスピードエリア外やmoperaなどHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するときは、送受信ともに最大384kbpsによる通信となります。

「mopera U」または「mopera」を接続先として利用する場合

プロバイダとして、ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」を利用する場合の設定方法です。

例：Windows XPの場合

1 FOMA PC設定ソフトの起動画面で[かんたん設定]をクリックする

2 「パケット通信(HIGH-SPEED対応端末)」を選択▶[次へ]をクリックする

■ Windows Vistaの場合

「パケット通信」を選択▶「次へ」をクリックします。

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択▶[次へ]をクリックする

「『mopera U』への接続」を選択した場合は、ご契約済みであることを確認する画面が表示されます。ご契約済みの場合は、［はい］をクリックします。

- 「mopera U」はPPP接続とIP接続、「mopera」はPPP接続のみに対応しています。
- **「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要となります（有料）。**
- **「mopera U」「mopera」以外のプロバイダをご利用になる場合は、P14を参照してください。**

4 [OK]をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 「接続名」欄に任意の接続名を入力▶「発信者番号通知」から「設定しない」または「186を付加する」を選択▶[次へ]をクリックする

- 「接続名」欄に次の半角文字は入力できません。
 ￥/:＊?!<>｜"
- **海外でご利用になる場合には、「設定しない」を選択してください。**

6 「使用可能ユーザーの選択」を任意に選択▶[次へ]をクリックする

「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択した場合は、「ユーザー名」「パスワード」の各欄が空欄でも接続できます。

■ Windows Vistaの場合

［次へ］をクリックして、操作8へ進みます。

7 「最適化を行う」にチェックを付ける▶[次へ]をクリックする▶[はい]

パケット通信に必要な通信設定を最適化します。

■ 既に最適化されている場合

最適化の確認画面は表示されません。

次のページへ続く

8 設定情報の内容を確認▶[完了]をクリックする

- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックを付けると、デスクトップにダイヤルアップ接続のショートカットが作成されます。

9 [OK]をクリックする

設定が完了します。

■ 最適化の設定を変更した場合(Windows XP、2000の場合)
設定の変更を有効にするためにパソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面で「はい」をクリックしてください。

その他のプロバイダを接続先として利用する場合

例:Windows XPの場合

1 FOMA PC設定ソフトの起動画面で[かんたん設定]をクリックする

2 「パケット通信(HIGH-SPEED対応端末)」を選択▶[次へ]をクリックする

■ Windows Vistaの場合
「パケット通信」を選択▶「次へ」をクリックします。

3 「その他」を選択▶[次へ]をクリックする

4 [OK]をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先(APN)設定を取得します。しばらくお待ちください。

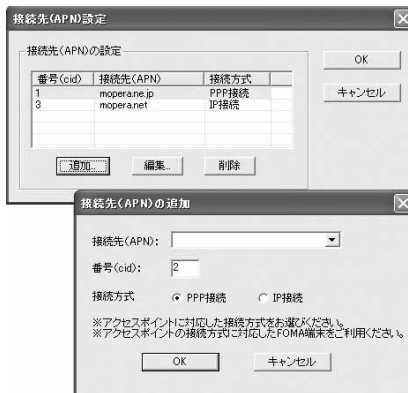
5 「接続名」欄に任意の接続名を入力する

- 「接続名」欄に次の半角文字は入力できません。
¥/:＊?!<> | "
- **発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。**
- **海外でご利用になる場合には、「設定しない」を選択してください。**

■ IPアドレスとDNSを設定する場合
ご利用のプロバイダより、接続先のIPアドレスとDNSの設定が指定されている場合は、[詳細情報の設定]をクリックして設定します。

6 [接続先(APN)設定]▶[追加]を順にクリックし、接続先(APN)を設定▶[OK]をクリックする

「接続先(APN)設定」画面に戻ります。

- 接続先(APN)には、ご利用のプロバイダのFOMAパケット通信に対応した接続先(APN)を正しく入力してください。
- 接続先には、半角文字で英数字、ハイフン(-)、ピリオド(.)のみ入力できます。
- 接続先(APN)は、cidの2、4〜11に登録できます。お買い上げ時、cid1には「mopera」の接続先(APN)「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera U」の接続先(APN)「mopera.net」が登録されています。

7 接続先(APN)を選択▶[OK]をクリックする

「接続先(APN)設定」画面が終了します。

8 [次へ]をクリックする

9 「ユーザー名」「パスワード」を入力▶「使用可能ユーザーの選択」を任意に選択▶[次へ]をクリックする

ユーザー名、パスワードには、ご利用のプロバイダから指定された情報を、大文字/小文字などに注意して正確に入力してください。

■ Windows Vistaの場合

次のページへ続く

「ユーザー名」「パスワード」を入力▶［次へ］をクリックして、操作11へ進みます。

10 「最適化を行う」にチェックを付ける▶［次へ］をクリックする

パケット通信に必要な通信設定を最適化します。

■ **既に最適化されている場合**
最適化の確認画面は表示されません。

11 設定情報を確認▶［完了］をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
設定内容を変更する場合は［戻る］をクリックします。

- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」にチェックを付けると、デスクトップにダイヤルアップ接続のショートカットが作成されます。

12 ［OK］をクリックする

設定が完了します。

■ **最適化の設定を変更した場合（Windows XP、2000の場合）**
設定の変更を有効にするためにパソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面で［はい］をクリックしてください。

設定した通信を実行する

FOMA PC設定ソフトを使用して設定した通信および切断の操作について説明します。

- 通信する前にFOMA端末がパソコンに正しく接続されていることを確認してください。→P3
- 通信するときは、設定に使用したFOMA端末を接続してください。異なるFOMA端末を接続した場合は、L852i通信設定ファイルの再インストールが必要になる場合があります。

1 パソコンのデスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

デスクトップに接続アイコンが表示されていない場合は、次の操作を行います。

■ **Windows Vistaの場合**
「（スタート）」▶「接続先」を順にクリック▶設定した接続先を選択▶［接続］をクリックします。

■ **Windows XPの場合**
「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリック▶設定した接続先のアイコンをダブルクリックします。

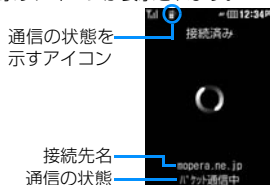
■ **Windows 2000の場合**
「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を順にクリック▶設定した接続先のアイコンをダブルクリックします。

2 ［ダイヤル］をクリックする

接続先に接続されます。

- 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択した場合は「ユーザー名」「パスワード」の各欄は空欄のまま、［ダイヤル］をクリックしても接続できます。その他のプロバイダやダイヤルアップ接続を選択した場合は、「ユーザー名」「パスワード」の各欄に入力し、［ダイヤル］をクリックしてください。
- ユーザー名とパスワードの保存、またはパスワードの保存にチェックを付けると、次回からは入力を省略できます。
- OSの種類によっては、ダイヤルアップを接続すると接続の完了画面が表示されます。ただし、以前に接続完了のメッセージを表示しない設定にした場合は、完了画面は表示されません。

通信中の表示について

パケット通信中、本FOMA端末には、以下のような画面と通信の状態を示すアイコンが表示されます。

（点滅）　パケット接続中／終了中
パケット通信中
パケット受信中
パケット送信中
パケット送受信中

通信を切断する

インターネットブラウザを終了しただけでは通信が切断されない場合があります。次の操作を行い、確実に切断してください。

1 パソコンのタスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

次のページへ続く

接続状態を示す画面が表示されます。

■ Windows Vistaの場合
「(スタート)」▶「接続先」を順にクリックして、接続しているダイヤルアップを選択します。

2 [切断]をクリックする

通信が切断されます。

お知らせ

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

ネットワークに接続できない場合について

ネットワークに接続できない(ダイヤルアップ接続ができない)場合は、まず次の項目について確認してください。

FOMA L852iがパソコン上で認識できない

- お使いのパソコンが動作環境(P2)を満たしていることを確認してください。
- L852i 通信設定ファイルがインストールされていることを確認してください。
- FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っていることを確認してください。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)が、しっかりと接続されていることを確認してください。
- USBモード設定(P3)が「通信モード」に設定されていることを確認してください。

相手先に接続できない

- ID(ユーザ名)やパスワードの設定が正しいかどうかを確認してください。
- 接続先の APN が正しいかどうかを確認してください。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール/アンインストール時の注意点」(P4)を参照してください。

アンインストールを実行する前に

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする前に、FOMA用に変更されたパソコンの状態を元に戻す必要があります。

例:Windows XP、2000の場合

1 「通信設定最適化」を終了させる

パソコンのタスクトレイのを右クリックして、ポップアップメニューから「終了」をクリックします。

■ Windows Vistaの場合
操作2に進みます。

2 起動中のFOMA PC設定ソフトを終了させる

FOMA PC設定ソフトの起動画面右下の[終了]をクリックします。

- 「FOMA PC設定ソフト」や「通信設定最適化」の起動中にアンインストールしようとすると、アンインストールの中断画面が表示されます。その場合は、[OK]をクリックしてそれぞれのプログラムを終了した後、アンインストールを行います。

アンインストールする

例:Windows XPでアンインストールする場合

1 「スタート」▶「コントロールパネル」▶「プログラムの追加と削除」を順にクリックする

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

■ Windows Vistaの場合
「(スタート)」▶「コントロールパネル」▶「プログラムのアンインストール」を順にクリックします。

■ Windows 2000の場合
「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を順にクリック▶「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。

2 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択▶[削除]をクリックする

■ Windows Vistaの場合
「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択▶「アンインストール」をクリックします。

次のページへ続く

■ Windows 2000の場合
「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択▶［変更と削除］をクリックします。

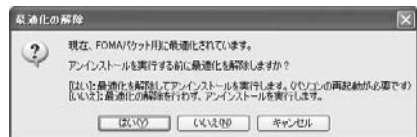
3 削除するプログラム名を確認▶［はい］をクリックする

アンインストールが開始されます。

4 ［完了］をクリックする

FOMA PC設定ソフトのアンインストールが終了します。

「通信設定最適化」の解除

Windows XP、2000で通信設定の最適化が行われている場合は、次の画面が表示されます。アンインストールする場合は［はい］をクリックしてください。

最適化を解除するには、パソコンの再起動が必要です。すぐに解除する場合は、続いて表示される次の確認画面で「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択▶［完了］をクリックします。

通信設定最適化

「通信設定最適化」はFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定」ツールです。Windows XPまたはWindows 2000でFOMA端末の通信性能を最大限に活用する前に、このソフトウェアによる通信設定の最適化が必要です。

※ FOMA PC設定ソフト上の表記は「最大3.6Mbps」となっていますが、本設定で「最大7.2Mbps」の設定も行えます。

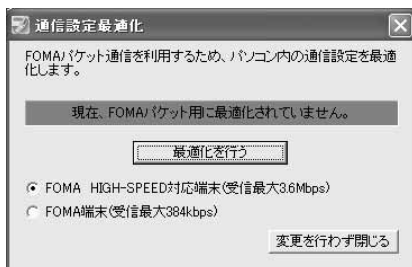
最適化の設定と解除

通信の設定（ダイヤルアップ）ごとに最適化を設定／解除できます。

例：最適化する場合

1 FOMA PC設定ソフトの起動画面で［通信設定最適化］をクリックする

■ タスクトレイから操作する場合
タスクトレイの をクリックします。

2 「FOMA HIGH-SPEED対応端末（受信最大3.6Mbps）」を選択▶［最適化を行う］をクリックする

■ 最適化を解除する場合
「FOMA HIGH-SPEED対応端末（受信最大3.6Mbps）」を選択▶［最適化を解除する］をクリックします。

- 最適化されている場合は、通信設定最適化画面が表示されません。

3 ［はい］をクリックする

4 再起動の確認画面で［はい］をクリックする

パソコンが再起動されます。
通信設定の最適化は、パソコンを再起動した後に有効になります。

接続先（APN）の設定

パケット通信の接続先（APN）を設定します。
接続先（APN）は11件まで設定でき、1～11の接続先（APN）を管理する登録番号（cid）が付けられます。cid はパケット通信の接続先を指定するときに使います。お買い上げ時、cid1 には「mopera」の接続先（APN）「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera U」の接続先（APN）「mopera.net」が登録されています。新しくcidを設定するときは、2または4～11に設定します。

- 設定する前に FOMA 端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。→P3

1 FOMA PC 設定ソフトの起動画面で［接続先(APN)設定］をクリックする

2 FOMA端末設定取得画面で［OK］をクリックする

パソコンに接続されたFOMA 端末から接続先（APN）情報を取得します。

3 接続先(APN)の設定をする

接続先（APN）の追加・編集・削除

■ **接続先（APN）を追加する場合**
［追加］をクリックします。

■ **登録済みの接続先（APN）を編集する場合**
編集する接続先（APN）を一覧から選択▶［編集］をクリックします。

■ **登録済みの接続先（APN）を削除する場合**
削除する接続先（APN）を一覧から選択▶［削除］をクリックします。

- cid1またはcid3に登録されている接続先（APN）は、削除できません。
  例えばcid3を選択して［削除］をクリックした場合、接続先（APN）はお買い上げ時に登録されている「mopera.net」になります。

ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップや、編集中の接続先（APN）設定の保存ができます。

1 「ファイル」▶「名前を付けて保存」／「上書き保存」を順にクリックする

ファイルからの読み込み

パソコンに保存されている接続先（APN）設定の再編集やFOMA端末への書き込みができます。

1 「ファイル」▶「開く」を順にクリックする

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込むことができます。

1 ［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリックする

上書きの確認画面が表示されます。

2 ［はい］をクリックする

FOMA 端末からの接続先（APN）情報の読み込み

パソコンに接続されているFOMA 端末の接続先（APN）を読み込むことができます。

1 「ファイル」▶「FOMA端末から設定を取得」を順にクリックする

FOMA端末設定取得画面が表示されます。

2 ［OK］をクリックする

ダイヤルアップ作成機能

追加／編集された接続先（APN）をFOMA端末へ書き込むことができます。

1 追加／編集された接続先(APN)を選択▶［ダイヤルアップ作成］をクリックする

FOMA 端末設定書き込み確認画面が表示されます。

2 ［はい］をクリックする

FOMA 端末へ接続先（APN）情報が書き込まれた後、［OK］をクリックすると「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

3 任意の接続名を入力▶[ユーザID･パスワードの設定]をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」の場合は空欄でも設定できます。

4 ユーザID、パスワードを入力▶「使用可能ユーザーの選択」を任意で設定▶[OK]をクリックする

ダイヤルアップが作成されます。

- ご利用のプロバイダよりIP情報、DNS情報が指示されている場合は、パケット通信用ダイヤルアップの作成画面で［詳細情報の設定］をクリックして、必要な情報を登録した後、［OK］をクリックします。

お知らせ

- 接続先（APN）は、パソコンに接続されるFOMA端末に登録される情報です。そのため、異なるFOMA端末をパソコンに接続した場合は、そのたびに接続先（APN）を登録する必要があります。

ダイヤルアップネットワークの設定

FOMA PC設定ソフトを使用せずに、パケット通信のダイヤルアップ接続を設定する方法について説明します。

接続先（APN）を設定する

パケット通信で使う接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は最大11件設定でき、登録番号（cid）で管理します。
設定には、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

- お買い上げ時、登録番号（cid）1にはmopera.ne.jp、3にはmopera.netが設定されていますので、接続先を設定するときは、cid2、または4～11に設定してください。
- Windows Vistaには「ハイパーターミナル」が添付されていません。Windows Vistaで設定する場合は、Windows Vistaに対応する通信ソフトをご使用ください。設定方法については、ご使用になるソフトの取扱説明書などをご参照ください。
- 「mopera U」「mopera」以外の接続先（APN）については、ご利用のプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

例：Windows XPの場合

1 FOMA端末とパソコンを接続する

- 接続方法→P3

2 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」を順にクリックする

ハイパーターミナルが起動します。

■ Windows 2000の場合
「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」を順にクリックします。

3 「名前」欄に任意の接続先名を入力▶[OK]をクリックする

4 「電話番号」欄に実在しない電話番号（「0」など）を入力▶「接続方法」に「FOMA L852i」と表示されていることを確認▶[OK]をクリックする

- 複数のモデム名が「接続方法」欄に表示されるときは、FOMA端末のモデム名を確認して、選択してください。→P8

5 接続画面で[キャンセル]をクリックする

ハイパーターミナルの入力画面が表示されます。

6 接続先(APN)を入力▶⏎を押す

AT+CGDCONT=<cid>,"<PDP type>","<APN>"⏎の形式で入力します。
<cid>、<PDP type>、<APN>の部分には、それぞれ次の情報を任意で入力してください。
入力後、「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

cid　：2、4～11の内の任意の番号を入力します。
※既にcidが設定されている番号を選択した場合は、設定が上書きされますのでご注意ください。

PDP type：

次のページへ続く

接続先が対応する接続方式をPPPまたはIPのどちらかから選択して、" "で囲んで入力します。

APN ：接続先（APN）を" "で囲んで入力します。

- 入力した文字が表示されない場合は、ATE1⏎を入力してください。

cid2にPDP typeがPPP、APNがXXX.comの接続先を登録する場合

■ **指定したcidの接続先（APN）の設定をリセットする場合**
AT+CGDCONT=<cid>⏎を入力します。

■ **設定されている接続先（APN）を確認する場合**
AT+CGDCONT?⏎を入力します。

7 「ファイル」▶「ハイパーターミナルの終了」を順にクリックする

8 切断の確認画面で［はい］をクリック▶保存の確認画面で［いいえ］をクリックする

ハイパーターミナルが終了し、接続先（APN）の設定が完了します。

お知らせ

- 接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末を接続する場合は接続先（APN）を登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、FOMA端末の同じ登録番号（cid）に同じ接続先（APN）を登録してください。

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信時に接続先に発信者番号を通知するかどうかを設定できます。ここでは、ATコマンド（＊DGPIRコマンド→P29）を使って、接続する前に設定する方法を説明します。
発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には、十分ご注意ください。

- Windows Vistaには「ハイパーターミナル」が添付されていません。Windows Vista で設定する場合は、Windows Vistaに対応する通信ソフトをご使用ください。設定方法については、ご使用になるソフトの取扱説明書などをご参照ください。

1 「接続先（APN）を設定する」（P19）の操作1～2を行う

ハイパーターミナルが起動します。

2 発信者番号の通知（186）／非通知（184）をATコマンドで設定する

AT＊DGPIR=<n> の形式で以下のように入力します。
入力後、「OK」と表示されれば、通知／非通知の設定は完了です。

- 入力した文字が表示されない場合は、ATE1⏎を入力してください。

■ **発信者番号を非通知にする場合**
AT＊DGPIR=1⏎
発信／着信応答時に自動的に184が付きます。

■ **発信者番号を通知する場合**
AT＊DGPIR=2⏎
発信／着信応答時に自動的に186が付きます。

■ **＊DGPIRコマンドによる通知／非通知の設定を初期値（設定なし）に戻す場合**
AT＊DGPIR=0⏎

お知らせ

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。

接続先番号による発信者番号の通知／非通知の設定について

ダイヤルアップネットワークの設定時（P21）に接続先番号に186（通知）／184（非通知）を付けても、発信者番号の通知／非通知を設定できます。
接続先番号、および＊DGPIRコマンドの各設定による発信者番号の通知／非通知の状態は以下のようになります。

接続先番号の設定（cid=3の場合）	＊DGPIRコマンドによる設定		
	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知（接続先番号の設定（184）が優先されます）		
186＊99＊＊＊3#	通知（接続先番号の設定（186）が優先されます）		

ダイヤルアップネットワークの設定をする

パソコンから通信（ダイヤルアップネットワーク）の設定をします。

- 「mopera U」「mopera」以外に接続する場合の設定内容については、ご利用のプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。

例：<cid>=3に登録されているドコモのインターネット接続サービス「mopera U」へ接続する場合

Windows Vistaで設定する場合

1 「（スタート）」▶「接続先」を順にクリックする

2 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする

3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択▶［次へ］をクリックする

4 モデムの選択画面が表示された場合は「FOMA L852i」をクリックする

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

5 各種設定を行い、［接続］をクリックする

- 「ダイヤルアップの電話番号」欄に接続先の番号を入力します。
- 「接続名」欄に任意の接続名を入力します。
- 「ユーザー名」「パスワード」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。
- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも接続できます。

6 「（接続名）に接続中...」画面で［スキップ］をクリックする

接続テストは行わずに、設定のみ確認します。

- ［スキップ］をクリックしない場合、インターネットに接続されますのでご注意ください。

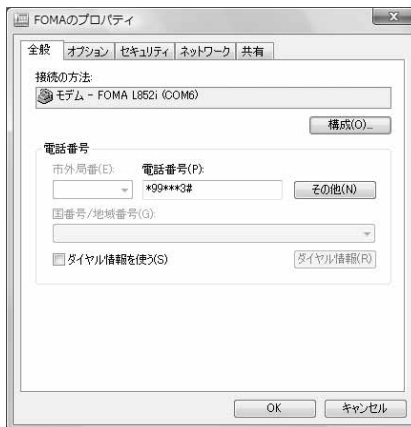
7 「接続をセットアップします」▶［閉じる］をクリックする

8 「（スタート）」▶「接続先」を順にクリックする

9 作成したダイヤルアップのアイコンを選択▶右クリックして「プロパティ」をクリックする

10 「全般」タブの画面で設定を確認する

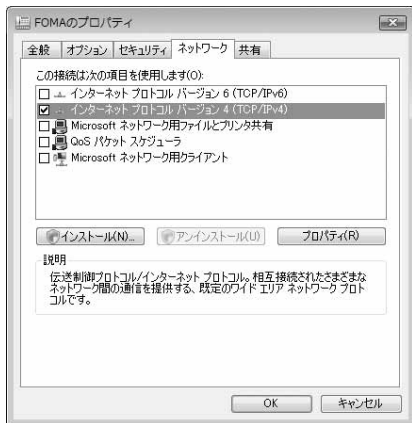
パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」欄で「モデム－FOMA L852i」のみにチェックが付いていることを確認します（チェックが付いていない場合には、チェックします）。

- 「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します（チェックが付いている場合は、チェックを外します）。

11 「ネットワーク」タブをクリック▶各種設定を行う

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネット プロトコル バージョン4（TCP/IPv4）」にチェックを付けます。

次のページへ続く

「QoSパケットスケジューラ」の設定は、プロバイダまたはネットワーク管理者の指定に従ってください。

- TCP/IPを設定する場合は、[プロパティ]をクリックします。設定については、プロバイダまたはネットワーク管理者に確認してください。

12 「オプション」タブをクリック▶[PPP設定]をクリックする

13 すべての項目のチェックを外す▶[OK]をクリックする

14 「オプション」タブの画面で[OK]をクリックする

Windows XPで設定する場合

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」を順にクリックする

2 新しい接続ウィザード画面で[次へ]をクリックする

3 「インターネットに接続する」を選択▶[次へ]をクリックする

4 「接続を手動でセットアップする」を選択▶[次へ]をクリックする

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択▶[次へ]をクリックする

6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は「モデム－FOMA L852i」を選択▶[次へ]をクリックする

デバイスの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

7 「ISP名」欄に任意の名前を入力▶[次へ]をクリックする

次のページへ続く

8 「電話番号」欄に接続先の番号を入力▶[次へ]をクリックする

9 接続の利用範囲を選択▶[次へ]をクリックする

ユーザーの選択を任意で行ってください。

- パソコンの設定によっては、この画面が表示されない場合があります。

10 「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」の各欄に入力▶[次へ]をクリックする

プロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、空欄でも接続できます。

11 [完了]をクリックする

新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

12 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリックする

13 作成したダイヤルアップのアイコンを選択▶「この接続の設定を変更する」をクリックする

14 「全般」タブの画面で設定を確認する

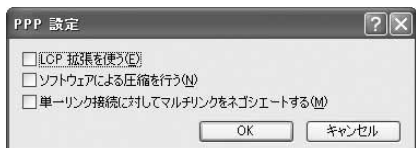
- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」欄で「モデムーFOMA L852i」のみにチェックを付けます。
- 「ダイヤル情報を使う」のチェックを外します。

15 「ネットワーク」タブをクリック▶各種設定を行う

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet」を選択します。
- 「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」にチェックを付けます。「QoSパケットスケジューラ」の設定は変更できません。

次のページへ続く

16 [設定]をクリックする

17 すべての項目のチェックを外す▶[OK]をクリックする

18 「ネットワーク」タブの画面で[OK]をクリックする

Windows 2000の場合

1 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を順にクリックする

2 ネットワークとダイヤルアップ接続画面で「新しい接続の作成」アイコンをダブルクリックする

3 所在地情報画面が表示された場合は「市外局番」を入力▶[OK]をクリックする

「新しい接続の作成」をはじめて起動したときのみ表示されます。2回目以降は操作5に進んでください。

4 電話とモデムのオプション画面で[OK]をクリックする

5 ネットワークの接続ウィザード画面で[次へ]をクリックする

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択▶[次へ]をクリックする

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択▶[次へ]をクリックする

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択▶[次へ]をクリックする

9 モデムの選択画面が表示された場合は「FOMA L852i」を選択▶[次へ]をクリックする

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

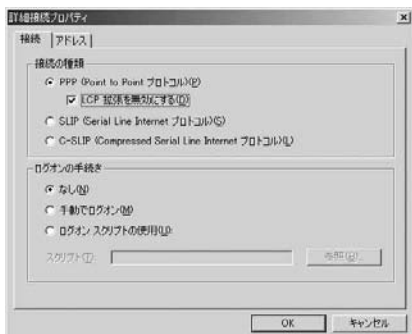
- 「FOMA L852i」が表示されていない場合は、「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」欄をクリックして「FOMA L852i」を選択します。

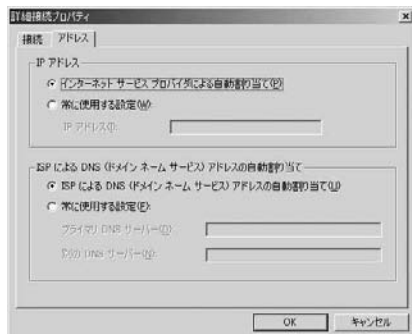
10 「電話番号」欄に接続先の番号を入力▶[詳細設定]をクリックする

「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外します。

11 「接続」タブの画面で画面例のように設定を行う

- 「mopera U」「mopera」以外に接続する場合、「接続の種類」「ログオンの手続き」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

次のページへ続く

12 「アドレス」タブをクリック▶画面例のように設定▶[OK]をクリックする

- 「mopera U」「mopera」以外に接続する場合は、「IPアドレス」「ISPによるDNS（ドメインネームサービス）アドレスの自動割り当て」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

13 「インターネットアカウントの接続情報」画面で[次へ]をクリックする

14 「ユーザー名」「パスワード」を入力▶[次へ] をクリックする

プロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、空欄でも接続できます。空欄の場合、ユーザー名とパスワードの空白を確認する画面が続けて表示されます。各画面で［はい］をクリックします。

15 「接続名」欄に任意の接続先名を入力▶[次へ]をクリックする

16 「いいえ」を選択▶[次へ]をクリックする

17 [完了]をクリックする

- 「今すぐインターネットに接続するにはここを選び完了をクリックしてください」が表示される場合はチェックを外します。

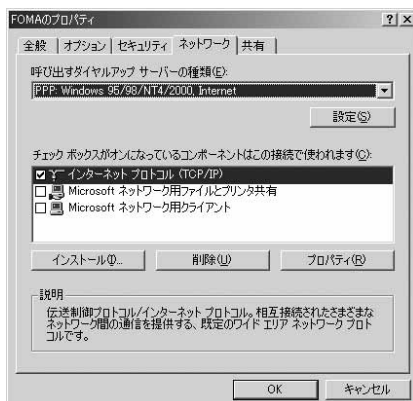
18 作成したダイヤルアップのアイコンを選択▶「ファイル」▶「プロパティ」を順にクリックする

19 「全般」タブの画面で設定を確認する

- パソコンに 2 台以上モデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－FOMA L852i」のみにチェックを付けます。
- 「ダイヤル情報を使う」のチェックを外します。

20 「ネットワーク」タブをクリック▶各種設定を行う

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
- 「チェックボックスがオンになっているコンポーネントはこの接続で使われます」欄は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のみにチェックを付けます。

次のページへ続く

21 [設定]をクリックする

22 すべての項目のチェックを外す▶[OK]をクリックする

23 「ネットワーク」タブの画面で[OK]をクリックする

通信を行う

FOMA PC設定ソフトを使わない通信および通信の切断の操作について説明します。

- 通信する前にFOMA端末がパソコンに正しく接続されていることを確認してください。→P3
- 通信するときは、設定に使用したFOMA端末を接続してください。異なるFOMA端末を接続した場合は、L852i通信設定ファイルの再インストールが必要になる場合があります。

例：Windows XPの場合

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリック▶設定した接続先のアイコンをダブルクリックする

■ Windows Vistaの場合
「(スタート)」▶「接続先」を順にクリック▶設定した接続先を選択▶［接続］をクリックします。

■ Windows 2000の場合
「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を順にクリック▶設定した接続先のアイコンをダブルクリックします。

2 「ユーザー名」「パスワード」を入力▶[ダイヤル]をクリックする

接続先に接続されます。

- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は「ユーザー名」「パスワード」の各欄は空欄のまま、［ダイヤル］をクリックしても接続できます。その他のプロバイダやダイヤルアップ接続を選択した場合は、「ユーザー名」「パスワード」の各欄に入力し、［ダイヤル］をクリックしてください。
- ユーザー名とパスワードの保存、またはパスワードの保存にチェックを付けると、次回からは入力を省略できます。
- OSの種類によっては、ダイヤルアップを接続すると接続の完了画面が表示されます。ただし、以前に接続完了のメッセージを表示しない設定にした場合は、完了画面は表示されません。

通信を切断する

インターネットブラウザを終了しただけでは通信が切断されない場合があります。次の操作を行い、確実に切断してください。

1 パソコンのタスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

接続状態を示す画面が表示されます。

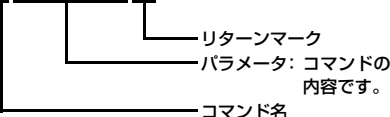
2 [切断]をクリックする

通信が切断されます。

お知らせ

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

ATコマンドについて

パソコンでFOMA端末の機能の設定や状態の確認を行うためのコマンド（命令）です。通常は通信ソフトがATコマンドを発行するので、ATコマンドを意識する必要はありません。独自にATコマンドを入力してFOMA端末を制御したい場合に利用します。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドの入力はハイパーターミナルなどの通信ソフトのターミナルモード画面で行います。

- ターミナルモードとは、パソコンで入力された文字が通信ポートに接続されている回線に送信されるモードのことを示します。

入力例

- ATコマンドは、コマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、必ず1行で入力します。通信ソフトのターミナルモード画面では、最初の文字から⏎の直前の文字までが「1行」になります。ATコマンドも含めて256文字まで入力できます。
- ATコマンドは、コマンドに続くパラメータも含めて、必ず半角英数字で入力してください。

ATコマンド一覧

FOMA L852i Modemで使用できるATコマンドです。

- 以下のコマンドは、入力可能ですが機能しない無効なコマンドです。
  - AT（ATのみ入力）- ATS0（自動着信するまでの呼び出し回数設定）- ATS6（ダイヤルするまでのポーズ時間設定）- ATS8（カンマダイヤルによるポーズ時間設定） - ATS10（自動切断までの遅延時間設定）

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
A/	直前に実行したATコマンドを再実行します。入力の最後にキャリッジリターン（CR）の入力は不要です。	－	A/ OK
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT%V L852i-XXXXXXXXX-XXXXX-XXX-XX-2008-DCM-JP X [XXX XX 2008 XX:XX:XX] OK
AT&C<n>	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	n=0：CDは常にON n=1：CDは相手モデムのキャリアに応じて変化する（初期値）	AT&C1 OK
AT&D<n>	DTEから受け取る回路ER信号がオンまたはオフへ遷移したときの動作を選択します。	n=0：ERの状態を無視する（常にONとみなします） n=2：回線を切断しERがONからOFFに変化すると、オフラインコマンド状態になる（初期値）	AT&D2 OK
AT&F<n>	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中にこのコマンドが入力された場合は、回線切断の処理が行われます。	n=0のみ指定可能（省略可）	－
AT&W<n>	現在の設定値をFOMA端末に記憶します。	n=0のみ指定可能（省略可）	－
AT＊DANTE	FOMA端末の電波状態（アンテナマークの棒の本数）を表示します。	リザルトの書式： ＊DANTE:<m> m=0：圏外の状態 m=1：アンテナが0本または1本表示される状態 m=2：アンテナが2本表示される状態 m=3：アンテナが3本表示される状態	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT＊DGPIR=<n>	パケット通信時に、接続先への発信者番号の通知／非通知を設定します。 本コマンドの設定は、発信時に有効です。 なお、ダイヤルアップネットワークの設定で、接続先の番号に184（非通知）／186（通知）を付けても設定できます。→P21	n=0：APNの設定のまま接続 n=1：APNに184（非通知）を付加して接続 n=2：APNに186（通知）を付加して接続 AT＊DGPIR? :現在の設定値を表示する	AT＊DGPIR=0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW	FOMA端末の受信電力指標値を表示します（最小値〜最大値：0〜75）。	―	AT＊DRPW ＊DRPW:25 OK
AT+CACM="<passwd>"	FOMAカードに記録される累積課金の値をリセットします。	passwd:PIN2コード 入力したPIN2コードが正しかった場合は、累積課金の値をリセットします。	(PIN2コードとして「1234」を入力) AT+CACM="1234" OK
AT+CBC	FOMA端末の電池残量を表示します。	リザルトの書式： ＋CBC:<bcs>,<bcl> bcs=0：電池パックより電源が供給されている状態 bcs=1：電池パックより電源が供給されていない状態 bcs=2：FOMA端末に電池パックが接続されていない状態 bcs=3：電源供給エラーによるFOMA端末から発信不可の状態 bcl　：電池残量を0〜100の数値で表示する	AT+CBC +CBC:0,70 OK
AT+CGDCONT	パケット通信の接続先（APN）を設定します。	P35をご参照ください。	P35をご参照ください。
AT+CGEQMIN	PPPパケット通信の接続確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうか判定する基準値を登録します。	P35をご参照ください。	P35をご参照ください。
AT+CGEQREQ	PPPパケット通信の発信時にネットワーク側へ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	P35をご参照ください。	P36をご参照ください。
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	―	AT+CGMR XXXXXXXXXXXXXXXXX OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGREG=<n>	ネットワークへの登録状態を通知するかどうかを設定します。ネットワークから応答される通知情報に応じて圏内または圏外を表示します。	n=0：通知なし（初期値） n=1：通知あり 圏内／圏外が切り替わると通知する AT+CGREG? ：現在の状態を表示する リザルトの書式： +CGREG:<n>,<stat> n：通知のあり／なしの現在の設定値を表示する stat=0:パケット通信圏外 stat=1:パケット通信圏内 stat=4:不明 stat=5:パケット通信圏内（ローミング時）	AT+CGREG=1 OK （通知ありに設定した場合） AT+CGREG? +CGREG: 1,0 OK （パケット通信圏外の場合）
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN XXXXXXXXXXXXXXX OK
AT+CMEE=<n>	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。	n=0：通常のERROR リザルトを用いる（初期値） n=1：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用いる n=2：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用いる AT+CMEE? ：現在の設定値を表示する 右記は誤ったPINロック解除コード、およびPIN1/PIN2コードを入力した場合の表示例です。	AT+CMEE=0 OK AT+CPIN="12345678","1234" ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CPIN="12345678","1234" +CME ERROR：16 AT+CMEE=2 OK AT+CPIN="12345678","1234" +CME ERROR：incorrect password
AT+CNUM	FOMA端末の自局電話番号を表示します。	リザルトの書式： +CNUM:,<number>,<type> number：自局電話番号 type=129 ：電話番号に「+」（国際アクセスコード）を含まない type=145 ：電話番号に「+」（国際アクセスコード）を含む	AT+CNUM +CNUM:,"090XXXXXXXX",129 OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CPAS	FOMA端末への制御信号が使用できる状態かどうかを表示します。	リザルトの書式： +CPAS:<pas> pas 0:FOMA端末への制御信号の送受信が可能	AT+CPAS +CPAS:0
AT+CPIN="<pin>"[,"<newpin>"]	FOMA端末にPINコードを入力します。	PIN1/PIN2/PINロック解除コードを入力します。 AT+CPIN? ：PIN1またはPIN2コードの状態を示します。リザルトコードについてはP36を参照してください。 ※AT+CPINによってPIN認証は可能ですが、FOMA端末には表示されません。ご注意ください。	AT+CPIN? +CPIN：SIM PIN OK (PIN1またはPIN2コードとして「1234」を入力) AT+CPIN="1234" OK (PINロック解除コードとして「12345678」、新しいPIN1またはPIN2コードとして「1234」を入力) AT+CPIN="12345678","1234" OK
AT+CPUC="<currency>","<ppu>"[,"<Passwd>"]	FOMAカードの通貨テーブルを書き換えます。	passwd：PIN2コード ※入力したPIN2コードが誤っていた場合は、「ERROR」が表示されます。 AT+CPUC? ：現在の設定値を表示する	(PIN2コードとして「1234」を入力) AT+CPUC="YEN","0.2","1234" OK AT+CPUC? +CPUC:"YEN","0.2" OK AT+CPUC =? OK
AT+CREG=<n>	圏内／圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します（パソコンのOSによっては設定できない場合があります）。	n=0：通知なし（初期値） n=1：通知あり 圏内／圏外が切り替わると通知する AT+CREG? ：現在の状態を表示する リザルトの書式： +CREG:<n>,<stat> n：通知のあり／なしの現在の設定値を表示する stat=0:音声圏外 stat=1:音声圏内 stat=4:不明 stat=5:音声圏内（ローミング時）	AT+CREG=1 OK (通知ありに設定) AT+CREG? +CREG:1,0 OK (圏外の場合) +CREG:1 (圏外から圏内に移動した場合)

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+FCLASS=<n>	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。	n=0 ：データのみサポート（初期値） AT+FCLASS? ：現在の設定値を表示する	AT+FCLASS=0 OK
AT+GCAP	FOMA端末のATコマンドのサポート能力を表示します。	−	AT+GCAP +GCAP:+CGSM,+FCLASS,+W OK
AT+GMI	製造元名を表示します。	−	AT+GMI LG Electronics Inc OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名を表示します。	−	AT+GMM FOMA L852i OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT+GMR L852i-MSM409510-VXXX-XXX-XX-XXXX-DCM-JP X [XXX XX 2008 XX:XX:XX] OK
AT+IFC=<n>,<m>	フロー制御方式を設定します。	n:DCE by DTE m:DTE by DCE <n>,<m>のパラメータ 0:フロー制御なし 1:XON/XOFFフロー制御 2:RS/CS（RTS/CTS）フロー制御（初期値） AT+IFC? ：現在の設定値を表示する	AT+IFC=2,2 OK AT+IFC? +IFC:2,2
AT+WS46=<n>	FOMA端末が使用する無線ネットワークを設定します。	n=12:GSM n=22:3G（W-CDMA） n=25:自動切り替え（初期値） AT+WS46? ：現在の設定値を表示する	AT+WS46=22 OK AT+WS46? 22 OK
AT￥S	現在設定されている各コマンド、Sレジスタの内容を表示します。	−	AT￥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 S000=000 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATD	発信処理を行います。	入力の書式： ATD＊99＊＊＊<cid># cid:+CGDCONTコマンドで設定したAPNの登録番号（cid）を1～11で入力します。 • cidを省略して「ATD*99***#」と入力すると、自動的にcid1に登録されているAPNに発信されます。	ATD*99***3# CONNECT
ATE<n>	コマンドモードのときにDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	n=0：エコーバックなし n=1：エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATH	パケット通信時に回線を切断します。	－	（パケット通信中） ATH NO CARRIER
ATI<n>	認識コードを表示します。	n=0：「NTT DoCoMo」を表示する n=1：製品名を表示する n=2：FOMA端末のバージョンを表示する n=3：ACMP信号の各要素を表示する n=4：FOMA端末の通信機能の詳細を表示する	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA L852i OK
ATQ<n>	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	n=0：表示する（初期値） n=1：表示しない	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、「OK」は表示されない）
ATS3=<n>	キャリッジリターン（CR）キャラクタを設定します。	n=13：初期値（13のみ設定できます） ATS3?：現在の設定値を表示する	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=<n>	ラインフィード（LF）キャラクタを設定します。	n=10：初期値（10のみ設定できます） ATS4?：現在の設定値を表示する	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=<n>	バックスペース（BS）キャラクタを設定します。	n=8：初期値（8 のみ設定できます） ATS5?：現在の設定値を表示する	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATV<n>	すべてのリザルトコードの表示を数字または英文字に設定します。	n=0：リザルトコードを数値で表示する n=1：リザルトコードを文字で表示する（初期値）	ATV1 OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATX<n>	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。また、ビジートーン、ダイヤルトーンを検出します。	n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（初期値）	ATX1 OK
ATZ<n>	ATコマンドの設定を、不揮発メモリの内容にリセットします。通信中にこのコマンドが入力された場合は、設定はリセットされません。	ー	ATZ OK

ATコマンドの補足説明

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- 概要
  パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
  本コマンドは設定コマンドですが、&Fによるリセットは行われません。
- 書式
  +CGDCONT=［<cid>［,"<PDP type>"［,"<APN>"］］］
- パラメータ説明
  <cid>※1：1～11
  <PDP type>※2：PPPまたはIP
  <APN>※3：任意

※1：<cid>は、FOMA 端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。本FOMA 端末では1～11が登録できます。なお、<cid>=1にはmopera.ne.jp、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されています。
※2：<PDP type>は、パケット通信の接続方式です。接続先が対応する接続方式をPPPまたはIPのどちらかから選択して入力します。
※3：<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

- コマンド実行例
  abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cid2に登録する場合）
  AT+CGDCONT=2,"IP","abc"
  OK
- パラメータを省略した場合の動作
  AT+CGDCONT=
  ：すべての<cid>を初期値に戻します。
  AT+CGDCONT=<cid>
  ：指定された<cid>を初期値に戻します。
  AT+CGDCONT=?
  ：設定可能な値のリスト値を表示します。
  AT+CGDCONT?
  ：現在の設定を表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- 概要
  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
  本コマンドは設定コマンドですが、&Fによるリセットは行われません。
- 書式
  +CGEQMIN=［<cid>［,,<Maximum bitrate UL>［,<Maximum bitrate DL>］］］
- パラメータ説明
  <cid>※1：1～11
  <Maximum bitrate UL>※2：なし（初期値）または384
  <Maximum bitrate DL>※2：なし（初期値）または7,232

※1：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。本FOMA端末では1～11が登録できます。なお、<cid>=1にはmopera.ne.jp、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されています。
※2：<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度［kbps］の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、384および7,232を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信が接続できない場合がありますのでご注意ください。

- コマンド実行例
  (1) 上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
  AT+CGEQMIN=2
  OK
  (2) 上り384kbps／下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
  AT+CGEQMIN=2,,384,7232
  OK
  (3) 上り384kbps／下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
  AT+CGEQMIN=2,,384
  OK
  (4) 上りすべての速度／下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが4の場合）
  AT+CGEQMIN=4,,,7232
  OK
- パラメータを省略した場合の動作
  AT+CGEQMIN=
  ：すべての<cid>を初期値に戻します。
  AT+CGEQMIN=<cid>
  ：指定された<cid>を初期値に戻します。
  AT+CGEQMIN=?
  ：設定可能な値のリスト値を表示します。
  AT+CGEQMIN?
  ：現在の設定を表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

- 概要
  パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
  次のコマンド実行例に記載されている1種類のみ設定でき、初期値としても設定されています。
  本コマンドは設定コマンドですが、&Fによるリセットは行われません。
- 書式
  +CGEQREQ=［<cid>］
- パラメータ説明
  <cid>※：1～11

※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。本FOMA端末では1～11が登録できます。なお、<cid>=1にはmopera.ne.jp、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されています。

次のページへ続く

- コマンド実行例
上り384kbps／下り7,232kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGEQREQ=2,2,384,7232
OK
- パラメータを省略した場合の動作
AT+CGEQREQ=
：すべての<cid>を初期値に戻します。
AT+CGEQREQ=<cid>
：指定された<cid>を初期値に設定します。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
15	SIM wrong	FOMAカード以外のSIM（NTTドコモ以外のICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが誤っています。
100	unknown	不明なエラーです。

リザルトコード

■ リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信しています。
3	NO CARRER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンが検出できません。
7	BUSY	話中音検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了（タイムアウト）
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。

お知らせ

- ATVn コマンド（P33）がn=1に設定されている場合は文字表示（初期値）、n=0に設定されている場合は数字表示でリザルトコードが表示されます。

■ AT+CPIN?のリザルトコード

FOMA端末の状態	リザルトコード
入力待ち	+CPIN:SIM PIN（PIN1コードの場合） +CPIN:SIM PIN2（PIN2コードの場合）
PINロック解除コード入力待ち	+CPIN:SIM PUK（PIN1コードの場合） +CPIN:SIM PUK2（PIN2コードの場合）
PINコード認証済み	+CPIN:READY
不適切なコマンドが入力された状態	+CME ERROR:Operation is not allowed
コマンド誤入力	ERROR

FOMA® L852i 区点コード一覧

区点コード一覧

- 区点コード一覧の表示は、ディスプレイの表示と見えかたが異なる場合があります。

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	あ									
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	い									
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	う									
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	え									
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	お									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	か									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	き									
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	く									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ぬ～の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
					や					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
					ゆ					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					よ					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					ら					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					り					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					る~れ					
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
					ろ					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
					わ					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎

区点 1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			